

第2期ふじみ野市環境基本計画(後期行動計画)

アンケート調査報告書

令和4年3月

ふじみ野市 環境課

<目次>

【 調査の概要 】	1
1 調査の概要	3
(1)調査の目的	3
(2)調査方法及び調査実施期間	3
(3)配布数及び回収数	4
(4)報告書を見る際の注意事項	4
【 調査集計結果 】	7
■ 市民	9
1 属性	11
2 ふじみ野市の環境に対する意識について	15
3 環境に関する情報源について	24
4 リサイクル活動への参加・ごみの減量化について	26
5 環境保全活動などに関する意識について	31
6 環境に関する施策の評価について	34
7 環境活動への参加について	51
8 環境への配慮のための交通手段について	56
9 新型コロナウイルスについて	57
10 SDGs(持続可能な開発目標)について	60
11 ふじみ野市環境基本計画について	65
12 ふじみ野市の環境像について	67
■ 小・中学生	71
1 属性	73
2 身近な環境について	75
3 環境に対する考え	86
4 新型コロナウイルスについて	94
5 SDGs(持続可能な開発目標)について	96
6 省エネルギーや環境保全の取り組みについて	98
7 環境の保全や改善のための行動	109
8 環境に関する情報や学習について	115
■ 事業所	119
1 事業所について	121
2 ふじみ野市環境基本計画について	126
3 環境に関する基本的な考え方	127
4 廃棄物について	134
5 環境保全への取り組み状況について	136

6 地球温暖化対策について	153
7 新型コロナウイルスについて	157
8 SDGs(持続可能な開発目標)について.....	158
9 環境保全施策に対する意見・要望について	161
10 環境への負荷の実態について	163
11 市民・行政との協働について	165
12 ふじみ野市の環境像について	167
【 各アンケート調査内容 】.....	169
■ 市民アンケート.....	171
■ 小・中学生アンケート	189
■ 事業所アンケート	201

【 調査の概要 】

1 調査の概要

(1)調査の目的

本調査は、市民及び事業所、また、将来を担う小・中学生の環境に対する意識や環境活動への参画状況などを把握し、令和5年度から令和9年度までの「第2期ふじみ野市環境基本計画(後期行動計画)」を策定するにあたっての基礎資料とすることを目的としています。

(2)調査方法及び調査実施期間

【 市民 】

調査地域	ふじみ野市全域
調査対象	ふじみ野市内に居住する満18歳以上の市民96,838人のうち2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和3年11月12日(金)～令和3年11月26日(金)

【 市・小中学生 】

調査地域	ふじみ野市全域
調査対象	ふじみ野市立小・中学校に通学する児童生徒 小学5年生1,024人のうち427人、中学2年生955人のうち209人 合計636人
抽出方法	調査対象の学年のうち1学級を学校で選定(小学校13学級、中学校6学級)
調査方法	学校を通じて配布・回収
調査期間	令和3年11月12日(金)～令和3年12月17日(金)

【 事業所 】

調査地域	ふじみ野市全域
調査対象	ふじみ野市内の事業所5,537社のうち200社
抽出方法	法人市民税の台帳から無作為抽出(備考欄の法人はすべて抽出)
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和3年11月12日(金)～令和3年11月26日(金)
備考	資本金等の額が10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人及び資本金等の額が50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人

(3)配布数及び回収数

対象	配布数	有効回収数	有効回収率
市民	2,000 件	769 件	38.5%
小・中学生	636 件	573 件	90.1%
小学生	427 件	386 件	90.4%
中学生	209 件	187 件	89.5%
事業所	200 件	52 件	26.0%

※市民調査地域別回収数

	人口	有効回収数	配布数	回収率
①地域	25,685 人(26.5%)	184 件(24.9%)	568 件	32.4%
②地域	29,631 人(30.6%)	247 件(33.4%)	571 件	43.3%
③地域	30,828 人(31.8%)	222 件(30.0%)	619 件	35.9%
④地域	10,694 人(11.0%)	87 件(11.8%)	242 件	40.0%
合計	96,838 人(100.0%)	740 件(100.0%)	2,000 件	—

(4)報告書を見る際の注意事項

- 本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- 本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、少数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率が100%を超えることがあります。
- クロス集計については、母数が「100」を超えるものを集計することとします。
- 地域別のクロス集計については、「④地域」が母数 100 を超えていませんが集計することとします。
- 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差(標本誤差)があり、一般的に採用する信頼度 95%とした場合、標本誤差は次の公式によって算出されます。

$$d = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-p)}{n}}$$

d = 標本誤差

N = 母集団数

n = 回答者数

P = 回答割合(%)

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、ふじみ野市の身近な環境についてどのようにお感じになっていますか。」(問2)という質問に答えた人は 769 人であり、そのうち、62.8%の人が「どちらかといえば快適な環境だ」と答えました。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出されます。

$$d = \pm 1.96 \sqrt{\frac{96,838-769}{96,838-1} \times \frac{0.628(1-0.628)}{769}} \doteq \pm 0.0340$$

したがって、±3.40%が誤差の範囲となり、この回答に対するふじみ野市民の真の値は 59.4%～66.2%の間であるとみることができます。また、信頼度が 95%であることから、同様の調査を 100 回行った場合に、95 回は 59.4%～66.2%の範囲になると見込むことができます。

<標本誤差早見表(主なもの)>

区分			回 答 割 合					
			母集団数	回答者数	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%
全 体		96,838	769	±2.11%	±2.82%	±3.23%	±3.45%	±3.52%
性 別	男性	47,819	333	±3.21%	±4.28%	±4.90%	±5.24%	±5.35%
	女性	49,019	410	±2.89%	±3.86%	±4.42%	±4.72%	±4.82%
年 齢 別	30歳未満	14,371	65	±7.28%	±9.70%	±11.12%	±11.88%	±12.13%
	30歳代	12,469	85	±6.36%	±8.47%	±9.71%	±10.38%	±10.59%
	40歳代	18,109	131	±5.12%	±6.83%	±7.82%	±8.36%	±8.53%
	50歳代	17,021	153	±4.73%	±6.31%	±7.23%	±7.73%	±7.89%
	60歳代	11,286	138	±4.97%	±6.63%	±7.60%	±8.12%	±8.29%
	70歳以上	23,582	177	±4.40%	±5.87%	±6.73%	±7.19%	±7.34%
地 域 別	①地域	25,685	184	±4.32%	±5.76%	±6.60%	±7.05%	±7.20%
	②地域	29,631	247	±3.73%	±4.97%	±5.69%	±6.08%	±6.21%
	③地域	30,828	222	±3.93%	±5.24%	±6.01%	±6.42%	±6.55%
	④地域	10,694	87	±6.28%	±8.37%	±9.59%	±10.25%	±10.46%

※母数集団は、令和3年 11 月 8 日現在 住民基本台帳から算出

【 調査集計結果 】

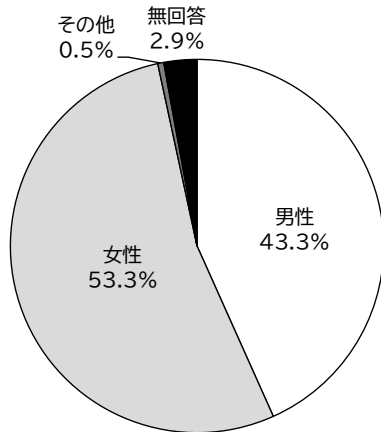
■ 市民

1 属性

問1 以下の①～⑤に示す項目ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

① 性別

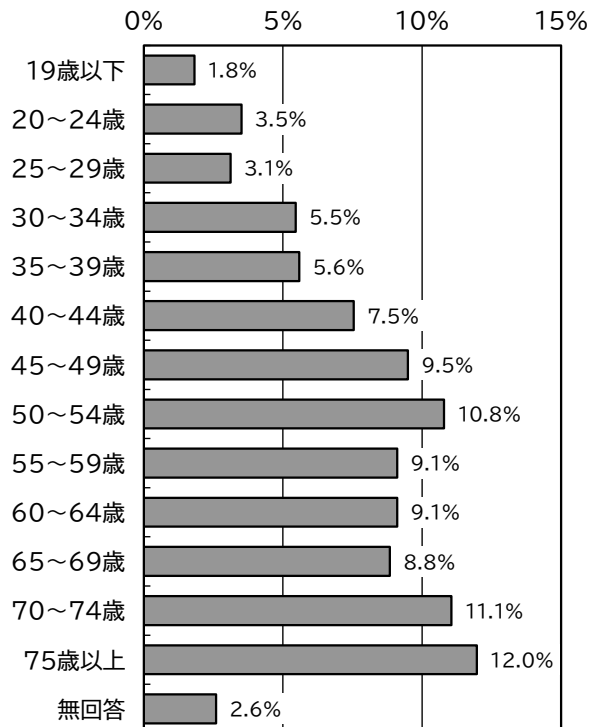
「男性」が43.3%、「女性」が53.3%、「その他」が0.5%となっています。



項目	度数	構成比
男性	333	43.3%
女性	410	53.3%
その他	4	0.5%
無回答	22	2.9%
合計	769	100.0%

② 年齢

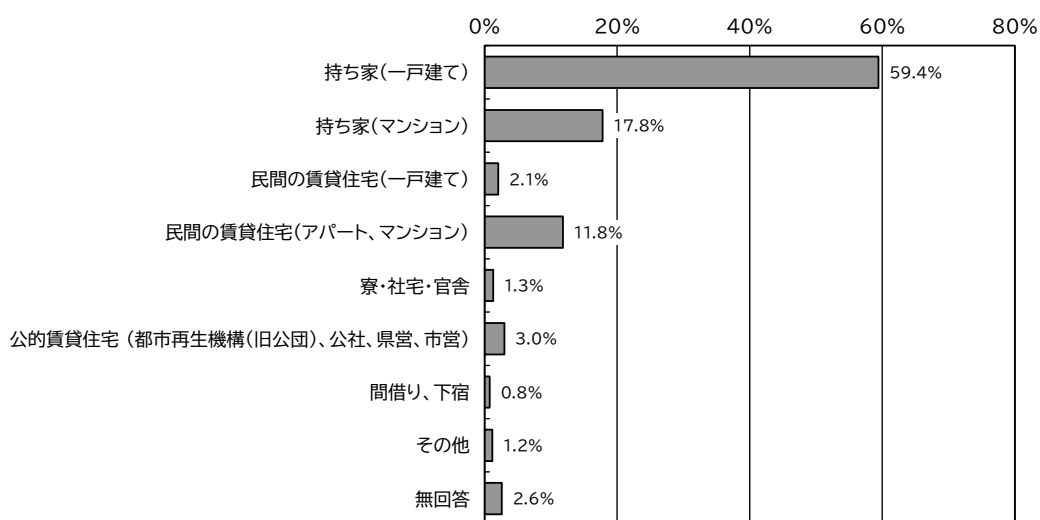
年代で見ると「75歳以上」が12.0%、「70～74歳」が11.1%、「50～54歳」が10.8%となっています。



項目	度数	構成比
19歳以下	14	1.8%
20～24歳	27	3.5%
25～29歳	24	3.1%
30～34歳	42	5.5%
35～39歳	43	5.6%
40～44歳	58	7.5%
45～49歳	73	9.5%
50～54歳	83	10.8%
55～59歳	70	9.1%
60～64歳	70	9.1%
65～69歳	68	8.8%
70～74歳	85	11.1%
75歳以上	92	12.0%
無回答	20	2.6%
合計	769	100.0%

③ 居住形態

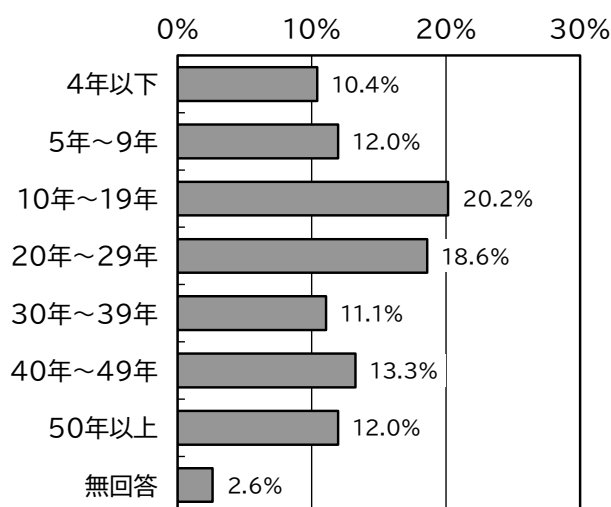
「持ち家(一戸建て)」が 59.4%と最も多く、次いで「持ち家(マンション)」が 17.8%、「民間の賃貸住宅(アパート、マンション)」が 11.8%となっています。



項目	度数	構成比
持ち家(一戸建て)	457	59.4%
持ち家(マンション)	137	17.8%
民間の賃貸住宅(一戸建て)	16	2.1%
民間の賃貸住宅(アパート、マンション)	91	11.8%
寮・社宅・官舎	10	1.3%
公的賃貸住宅(都市再生機構(旧公団)、公社、県営、市営)	23	3.0%
間借り、下宿	6	0.8%
その他	9	1.2%
無回答	20	2.6%
合計	769	100.0%

④ 市内居住歴

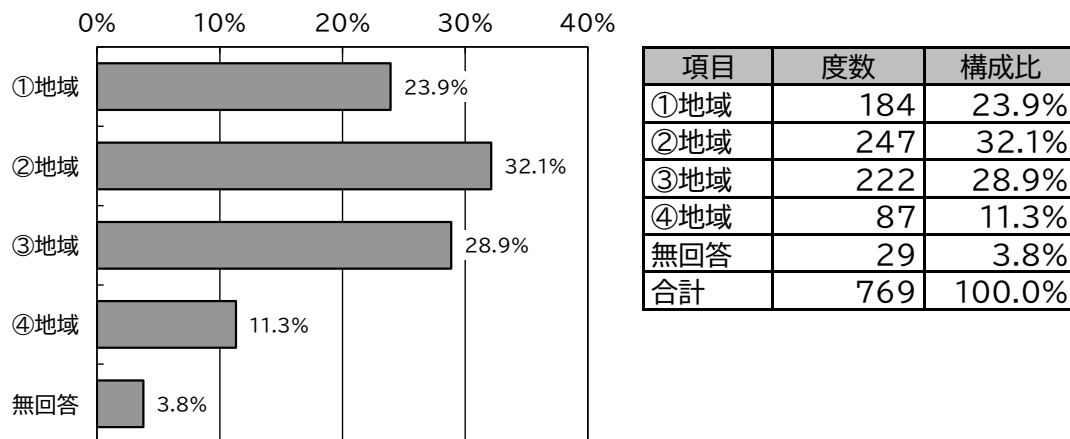
「10年～19年」が 20.2%、「20年～29年」が 18.6%、「40年～49年」が 13.3%となっています。



項目	度数	構成比
4年以下	80	10.4%
5年～9年	92	12.0%
10年～19年	155	20.2%
20年～29年	143	18.6%
30年～39年	85	11.1%
40年～49年	102	13.3%
50年以上	92	12.0%
無回答	20	2.6%
合計	769	100.0%

⑤ お住まいの地域

「②地域」が 32.1%、「③地域」が 28.9%、「①地域」が 23.9%、「④地域」が 11.3%となっています。



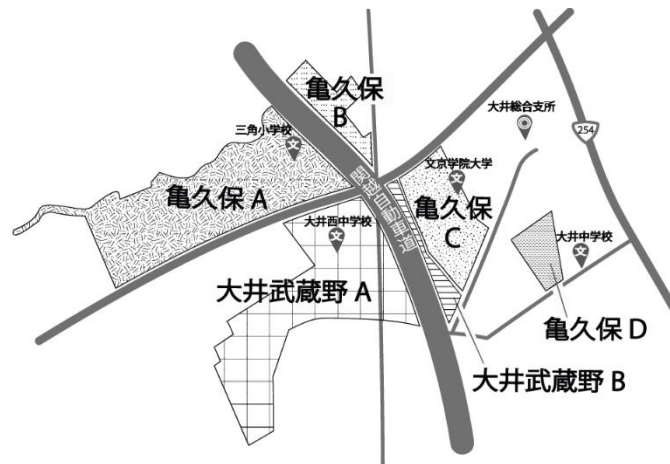
【地域分け図】



地区	地域	度数	人口	地区	地域	度数	人口	地区	地域	度数	人口
大井821番地～1294番地	①	1	861	鶴ヶ舞一丁目	②	14	1,314	駒林元町一丁目	③	0	145
苗間1～51番地	①	5	706	鶴ヶ舞二丁目	②	1	424	駒林元町二丁目	③	0	75
亀久保A	①	11	1,359	鶴ヶ舞三丁目	②	4	278	駒林元町三丁目	③	3	359
亀久保B	①	1	105	東久保一丁目	②	11	1,442	駒林元町四丁目	③	3	401
亀久保C	①	9	1,477	旭一丁目	②	3	582	苗間227～568番地	③	14	2,182
亀久保D	①	12	1,313	うれし野一丁目	②	6	600	苗間569～732番地	③	12	1,257
亀久保一丁目	①	7	703	うれし野二丁目	②	18	1,318	川崎	④	4	453
亀久保二丁目	①	5	916	市沢一丁目	②	8	818	川崎一丁目	④	0	268
亀久保三丁目	①	16	782	市沢二丁目	②	3	967	川崎二丁目	④	1	216
亀久保四丁目	①	3	622	市沢三丁目	②	16	1,462	清見一丁目	④	1	231
鶴ヶ岡一丁目	①	8	1,076	ふじみ野一丁目	②	8	807	清見二丁目	④	3	471
鶴ヶ岡二丁目	①	9	1,096	ふじみ野二丁目	②	12	1,113	清見三丁目	④	4	394
鶴ヶ岡三丁目	①	6	926	ふじみ野三丁目	②	3	198	清見四丁目	④	1	118
鶴ヶ岡四丁目	①	12	1,477	ふじみ野四丁目	②	7	369	福岡	④	2	425
鶴ヶ岡五丁目	①	6	1,296	福岡一丁目	③	5	276	福岡二丁目	④	1	41
大井武蔵野A	①	7	941	新田一丁目	③	12	1,133	福岡三丁目	④	1	388
大井武蔵野B	①	3	814	新田二丁目	③	4	812	中福岡	④	3	461
西鶴ヶ岡	①	1	286	富士見台	③	7	1,188	福岡新田	④	3	63
西鶴ヶ岡一丁目	①	0	0	上福岡一丁目	③	16	2,115	駒林	④	5	906
西鶴ヶ岡二丁目	①	14	1,426	上福岡二丁目	③	8	687	滝一丁目	④	7	340
緑ヶ丘一丁目	①	1	550	上福岡三丁目	③	15	1,613	滝二丁目	④	2	350
緑ヶ丘二丁目	①	6	895	北野一丁目	③	10	1,187	滝三丁目	④	2	255
大井中央一丁目	①	3	531	北野二丁目	③	13	1,574	築地一丁目	④	1	207
大井中央二丁目	①	6	811	大原一丁目	③	12	1,667	築地二丁目	④	2	307
大井中央三丁目	①	8	987	大原二丁目	③	2	756	築地三丁目	④	3	492
大井中央四丁目	①	4	579	福岡中央一丁目	③	1	538	中丸一丁目	④	3	299
桜ヶ丘一丁目	①	11	1,046	福岡中央二丁目	③	8	1,311	中丸二丁目	④	0	177
桜ヶ丘二丁目	①	3	910	南台一丁目	③	13	1,661	長宮一丁目	④	3	195
桜ヶ丘三丁目	①	6	1,194	上野台一丁目	③	12	2,372	長宮二丁目	④	4	365
上福岡四丁目	②	11	1,362	上野台二丁目	③	8	819	中ノ島一丁目	④	0	187
上福岡五丁目	②	10	1,099	上野台三丁目	③	2	118	仲一丁目	④	0	324
上福岡六丁目	②	4	963	上ノ原一丁目	③	2	557	仲二丁目	④	3	225
西一丁目	②	13	1,551	上ノ原二丁目	③	2	369	仲三丁目	④	1	306
西二丁目	②	10	1,577	上ノ原三丁目	③	2	428	谷田一丁目	④	0	83
南台二丁目	②	13	1,093	西原一丁目	③	7	587	谷田二丁目	④	4	358
福岡武蔵野	②	2	696	西原二丁目	③	1	386	花ノ木一丁目	④	0	96
丸山	②	9	1,351	松山一丁目	③	0	268	元福岡一丁目	④	9	469
霞ヶ丘一丁目	②	8	1,589	松山二丁目	③	4	384	元福岡二丁目	④	4	602
霞ヶ丘二丁目	②	8	893	駒西一丁目	③	6	633	元福岡三丁目	④	5	351
霞ヶ丘三丁目	②	15	1,567	駒西二丁目	③	5	500	新駒林四丁目	④	1	393
大井221番地～820番地	②	21	2,259	駒西三丁目	③	2	456	本新田	④	1	195
大井一丁目	②	2	302	新駒林一丁目	③	4	496	池上	④	1	111
大井二丁目	②	4	907	新駒林二丁目	③	2	223	水宮	④	2	347
苗間一丁目	②	3	535	新駒林三丁目	③	5	715	無回答		29	
								合計		769	96,838

※人口は令和3年11月8日現在の住民基本台帳から算出

【大井武蔵野 A～B、亀久保 A～D の詳細図】

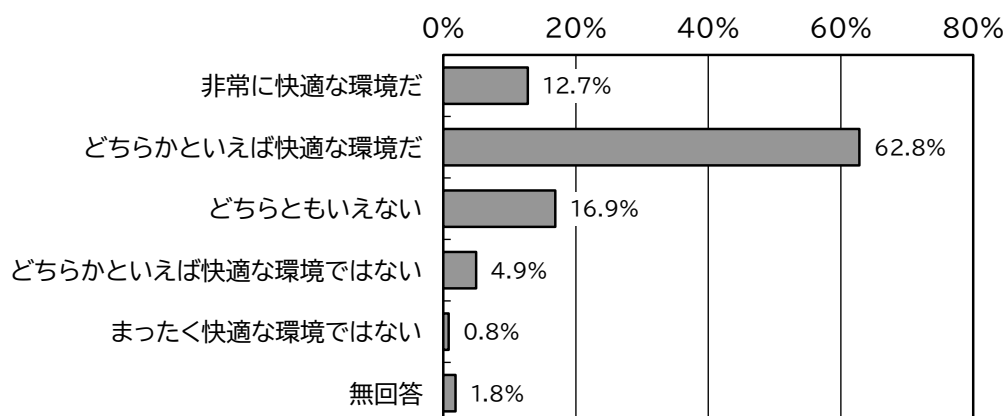


2 ふじみ野市の環境に対する意識について

問2 あなたは、ふじみ野市の身近な環境についてどのようにお感じになっていますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

ふじみ野市の身近な環境についてどのように感じているかでは、「どちらかといえば快適な環境だ」が62.8%と最も多く、「非常に快適な環境だ」と合わせると7割以上が快適な環境と回答しています。

また、「まったく快適な環境ではない」、「どちらかといえば快適な環境ではない」を合わせると5.7%となっています。



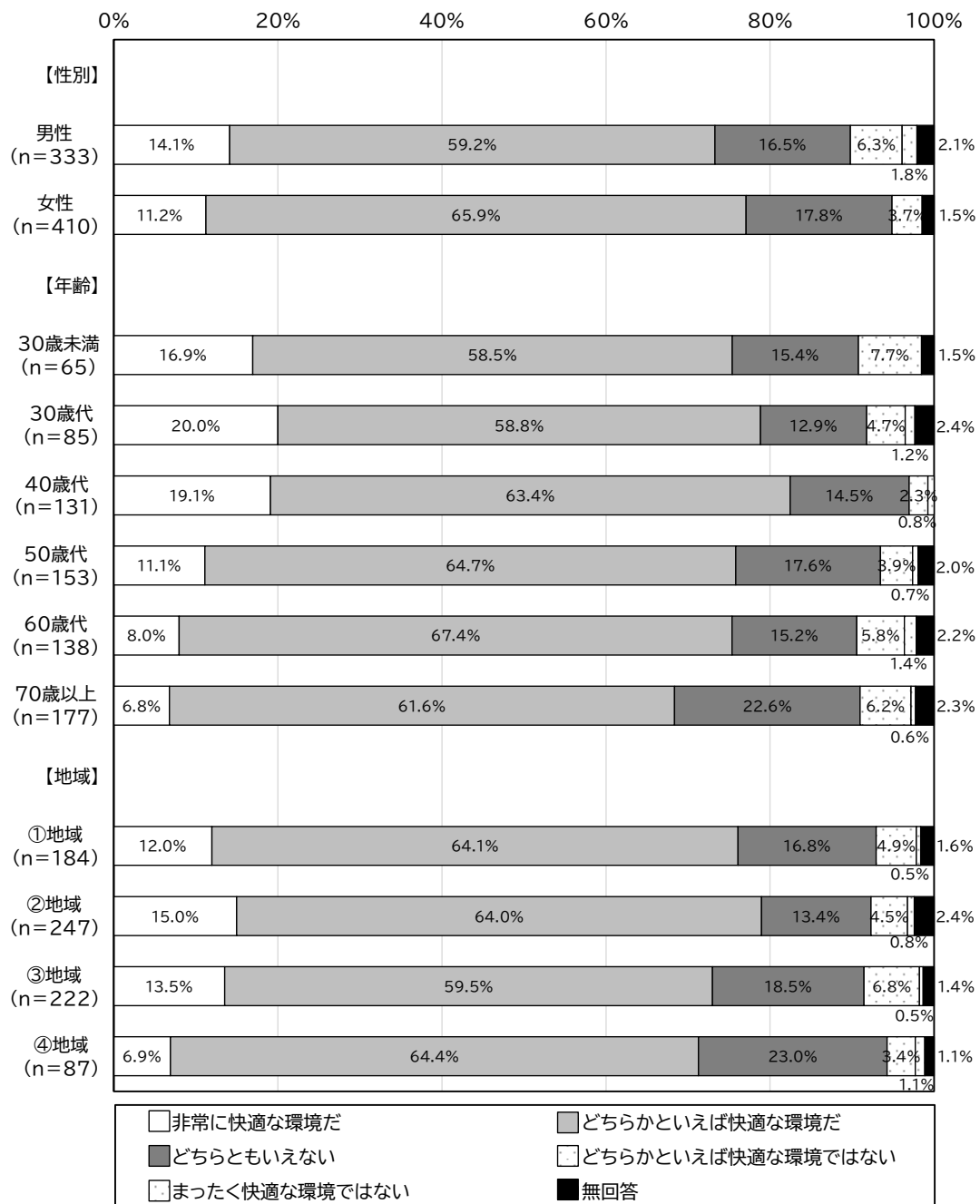
項目	度数	構成比
非常に快適な環境だ	98	12.7%
どちらかといえば快適な環境だ	483	62.8%
どちらともいえない	130	16.9%
どちらかといえば快適な環境ではない	38	4.9%
まったく快適な環境ではない	6	0.8%
無回答	14	1.8%
合計	769	100.0%

【ふじみ野市の身近な環境について：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「非常に快適な環境だ」、「どちらかといえば快適な環境だ」を合わせた項目で、男性は73.3%、女性は77.1%となっています。

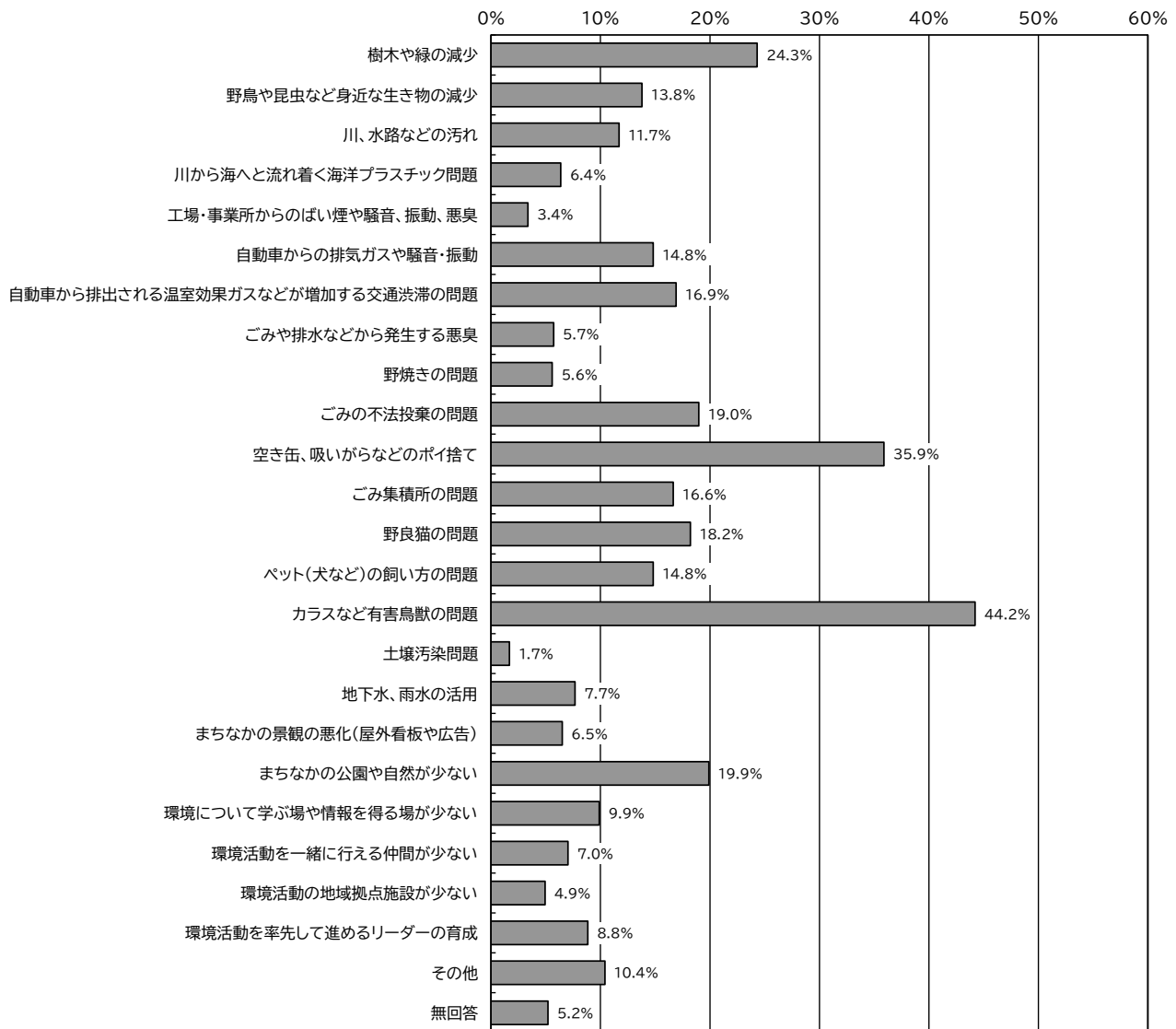
年代別で見ると、「非常に快適な環境だ」、「どちらかといえば快適な環境だ」を合わせた項目で、40歳代が82.5%、30歳代が78.8%、50歳代が75.8%、30歳未満、60歳代が75.4%、70歳以上が68.4%となっています。

地域別では、「非常に快適な環境だ」、「どちらかといえば快適な環境だ」を合わせた項目で、「②地域」は79.0%、「①地域」は76.1%、「③地域」は73.0%、「④地域」は71.3%となっています。



問3 あなたが住んでいる地域の環境について、改善すべき、また取り組むべき環境の課題は、どのようなものが考えられますか。【あてはまるものを全て選んでください。】

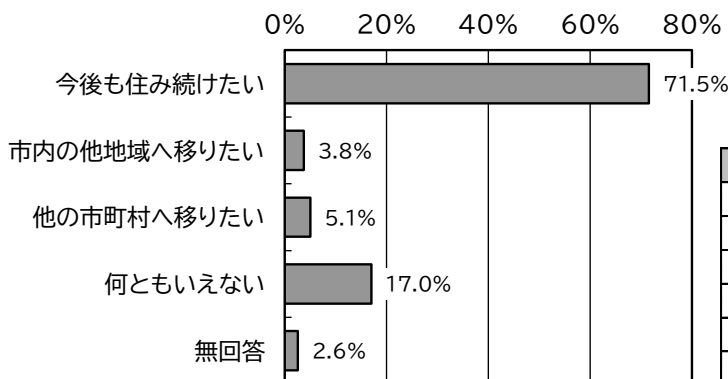
地域の環境について、改善すべき、また取り組むべき環境の課題では、「カラスなど有害鳥獣の問題」が44.2%と最も多く、次いで「空き缶、吸いがらなどのポイ捨て」が35.9%、「樹木や緑の減少」が24.3%、「まちなかの公園や自然が少ない」が19.9%、「ごみの不法投棄の問題」が19.0%となっています。



項目	度数	構成比
樹木や緑の減少	187	24.3%
野鳥や昆虫など身近な生き物の減少	106	13.8%
川、水路などの汚れ	90	11.7%
川から海へと流れ着く海洋プラスチック問題	49	6.4%
工場・事業所からのばい煙や騒音、振動、悪臭	26	3.4%
自動車からの排気ガスや騒音・振動	114	14.8%
自動車から排出される温室効果ガスなどが増加する交通渋滞の問題	130	16.9%
ごみや排水などから発生する悪臭	44	5.7%
野焼きの問題	43	5.6%
ごみの不法投棄の問題	146	19.0%
空き缶、吸いがらなどのポイ捨て	276	35.9%
ごみ集積所の問題	128	16.6%
野良猫の問題	140	18.2%
ペット(犬など)の飼い方の問題	114	14.8%
カラスなど有害鳥獣の問題	340	44.2%
土壌汚染問題	13	1.7%
地下水、雨水の活用	59	7.7%
まちなかの景観の悪化(屋外看板や広告)	50	6.5%
まちなかの公園や自然が少ない	153	19.9%
環境について学ぶ場や情報を得る場が少ない	76	9.9%
環境活動と一緒にできる仲間が少ない	54	7.0%
環境活動の地域拠点施設が少ない	38	4.9%
環境活動を率先して進めるリーダーの育成	68	8.8%
その他	80	10.4%
無回答	40	5.2%
回答者数	769	

問4 あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。それとも他の地域に移りたいとお考えですか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

現在お住まいの地域に今後も住み続けたいかでは、「今後も住み続けたい」が71.5%と最も多くなっています。



項目	度数	構成比
今後も住み続けたい	550	71.5%
市内の他地域へ移りたい	29	3.8%
他の市町村へ移りたい	39	5.1%
何ともいえない	131	17.0%
無回答	20	2.6%
合計	769	100.0%

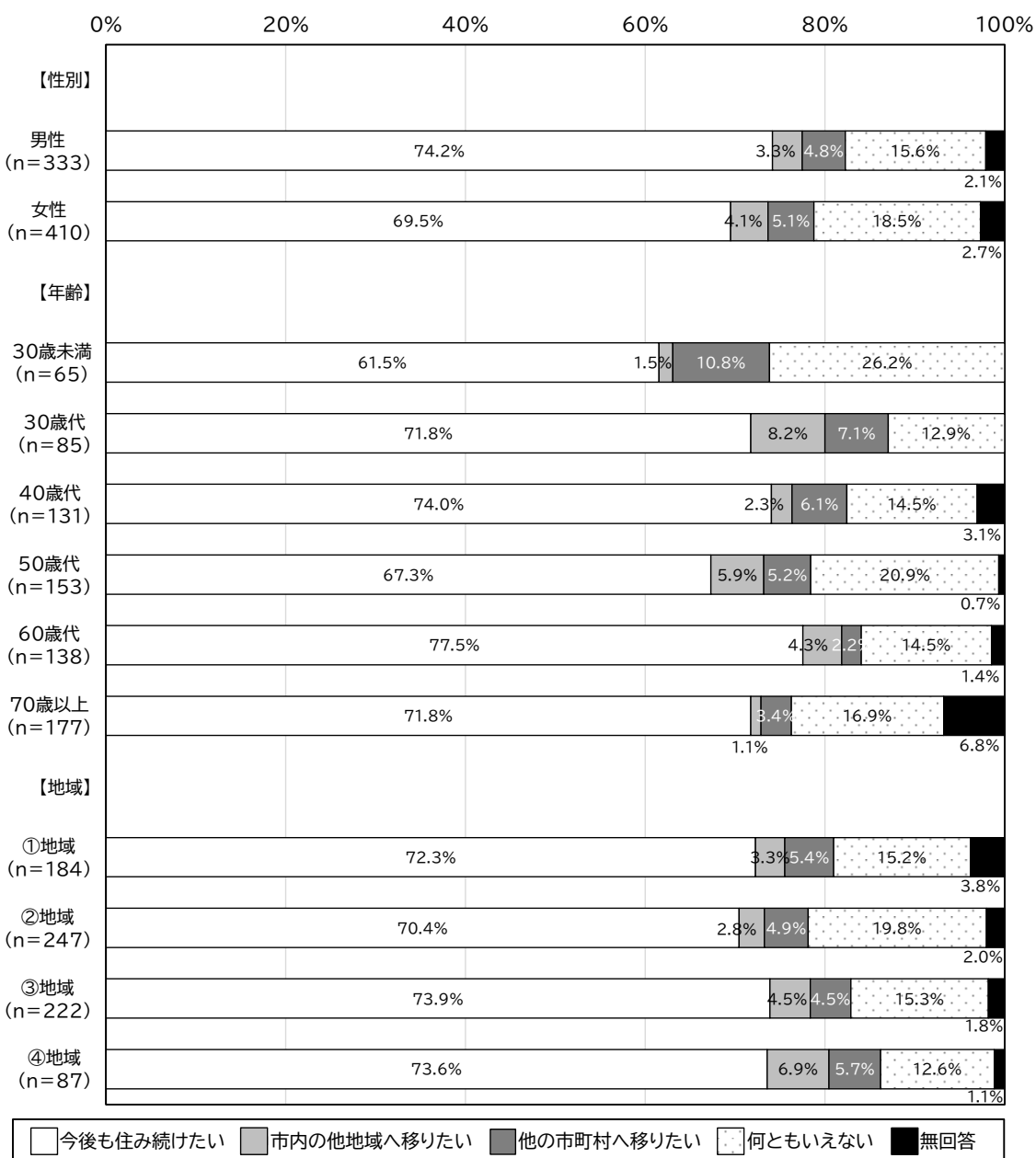
【現在お住まいの地域に今後も住みたいかについて：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「今後も住みたい」が、男性は 74.2%、女性は 69.5%となっています。

年代別で見ると、各年代で6割以上が「今後も住みたい」と回答しています。

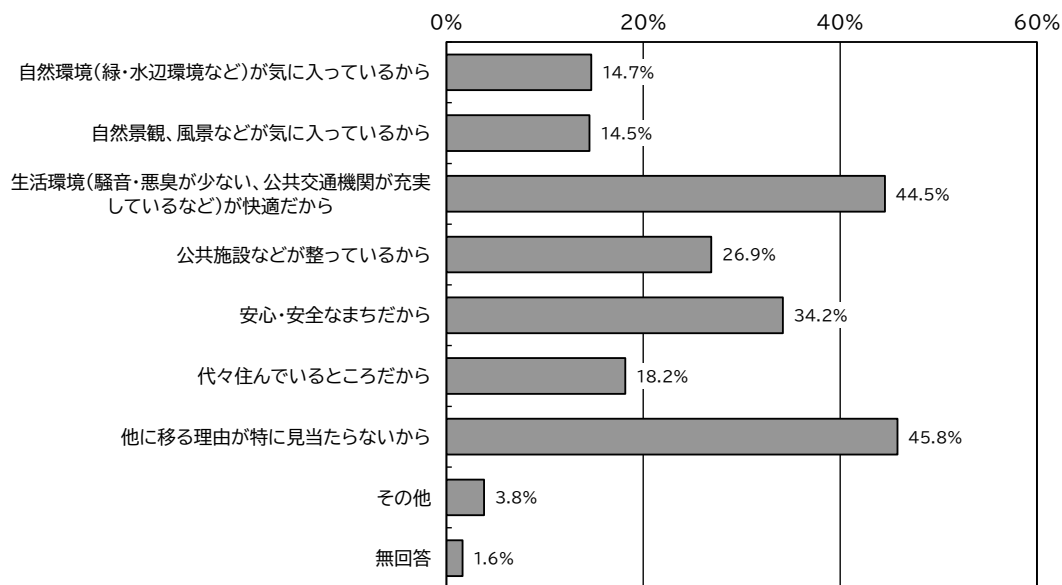
また、「市内の他地域へ移りたい」、「他の市町村へ移りたい」を合わせた項目では、30歳未満が 12.3%、30歳代が 15.3%となっています。

地域別では、各地域7割以上が「今後も住みたい」と回答しています。



問4－① 問4で「1. 今後も住み続けたい」と回答された方にその理由をおたずねします。【あてはまるものを全て選んでください。】

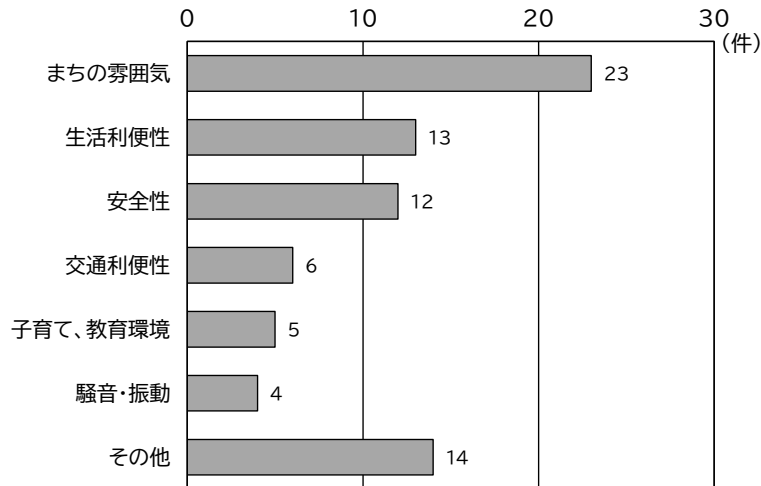
住み続けたい理由としては、「他に移る理由が特に見当たらないから」が45.8%、「生活環境(騒音・悪臭が少ない、公共交通機関が充実しているなど)が快適だから」が44.5%、「安心・安全なまちだから」が34.2%となっています。



項目	度数	構成比
自然環境(緑・水辺環境など)が気に入っているから	81	14.7%
自然景観、風景などが気に入っているから	80	14.5%
生活環境(騒音・悪臭が少ない、公共交通機関が充実しているなど)が快適だから	245	44.5%
公共施設などが整っているから	148	26.9%
安心・安全なまちだから	188	34.2%
代々住んでいるところだから	100	18.2%
他に移る理由が特に見当たらないから	252	45.8%
その他	21	3.8%
無回答	9	1.6%
回答者数	550	
非該当	219	
合計	769	

問4—② 問4で「2. 市内の他地域へ移りたい」、「3. 他の市町村へ移りたい」と回答された方にその理由をおたずねします。移りたい理由をご記入ください。

全65件の回答があり、「まちの雰囲気」の理由が23件と最も多く、次いで「生活利便性」の理由が13件、「安全性」の理由が12件となっています。

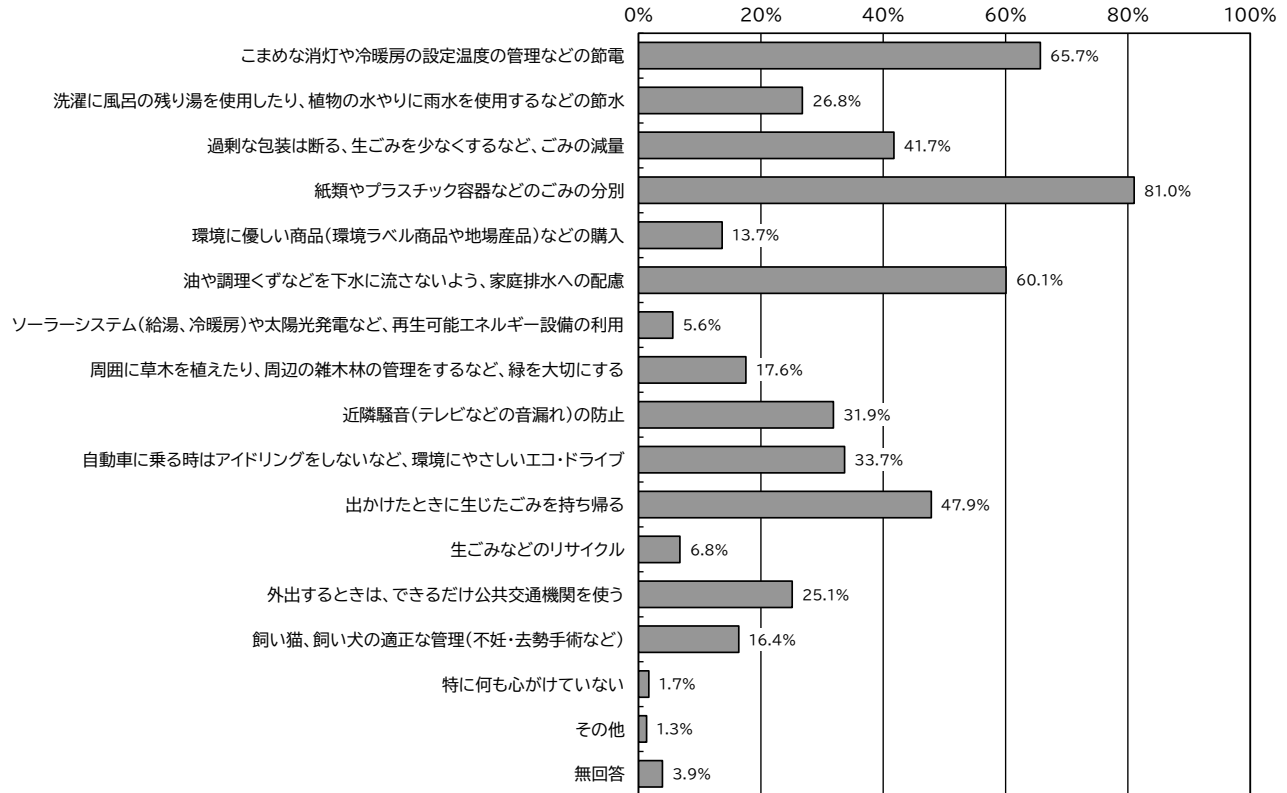


カテゴリ	項目	度数
1	まちの雰囲気	23
2	生活利便性	13
3	安全性	12
4	交通利便性	6
5	子育て、教育環境	5
6	騒音・振動	4
7	その他	14
	合計	77

※複数のカテゴリにわたるご意見をそれぞれカウントしているため、ご意見数と合計数は必ずしも一致しません。

問5 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることはどのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

普段あなたが環境に関して取り組んでいることでは、「紙類やプラスチック容器などのごみの分別」が81.0%と最も多く、次いで「こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理などの節電」が65.7%、「油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮」が60.1%、「出かけたときに生じたごみを持ち帰る」が47.9%となっています。

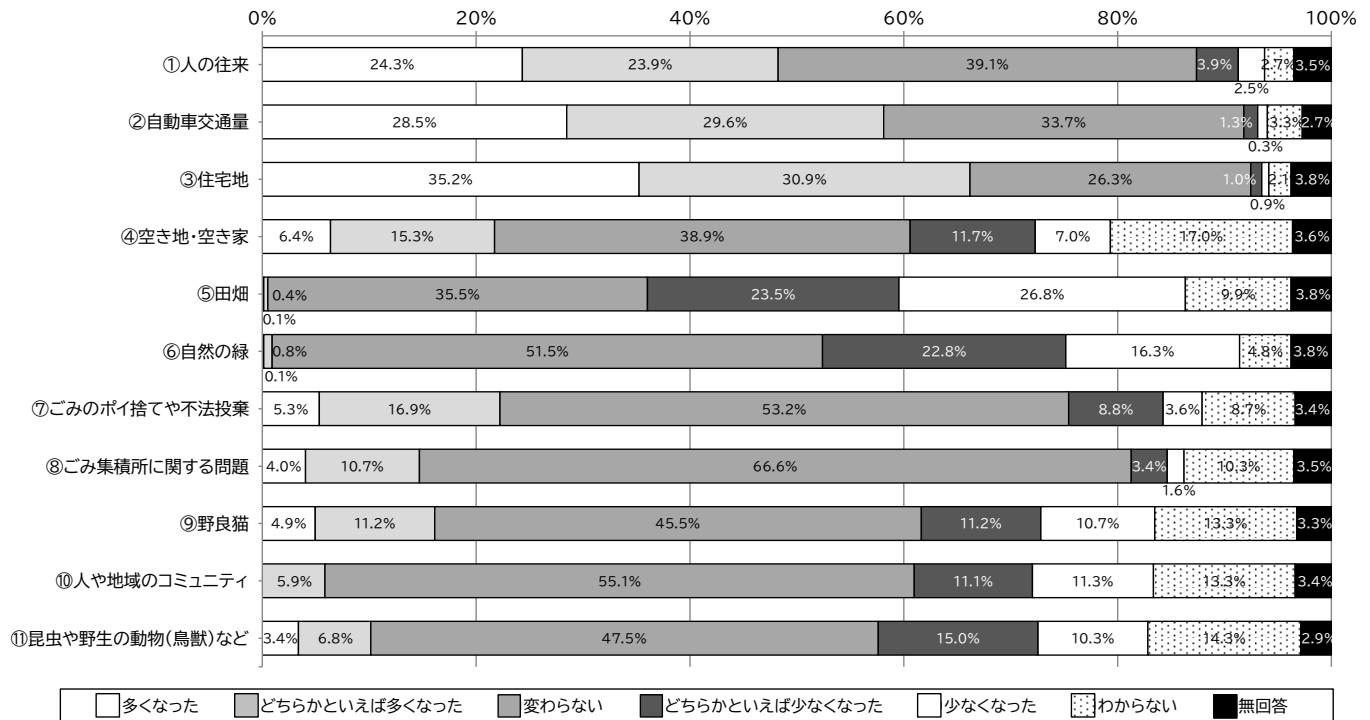


項目	度数	構成比
こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理などの節電	505	65.7%
洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりに雨水を使用するなどの節水	206	26.8%
過剰な包装は断る、生ごみを少なくするなど、ごみの減量	321	41.7%
紙類やプラスチック容器などのごみの分別	623	81.0%
環境に優しい商品(環境ラベル商品や地場産品)などの購入	105	13.7%
油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮	462	60.1%
ソーラーシステム(給湯、冷暖房)や太陽光発電など、再生可能エネルギー設備の利用	43	5.6%
周囲に草木を植えたり、周辺の雑木林の管理をするなど、緑を大切にす	135	17.6%
近隣騒音(テレビなどの音漏れ)の防止	245	31.9%
自動車に乗る時はアイドリングをしないなど、環境にやさしいエコ・ドライブ	259	33.7%
出かけたときに生じたごみを持ち帰る	368	47.9%
生ごみなどのリサイクル	52	6.8%
外出するときは、できるだけ公共交通機関を使う	193	25.1%
飼い猫、飼い犬の適正な管理(不妊・去勢手術など)	126	16.4%
特に何も心がけていない	13	1.7%
その他	10	1.3%
無回答	30	3.9%
回答者数	769	

問6 あなたがお住まいになっている地域周辺の状況は5年前に比べてどのように変化しましたか。(※居住5年未満の場合は住み始めた頃と比較してどのように変化しましたかお答えください)【以下の①～⑪に示す項目ごとに該当する番号を1つ選んでください。】

お住まいになっている地域周辺の状況は5年前に比べてどのように変化したかでは、「多くなった」、「どちらかといえば多くなった」を合わせた項目では、「③住宅地」が最も多く、次いで「②自動車交通量」、「①人の往来」となっています。

また、「どちらかといえば少なくなった」、「少なくなった」を合わせた項目では、「⑤田畑」が最も多く、次いで「⑥自然の緑」、「⑪昆虫や野生の動物(鳥獣)など」、「⑩人や地域のコミュニティ」となっています。

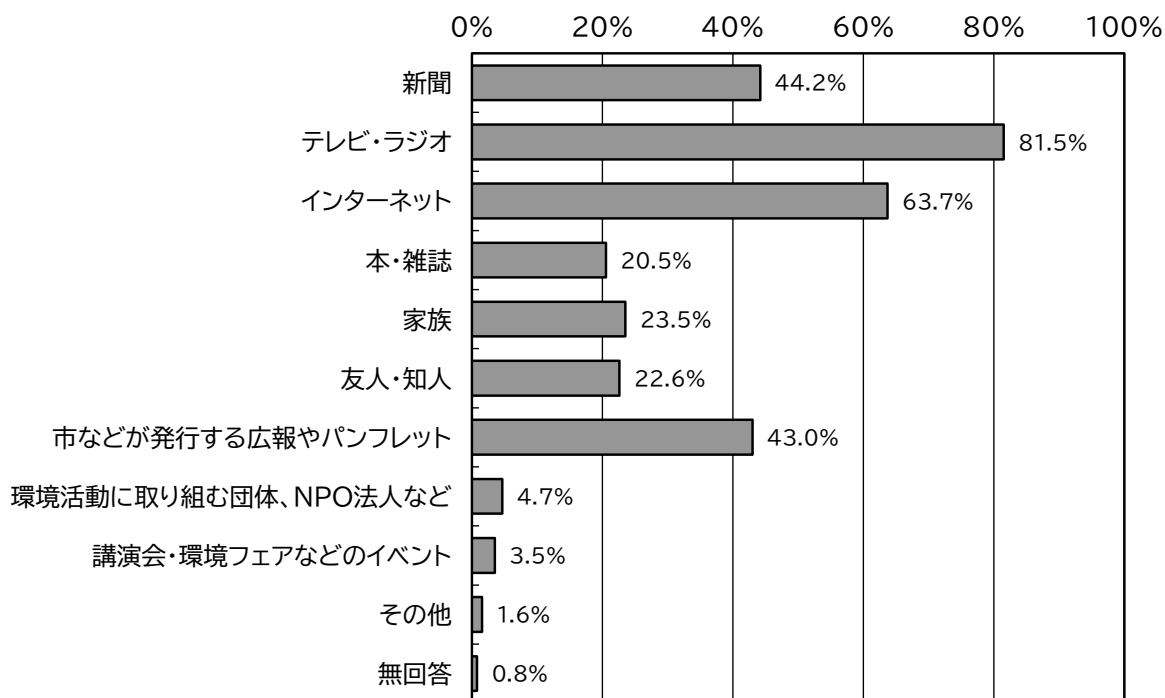


項目	多くなった	どちらかといえ ば多くなった	変わらない	どちらかといえ ば少なくなった	少なくなった	わからない	無回答	合計
①人の往来	187	184	301	30	19	21	27	769
②自動車交通量	219	228	259	10	7	25	21	769
③住宅地	271	238	202	8	5	16	29	769
④空き地・空き家	49	118	299	90	54	131	28	769
⑤田畑	1	3	273	181	206	76	29	769
⑥自然の緑	1	6	396	175	125	37	29	769
⑦ごみのポイ捨てや不法投棄	41	130	409	68	28	67	26	769
⑧ごみ集積所に関する問題	31	82	512	26	12	79	27	769
⑨野良猫	38	86	350	86	82	102	25	769
⑩人や地域のコミュニティ	0	45	424	85	87	102	26	769
⑪昆虫や野生の動物(鳥獣)など	26	52	365	115	79	110	22	769
構成比(%)	多くなった	どちらかといえ ば多くなった	変わらない	どちらかといえ ば少なくなった	少なくなった	わからない	無回答	合計
①人の往来	24.3%	23.9%	39.1%	3.9%	2.5%	2.7%	3.5%	100.0%
②自動車交通量	28.5%	29.6%	33.7%	1.3%	0.9%	3.3%	2.7%	100.0%
③住宅地	35.2%	30.9%	26.3%	1.0%	0.7%	2.1%	3.8%	100.0%
④空き地・空き家	6.4%	15.3%	38.9%	11.7%	7.0%	17.0%	3.6%	100.0%
⑤田畑	0.1%	0.4%	35.5%	23.5%	26.8%	9.9%	3.8%	100.0%
⑥自然の緑	0.1%	0.8%	51.5%	22.8%	16.3%	4.8%	3.8%	100.0%
⑦ごみのポイ捨てや不法投棄	5.3%	16.9%	53.2%	8.8%	3.6%	8.7%	3.4%	100.0%
⑧ごみ集積所に関する問題	4.0%	10.7%	66.6%	3.4%	1.6%	10.3%	3.5%	100.0%
⑨野良猫	4.9%	11.2%	45.5%	11.2%	10.7%	13.3%	3.3%	100.0%
⑩人や地域のコミュニティ	0.0%	5.9%	55.1%	11.1%	11.3%	13.3%	3.4%	100.0%
⑪昆虫や野生の動物(鳥獣)など	3.4%	6.8%	47.5%	15.0%	10.3%	14.3%	2.9%	100.0%

3 環境に関する情報源について

問7 環境問題について、どのようなところから情報や知識を得ていますか。【あてはまるものを全て選んでください。】

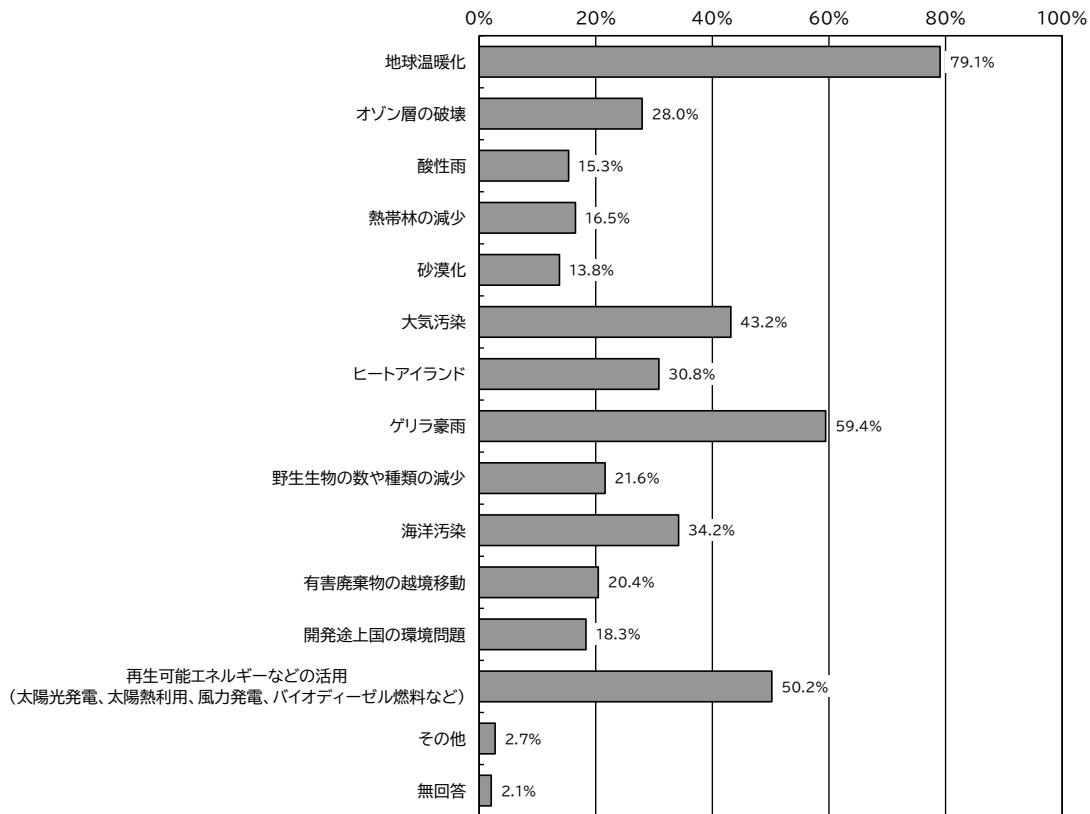
環境問題についての情報源では、「テレビ・ラジオ」が81.5%と最も多く、次いで「インターネット」が63.7%、「新聞」が44.2%、「市などが発行する広報やパンフレット」が43.0%となっています。



項目	度数	構成比
新聞	340	44.2%
テレビ・ラジオ	627	81.5%
インターネット	490	63.7%
本・雑誌	158	20.5%
家族	181	23.5%
友人・知人	174	22.6%
市などが発行する広報やパンフレット	331	43.0%
環境活動に取り組む団体、NPO法人など	36	4.7%
講演会・環境フェアなどのイベント	27	3.5%
その他	12	1.6%
無回答	6	0.8%
回答者数	769	

問8 あなたは、今後、地球環境に関するどのような情報を知りたいですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

今後、知りたい地球環境に関する情報では、「地球温暖化」が79.1%と最も多く、次いで「ゲリラ豪雨」が59.4%、「再生可能エネルギーなどの活用(太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオディーゼル燃料など)」が50.2%、「大気汚染」が43.2%、「海洋汚染」が34.2%、「ヒートアイランド」が30.8%となっています。



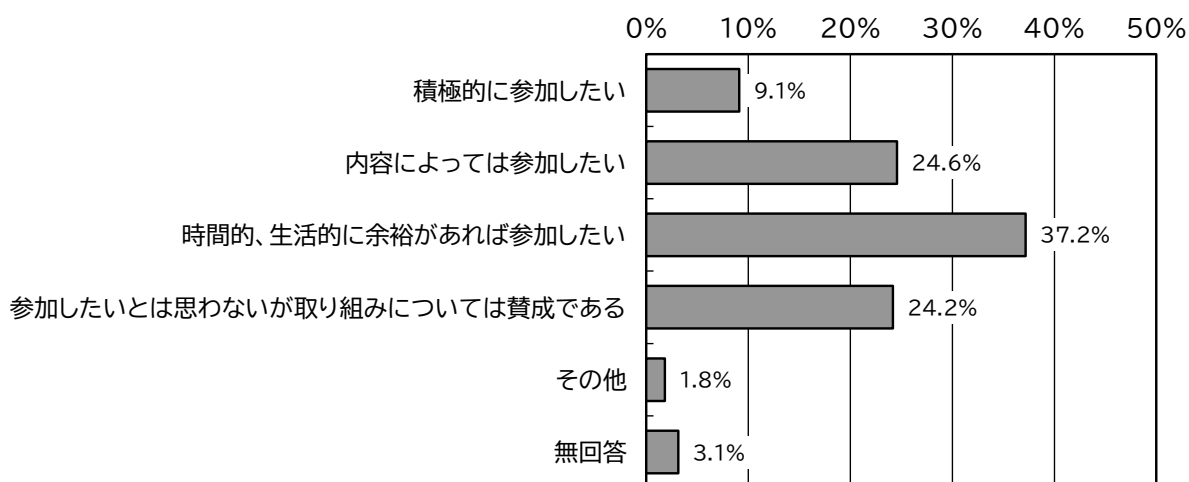
項目	度数	構成比
地球温暖化	608	79.1%
オゾン層の破壊	215	28.0%
酸性雨	118	15.3%
熱帯林の減少	127	16.5%
砂漠化	106	13.8%
大気汚染	332	43.2%
ヒートアイランド	237	30.8%
ゲリラ豪雨	457	59.4%
野生生物の数や種類の減少	166	21.6%
海洋汚染	263	34.2%
有害廃棄物の越境移動	157	20.4%
開発途上国の環境問題	141	18.3%
再生可能エネルギーなどの活用(太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオディーゼル燃料など)	386	50.2%
その他	21	2.7%
無回答	16	2.1%
回答者数	769	

4 リサイクル活動への参加・ごみの減量化について

問9 お住まいの地域でのごみ拾いなどの環境美化・資源回収などのリサイクル活動について、あなたはどのように思われますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

お住まいの地域でのリサイクル活動への参加・ごみの減量化について思っていることでは、「時間的、生活的に余裕があれば参加したい」が37.2%と最も多く、次いで「内容によっては参加したい」が24.6%、「積極的に参加したい」が9.1%となっており、7割以上の方が参加したいと回答しています。

また、「参加したいとは思わないが取り組みについては賛成である」が24.2%となっています。



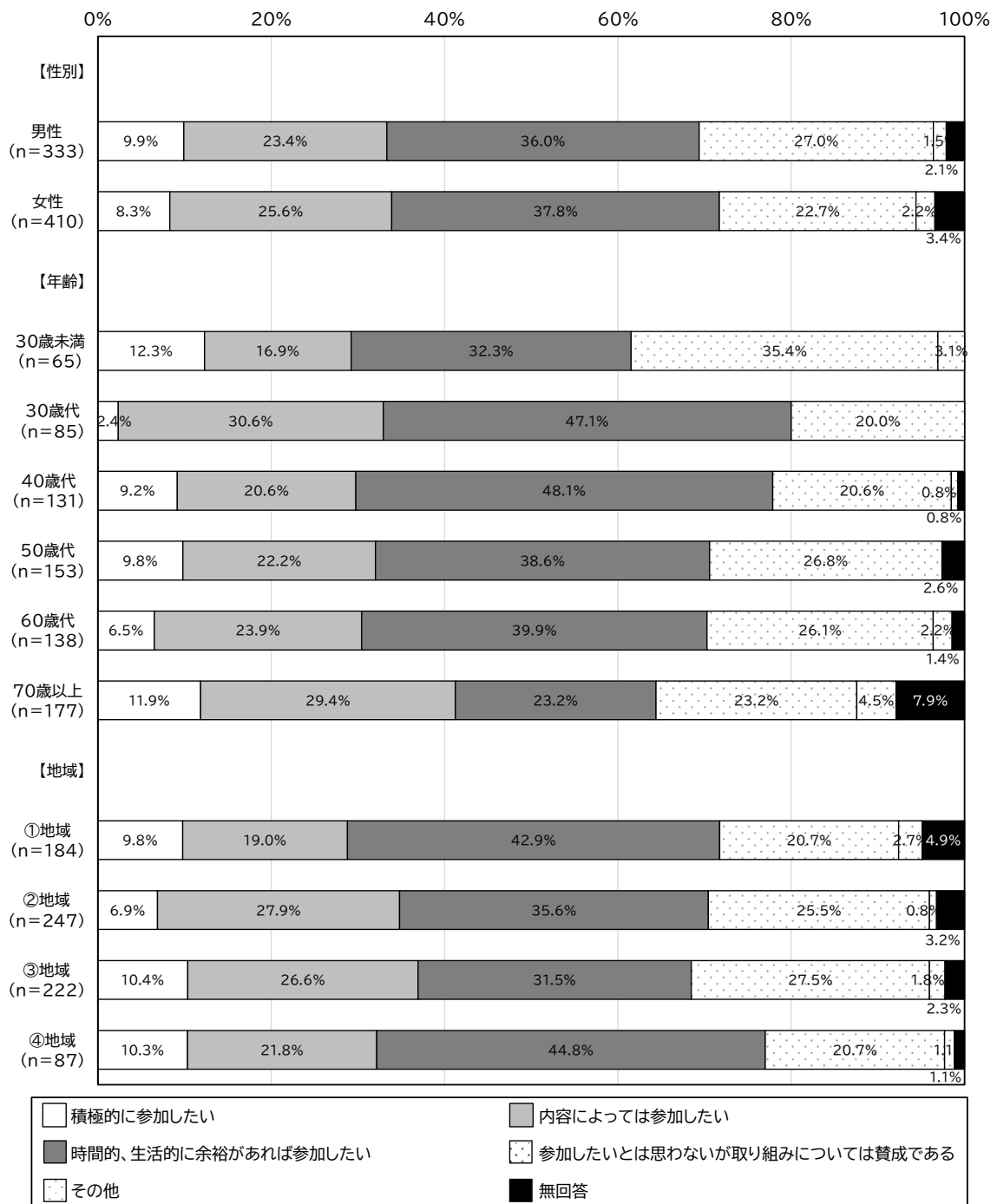
項目	度数	構成比
積極的に参加したい	70	9.1%
内容によっては参加したい	189	24.6%
時間的、生活的に余裕があれば参加したい	286	37.2%
参加したいとは思わないが取り組みについては賛成である	186	24.2%
その他	14	1.8%
無回答	24	3.1%
合計	769	100.0%

【ごみ拾いなどの環境美化・資源回収などのリサイクル活動について：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「積極的に参加したい」、「内容によっては参加したい」、「時間的、生活的に余裕があれば参加したい」を合わせた項目で、男性は69.3%、女性は71.7%となっています。

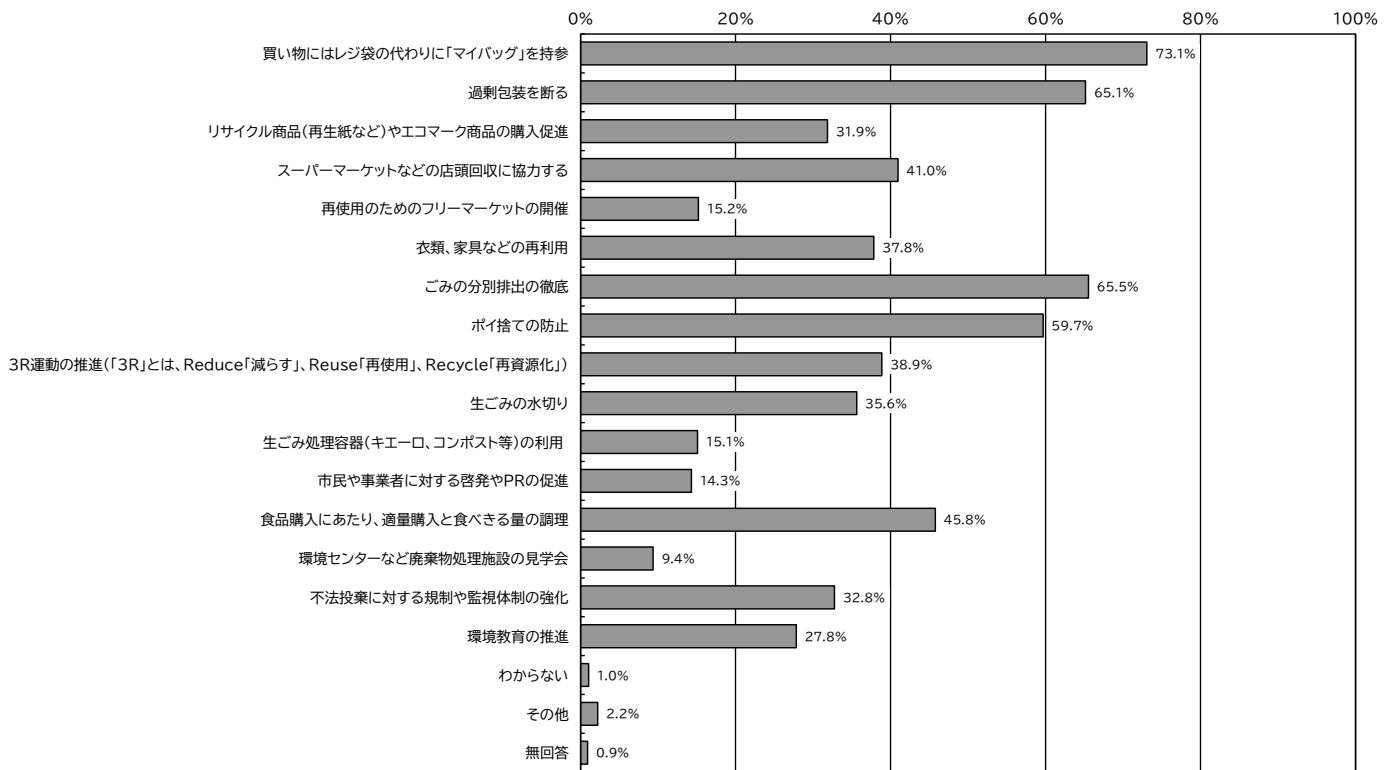
年代別で見ると、「積極的に参加したい」、「内容によっては参加したい」、「時間的、生活的に余裕があれば参加したい」を合わせた項目で、30歳代が80.1%、40歳代が77.9%、50歳代が70.6%、60歳代が70.3%、70歳以上が64.5%、30歳未満が61.5%となっています。

地域別では、「積極的に参加したい」、「内容によっては参加したい」、「時間的、生活的に余裕があれば参加したい」を合わせた項目で、「④地域」が76.9%、「①地域」が71.7%、「②地域」が70.4%、「③地域」が68.5%となっています。



問10 ごみ減量化を推進するにあたり、どのような取り組みが重要であると考えられますか。【重要と思うものを全て選んでください。】

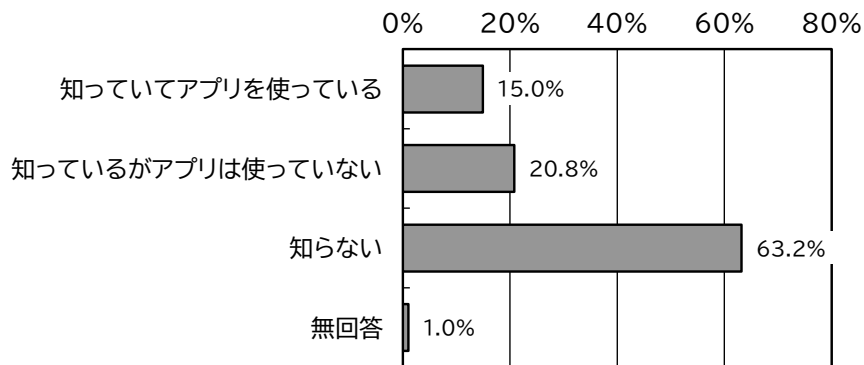
ごみ減量化を推進するにあたり、どのような取り組みが重要であるかでは、「買い物にはレジ袋の代わりに「マイバッグ」を持参」が73.1%と最も多く、次いで「ごみの分別排出の徹底」が65.5%、「過剰包装を断る」が65.1%、「ポイ捨ての防止」が59.7%となっています。



項目	度数	構成比
買い物にはレジ袋の代わりに「マイバッグ」を持参	562	73.1%
過剰包装を断る	501	65.1%
リサイクル商品(再生紙など)やエコマーク商品の購入促進	245	31.9%
スーパーマーケットなどの店頭回収に協力する	315	41.0%
再使用のためのフリーマーケットの開催	117	15.2%
衣類、家具などの再利用	291	37.8%
ごみの分別排出の徹底	504	65.5%
ポイ捨ての防止	459	59.7%
3R運動の推進 (「3R」とは、Reduce「減らす」、Reuse「再使用」、Recycle「再資源化」)	299	38.9%
生ごみの水切り	274	35.6%
生ごみ処理容器(キエーロ、コンポスト等)の利用	116	15.1%
市民や事業者に対する啓発やPRの促進	110	14.3%
食品購入にあたり、適量購入と食べきる量の調理	352	45.8%
環境センターなど廃棄物処理施設の見学会	72	9.4%
不法投棄に対する規制や監視体制の強化	252	32.8%
環境教育の推進	214	27.8%
わからない	8	1.0%
その他	17	2.2%
無回答	7	0.9%
回答者数	769	

**問11 あなたは、ふじみ野市が提供している「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っていますか。
【あてはまるものを1つ選んでください。】**

「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っているかでは、「知らない」が63.2%、「知っているがアプリは使っていない」が20.8%、「知っていてアプリを使っている」が15.0%となっています。



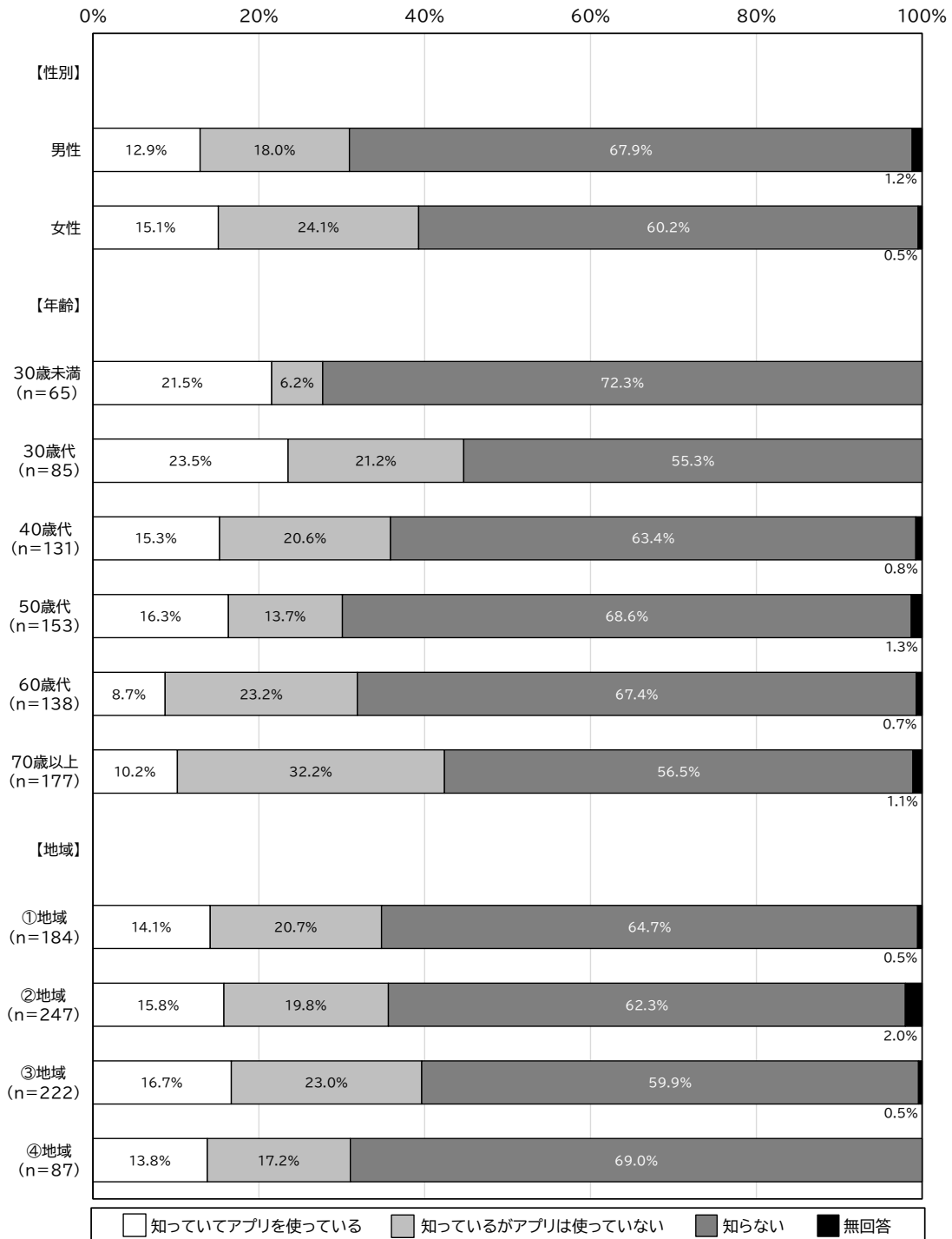
項目	度数	構成比
知っていてアプリを使っている	115	15.0%
知っているがアプリは使っていない	160	20.8%
知らない	486	63.2%
無回答	8	1.0%
合計	769	100.0%

【「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っているかについて：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「知っていてアプリを使っている」、「知っているがアプリは使っていない」を合わせた項目で、男性は30.9%、女性は39.2%となっています。

年代別で見ると、「知っていてアプリを使っている」、「知っているがアプリは使っていない」を合わせた項目で、30歳代が44.7%、70歳代が42.4%、40歳代が35.9%、60歳代が31.9%、50歳代が30.0%、30歳未満が27.7%となっています。

地域別では、「知っていてアプリを使っている」、「知っているがアプリは使っていない」を合わせた項目で、「③地域」が39.7%、「②地域」が35.6%、「①地域」が34.8%、「④地域」が31.0%となっています。

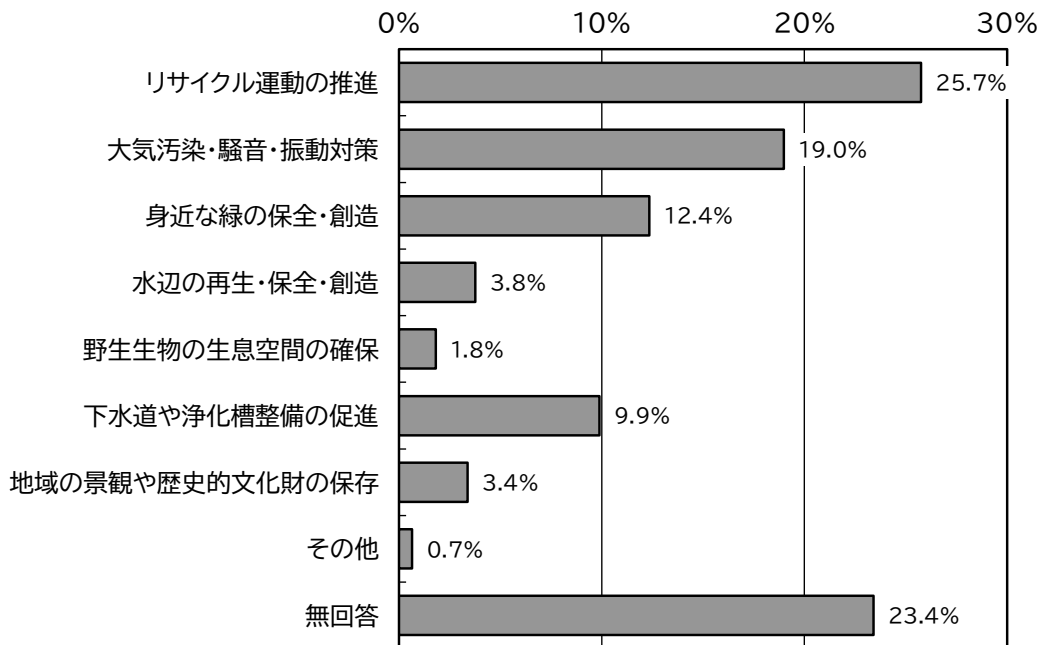


5 環境保全活動などに関する意識について

問12 環境保全のための行動について、今後どのような事が必要であると考えますか。【重要だと考えるものを1つ選んでください。】

今後、環境保全のための必要な行動について、今後どのような事が必要かでは、「リサイクル運動の推進」が25.7%と最も多く、次いで「大気汚染・騒音・振動対策」が19.0%、「身近な緑の保全・創造」が12.4%となっています。

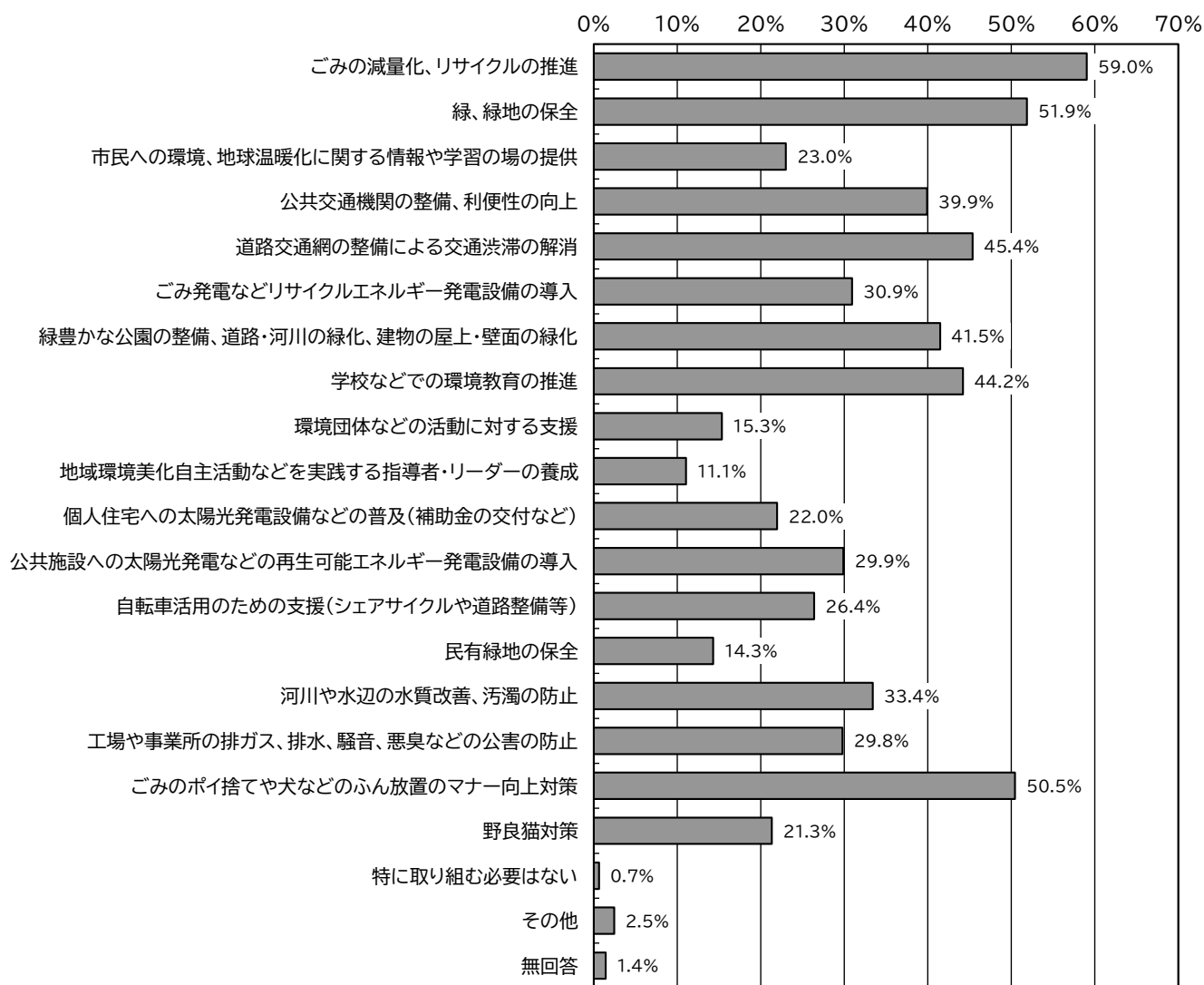
また、「無回答」が23.4%となっています。



項目	度数	構成比
リサイクル運動の推進	198	25.7%
大気汚染・騒音・振動対策	146	19.0%
身近な緑の保全・創造	95	12.4%
水辺の再生・保全・創造	29	3.8%
野生生物の生息空間の確保	14	1.8%
下水道や浄化槽整備の促進	76	9.9%
地域の景観や歴史的文化財の保存	26	3.4%
その他	5	0.7%
無回答	180	23.4%
合計	769	100.0%

問13 あなたが環境保全などに向けて行政が優先的に取り組む事項として望むことは、どのようなものですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

環境保全などに向けて行政に優先的に取り組んでほしいことは、「ごみの減量化、リサイクルの推進」が59.0%と最も多く、次いで「緑、緑地の保全」が51.9%、「ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策」が50.5%となっています。



項目	度数	構成比
ごみの減量化、リサイクルの推進	454	59.0%
緑、緑地の保全	399	51.9%
市民への環境、地球温暖化に関する情報や学習の場の提供	177	23.0%
公共交通機関の整備、利便性の向上	307	39.9%
道路交通網の整備による交通渋滞の解消	349	45.4%
ごみ発電などリサイクルエネルギー発電設備の導入	238	30.9%
緑豊かな公園の整備、道路・河川の緑化、建物の屋上・壁面の緑化	319	41.5%
学校などでの環境教育の推進	340	44.2%
環境団体などの活動に対する支援	118	15.3%
地域環境美化自主活動などを実践する指導者・リーダーの養成	85	11.1%
個人住宅への太陽光発電設備などの普及(補助金の交付など)	169	22.0%
公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の導入	230	29.9%
自転車活用のための支援(シェアサイクルや道路整備等)	203	26.4%
民有緑地の保全	110	14.3%
河川や水辺の水質改善、汚濁の防止	257	33.4%
工場や事業所の排ガス、排水、騒音、悪臭などの公害の防止	229	29.8%
ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策	388	50.5%
野良猫対策	164	21.3%
特に取り組む必要はない	5	0.7%
その他	19	2.5%
無回答	11	1.4%
回答者数	769	

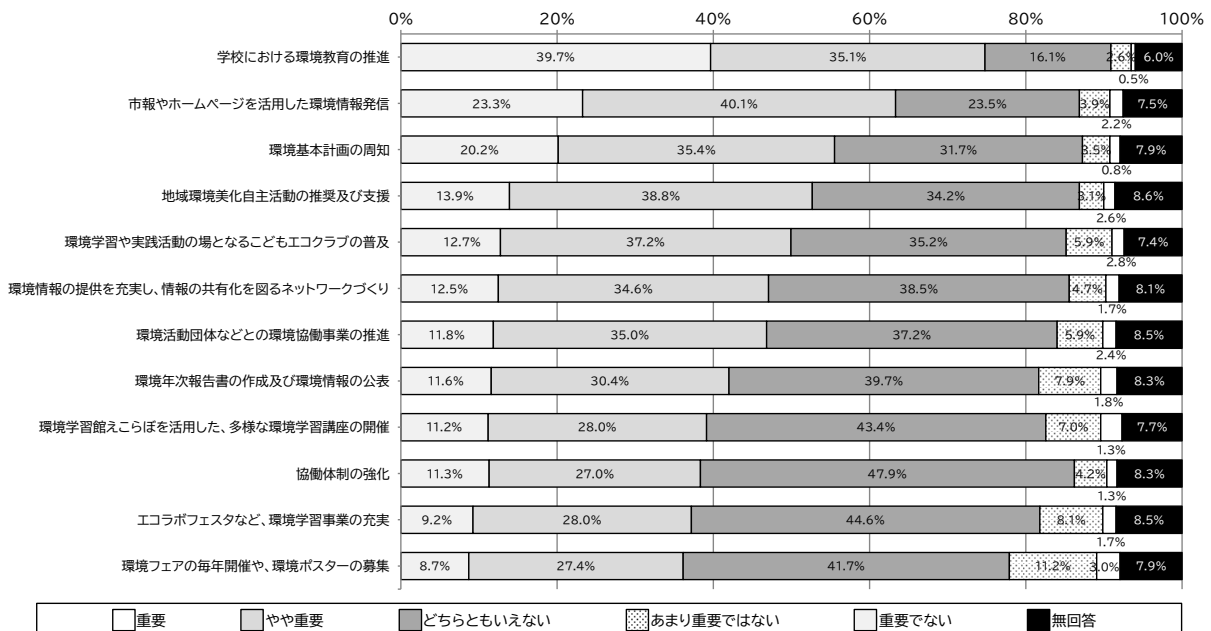
6 環境に関する施策の評価について

問14 以下の項目について、①あなた自身または、市や対象者が実施するべき項目としてどの程度重要と考えるかの重要度をお聞きします。また、②それらの項目について、どの程度満足しているかの満足度をあわせてお伺います。【①重要度と②満足度のあてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。】

(1) 学びと協働の推進

◆①重要度

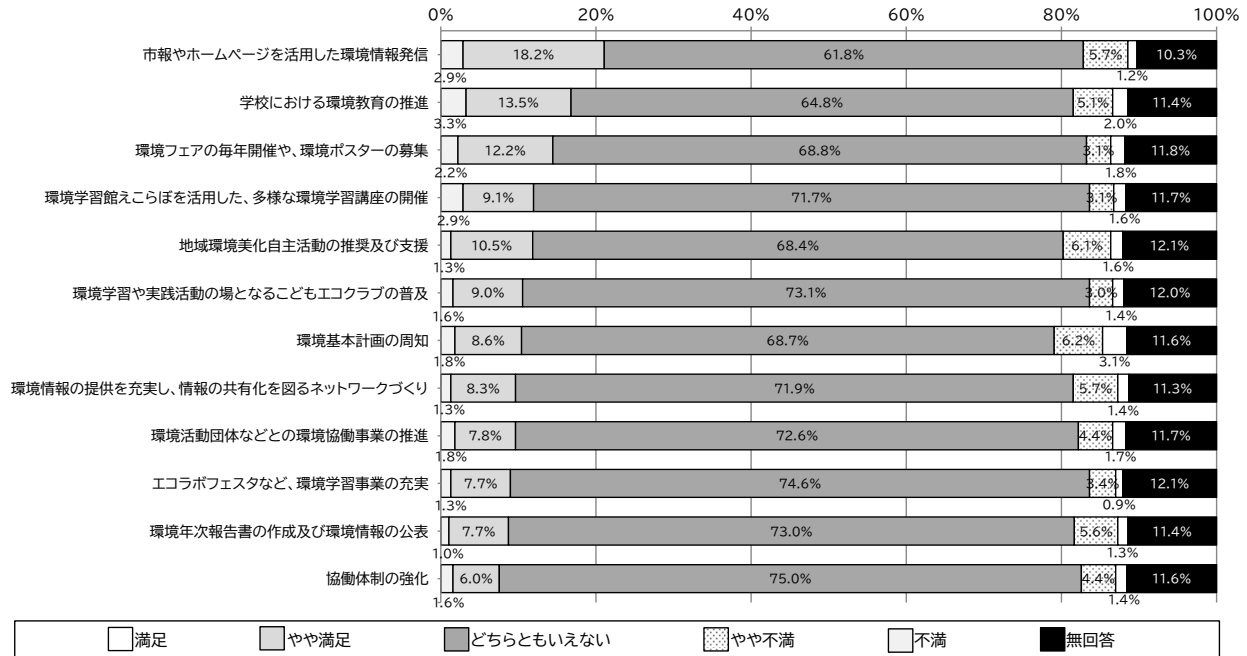
「重要」、「やや重要」を合わせた項目では、「学校における環境教育の推進」が74.8%と最も多く、次いで「市報やホームページを活用した環境情報発信」が63.4%、「環境基本計画の周知」が55.6%、「地域環境美化自主活動の推奨及び支援」が52.7%となっています。



(1) 学びと協働の推進		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
学校における環境教育の推進		305	270	124	20	4	46	769
市報やホームページを活用した環境情報発信		179	308	181	30	13	58	769
環境基本計画の周知		155	272	244	27	10	61	769
地域環境美化自主活動の推奨及び支援		107	298	263	24	11	66	769
環境学習や実践活動の場となる子どもエコクラブの普及		98	286	271	45	12	57	769
環境情報の提供を充実し、情報の共有化を図るネットワークづくり		96	266	296	36	13	62	769
環境活動団体などの環境協働事業の推進		91	269	286	45	13	65	769
環境年次報告書の作成及び環境情報の公表		89	234	305	61	16	64	769
環境学習館えこらほを活用した、多様な環境学習講座の開催		86	215	334	54	21	59	769
協働体制の強化		87	208	368	32	10	64	769
エコラボフェスタなど、環境学習事業の充実		71	215	343	62	13	65	769
環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集		67	211	321	86	23	61	769
構成比(%)		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
学校における環境教育の推進		39.7%	35.1%	16.1%	2.6%	0.5%	6.0%	100.0%
市報やホームページを活用した環境情報発信		23.3%	40.1%	23.5%	3.9%	1.7%	7.5%	100.0%
環境基本計画の周知		20.2%	35.4%	31.7%	3.5%	1.3%	7.9%	100.0%
地域環境美化自主活動の推奨及び支援		13.9%	38.8%	34.2%	3.1%	1.4%	8.6%	100.0%
環境学習や実践活動の場となる子どもエコクラブの普及		12.7%	37.2%	35.2%	5.9%	1.6%	7.4%	100.0%
環境情報の提供を充実し、情報の共有化を図るネットワークづくり		12.5%	34.6%	38.5%	4.7%	1.7%	8.1%	100.0%
環境活動団体などの環境協働事業の推進		11.8%	35.0%	37.2%	5.9%	1.7%	8.5%	100.0%
環境年次報告書の作成及び環境情報の公表		11.6%	30.4%	39.7%	7.9%	2.1%	8.3%	100.0%
環境学習館えこらほを活用した、多様な環境学習講座の開催		11.2%	28.0%	43.4%	7.0%	2.7%	7.7%	100.0%
協働体制の強化		11.3%	27.0%	47.9%	4.2%	1.3%	8.3%	100.0%
エコラボフェスタなど、環境学習事業の充実		9.2%	28.0%	44.6%	8.1%	1.7%	8.5%	100.0%
環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集		8.7%	27.4%	41.7%	11.2%	3.0%	7.9%	100.0%

◇②満足度

「満足」、「やや満足」を合わせた項目では、「市報やホームページを活用した環境情報発信」が21.1%、「学校における環境教育の推進」が16.8%、「環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集」が14.4%となっています。

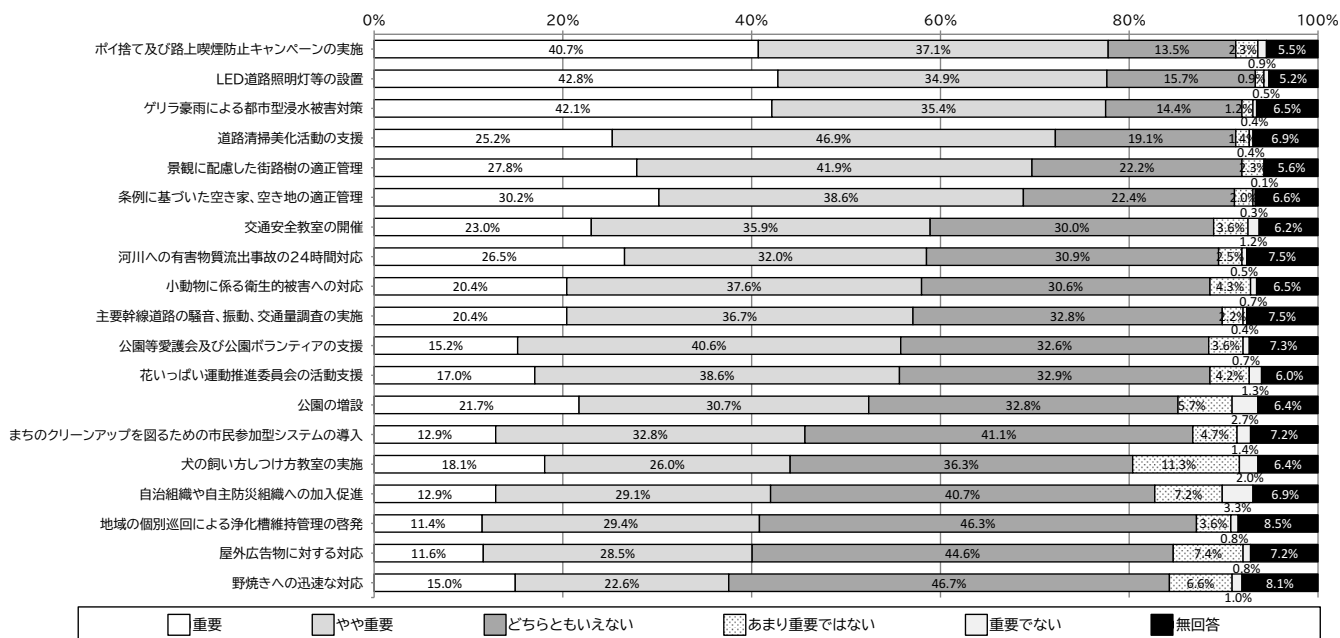


(1) 学びと協働の推進	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
市報やホームページを活用した環境情報発信	22	140	475	44	9	79	769
学校における環境教育の推進	25	104	498	39	15	88	769
環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集	17	94	529	24	14	91	769
環境学習館えこらほを活用した、多様な環境学習講座の開催	22	70	551	24	12	90	769
地域環境美化自主活動の推奨及び支援	10	81	526	47	12	93	769
環境学習や実践活動の場となるこどもエコクラブの普及	12	69	562	23	11	92	769
環境基本計画の周知	14	66	528	48	24	89	769
環境情報の提供を充実し、情報の共有化を図るネットワークづくり	10	64	553	44	11	87	769
環境活動団体などの環境協働事業の推進	14	60	558	34	13	90	769
エコラボフェスタなど、環境学習事業の充実	10	59	574	26	7	93	769
環境年次報告書の作成及び環境情報の公表	8	59	561	43	10	88	769
協働体制の強化	12	46	577	34	11	89	769
構成比(%)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
市報やホームページを活用した環境情報発信	2.9%	18.2%	61.8%	5.7%	1.2%	10.3%	100.0%
学校における環境教育の推進	3.3%	13.5%	64.8%	5.1%	2.0%	11.4%	100.0%
環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集	2.2%	12.2%	68.8%	3.1%	1.8%	11.8%	100.0%
環境学習館えこらほを活用した、多様な環境学習講座の開催	2.9%	9.1%	71.7%	3.1%	1.6%	11.7%	100.0%
地域環境美化自主活動の推奨及び支援	1.3%	10.5%	68.4%	6.1%	1.6%	12.1%	100.0%
環境学習や実践活動の場となるこどもエコクラブの普及	1.6%	9.0%	73.1%	3.0%	1.4%	12.0%	100.0%
環境基本計画の周知	1.8%	8.6%	68.7%	6.2%	3.1%	11.6%	100.0%
環境情報の提供を充実し、情報の共有化を図るネットワークづくり	1.3%	8.3%	71.9%	5.7%	1.4%	11.3%	100.0%
環境活動団体などの環境協働事業の推進	1.8%	7.8%	72.6%	4.4%	1.7%	11.7%	100.0%
エコラボフェスタなど、環境学習事業の充実	1.3%	7.7%	74.6%	3.4%	0.9%	12.1%	100.0%
環境年次報告書の作成及び環境情報の公表	1.0%	7.7%	73.0%	5.6%	1.3%	11.4%	100.0%
協働体制の強化	1.6%	6.0%	75.0%	4.4%	1.4%	11.6%	100.0%

(2)環境にやさしい快適なまちづくりの推進

◆①重要度

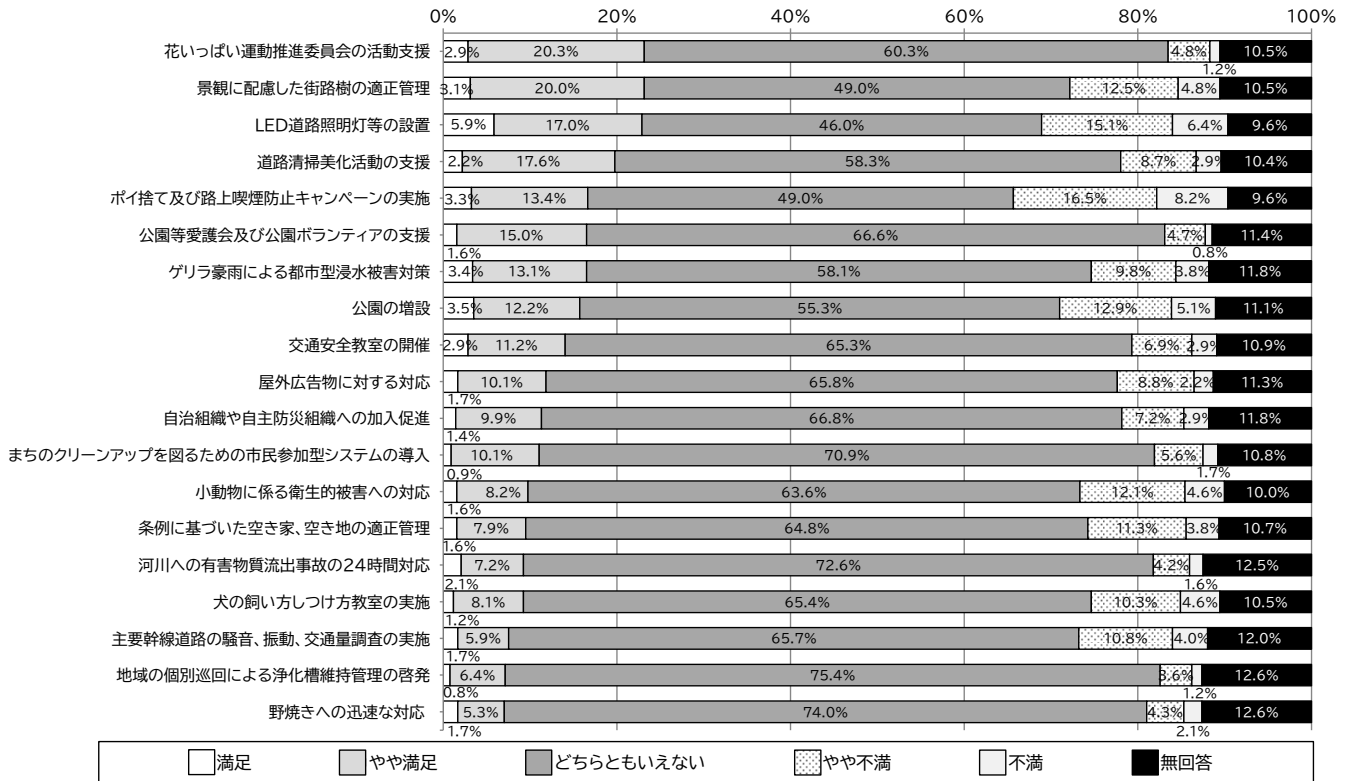
「重要」、「やや重要」を合わせた項目では、「ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施」が77.8%、「LED道路照明灯等の設置」が77.7%、「ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策」が77.5%、「道路清掃美化活動の支援」が72.1%となっています。



(2)環境にやさしい快適なまちづくりの推進		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施		313	285	104	18	7	42	769
LED道路照明灯等の設置		329	268	121	7	4	40	769
ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策		324	272	111	9	3	50	769
道路清掃美化活動の支援		194	361	147	11	3	53	769
景観に配慮した街路樹の適正管理		214	322	171	18	1	43	769
条例に基づいた空き家、空き地の適正管理		232	297	172	15	2	51	769
交通安全教室の開催		177	276	231	28	9	48	769
河川への有害物質流出事故の24時間対応		204	246	238	19	4	58	769
小動物に係る衛生的被害への対応		157	289	235	33	5	50	769
主要幹線道路の騒音、振動、交通量調査の実施		157	282	252	17	3	58	769
公園等愛護会及び公園ボランティアの支援		117	312	251	28	5	56	769
花いっぱい運動推進委員会の活動支援		131	297	253	32	10	46	769
公園の増設		167	236	252	44	21	49	769
まちのクリーンアップを図るための市民参加型システムの導入		99	252	316	36	11	55	769
犬の飼い方しつけ方教室の実施		139	200	279	87	15	49	769
自治組織や自主防災組織への加入促進		99	224	313	55	25	53	769
地域の個別巡回による浄化槽維持管理の啓発		88	226	356	28	6	65	769
屋外広告物に対する対応		89	219	343	57	6	55	769
野焼きへの迅速な対応		115	174	359	51	8	62	769
構成比(%)		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施		40.7%	37.1%	13.5%	2.3%	0.9%	5.5%	100.0%
LED道路照明灯等の設置		42.8%	34.9%	15.7%	0.9%	0.5%	5.2%	100.0%
ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策		42.1%	35.4%	14.4%	1.2%	0.4%	6.5%	100.0%
道路清掃美化活動の支援		25.2%	46.9%	19.1%	1.4%	0.4%	6.9%	100.0%
景観に配慮した街路樹の適正管理		27.8%	41.9%	22.2%	2.3%	0.1%	5.6%	100.0%
条例に基づいた空き家、空き地の適正管理		30.2%	38.6%	22.4%	2.0%	0.3%	6.6%	100.0%
交通安全教室の開催		23.0%	35.9%	30.0%	3.6%	1.2%	6.2%	100.0%
河川への有害物質流出事故の24時間対応		26.5%	32.0%	30.9%	2.5%	0.5%	7.5%	100.0%
小動物に係る衛生的被害への対応		20.4%	37.6%	30.6%	4.3%	0.7%	6.5%	100.0%
主要幹線道路の騒音、振動、交通量調査の実施		20.4%	36.7%	32.8%	2.2%	0.4%	7.5%	100.0%
公園等愛護会及び公園ボランティアの支援		15.2%	40.6%	32.6%	3.6%	0.7%	7.3%	100.0%
花いっぱい運動推進委員会の活動支援		17.0%	38.6%	32.9%	4.2%	1.3%	6.0%	100.0%
公園の増設		21.7%	30.7%	32.8%	5.7%	2.7%	6.4%	100.0%
まちのクリーンアップを図るための市民参加型システムの導入		12.9%	32.8%	41.1%	4.7%	1.4%	7.2%	100.0%
犬の飼い方しつけ方教室の実施		18.1%	26.0%	36.3%	11.3%	2.0%	6.4%	100.0%
自治組織や自主防災組織への加入促進		12.9%	29.1%	40.7%	7.2%	3.3%	6.9%	100.0%
地域の個別巡回による浄化槽維持管理の啓発		11.4%	29.4%	46.3%	3.6%	0.8%	8.5%	100.0%
屋外広告物に対する対応		11.6%	28.5%	44.6%	7.4%	0.8%	7.2%	100.0%
野焼きへの迅速な対応		15.0%	22.6%	46.7%	6.6%	1.0%	8.1%	100.0%

◇②満足度

「満足」、「やや満足」を合わせた項目では、「花いっぱい運動推進委員会の活動支援」が23.2%、「景観に配慮した街路樹の適正管理」が23.1%、「LED 道路照明灯等の設置」が22.9%となっています。

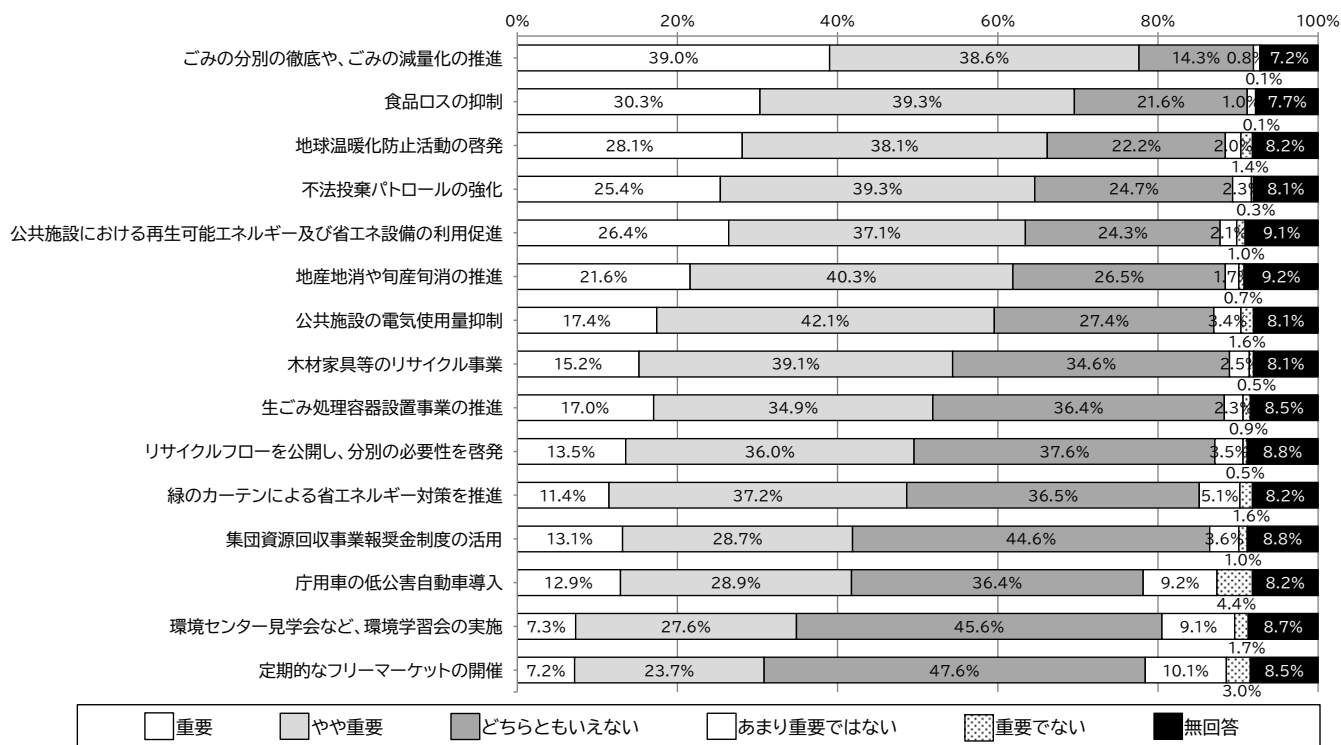


(2)環境にやさしい快適なまちづくりの推進	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
花いっぱい運動推進委員会の活動支援	22	156	464	37	9	81	769
景観に配慮した街路樹の適正管理	24	154	377	96	37	81	769
LED道路照明灯等の設置	45	131	354	116	49	74	769
道路清掃美化活動の支援	17	135	448	67	22	80	769
ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施	25	103	377	127	63	74	769
公園等愛護会及び公園ボランティアの支援	12	115	512	36	6	88	769
ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策	26	101	447	75	29	91	769
公園の増設	27	94	425	99	39	85	769
交通安全教室の開催	22	86	502	53	22	84	769
屋外広告物に対する対応	13	78	506	68	17	87	769
自治組織や自主防災組織への加入促進	11	76	514	55	22	91	769
まちのクリーンアップを図るための市民参加型システムの導入	7	78	545	43	13	83	769
小動物に係る衛生的被害への対応	12	63	489	93	35	77	769
条例に基づいた空き家、空き地の適正管理	12	61	498	87	29	82	769
河川への有害物質流出事故の24時間対応	16	55	558	32	12	96	769
犬の飼い方しつけ方教室の実施	9	62	503	79	35	81	769
主要幹線道路の騒音、振動、交通量調査の実施	13	45	505	83	31	92	769
地域の個別巡回による浄化槽維持管理の啓発	6	49	580	28	9	97	769
野焼きへの迅速な対応	13	41	569	33	16	97	769
構成比(%)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
花いっぱい運動推進委員会の活動支援	2.9%	20.3%	60.3%	4.8%	1.2%	10.5%	100.0%
景観に配慮した街路樹の適正管理	3.1%	20.0%	49.0%	12.5%	4.8%	10.5%	100.0%
LED道路照明灯等の設置	5.9%	17.0%	46.0%	15.1%	6.4%	9.6%	100.0%
道路清掃美化活動の支援	2.2%	17.6%	58.3%	8.7%	2.9%	10.4%	100.0%
ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施	3.3%	13.4%	49.0%	16.5%	8.2%	9.6%	100.0%
公園等愛護会及び公園ボランティアの支援	1.6%	15.0%	66.6%	4.7%	0.8%	11.4%	100.0%
ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策	3.4%	13.1%	58.1%	9.8%	3.8%	11.8%	100.0%
公園の増設	3.5%	12.2%	55.3%	12.9%	5.1%	11.1%	100.0%
交通安全教室の開催	2.9%	11.2%	65.3%	6.9%	2.9%	10.9%	100.0%
屋外広告物に対する対応	1.7%	10.1%	65.8%	8.8%	2.2%	11.3%	100.0%
自治組織や自主防災組織への加入促進	1.4%	9.9%	66.8%	7.2%	2.9%	11.8%	100.0%
まちのクリーンアップを図るための市民参加型システムの導入	0.9%	10.1%	70.9%	5.6%	1.7%	10.8%	100.0%
小動物に係る衛生的被害への対応	1.6%	8.2%	63.6%	12.1%	4.6%	10.0%	100.0%
条例に基づいた空き家、空き地の適正管理	1.6%	7.9%	64.8%	11.3%	3.8%	10.7%	100.0%
河川への有害物質流出事故の24時間対応	2.1%	7.2%	72.6%	4.2%	1.6%	12.5%	100.0%
犬の飼い方しつけ方教室の実施	1.2%	8.1%	65.4%	10.3%	4.6%	10.5%	100.0%
主要幹線道路の騒音、振動、交通量調査の実施	1.7%	5.9%	65.7%	10.8%	4.0%	12.0%	100.0%
地域の個別巡回による浄化槽維持管理の啓発	0.8%	6.4%	75.4%	3.6%	1.2%	12.6%	100.0%
野焼きへの迅速な対応	1.7%	5.3%	74.0%	4.3%	2.1%	12.6%	100.0%

(3)環境負荷の少ない循環型社会の構築

◆①重要度

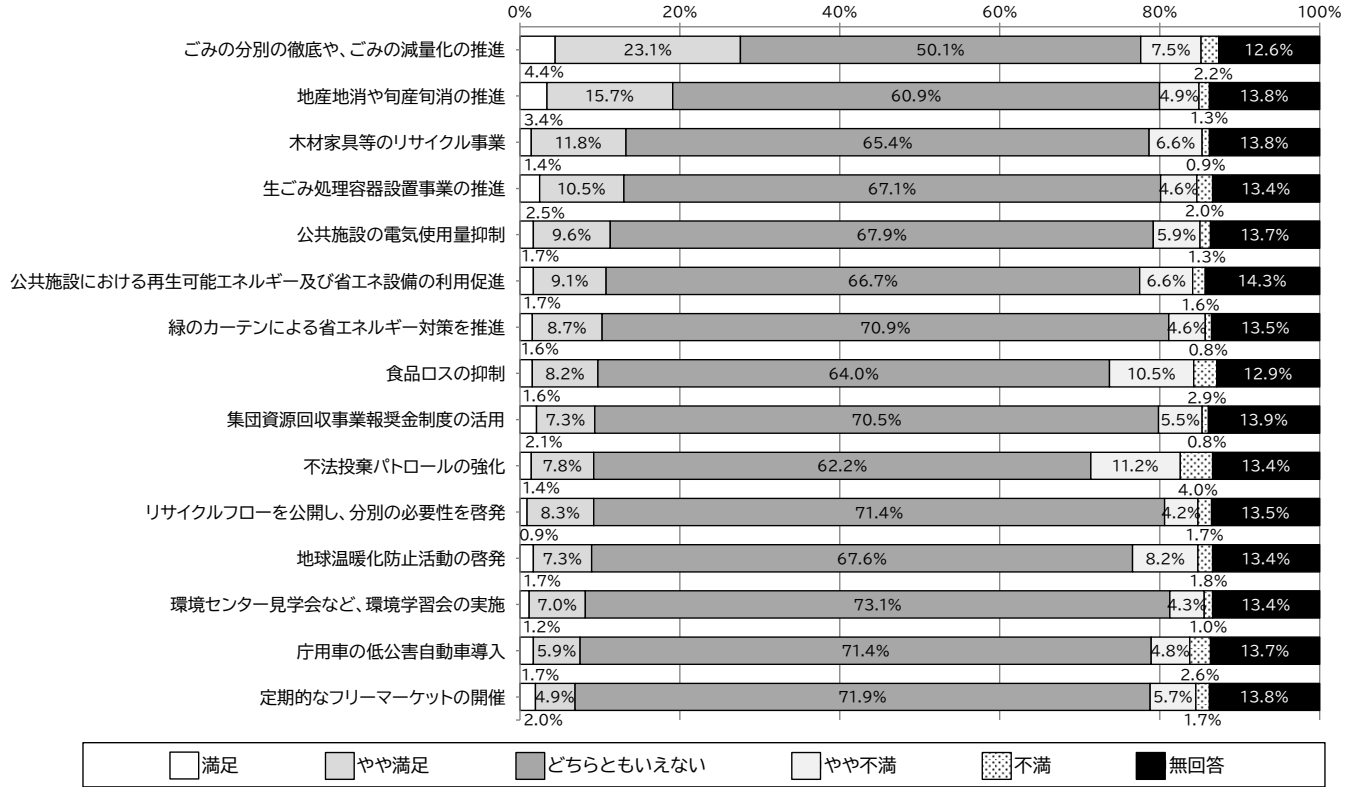
「重要」、「やや重要」を合わせた項目では、「ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進」が77.6%と最も多く、次いで「食品ロスの抑制」が69.6%、「地球温暖化防止活動の啓発」が66.2%となっています。



(3)環境負荷の少ない循環型社会の構築	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進	300	297	110	6	1	55	769
食品ロスの抑制	233	302	166	8	1	59	769
地球温暖化防止活動の啓発	216	293	171	15	11	63	769
不法投棄パトロールの強化	195	302	190	18	2	62	769
公共施設における再生可能エネルギー及び省エネ設備の利用促進	203	285	187	16	8	70	769
地産地消や旬産旬消の推進	166	310	204	13	5	71	769
公共施設の電気使用量抑制	134	324	211	26	12	62	769
木材家具等のリサイクル事業	117	301	266	19	4	62	769
生ごみ処理容器設置事業の推進	131	268	280	18	7	65	769
リサイクルフローを公開し、分別の必要性を啓発	104	277	289	27	4	68	769
緑のカーテンによる省エネルギー対策を推進	88	286	281	39	12	63	769
集団資源回収事業報奨金制度の活用	101	221	343	28	8	68	769
庁用車の低公害自動車導入	99	222	280	71	34	63	769
環境センター見学会など、環境学習会の実施	56	212	351	70	13	67	769
定期的なフリーマーケットの開催	55	182	366	78	23	65	769
構成比 (%)	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進	39.0%	38.6%	14.3%	0.8%	0.1%	7.2%	100.0%
食品ロスの抑制	30.3%	39.3%	21.6%	1.0%	0.1%	7.7%	100.0%
地球温暖化防止活動の啓発	28.1%	38.1%	22.2%	2.0%	1.4%	8.2%	100.0%
不法投棄パトロールの強化	25.4%	39.3%	24.7%	2.3%	0.3%	8.1%	100.0%
公共施設における再生可能エネルギー及び省エネ設備の利用促進	26.4%	37.1%	24.3%	2.1%	1.0%	9.1%	100.0%
地産地消や旬産旬消の推進	21.6%	40.3%	26.5%	1.7%	0.7%	9.2%	100.0%
公共施設の電気使用量抑制	17.4%	42.1%	27.4%	3.4%	1.6%	8.1%	100.0%
木材家具等のリサイクル事業	15.2%	39.1%	34.6%	2.5%	0.5%	8.1%	100.0%
生ごみ処理容器設置事業の推進	17.0%	34.9%	36.4%	2.3%	0.9%	8.5%	100.0%
リサイクルフローを公開し、分別の必要性を啓発	13.5%	36.0%	37.6%	3.5%	0.5%	8.8%	100.0%
緑のカーテンによる省エネルギー対策を推進	11.4%	37.2%	36.5%	5.1%	1.6%	8.2%	100.0%
集団資源回収事業報奨金制度の活用	13.1%	28.7%	44.6%	3.6%	1.0%	8.8%	100.0%
庁用車の低公害自動車導入	12.9%	28.9%	36.4%	9.2%	4.4%	8.2%	100.0%
環境センター見学会など、環境学習会の実施	7.3%	27.6%	45.6%	9.1%	1.7%	8.7%	100.0%
定期的なフリーマーケットの開催	7.2%	23.7%	47.6%	10.1%	3.0%	8.5%	100.0%

◇②満足度

「満足」、「やや満足」を合わせた項目では、「ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進」が27.5%と最も多く、次いで「地産地消や旬産旬消の推進」が19.1%、「木材家具等のリサイクル事業」が13.2%となっています。

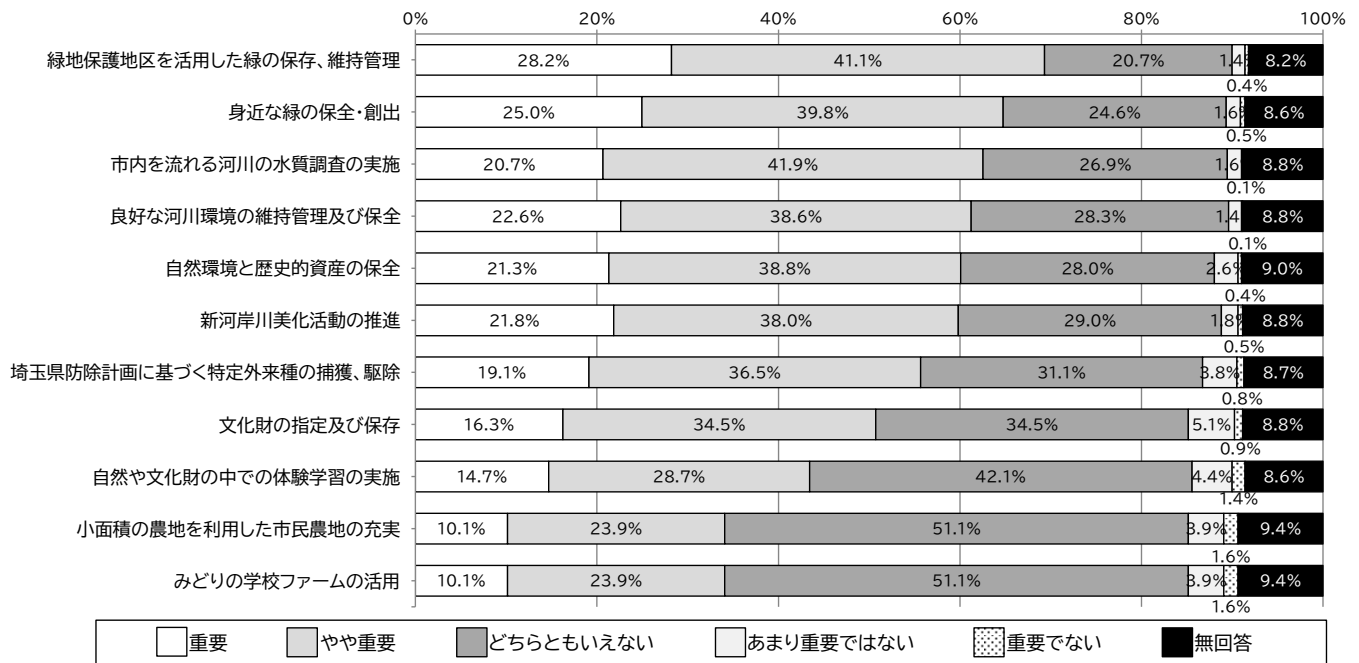


(3)環境負荷の少ない循環型社会の構築	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進	34	178	385	58	17	97	769
地産地消や旬産旬消の推進	26	121	468	38	10	106	769
木材家具等のリサイクル事業	11	91	503	51	7	106	769
生ごみ処理容器設置事業の推進	19	81	516	35	15	103	769
公共施設の電気使用量抑制	13	74	522	45	10	105	769
公共施設における再生可能エネルギー及び省エネ設備の利用促進	13	70	513	51	12	110	769
緑のカーテンによる省エネルギー対策を推進	12	67	545	35	6	104	769
食品ロスの抑制	12	63	492	81	22	99	769
集団資源回収事業報奨金制度の活用	16	56	542	42	6	107	769
不法投棄パトロールの強化	11	60	478	86	31	103	769
リサイクルフローを公開し、分別の必要性を啓発	7	64	549	32	13	104	769
地球温暖化防止活動の啓発	13	56	520	63	14	103	769
環境センター見学会など、環境学習会の実施	9	54	562	33	8	103	769
庁用車の低公害自動車導入	13	45	549	37	20	105	769
定期的なフリーマーケットの開催	15	38	553	44	13	106	769
構成比(%)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進	4.4%	23.1%	50.1%	7.5%	2.2%	12.6%	100.0%
地産地消や旬産旬消の推進	3.4%	15.7%	60.9%	4.9%	1.3%	13.8%	100.0%
木材家具等のリサイクル事業	1.4%	11.8%	65.4%	6.6%	0.9%	13.8%	100.0%
生ごみ処理容器設置事業の推進	2.5%	10.5%	67.1%	4.6%	2.0%	13.4%	100.0%
公共施設の電気使用量抑制	1.7%	9.6%	67.9%	5.9%	1.3%	13.7%	100.0%
公共施設における再生可能エネルギー及び省エネ設備の利用促進	1.7%	9.1%	66.7%	6.6%	1.6%	14.3%	100.0%
緑のカーテンによる省エネルギー対策を推進	1.6%	8.7%	70.9%	4.6%	0.8%	13.5%	100.0%
食品ロスの抑制	1.6%	8.2%	64.0%	10.5%	2.9%	12.9%	100.0%
集団資源回収事業報奨金制度の活用	2.1%	7.3%	70.5%	5.5%	0.8%	13.9%	100.0%
不法投棄パトロールの強化	1.4%	7.8%	62.2%	11.2%	4.0%	13.4%	100.0%
リサイクルフローを公開し、分別の必要性を啓発	0.9%	8.3%	71.4%	4.2%	1.7%	13.5%	100.0%
地球温暖化防止活動の啓発	1.7%	7.3%	67.6%	8.2%	1.8%	13.4%	100.0%
環境センター見学会など、環境学習会の実施	1.2%	7.0%	73.1%	4.3%	1.0%	13.4%	100.0%
庁用車の低公害自動車導入	1.7%	5.9%	71.4%	4.8%	2.6%	13.7%	100.0%
定期的なフリーマーケットの開催	2.0%	4.9%	71.9%	5.7%	1.7%	13.8%	100.0%

(4)自然と調和した環境づくりの推進

◆①重要度

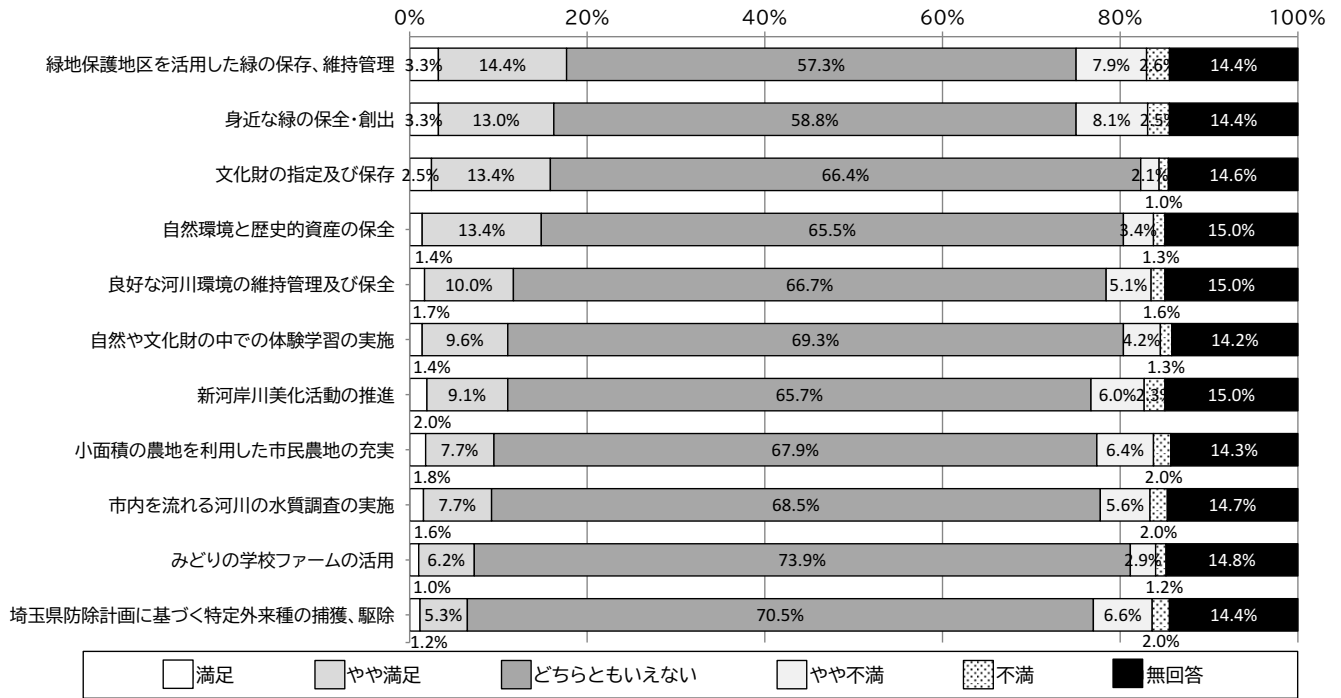
「重要」、「やや重要」を合わせた項目では、「緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理」が69.3%、「身近な緑の保全・創出」が64.8%、「市内を流れる河川の水質調査の実施」が62.6%となっています。



(4)自然と調和した環境づくりの推進	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理	217	316	159	11	3	63	769
身近な緑の保全・創出	192	306	189	12	4	66	769
市内を流れる河川の水質調査の実施	159	322	207	12	1	68	769
良好な河川環境の維持管理及び保全	174	297	218	11	1	68	769
自然環境と歴史的資産の保全	164	298	215	20	3	69	769
新河岸川美化活動の推進	168	292	223	14	4	68	769
埼玉県防除計画に基づく特定外来種の捕獲、駆除	173	284	222	20	3	67	769
文化財の指定及び保存	147	281	239	29	6	67	769
自然や文化財の中での体験学習の実施	125	265	265	39	7	68	769
小面積の農地を利用した市民農地の充実	113	221	324	34	11	66	769
みどりの学校ファームの活用	78	184	393	30	12	72	769
構成比(%)	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	無回答	合計
緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理	28.2%	41.1%	20.7%	1.4%	0.4%	8.2%	100.0%
身近な緑の保全・創出	25.0%	39.8%	24.6%	1.6%	0.5%	8.6%	100.0%
市内を流れる河川の水質調査の実施	20.7%	41.9%	26.9%	1.6%	0.1%	8.8%	100.0%
良好な河川環境の維持管理及び保全	22.6%	38.6%	28.3%	1.4%	0.1%	8.8%	100.0%
自然環境と歴史的資産の保全	21.3%	38.8%	28.0%	2.6%	0.4%	9.0%	100.0%
新河岸川美化活動の推進	21.8%	38.0%	29.0%	1.8%	0.5%	8.8%	100.0%
埼玉県防除計画に基づく特定外来種の捕獲、駆除	19.1%	36.5%	31.1%	3.8%	0.8%	8.7%	100.0%
文化財の指定及び保存	16.3%	34.5%	34.5%	5.1%	0.9%	8.8%	100.0%
自然や文化財の中での体験学習の実施	14.7%	28.7%	42.1%	4.4%	1.4%	8.6%	100.0%
小面積の農地を利用した市民農地の充実	10.1%	23.9%	51.1%	3.9%	1.6%	9.4%	100.0%
みどりの学校ファームの活用	10.1%	23.9%	51.1%	3.9%	1.6%	9.4%	100.0%

◇②満足度

「満足」、「やや満足」を合わせた項目では、「緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理」が17.7%、「身近な緑の保全・創出」が16.3%、「文化財の指定及び保存」が15.9%となっています。

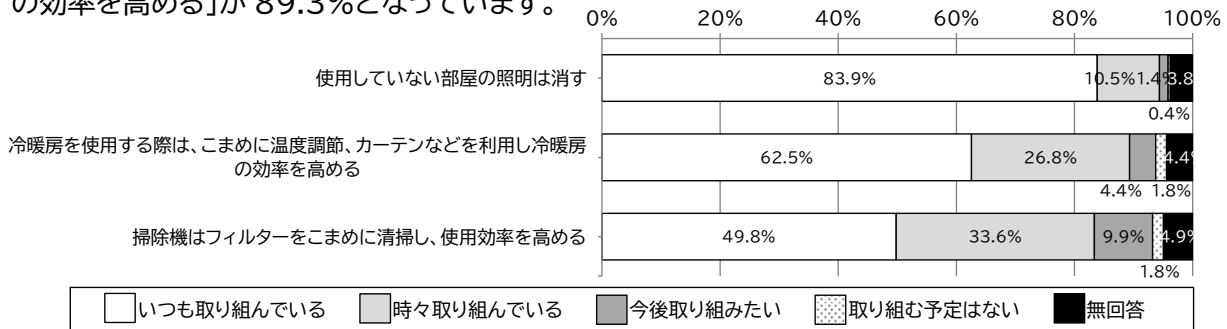


(4)自然と調和した環境づくりの推進	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理	25	111	441	61	20	111	769
身近な緑の保全・創出	25	100	452	62	19	111	769
文化財の指定及び保存	19	103	511	16	8	112	769
自然環境と歴史的資産の保全	11	103	504	26	10	115	769
良好な河川環境の維持管理及び保全	13	77	513	39	12	115	769
自然や文化財の中での体験学習の実施	11	74	533	32	10	109	769
新河岸川美化活動の推進	15	70	505	46	18	115	769
小面積の農地を利用した市民農地の充実	14	59	522	49	15	110	769
市内を流れる河川の水質調査の実施	12	59	527	43	15	113	769
みどりの学校ファームの活用	8	48	568	22	9	114	769
埼玉県防除計画に基づく特定外来種の捕獲、駆除	9	41	542	51	15	111	769
構成比(%)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理	3.3%	14.4%	57.3%	7.9%	2.6%	14.4%	100.0%
身近な緑の保全・創出	3.3%	13.0%	58.8%	8.1%	2.5%	14.4%	100.0%
文化財の指定及び保存	2.5%	13.4%	66.4%	2.1%	1.0%	14.6%	100.0%
自然環境と歴史的資産の保全	1.4%	13.4%	65.5%	3.4%	1.3%	15.0%	100.0%
良好な河川環境の維持管理及び保全	1.7%	10.0%	66.7%	5.1%	1.6%	15.0%	100.0%
自然や文化財の中での体験学習の実施	1.4%	9.6%	69.3%	4.2%	1.3%	14.2%	100.0%
新河岸川美化活動の推進	2.0%	9.1%	65.7%	6.0%	2.3%	15.0%	100.0%
小面積の農地を利用した市民農地の充実	1.8%	7.7%	67.9%	6.4%	2.0%	14.3%	100.0%
市内を流れる河川の水質調査の実施	1.6%	7.7%	68.5%	5.6%	2.0%	14.7%	100.0%
みどりの学校ファームの活用	1.0%	6.2%	73.9%	2.9%	1.2%	14.8%	100.0%
埼玉県防除計画に基づく特定外来種の捕獲、駆除	1.2%	5.3%	70.5%	6.6%	2.0%	14.4%	100.0%

問15 以下の地球温暖化対策に関する行動について、あなた自身はどのような対策に取り組んでいますか。また、「取り組む予定はない」と回答された方は、その理由は何ですか。
【あてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。】

(1)家庭のリビング等における取り組み

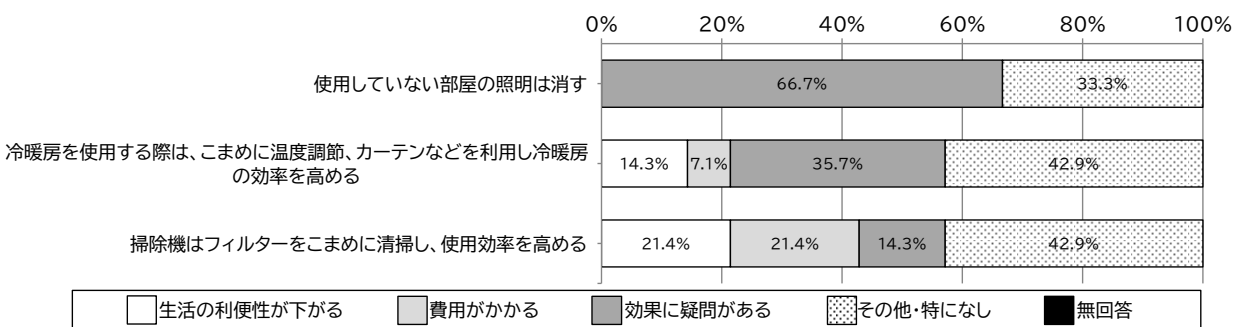
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「使用していない部屋の照明は消す」が94.4%と最も多く、次いで「冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める」が89.3%となっています。



(1)家庭のリビング等における取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
使用していない部屋の照明は消す	645	81	11	3	29	769
冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める	481	206	34	14	34	769
掃除機はフィルターをこまめに清掃し、使用効率を高める	383	258	76	14	38	769
構成比(%)	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
使用していない部屋の照明は消す	83.9%	10.5%	1.4%	0.4%	3.8%	100.0%
冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める	62.5%	26.8%	4.4%	1.8%	4.4%	100.0%
掃除機はフィルターをこまめに清掃し、使用効率を高める	49.8%	33.6%	9.9%	1.8%	4.9%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

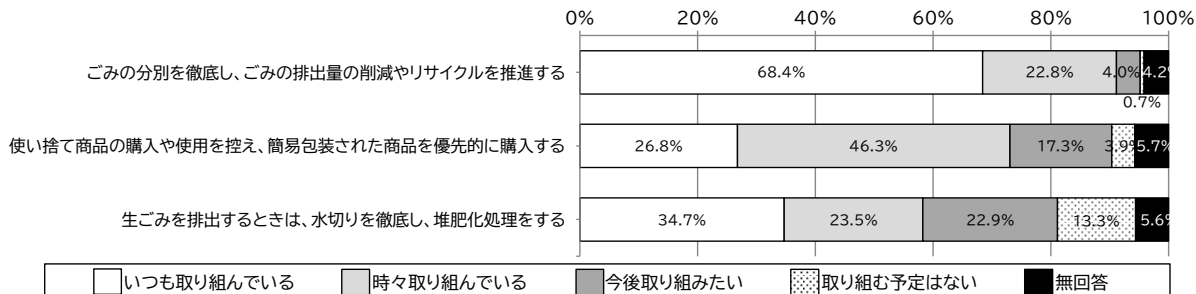
取り組む予定はない理由として、「効果に疑問がある」では、「使用していない部屋の照明は消す」が66.7%と最も多く、次いで「冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める」が35.7%となっています。



(1)家庭のリビング等における取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
使用していない部屋の照明は消す	0	0	2	1	0	3
冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める	2	1	5	6	0	14
掃除機はフィルターをこまめに清掃し、使用効率を高める	3	3	2	6	0	14
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
使用していない部屋の照明は消す	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める	14.3%	7.1%	35.7%	42.9%	0.0%	100.0%
掃除機はフィルターをこまめに清掃し、使用効率を高める	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	0.0%	100.0%

(2)家庭での日常の取り組み

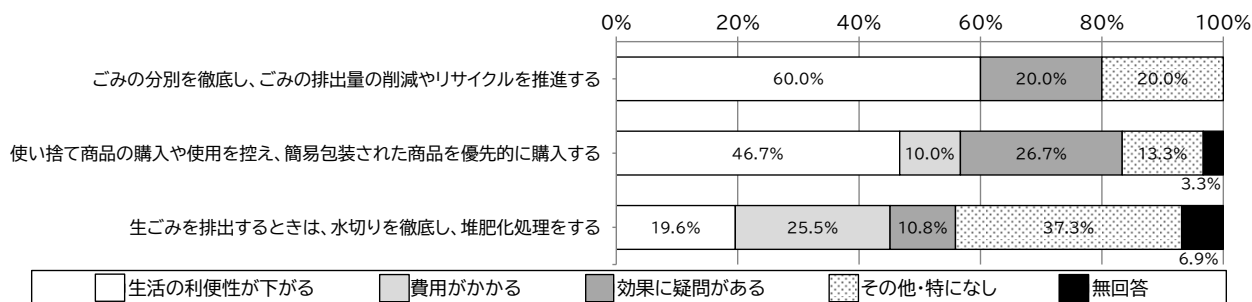
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する」が91.2%と最も多く、次いで「使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する」が73.1%となっています。



(2)家庭での日常の取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する	526	175	31	5	32	769
使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する	206	356	133	30	44	769
生ごみを排出するときは、水切りを徹底し、堆肥化処理をする	267	181	176	102	43	769
構成比(%)	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する	68.4%	22.8%	4.0%	0.7%	4.2%	100.0%
使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する	26.8%	46.3%	17.3%	3.9%	5.7%	100.0%
生ごみを排出するときは、水切りを徹底し、堆肥化処理をする	34.7%	23.5%	22.9%	13.3%	5.6%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

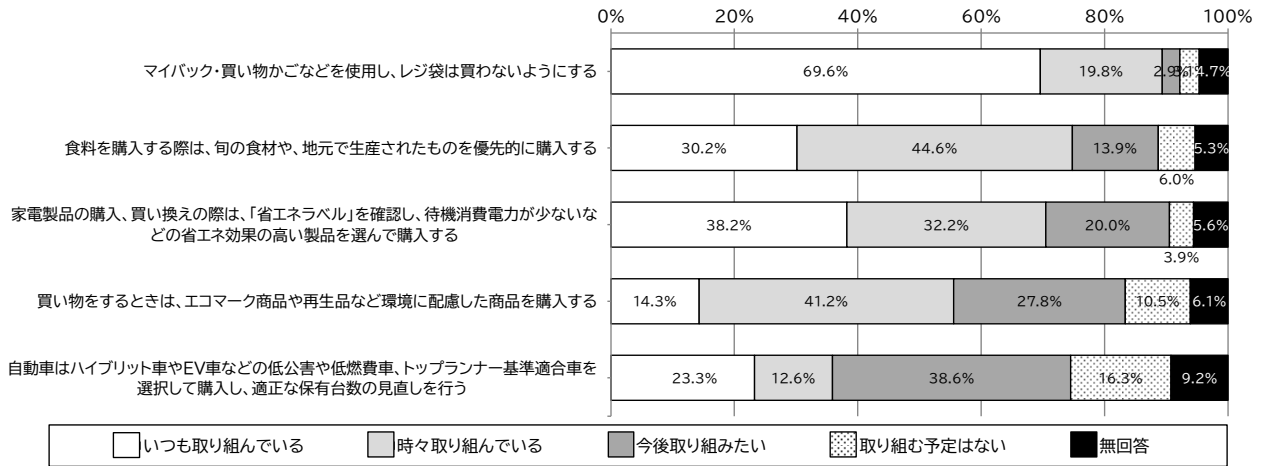
取り組む予定はない理由として、「生活の利便性が下がる」では、「ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する」が60.0%と最も多く、次いで「使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する」が46.7%となっています。



(2)家庭での日常の取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する	3	0	1	1	0	5
使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する	14	3	8	4	1	30
生ごみを排出するときは、水切りを徹底し、堆肥化処理をする	20	26	11	38	7	102
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する	46.7%	10.0%	26.7%	13.3%	3.3%	100.0%
生ごみを排出するときは、水切りを徹底し、堆肥化処理をする	19.6%	25.5%	10.8%	37.3%	6.9%	100.0%

(3)家庭でものを購入するときの取り組み

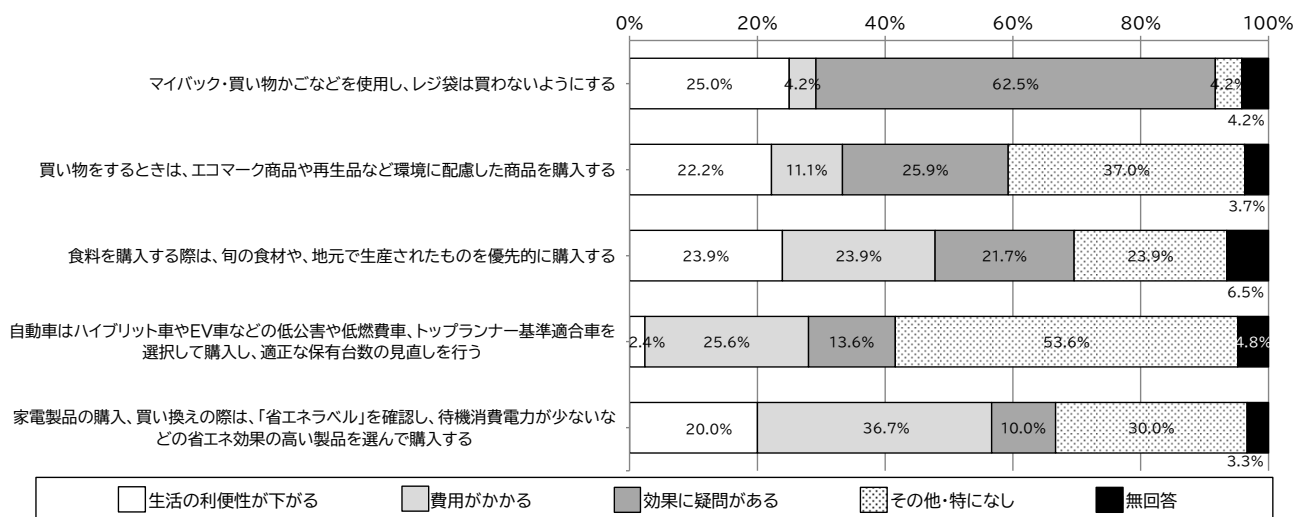
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする」が 89.4%と最も多く、次いで「食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する」が 74.8%となっています。



(3)家庭でものを購入するときの取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする	535	152	22	24	36	769
食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する	232	343	107	46	41	769
家電製品の購入、買い換えの際は、「省エネラベル」を確認し、待機消費電力が少ないなどの省エネ効果の高い製品を選んで購入する	294	248	154	30	43	769
買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する	110	317	214	81	47	769
自動車はハイブリット車やEV車などの低公害や低燃費車、トップランナー基準適合車を選択して購入し、適正な保有台数の見直しを行う	179	97	297	125	71	769
構成比(%)						
マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする	69.6%	19.8%	2.9%	3.1%	4.7%	100.0%
食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する	30.2%	44.6%	13.9%	6.0%	5.3%	100.0%
家電製品の購入、買い換えの際は、「省エネラベル」を確認し、待機消費電力が少ないなどの省エネ効果の高い製品を選んで購入する	38.2%	32.2%	20.0%	3.9%	5.6%	100.0%
買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する	14.3%	41.2%	27.8%	10.5%	6.1%	100.0%
自動車はハイブリット車やEV車などの低公害や低燃費車、トップランナー基準適合車を選択して購入し、適正な保有台数の見直しを行う	23.3%	12.6%	38.6%	16.3%	9.2%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

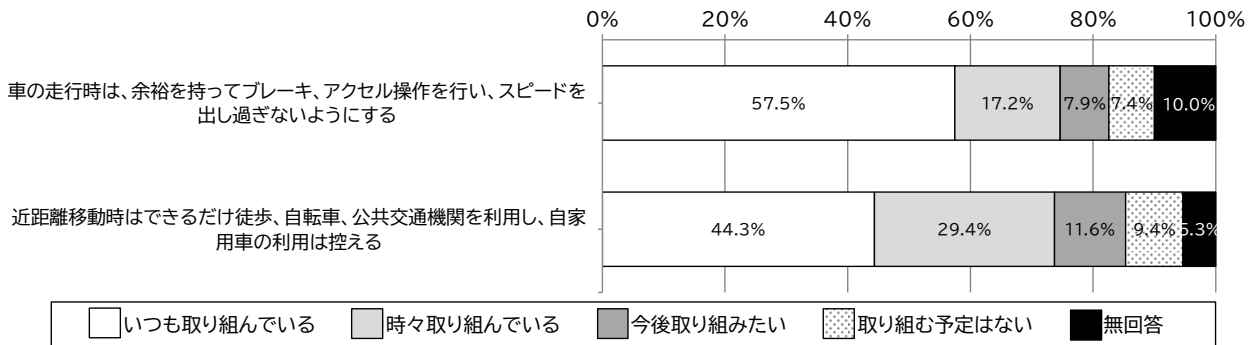
取り組む予定はない理由として、「効果に疑問がある」では、「マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする」が62.5%と最も多く、次いで「買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する」が25.9%となっています。



(3)家庭でものを購入するときの取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする	6	1	15	1	1	24
買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する	18	9	21	30	3	81
食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する	11	11	10	11	3	46
自動車はハイブリット車やEV車などの低公害や低燃費車、トップランナー基準適合車を選択して購入し、適正な保有台数の見直しを行う	3	32	17	67	6	125
家電製品の購入、買い換えの際は、「省エネラベル」を確認し、待機消費電力が少ないなどの省エネ効果の高い製品を選んで購入する	6	11	3	9	1	30
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする	25.0%	4.2%	62.5%	4.2%	4.2%	100.0%
買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する	22.2%	11.1%	25.9%	37.0%	3.7%	100.0%
食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する	23.9%	23.9%	21.7%	23.9%	6.5%	100.0%
自動車はハイブリット車やEV車などの低公害や低燃費車、トップランナー基準適合車を選択して購入し、適正な保有台数の見直しを行う	2.4%	25.6%	13.6%	53.6%	4.8%	100.0%
家電製品の購入、買い換えの際は、「省エネラベル」を確認し、待機消費電力が少ないなどの省エネ効果の高い製品を選んで購入する	20.0%	36.7%	10.0%	30.0%	3.3%	100.0%

(4)家庭における外出、移動するときの取り組み

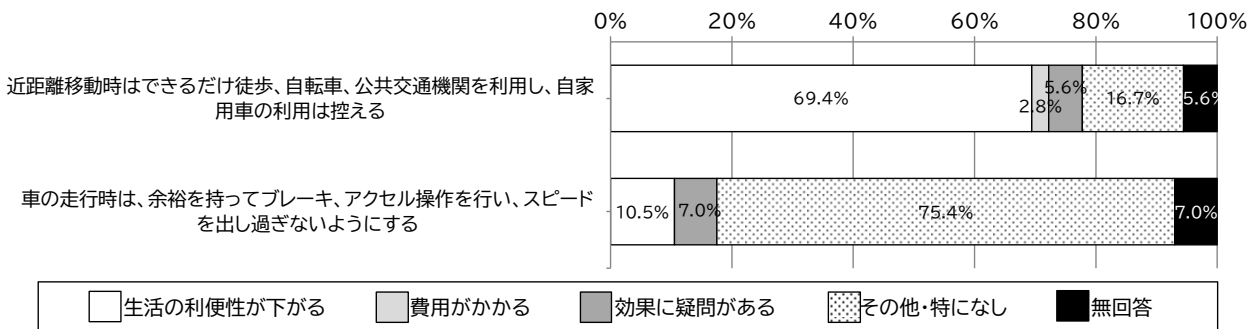
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする」が74.7%、「近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える」が73.7%となっています。



(4)家庭における外出、移動するときの取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする	442	132	61	57	77	769
近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える	341	226	89	72	41	769
構成比(%)	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする	57.5%	17.2%	7.9%	7.4%	10.0%	100.0%
近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える	44.3%	29.4%	11.6%	9.4%	5.3%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

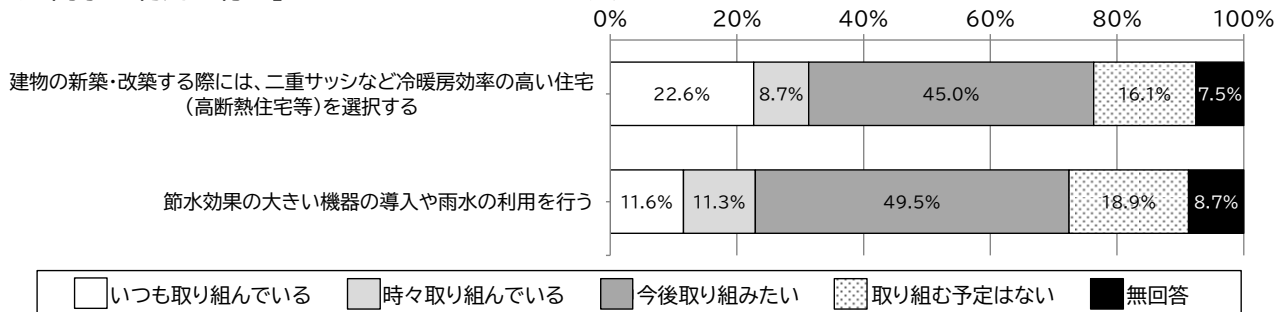
取り組む予定はない理由として、「生活の利便性が下がる」では、「近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える」が69.4%となっています。



(4)家庭における外出、移動するときの取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える	50	2	4	12	4	72
車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする	6	0	4	43	4	57
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える	69.4%	2.8%	5.6%	16.7%	5.6%	100.0%
車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする	10.5%	0.0%	7.0%	75.4%	7.0%	100.0%

(5)住宅における建物、施設・設備に関する取り組み

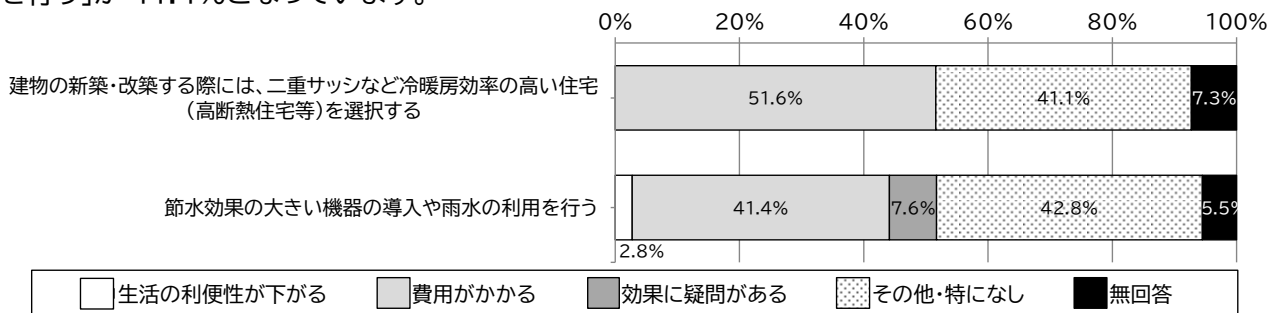
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する」が31.3%、「節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う」が22.9%となっています。



(5)住宅における建物、施設・設備に関する取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する	174	67	346	124	58	769
節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う	89	87	381	145	67	769
構成比(%)	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する	22.6%	8.7%	45.0%	16.1%	7.5%	100.0%
節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う	11.6%	11.3%	49.5%	18.9%	8.7%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

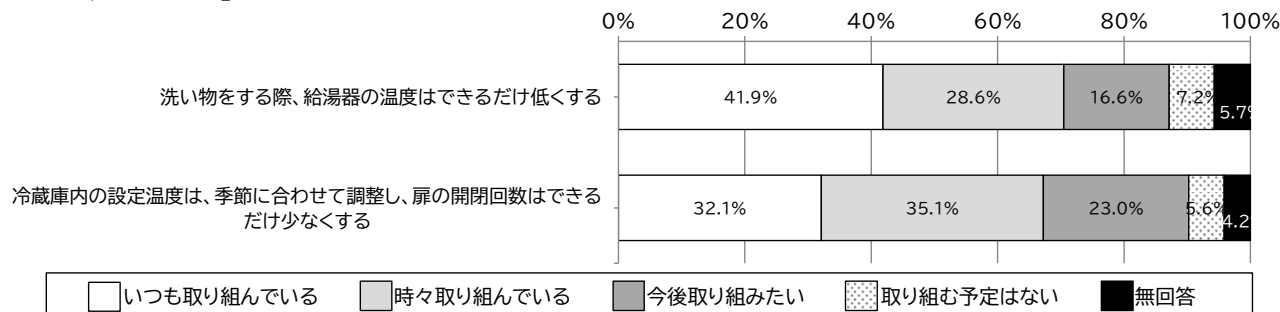
取り組む予定はない理由として、「費用がかかる」では、「建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する」が51.6%、「節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う」が41.4%となっています。



(5)住宅における建物、施設・設備に関する取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する	0	64	0	51	9	124
節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う	4	60	11	62	8	145
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅等)を選択する	0.0%	51.6%	0.0%	41.1%	7.3%	100.0%
節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う	2.8%	41.4%	7.6%	42.8%	5.5%	100.0%

(6)家庭におけるキッチンでの取り組み

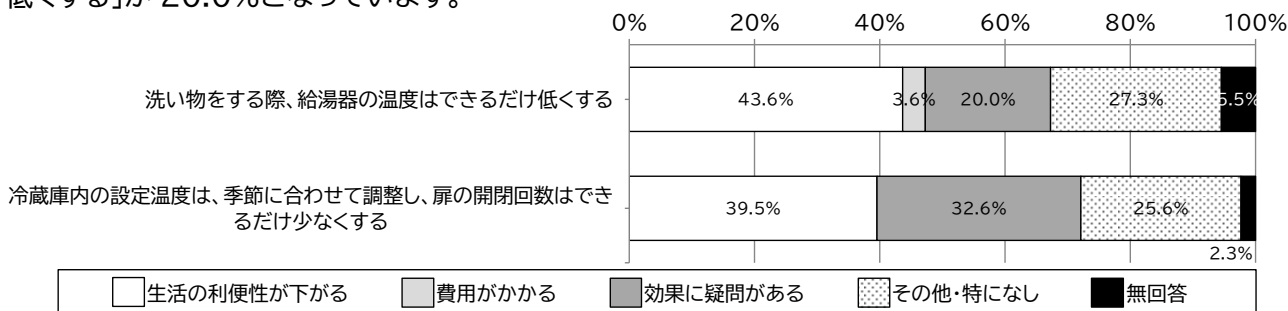
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする」が70.5%、「冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする」が67.2%となっています。



(6)家庭におけるキッチンでの取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする	322	220	128	55	44	769
冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする	247	270	177	43	32	769
構成比(%)						
洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする	41.9%	28.6%	16.6%	7.2%	5.7%	100.0%
冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする	32.1%	35.1%	23.0%	5.6%	4.2%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

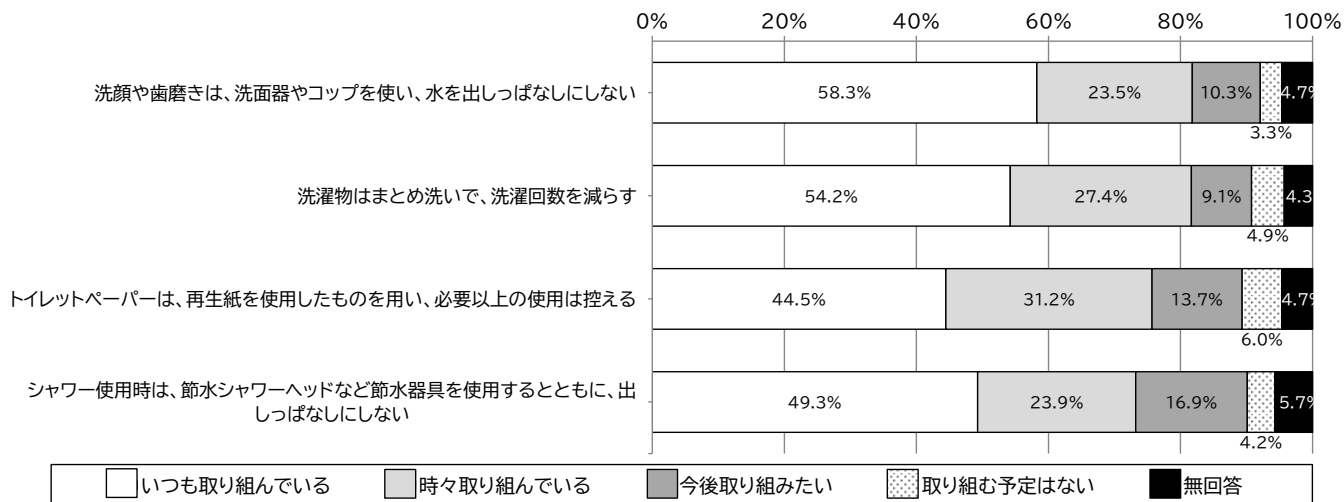
取り組む予定はない理由として、「生活の利便性が下がる」では、「洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする」が43.6%、「冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする」が39.5%となっており、「効果に疑問がある」では、「冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする」が32.6%、「洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする」が20.0%となっています。



(6)家庭におけるキッチンでの取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする	24	2	11	15	3	55
冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする	17	0	14	11	1	43
構成比(%)						
洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする	43.6%	3.6%	20.0%	27.3%	5.5%	100.0%
冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする	39.5%	0.0%	32.6%	25.6%	2.3%	100.0%

(7)家庭におけるお風呂やトイレなどでの取り組み

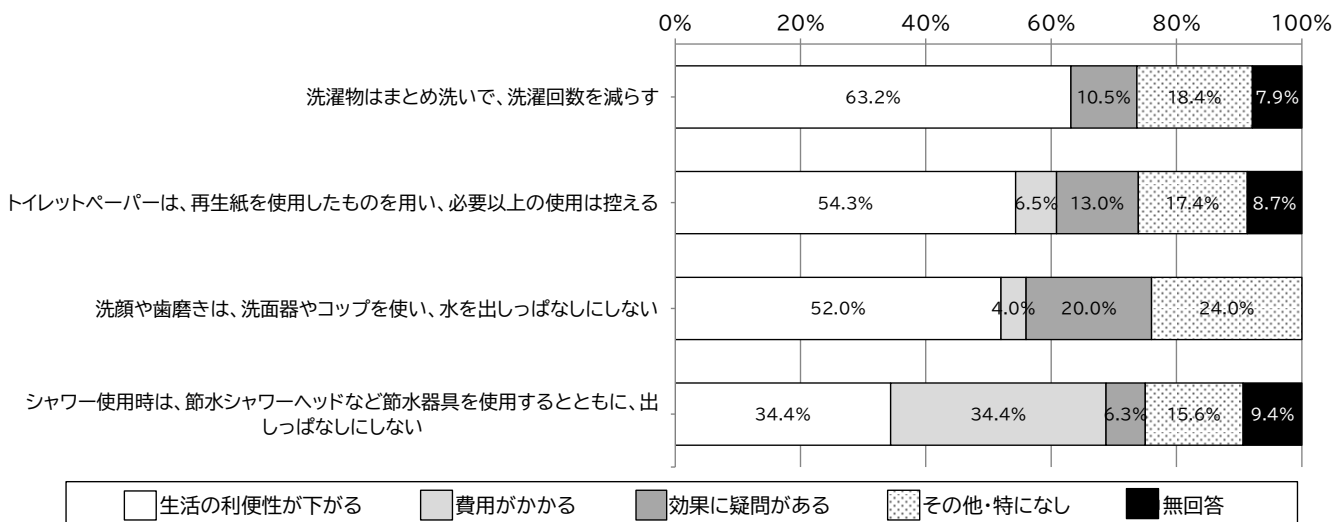
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた項目では、「洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない」が81.8%、「洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす」が81.6%となっています。



(7)家庭におけるお風呂やトイレなどでの取り組み	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない	448	181	79	25	36	769
洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす	417	211	70	38	33	769
トイレトーパーは、再生紙を使用したものを用い、必要以上の使用は控える	342	240	105	46	36	769
シャワー使用時は、節水シャワーヘッドなど節水器具を使用するとともに、出しっぱなしにしない	379	184	130	32	44	769
構成比(%)	いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	無回答	合計
洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない	58.3%	23.5%	10.3%	3.3%	4.7%	100.0%
洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす	54.2%	27.4%	9.1%	4.9%	4.3%	100.0%
トイレトーパーは、再生紙を使用したものを用い、必要以上の使用は控える	44.5%	31.2%	13.7%	6.0%	4.7%	100.0%
シャワー使用時は、節水シャワーヘッドなど節水器具を使用するとともに、出しっぱなしにしない	49.3%	23.9%	16.9%	4.2%	5.7%	100.0%

◇「取り組む予定はない」を選択した理由

取り組む予定はない理由として、「生活の利便性が下がる」では、「洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす」が63.2%、「トイレトーパーは、再生紙を使用したものを用い、必要以上の使用は控える」が54.3%、「洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない」が52.0%となっています。

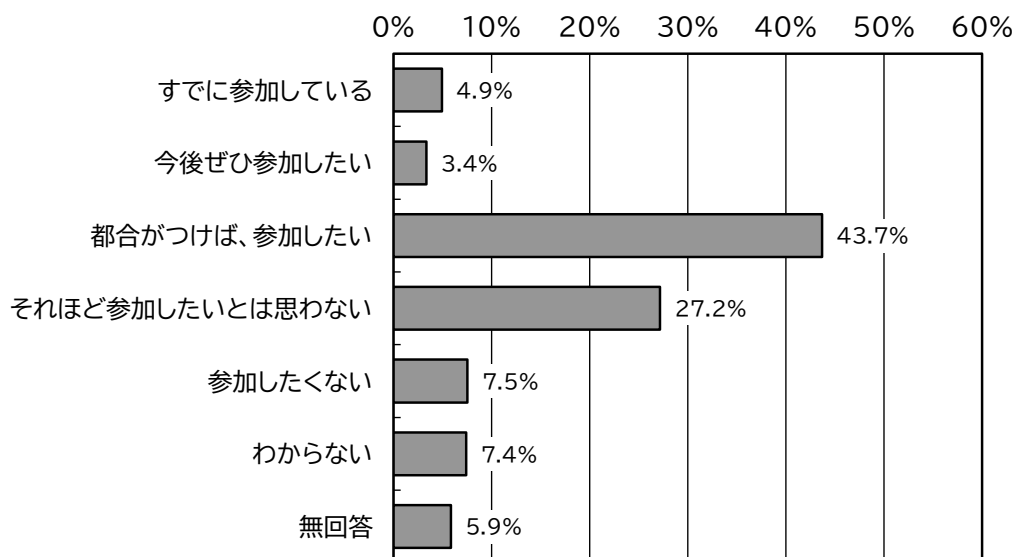


(7)家庭におけるお風呂やトイレなどでの取り組み	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす	24	0	4	7	3	38
トイレトーパーは、再生紙を使用したものを用い、必要以上の使用は控える	25	3	6	8	4	46
洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない	13	1	5	6	0	25
シャワー使用時は、節水シャワーヘッドなど節水器具を使用するとともに、出しっぱなしにしない	11	11	2	5	3	32
構成比(%)	生活の利便性が下がる	費用がかかる	効果に疑問がある	その他・特になし	無回答	合計
洗濯物はまとめて洗いで、洗濯回数を減らす	63.2%	0.0%	10.5%	18.4%	7.9%	100.0%
トイレトーパーは、再生紙を使用したものを用い、必要以上の使用は控える	54.3%	6.5%	13.0%	17.4%	8.7%	100.0%
洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない	52.0%	4.0%	20.0%	24.0%	0.0%	100.0%
シャワー使用時は、節水シャワーヘッドなど節水器具を使用するとともに、出しっぱなしにしない	34.4%	34.4%	6.3%	15.6%	9.4%	100.0%

7 環境活動への参加について

問16 あなたの環境に関する市民活動への参加について伺います。【あてはまるものを1つ選んでください。】

環境に関する市民活動への参加では、「都合がつけば、参加したい」が43.7%と最も多く、次いで「それほど参加したいとは思わない」が27.2%となっています。



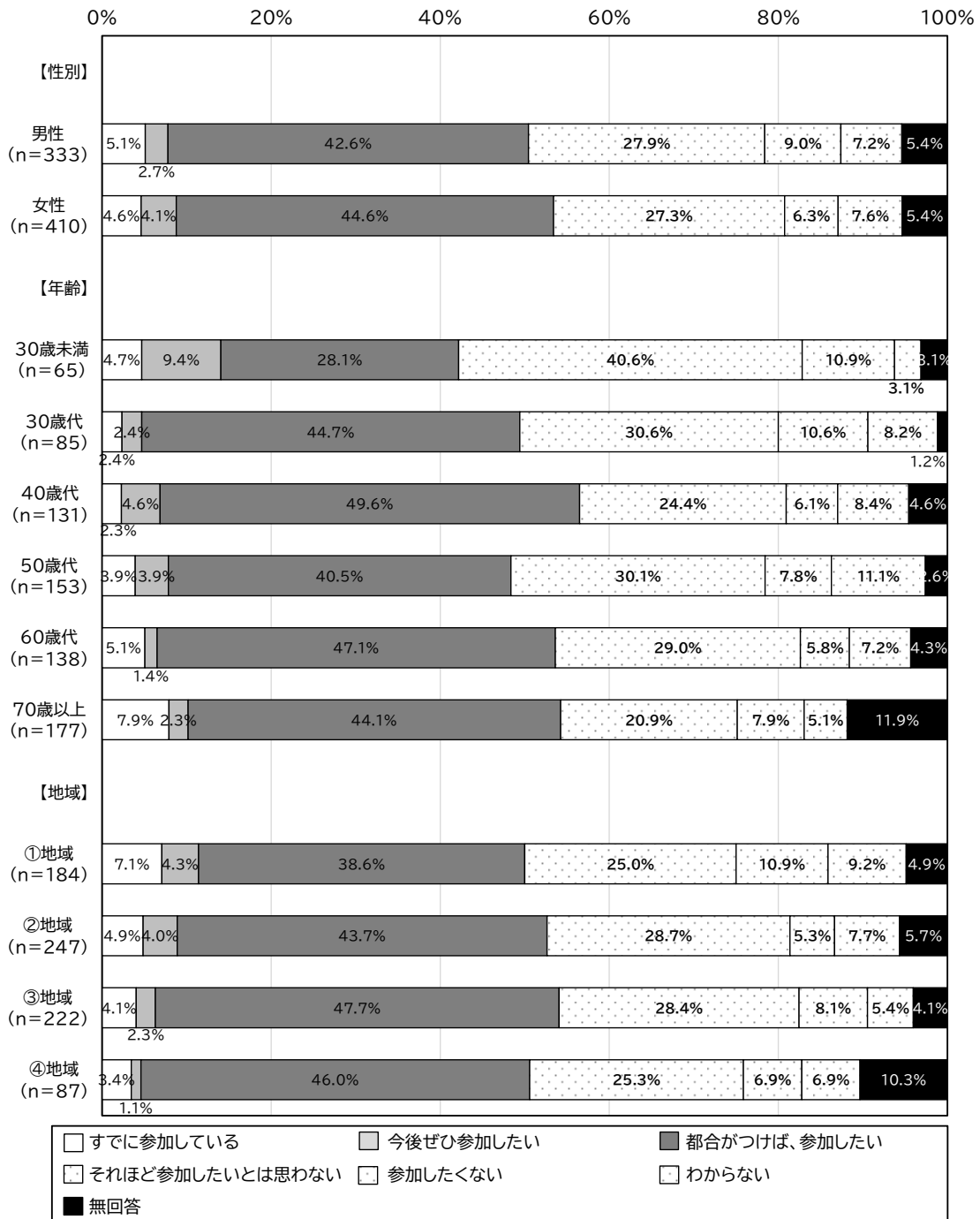
項目	度数	構成比
すでに参加している	38	4.9%
今後ぜひ参加したい	26	3.4%
都合がつけば、参加したい	336	43.7%
それほど参加したいとは思わない	209	27.2%
参加したくない	58	7.5%
わからない	57	7.4%
無回答	45	5.9%
合計	769	100.0%

【環境に関する市民活動への参加：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「今後ぜひ参加したい」、「都合がつけば、参加したい」を合わせた項目で、男性は45.3%、女性は48.7%となっています。

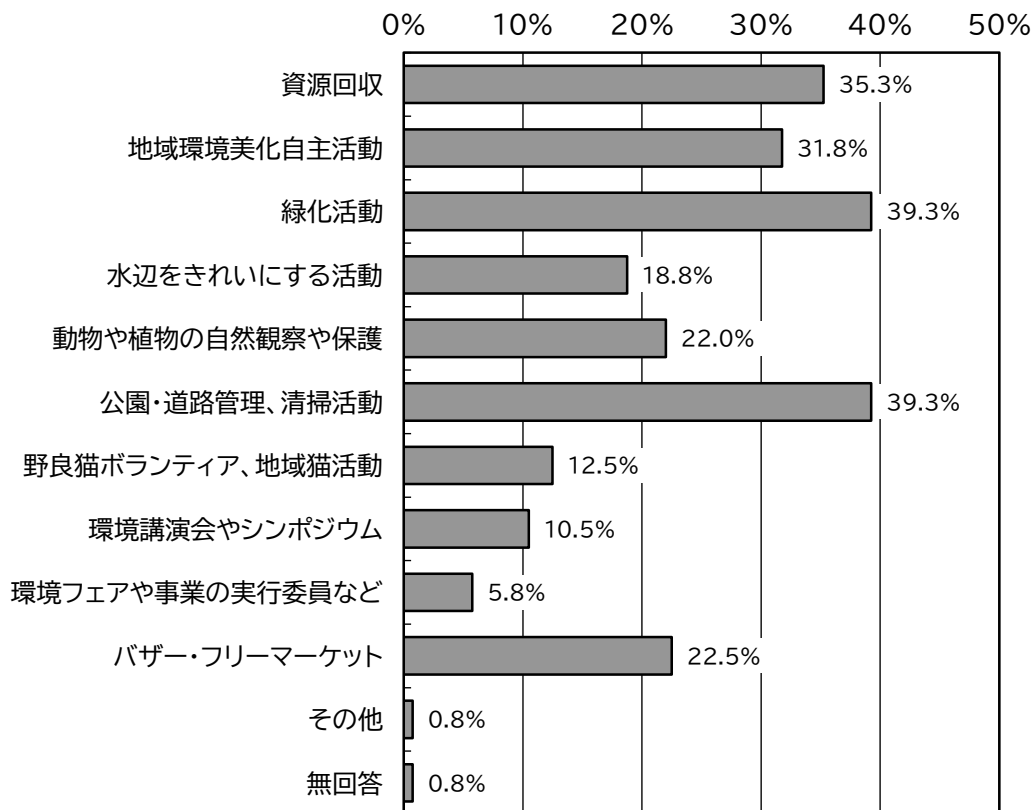
年代別で見ると、「今後ぜひ参加したい」、「都合がつけば、参加したい」を合わせた項目で、40歳代が54.2%、60歳代が48.5%、30歳代が47.1%、70歳以上が46.4%、50歳代が44.4%、30歳未満が37.5%、となっています。

地域別では、「今後ぜひ参加したい」、「都合がつけば、参加したい」を合わせた項目で、「③地域」が50.0%、「②地域」が47.7%、「④地域」が47.1%、「①地域」が42.9%となっています。



問16-① 問16で「1」～「3」と回答された方におたずねします。参加してみたい活動内容はどれですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

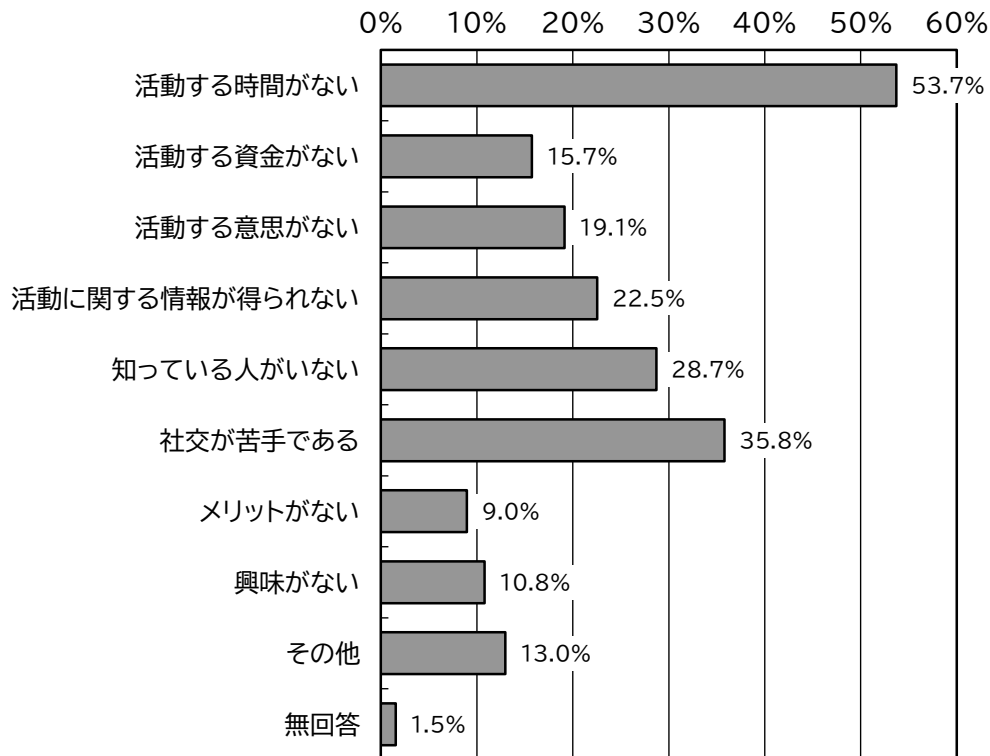
参加してみたい活動内容は、「緑化活動」と「公園・道路管理、清掃活動」が39.3%と最も多く、次いで「資源回収」が35.3%、「地域環境美化自主活動」が31.8%となっています。



項目	度数	構成比
資源回収	141	35.3%
地域環境美化自主活動	127	31.8%
緑化活動	157	39.3%
水辺をきれいにする活動	75	18.8%
動物や植物の自然観察や保護	88	22.0%
公園・道路管理、清掃活動	157	39.3%
野良猫ボランティア、地域猫活動	50	12.5%
環境講演会やシンポジウム	42	10.5%
環境フェアや事業の実行委員など	23	5.8%
バザー・フリーマーケット	90	22.5%
その他	3	0.8%
無回答	3	0.8%
回答者数	400	
非該当	369	
合計	769	

問16-② 問16で「4」～「6」と回答された方におたずねします。参加したくない理由はどのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

参加したくない理由は、「活動する時間がない」が53.7%と最も多く、次いで「社交が苦手である」が35.8%、「知っている人がいない」が28.7%、「活動に関する情報が得られない」が22.5%となっています。

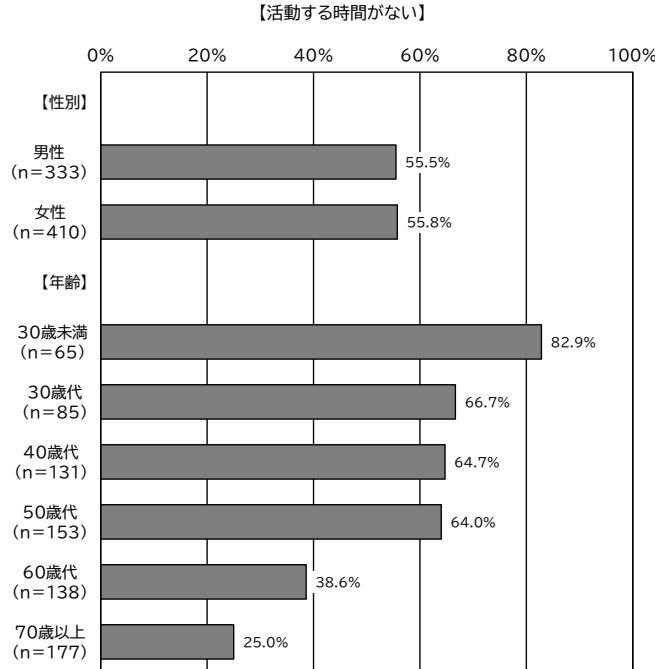


項目	度数	構成比
活動する時間がない	174	53.7%
活動する資金がない	51	15.7%
活動する意思がない	62	19.1%
活動に関する情報が得られない	73	22.5%
知っている人がいない	93	28.7%
社交が苦手である	116	35.8%
メリットがない	29	9.0%
興味がない	35	10.8%
その他	42	13.0%
無回答	5	1.5%
回答者数	324	
非該当	445	
合計	769	

【「活動する時間がない」を選択:男女別・年代別クロス表】

男女別では、大きな差はみられませんでした。

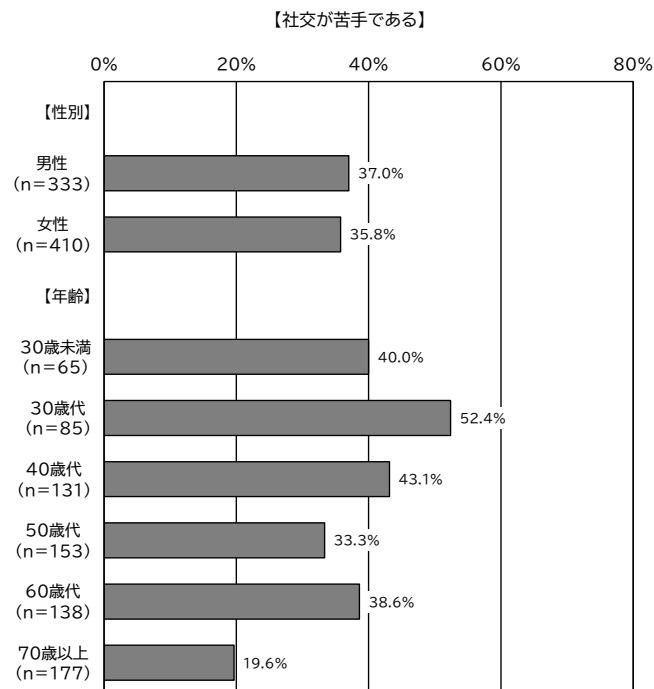
年代別で見ると、30歳未満が82.9%、30歳代が66.7%、40歳代が64.7%、50歳代が64.0%、60歳代が38.6%、70歳以上が25.0%となっています。



【「社交が苦手である」を選択:男女別・年代別クロス表】

男女別では、大きな差はみられませんでした。

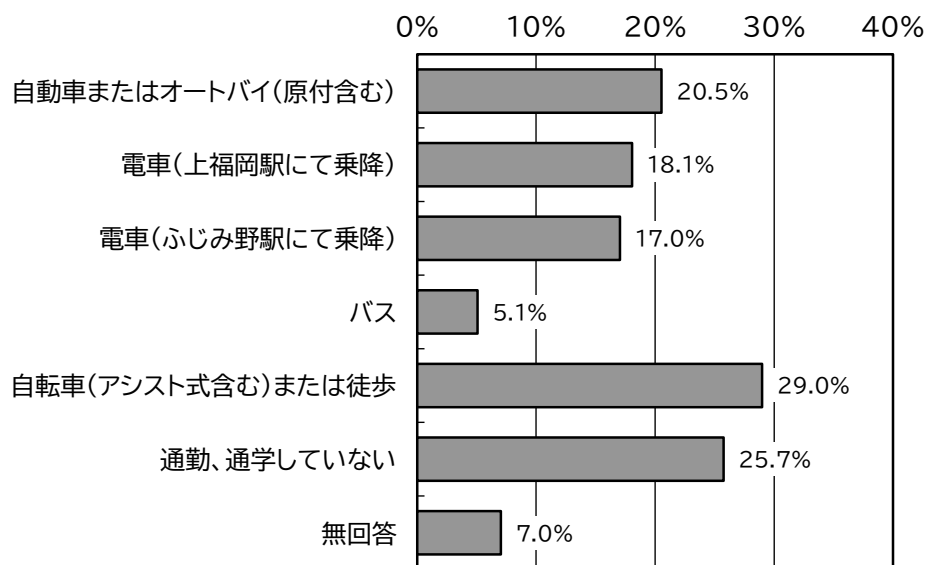
年代別で見ると、30歳代が52.4%、40歳代が43.1%、30歳未満が40.0%、60歳代が38.6%、50歳代が33.3%、70歳以上が19.6%となっています。



8 環境への配慮のための交通手段について

問17 あなたが通勤、通学の際に利用する交通手段は何ですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

通勤、通学の際に利用する交通手段では、「自転車(アシスト式含む)または徒歩」が 29.0%と最も多く、次いで「自動車またはオートバイ(原付含む)」が 20.5%、「電車(上福岡駅にて乗降)」が 18.1%となっています。

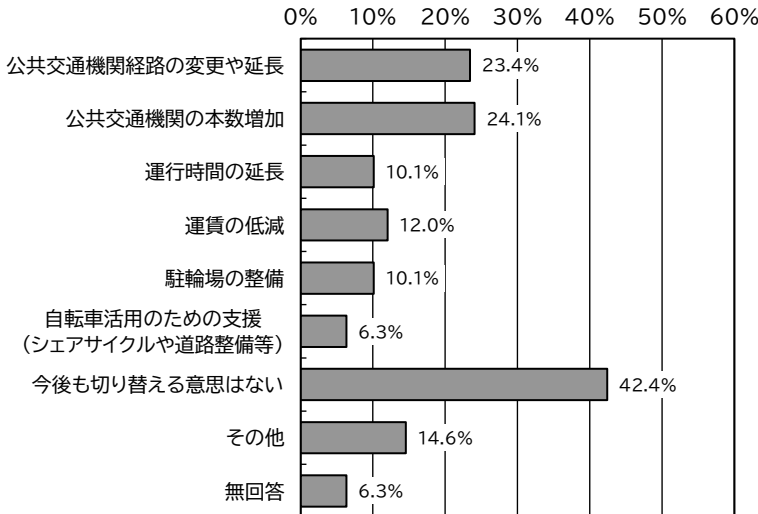


項目	度数	構成比
自動車またはオートバイ(原付含む)	158	20.5%
電車(上福岡駅にて乗降)	139	18.1%
電車(ふじみ野駅にて乗降)	131	17.0%
バス	39	5.1%
自転車(アシスト式含む)または徒歩	223	29.0%
通勤、通学していない	198	25.7%
無回答	54	7.0%
回答者数	769	

問17-① 問17で「1. 自動車またはオートバイ(原付含む)」と回答された方におたずねします。自動車やオートバイなどから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件としては、どのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

自動車やオートバイから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件では、「公共交通機関の本数増加」が24.1%と最も多く、次いで「公共交通機関経路の変更や延長」が23.4%となっています。

また、「今後も切り替える意思はない」が42.4%となっています。

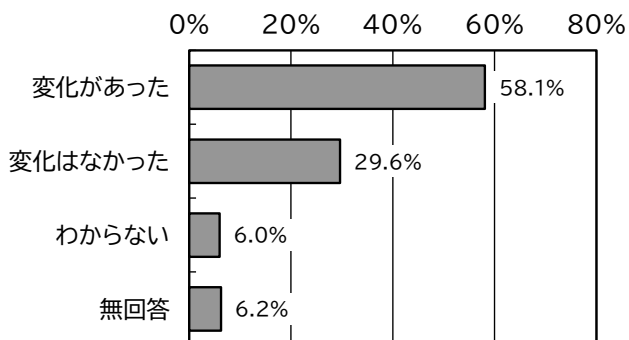


項目	度数	構成比
公共交通機関経路の変更や延長	37	23.4%
公共交通機関の本数増加	38	24.1%
運行時間の延長	16	10.1%
運賃の低減	19	12.0%
駐輪場の整備	16	10.1%
自転車活用のための支援 (シェアサイクルや道路整備等)	10	6.3%
今後も切り替える意思はない	67	42.4%
その他	23	14.6%
無回答	10	6.3%
回答者数	158	
非該当	611	
合計	769	

9 新型コロナウイルスについて

問18 新型コロナウイルス感染症の流行で、私たちの生活環境や、自然環境は大きく影響を受けました。新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、あなたの生活における環境問題への意識や行動に変化はありましたか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、生活における環境問題への意識や行動に変化はあったかでは、「変化があった」が58.1%、「変化はなかった」が29.6%となっています。



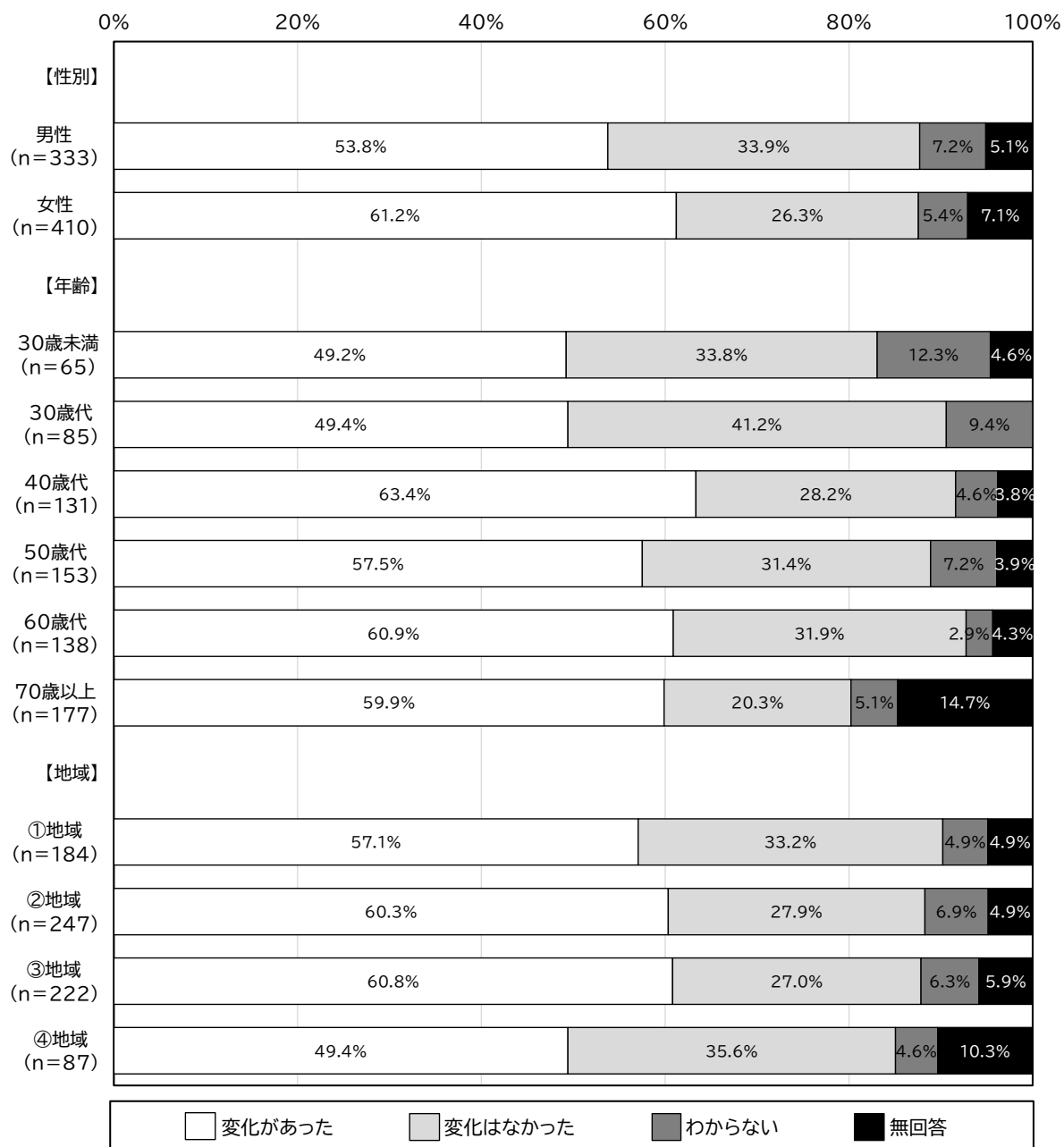
項目	度数	構成比
変化があった	447	58.1%
変化はなかった	228	29.6%
わからない	46	6.0%
無回答	48	6.2%
合計	769	100.0%

【新型コロナウイルスによる環境問題への意識や行動の変化について：男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「変化があった」という回答が、男性は 53.8%、女性は 61.2%となっています。

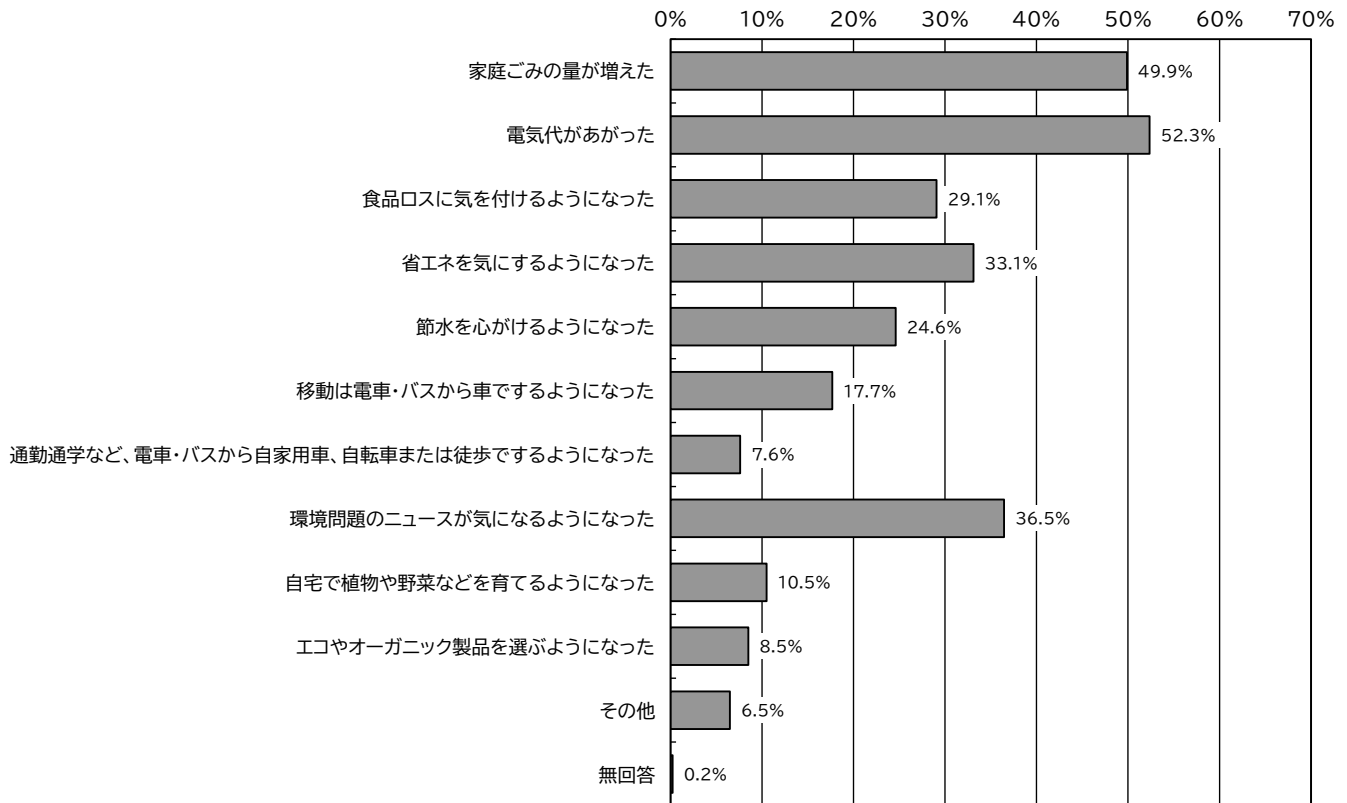
年代別で見ると、「変化があった」という回答は、40 歳代が 63.4%、60 歳代が 60.9%、70 歳以上が 59.9%、50 歳代が 57.5%、30 歳代が 49.4%、30 歳未満が 49.2%となっています。

地域別では、「変化があった」という回答が、「③地域」は 60.8%、「②地域」は 60.3%、「①地域」は 57.1%、「④地域」は 49.4%となっています。



問18-① 問18で「1. 変化があった」と回答された方におたずねします。変化があったのは以下のうちどのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、生活における環境問題への意識や行動の変化では、「電気代があがった」が52.3%と最も多く、次いで「家庭ごみの量が増えた」が49.9%、「環境問題のニュースが気になるようになった」が36.5%、「省エネを気にするようになった」が33.1%となっています。

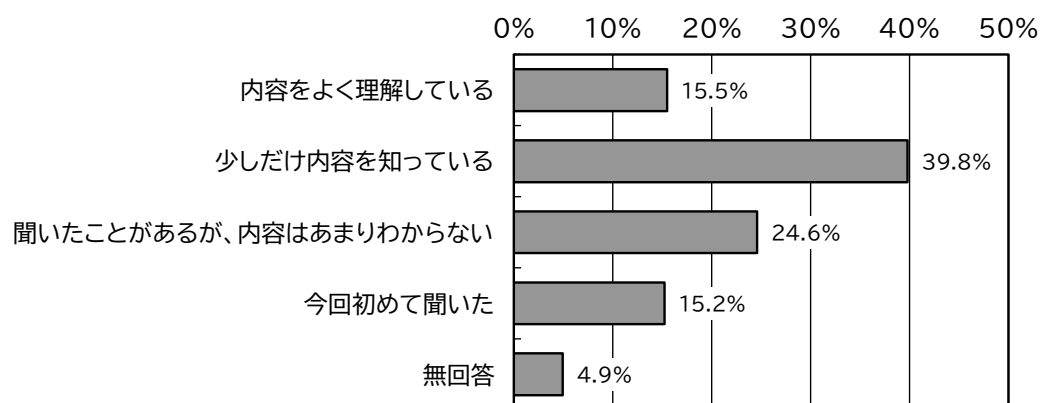


項目	度数	構成比
家庭ごみの量が増えた	223	49.9%
電気代があがった	234	52.3%
食品ロスに気を付けるようになった	130	29.1%
省エネを気にするようになった	148	33.1%
節水を心がけるようになった	110	24.6%
移動は電車・バスから車でするようになった	79	17.7%
通勤通学など、電車・バスから自家用車、自転車または徒歩でするようになった	34	7.6%
環境問題のニュースが気になるようになった	163	36.5%
自宅で植物や野菜などを育てるようになった	47	10.5%
エコやオーガニック製品を選ぶようになった	38	8.5%
その他	29	6.5%
無回答	1	0.2%
回答者数	447	
非該当	322	
合計	769	

10 SDGs(持続可能な開発目標)について

問19 あなたは「SDGs(持続可能な開発目標)」を知っていますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

SDGs(持続可能な開発目標)を知っているかでは、「少しだけ内容を知っている」が39.8%、「内容をよく理解している」が15.5%となっており、5割以上の方が知っていると回答しています。



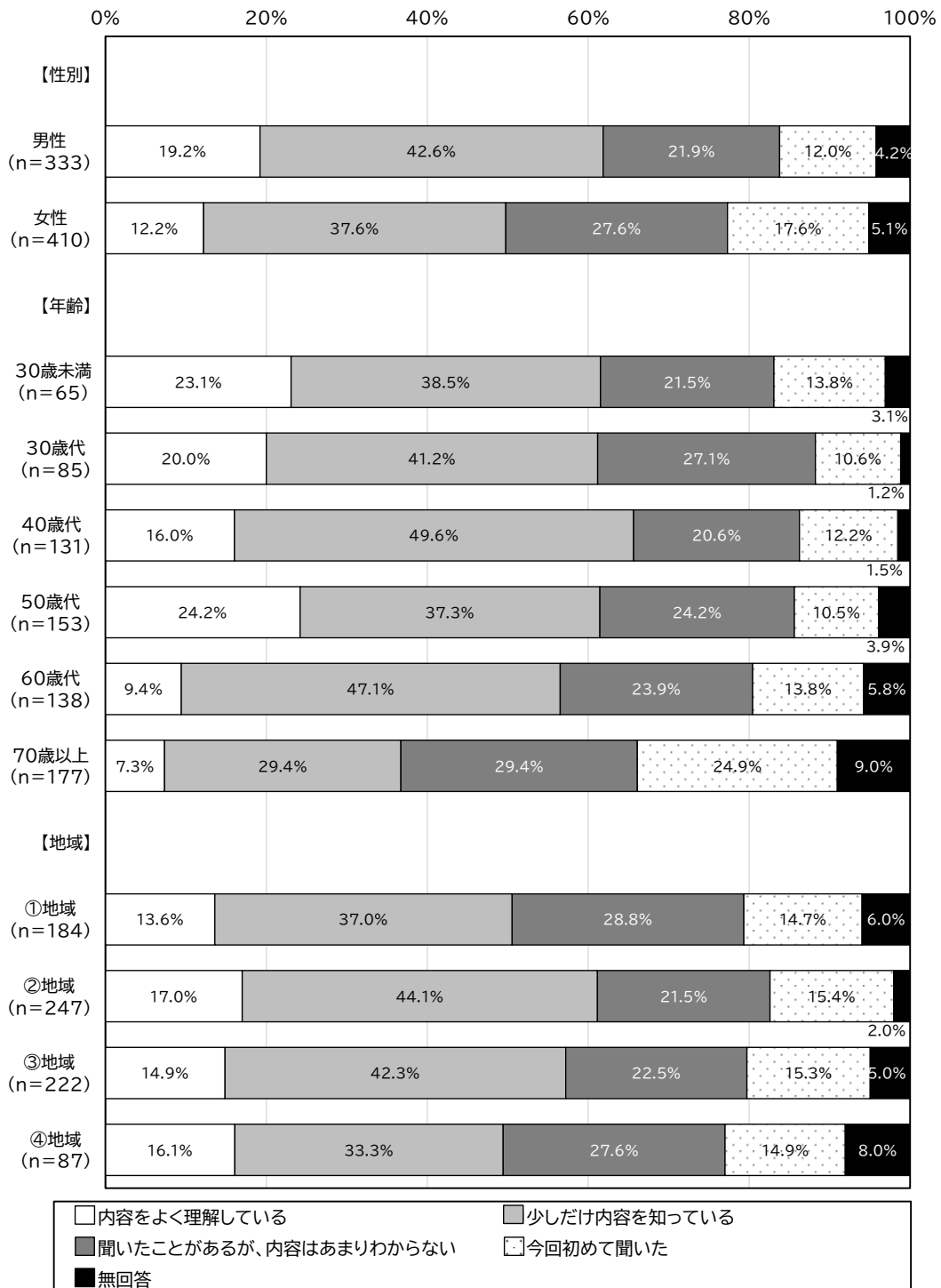
項目	度数	構成比
内容をよく理解している	119	15.5%
少しだけ内容を知っている	306	39.8%
聞いたことがあるが、内容はあまりわからない	189	24.6%
今回初めて聞いた	117	15.2%
無回答	38	4.9%
合計	769	100.0%

【SDGs(持続可能な開発目標)を知っているかについて:男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「内容をよく理解している」、「少しだけ内容を知っている」を合わせた項目で、男性が61.8%、女性が49.8%と、男性がやや多くなっています。

年代別で見ると、「内容をよく理解している」、「少しだけ内容を知っている」を合わせた項目で、40歳代が65.6%、30歳未満が61.6%、50歳代が61.5%、30歳代が61.2%、60歳代が56.5%、70歳以上が36.7%となっています。

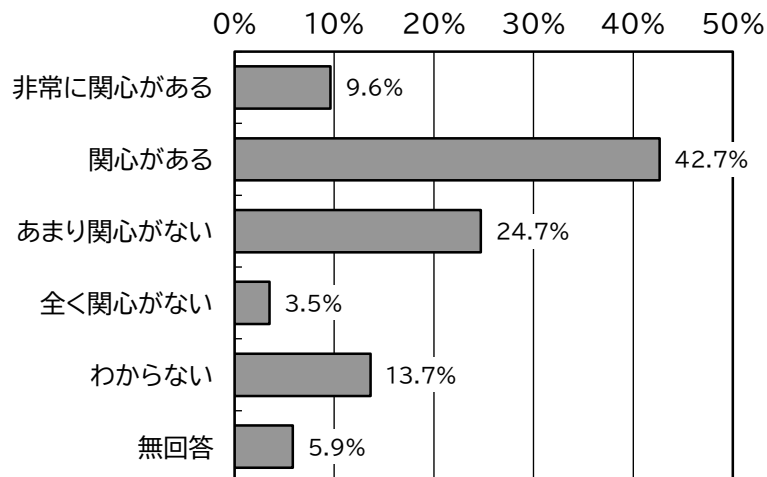
地域別では、「内容をよく理解している」、「少しだけ内容を知っている」を合わせた項目で、「②地域」が61.1%、「③地域」が57.2%、「①地域」が50.6%、「④地域」が49.4%となっています。



問 20 あなたは「SDGs(持続可能な開発目標)」についてどの程度関心がありますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

SDGs(持続可能な開発目標)にどの程度関心があるかでは、「関心がある」が42.7%、「非常に関心がある」が9.6%となっており、半数以上の方が関心があると回答しています。

また、「あまり関心がない」、「全く関心がない」を合わせると28.2%となっています。



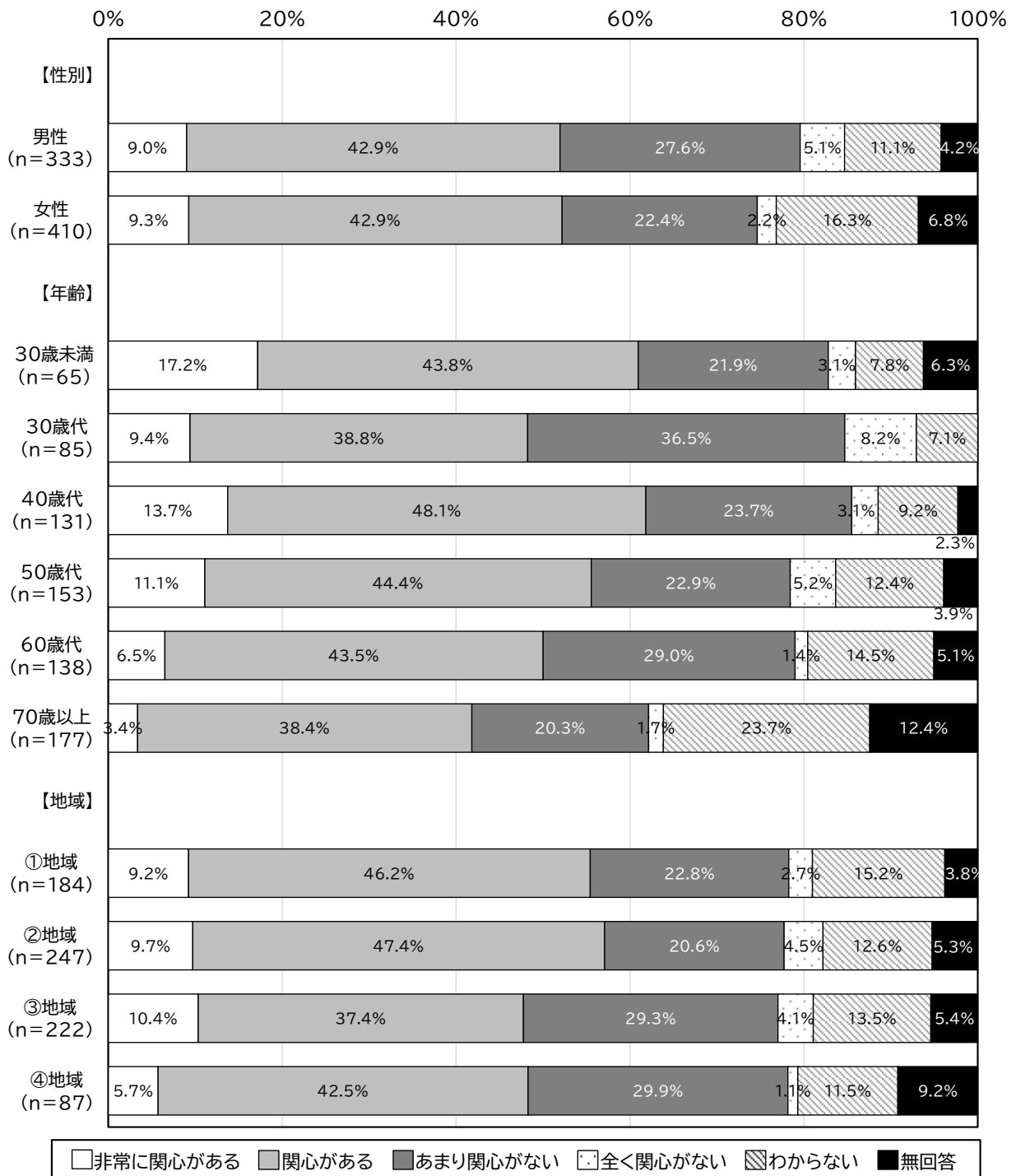
項目	度数	構成比
非常に関心がある	74	9.6%
関心がある	328	42.7%
あまり関心がない	190	24.7%
全く関心がない	27	3.5%
わからない	105	13.7%
無回答	45	5.9%
合計	769	100.0%

【SDGs(持続可能な開発目標)にどの程度関心があるかについて:男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「非常に関心がある」、「関心がある」を合わせた項目で、男性は51.9%、女性は52.2%となっています。

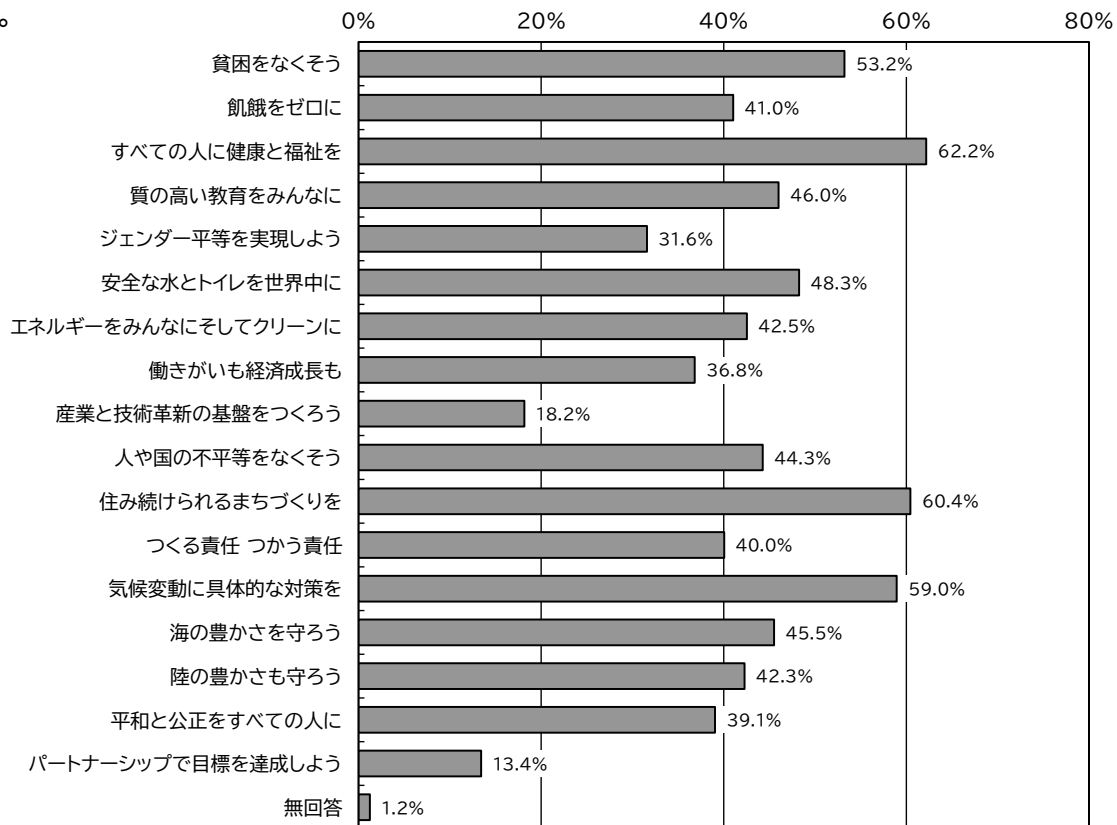
年代別で見ると、「非常に関心がある」、「関心がある」を合わせた項目で、40歳代が61.8%、30歳未満が61.0%、50歳代が55.5%、60歳代が50.0%、30歳代が48.2%、70歳以上が41.8%となっています。

地域別では、「非常に関心がある」、「関心がある」を合わせた項目で、「②地域」が57.1%、「①地域」が55.4%、「④地域」が48.2%、「③地域」が47.8%となっています。



問 20-① 問 20 で「1. 非常に興味がある」、「2. 興味がある」と回答された方におたずねします。SDGsは17のゴール(目標)があり、ゴールごとにターゲットがあります。以下の中から興味のあるものはどれですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

SDGs(持続可能な開発目標)の興味があるゴールは、「すべての人に健康と福祉を」が62.2%と最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」が60.4%、「気候変動に具体的な対策を」が59.0%となっています。

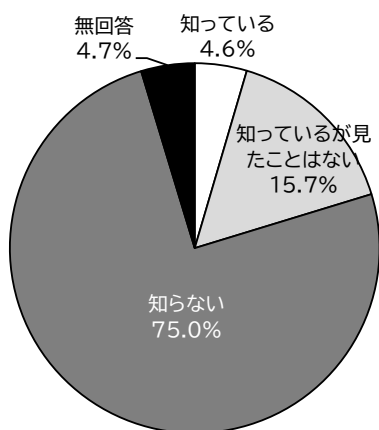


項目	度数	構成比
貧困をなくそう	214	53.2%
飢餓をゼロに	165	41.0%
すべての人に健康と福祉を	250	62.2%
質の高い教育をみんなに	185	46.0%
ジェンダー平等を実現しよう	127	31.6%
安全な水とトイレを世界中に	194	48.3%
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	171	42.5%
働きがいも経済成長も	148	36.8%
産業と技術革新の基盤をつくろう	73	18.2%
人や国の不平等をなくそう	178	44.3%
住み続けられるまちづくりを	243	60.4%
つくる責任 つかう責任	161	40.0%
気候変動に具体的な対策を	237	59.0%
海の豊かさを守ろう	183	45.5%
陸の豊かさも守ろう	170	42.3%
平和と公正をすべての人に	157	39.1%
パートナーシップで目標を達成しよう	54	13.4%
無回答	5	1.2%
回答者数	402	
非該当	367	
合計	769	

11 ふじみ野市環境基本計画について

問21 ふじみ野市では、平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画(前期行動計画)を策定していますが知っていますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画(前期行動計画)を策定していることを知っているかでは、「知らない」が75.0%、「知っている」が4.6%、「知っているが見たことはない」が15.7%となっています。



項目	度数	構成比
知っている	35	4.6%
知っているが見たことはない	121	15.7%
知らない	577	75.0%
無回答	36	4.7%
合計	769	100.0%

【第2期ふじみ野市環境基本計画(前期行動計画)を策定していることを知っているかについて

:男女別・年代別・地域別クロス表】

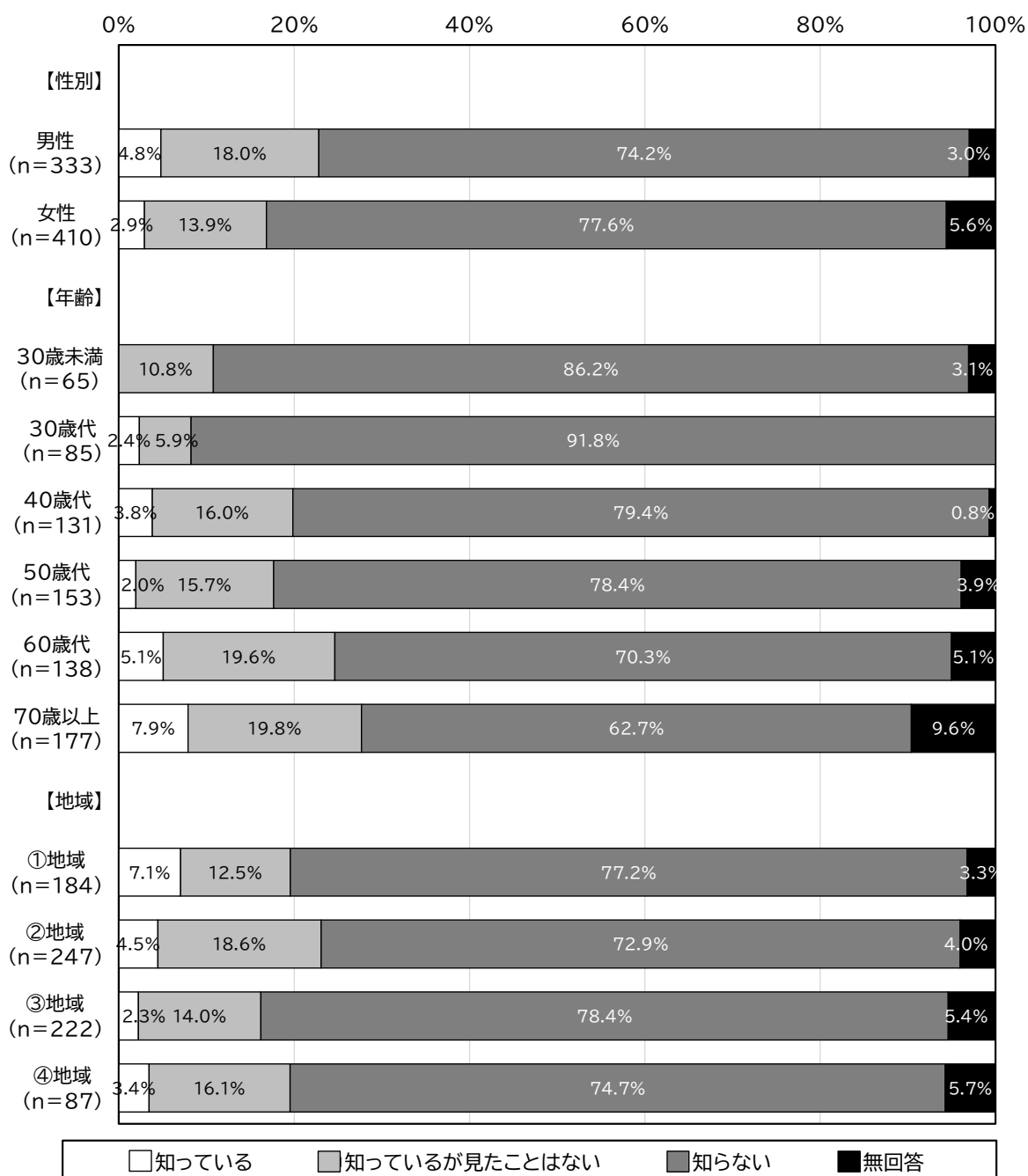
男女別では、「知っている」、「知っているが見たことはない」を合わせた項目で、男性が22.8%、女性が16.8%となっています。

また、男女ともに7割以上が「知らない」と回答しています。

年代別で見ると、「知っている」、「知っているが見たことはない」を合わせた項目で、70歳以上は27.7%、60歳代は24.7%、40歳代は19.8%、50歳代は17.7%、30歳未満は10.8%、30歳代は8.3%となっています。

また、30歳未満、30歳代は約9割が「知らない」と回答しています。

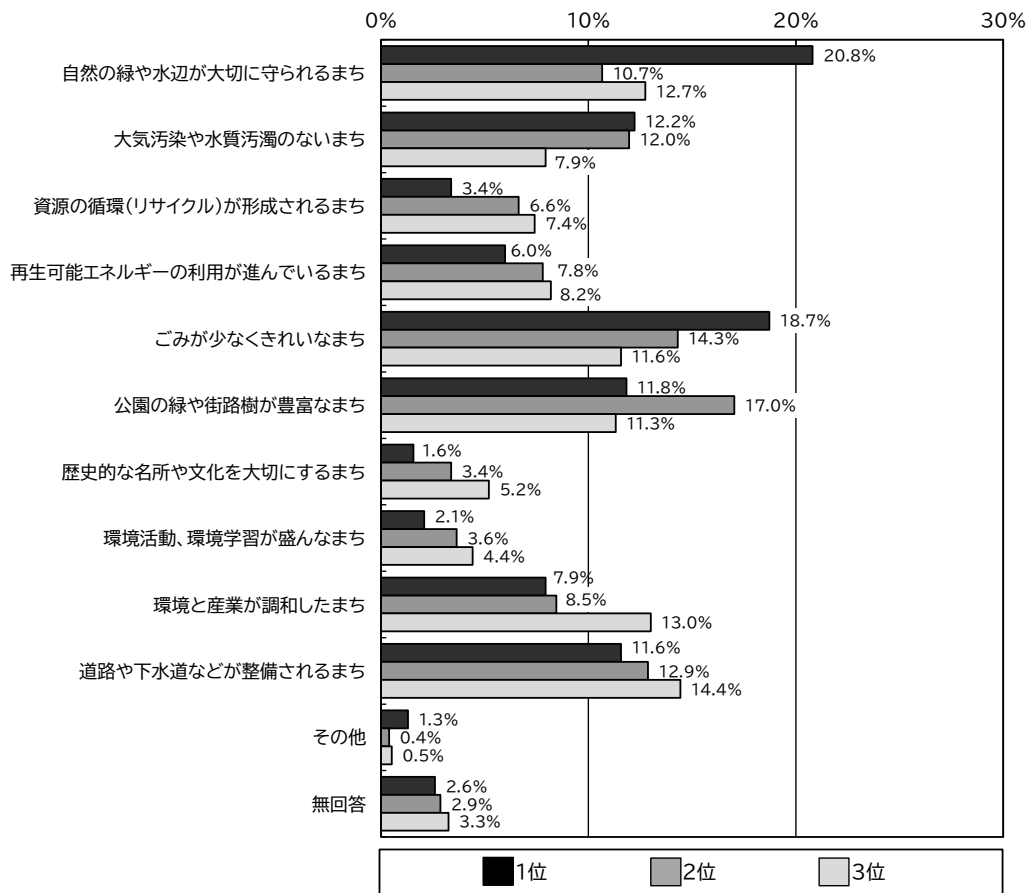
地域別では、各地域で7割以上が「知らない」と回答しています。



12 ふじみ野市の環境像について

問22 あなたは、将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいと思いますか。次の1～11の中から重要度が高いと考えるものを第1位から第3位まで番号をご記入ください。

将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいかで、「1位」に選択したのは「自然の緑や水辺が大切に守られるまち」が20.8%と最も多く、「2位」に選択したのは「公園の緑や街路樹が豊富なまち」が17.0%と最も多く、「3位」に選択したのは「道路や下水道などが整備されるまち」が14.4%と最も多くなっています。



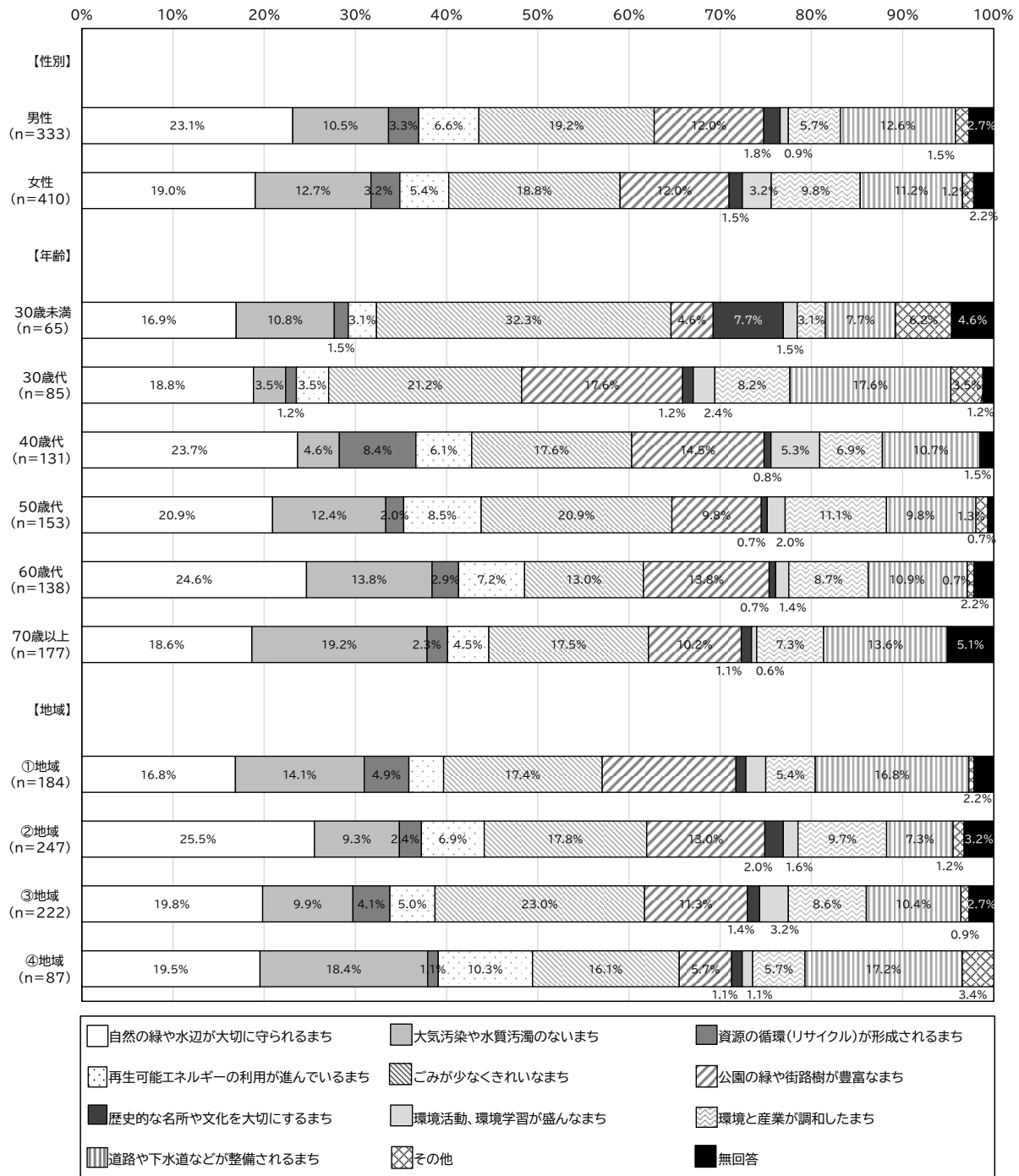
項目	1位		2位		3位	
	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比
自然の緑や水辺が大切に守られるまち	160	20.8%	82	10.7%	98	12.7%
大気汚染や水質汚濁のないまち	94	12.2%	92	12.0%	61	7.9%
資源の循環(リサイクル)が形成されるまち	26	3.4%	51	6.6%	57	7.4%
再生可能エネルギーの利用が進んでいるまち	46	6.0%	60	7.8%	63	8.2%
ごみが少なくきれいなまち	144	18.7%	110	14.3%	89	11.6%
公園の緑や街路樹が豊富なまち	91	11.8%	131	17.0%	87	11.3%
歴史的な名所や文化を大切にすまち	12	1.6%	26	3.4%	40	5.2%
環境活動、環境学習が盛んなまち	16	2.1%	28	3.6%	34	4.4%
環境と産業が調和したまち	61	7.9%	65	8.5%	100	13.0%
道路や下水道などが整備されるまち	89	11.6%	99	12.9%	111	14.4%
その他	10	1.3%	3	0.4%	4	0.5%
無回答	20	2.6%	22	2.9%	25	3.3%
回答者数	769	100.0%	769	100.0%	769	100.0%

【「1位」の選択について:男女別・年代別・地域別クロス表】

男女別では、「自然の緑や水辺が大切に守られるまち」を選択したのは、男性 23.1%、女性 19.0%となっています。

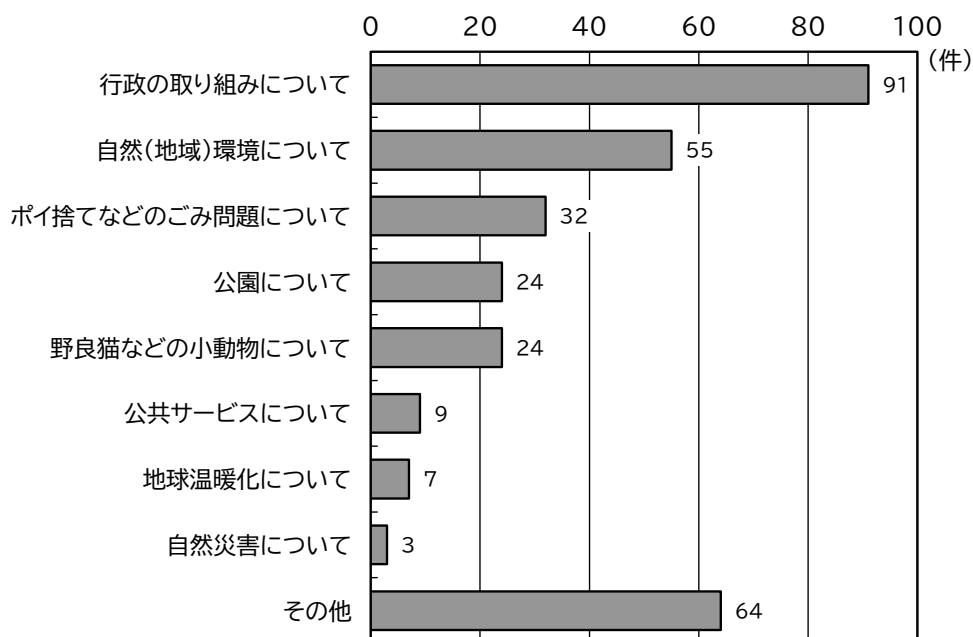
年代別では、「自然の緑や水辺が大切に守られるまち」を選択したのは、60歳代が 24.6%、40歳代が 23.7%、50歳代が 20.9%、30歳代が 18.8%、70歳以上が 18.6%、30歳未満が 16.9%となっています。

地域別では、「自然の緑や水辺が大切に守られるまち」を選択したのは、「②地域」が 25.5%、「③地域」が 19.8%、「④地域」が 19.5%、「①地域」が 16.8%となっています。



【自由回答】

全 226 件のご意見があり、「行政の取り組みについて」に関するご意見が 91 件と最も多く、次いで「自然(地域)環境について」に関するご意見が 55 件、「ポイ捨てなどのごみ問題について」に関するご意見が 32 件、「公園について」、「野良猫などの小動物について」に関するご意見が 24 件、「公共サービスについて」に関するご意見が 9 件、「地球温暖化について」に関するご意見が 7 件、「自然災害について」に関するご意見が 3 件、「その他」のご意見が 64 件となっています。



カテゴリ	項目	度数
1	行政の取り組みについて	91
2	自然(地域)環境について	55
3	ポイ捨てなどのごみ問題について	32
4	公園について	24
5	野良猫などの小動物について	24
6	公共サービスについて	9
7	地球温暖化について	7
8	自然災害について	3
9	その他	64
	合計	309

※複数のカテゴリにわたるご意見をそれぞれカウントしているため、ご意見数と合計数は必ずしも一致しません。

■ 小·中学生

1 属性

問1 学校名を書いてください。

「小学生」が 67.4%、「中学生」が 32.6%となっています。

項目	度数	構成比
小学生	386	67.4%
中学生	187	32.6%
合計	573	100.0%

小学生		
学校名	度数	構成比
大井小学校	36	9.3%
福岡小学校	37	9.6%
駒西小学校	28	7.3%
上野台小学校	29	7.5%
鶴ヶ丘小学校	31	8.0%
西小学校	28	7.3%
東原小学校	29	7.5%
西原小学校	37	9.6%
元福小学校	21	5.4%
亀久保小学校	26	6.7%
三角小学校	25	6.5%
さぎの森小学校	35	9.1%
東台小学校	24	6.2%
合計	386	100.0%

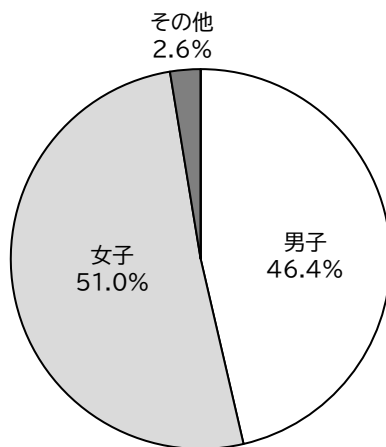
中学生		
学校名	度数	構成比
大井中学校	32	17.1%
福岡中学校	33	17.6%
葦原中学校	25	13.4%
花の木中学校	33	17.6%
大井西中学校	28	15.0%
大井東中学校	36	19.3%
合計	187	100.0%

問2 あなたの性別を教えてください。(自分が思っているものに1つだけ○をつけてください。)

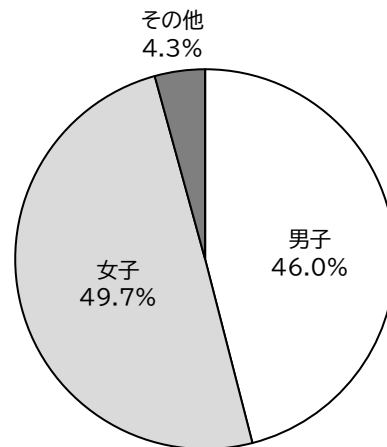
小学生では、「男子」が 46.4%、「女子」が 51.0%、「その他」が 2.6%となっています。

中学生では、「男子」が 46.0%、「女子」が 49.7%、「その他」が 4.3%となっています。

小学生		
項目	度数	構成比
男子	179	46.4%
女子	197	51.0%
その他	10	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	386	100.0%

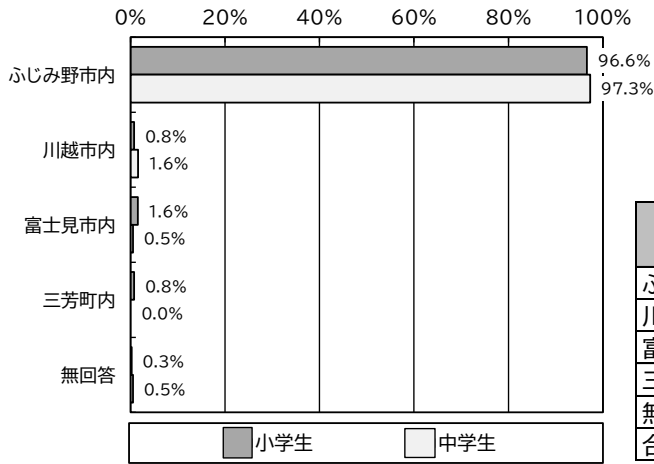


中学生		
項目	度数	構成比
男子	86	46.0%
女子	93	49.7%
その他	8	4.3%
無回答	0	0.0%
合計	187	100.0%



問3 あなたはどこに住んでいますか。あてはまる市名(町名)に○をつけてください。

小学生、中学生ともに「ふじみ野市内」だけでなく、小学生は、「川越市内」が 0.8%、「富士見市内」が 1.6%、「三芳町内」が 0.8%となっており、中学生は、「川越市内」が 1.6%、「富士見市内」が 0.5%となっています。

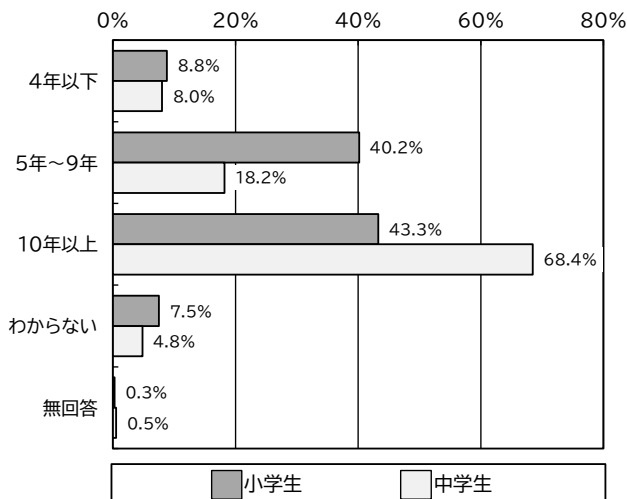


項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
ふじみ野市内	373	96.6%	182	97.3%
川越市内	3	0.8%	3	1.6%
富士見市内	6	1.6%	1	0.5%
三芳町内	3	0.8%	0	0.0%
無回答	1	0.3%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

※教育事務受託により川越市、富士見市、三芳町の一部地域の児童と生徒がふじみ野市立小・中学校に通学しています。

問4 あなたは今の場所に住んで何年になりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「10年以上」が最も多く、小学生が 43.3%、中学生が 68.4%となっています。



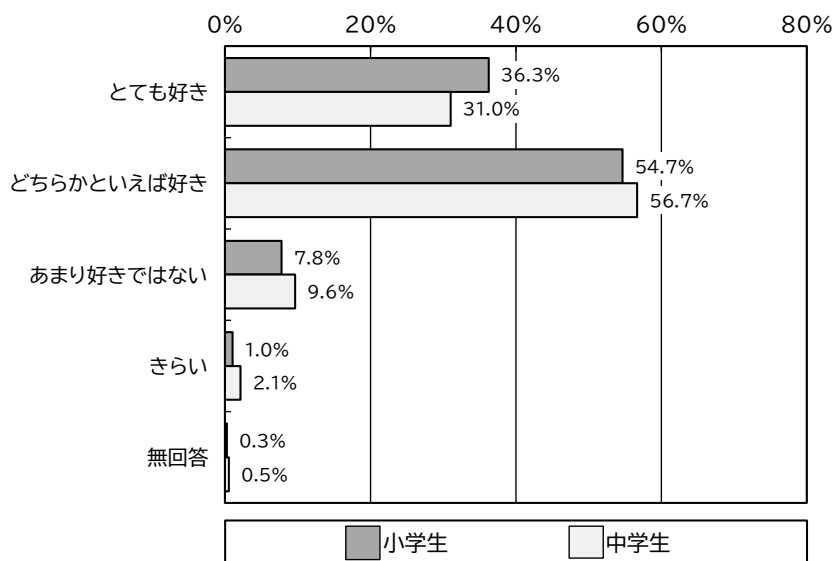
項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
4年以下	34	8.8%	15	8.0%
5年~9年	155	40.2%	34	18.2%
10年以上	167	43.3%	128	68.4%
わからない	29	7.5%	9	4.8%
無回答	1	0.3%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

2 身近な環境について

問5 あなたは、身近な環境(自然や空気、水辺、風景など)が好きですか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

身近な環境について好きかでは、「どちらかといえば好き」が、小学生は54.7%、中学生は56.7%と最も多く、「とても好き」と合わせると小学生、中学生ともに8割以上が好きと回答しています。

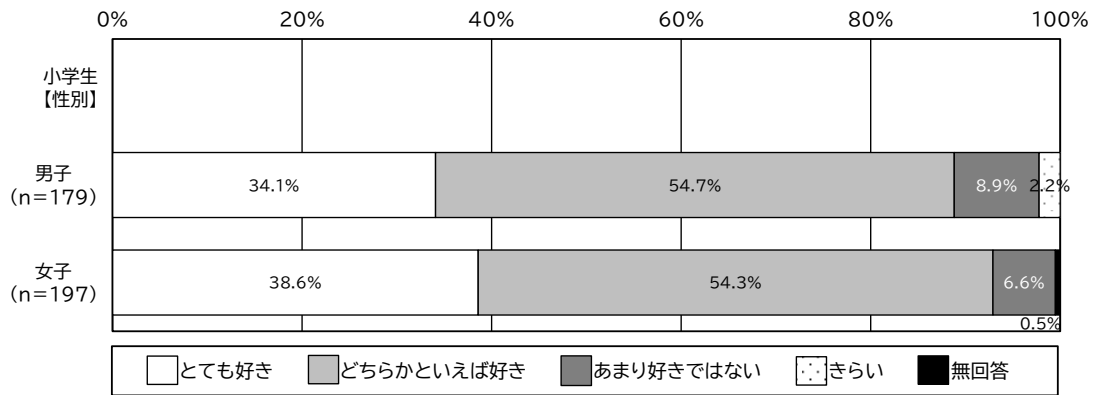
また、「あまり好きではない」、「きらい」を合わせると、小学生は8.8%、中学生は11.7%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
とても好き	140	36.3%	58	31.0%
どちらかといえば好き	211	54.7%	106	56.7%
あまり好きではない	30	7.8%	18	9.6%
きらい	4	1.0%	4	2.1%
無回答	1	0.3%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

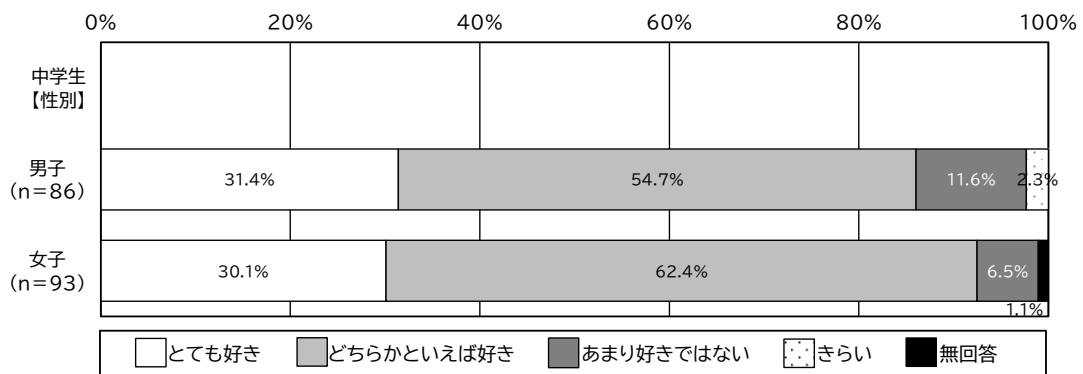
【身近な環境について:小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「とても好き」、「どちらかといえば好き」を合わせた項目で、男子は 88.8%、女子は 92.9%となっています。



【身近な環境について:中学生男女別クロス表】

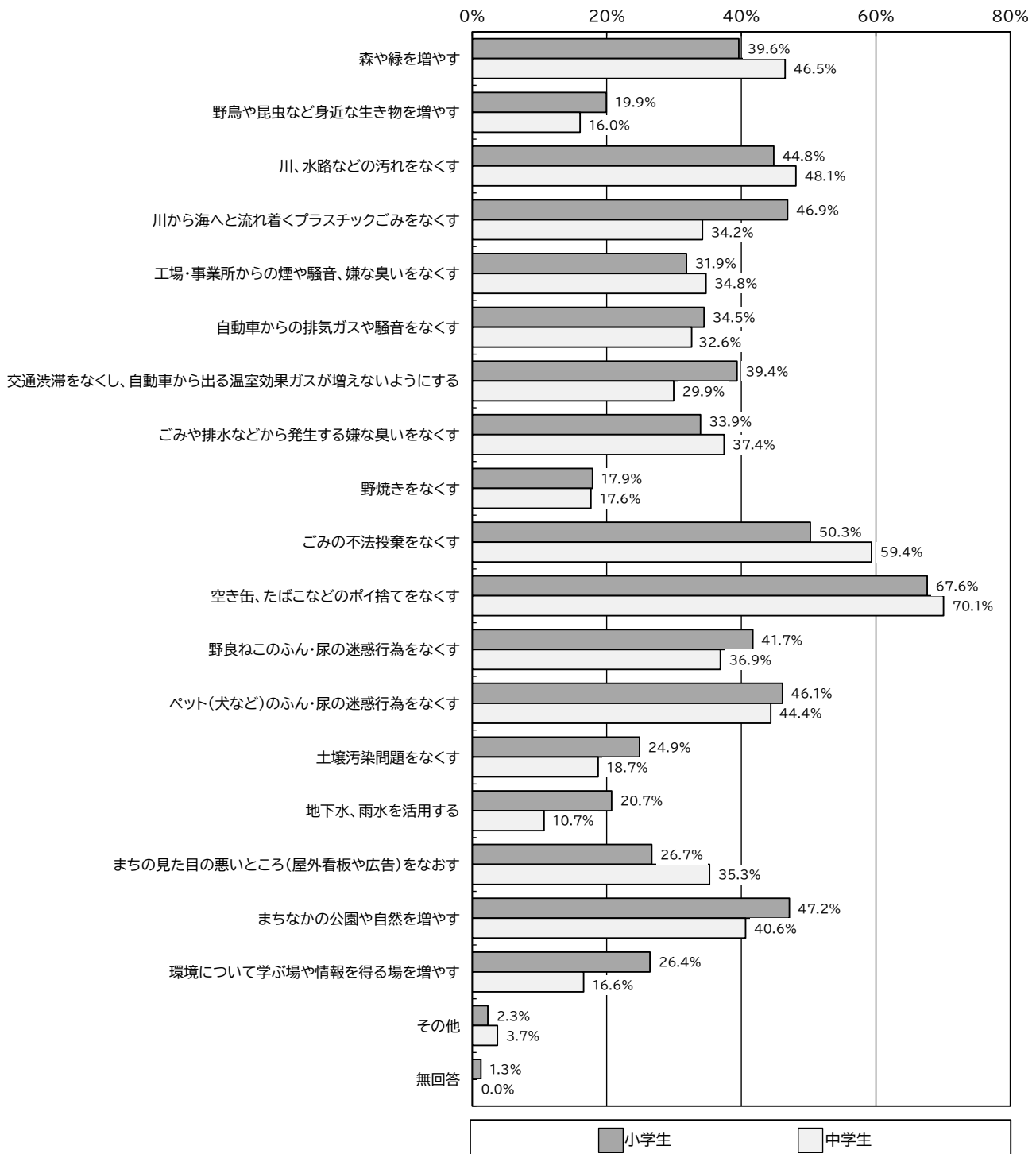
中学生の男女別では、「とても好き」、「どちらかといえば好き」を合わせた項目で、男子は 86.1%、女子は 92.5%となっています。



問6 あなたが住んでいる地域の環境について、進めるべき環境の取り組みは、どのようなものが考えられますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

地域の環境について、進めるべき環境の取り組みは、小学生は、「空き缶、たばこなどのポイ捨てをなくす」が67.6%と最も多く、次いで「ごみの不法投棄をなくす」が50.3%、「まちなかの公園や自然を増やす」が47.2%となっています。

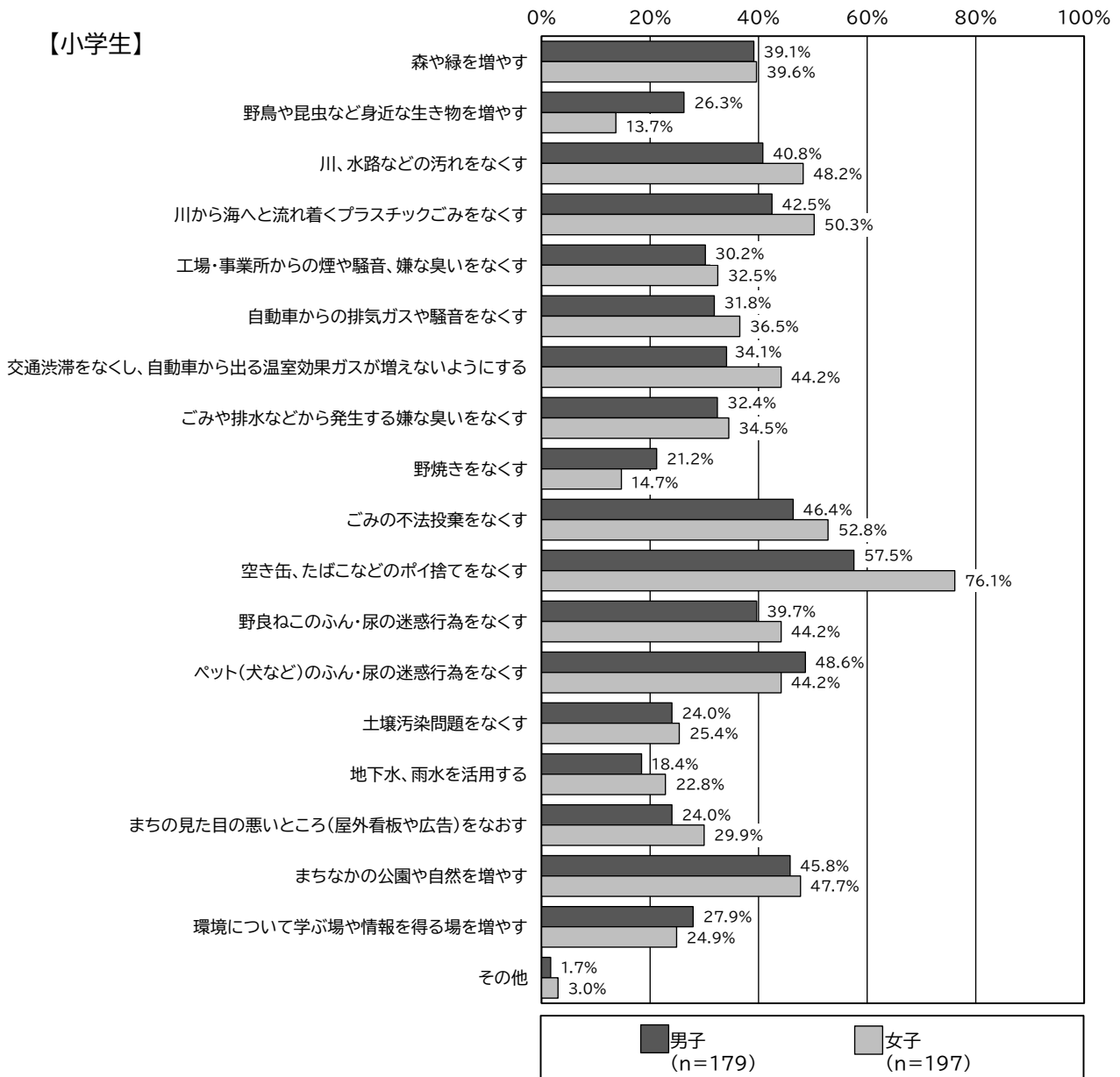
また、中学生は、「空き缶、たばこなどのポイ捨てをなくす」が70.1%、「ごみの不法投棄をなくす」が59.4%、「川、水路などの汚れをなくす」が48.1%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
森や緑を増やす	153	39.6%	87	46.5%
野鳥や昆虫など身近な生き物を増やす	77	19.9%	30	16.0%
川、水路などの汚れをなくす	173	44.8%	90	48.1%
川から海へと流れ着くプラスチックごみをなくす	181	46.9%	64	34.2%
工場・事業所からの煙や騒音、嫌な臭いをなくす	123	31.9%	65	34.8%
自動車からの排気ガスや騒音をなくす	133	34.5%	61	32.6%
交通渋滞をなくし、自動車から出る温室効果ガスが増えないようにする	152	39.4%	56	29.9%
ごみや排水などから発生する嫌な臭いをなくす	131	33.9%	70	37.4%
野焼きをなくす	69	17.9%	33	17.6%
ごみの不法投棄をなくす	194	50.3%	111	59.4%
空き缶、タバコなどのポイ捨てをなくす	261	67.6%	131	70.1%
野良ねこのふん・尿の迷惑行為をなくす	161	41.7%	69	36.9%
ペット(犬など)のふん・尿の迷惑行為をなくす	178	46.1%	83	44.4%
土壌汚染問題をなくす	96	24.9%	35	18.7%
地下水、雨水を活用する	80	20.7%	20	10.7%
まちの見た目の悪いところ(屋外看板や広告)をなおす	103	26.7%	66	35.3%
まちなかの公園や自然を増やす	182	47.2%	76	40.6%
環境について学ぶ場や情報を得る場を増やす	102	26.4%	31	16.6%
その他	9	2.3%	7	3.7%
無回答	5	1.3%	0	0.0%
回答者数	386		187	

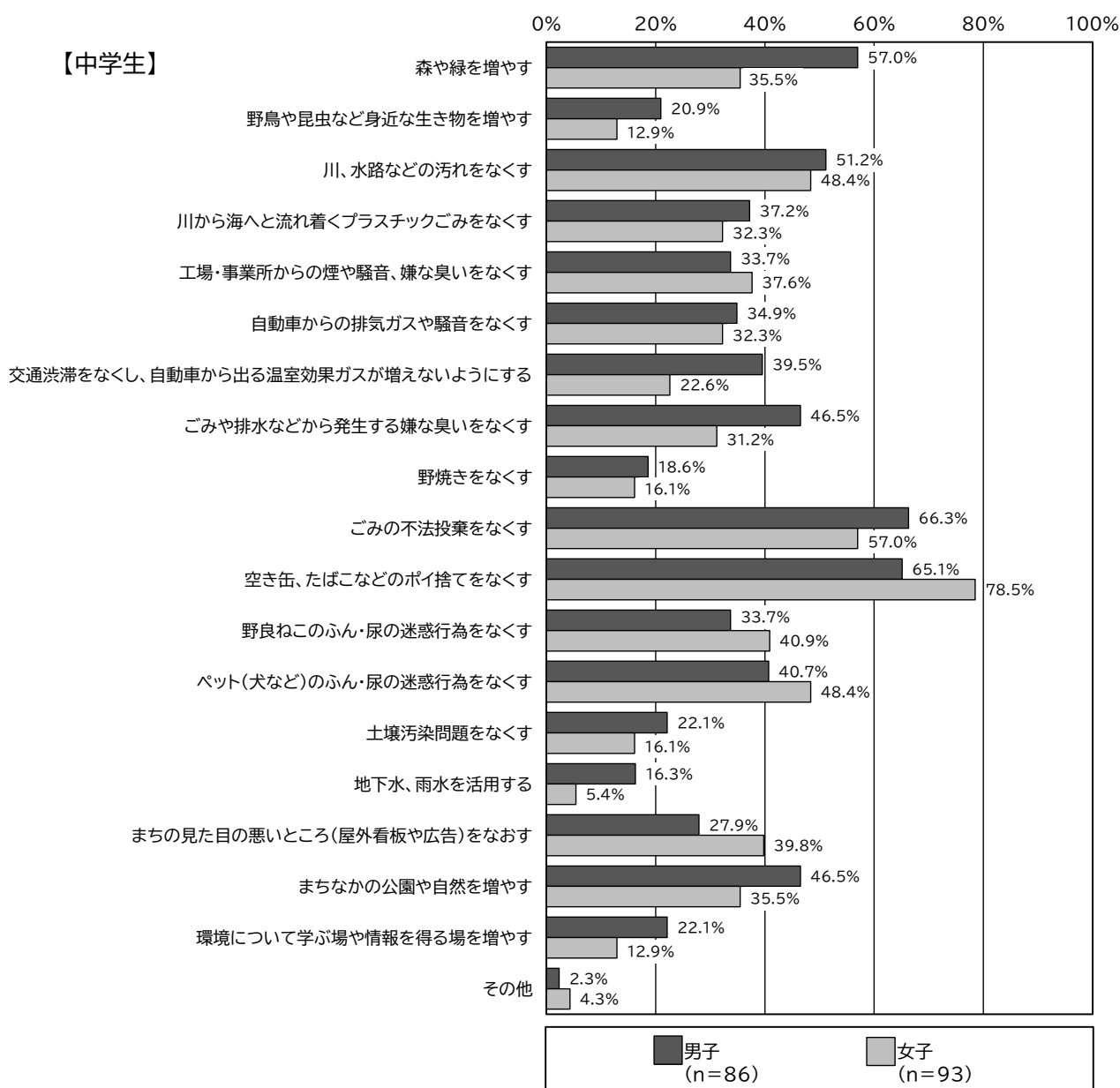
【進めるべき環境の取り組みについて：小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「空き缶、たばこなどのポイ捨てをなくす」が、男子は 57.5%、女子は 76.1%と最も多くなっています。



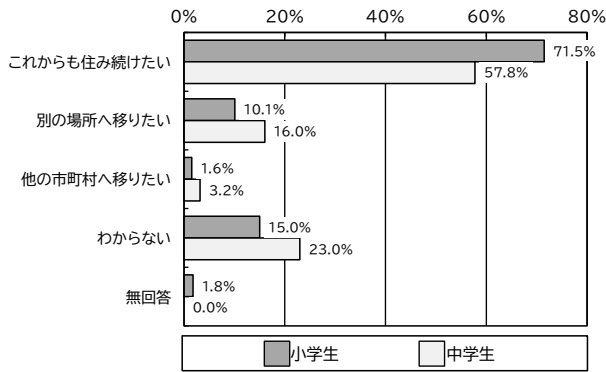
【進めるべき環境の取り組みについて：中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、男子は、「ごみの不法投棄をなくす」が66.3%と最も多くなっています。
 また、女子は、「空き缶、タバコなどのポイ捨てをなくす」が78.5%と最も多くなっています。



問7 あなたは、今住んでいる場所に、これからも住み続けたいですか。それとも他の場所に移りたいですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

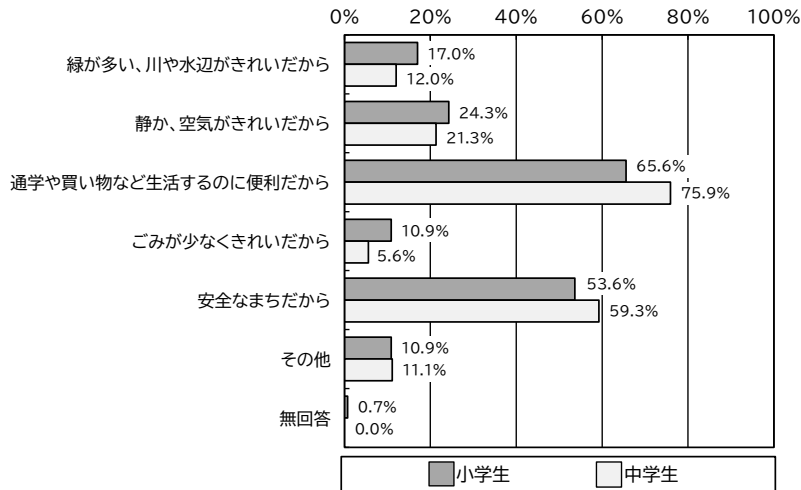
今住んでいる場所に、これからも住み続けたいかでは、「これからも住み続けたい」が、小学生は71.5%、中学生は57.8%と最も多くなっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
これからも住み続けたい	276	71.5%	108	57.8%
別の場所へ移りたい	39	10.1%	30	16.0%
他の市町村へ移りたい	6	1.6%	6	3.2%
わからない	58	15.0%	43	23.0%
無回答	7	1.8%	0	0.0%
合計	386	100.0%	187	100.0%

問7-① 問7で「1. これからも住み続けたい」に○をつけた人にその理由をお聞きします。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

これからも住み続けたい理由では、「通学や買い物など生活するのに便利だから」が、小学生は65.6%、中学生は75.9%と最も多く、次いで「安全なまちだから」が、小学生は53.6%、中学生は59.3%、「静か、空気がきれいだから」が、小学生は24.3%、中学生は21.3%となっています。



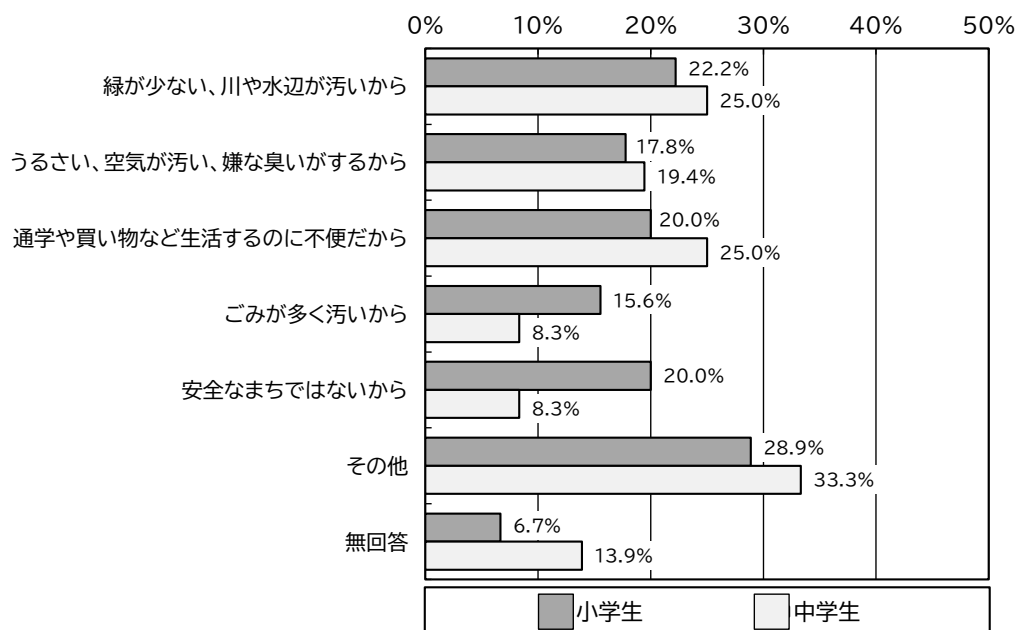
項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
緑が多い、川や水辺がきれいだから	47	17.0%	13	12.0%
静か、空気がきれいだから	67	24.3%	23	21.3%
通学や買い物など生活するのに便利だから	181	65.6%	82	75.9%
ごみが少なくきれいだから	30	10.9%	6	5.6%
安全なまちだから	148	53.6%	64	59.3%
その他	30	10.9%	12	11.1%
無回答	2	0.7%	0	0.0%
回答者数	276		108	
非該当	110		79	
合計	386		187	

問7-② 問7で「2. 別の場所へ移りたい」、「3. 他の市町村へ移りたい」に○をつけた人にその理由をお聞きします。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

別の場所、他の市町村へ移りたい理由では、小学生は、「緑が少ない、川や水辺が汚いから」が22.2%と最も多く、次いで「通学や買い物など生活するのに不便だから」、「安全なまちではないから」がともに20.0%となっています。

また、中学生は、「緑が少ない、川や水辺が汚いから」、「通学や買い物など生活するのに不便だから」がともに25.0%と最も多く、次いで「うるさい、空気が汚い、嫌な臭いがするから」が19.4%となっています。

また、「その他」が、小学生は28.9%、中学生は33.3%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
緑が少ない、川や水辺が汚いから	10	22.2%	9	25.0%
うるさい、空気が汚い、嫌な臭いがするから	8	17.8%	7	19.4%
通学や買い物など生活するのに不便だから	9	20.0%	9	25.0%
ごみが多く汚いから	7	15.6%	3	8.3%
安全なまちではないから	9	20.0%	3	8.3%
その他	13	28.9%	12	33.3%
無回答	3	6.7%	5	13.9%
回答者数	45		36	
非該当	341		151	
合計	386		187	

問 8 あなたは、ふじみ野市を将来どのようにしていくと良いと思いますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

ふじみ野市を将来どのようにしていくと良いかでは、小学生は、「まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す」が 33.7%と最も多く、次いで「生活がもっと便利になるように、市内全体の開発を進める」が 21.8%、「これ以上の開発はしないで自然を残す」が 16.3%となっています。

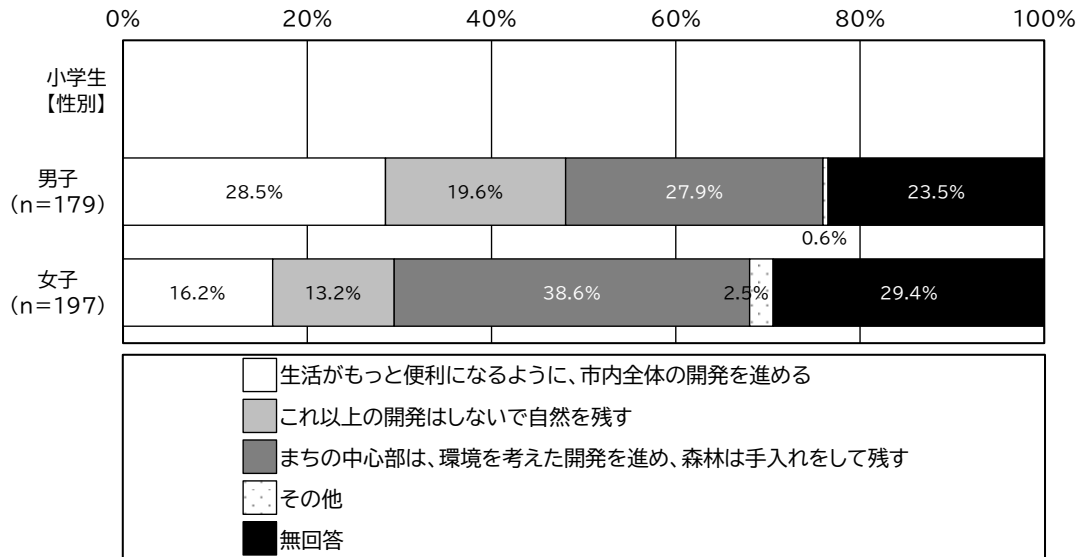
また、中学生は、「まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す」が 41.7%と最も多く、次いで「生活がもっと便利になるように、市内全体の開発を進める」が 23.5%、「これ以上の開発はしないで自然を残す」が 12.3%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
生活がもっと便利になるように、市内全体の開発を進める	84	21.8%	44	23.5%
これ以上の開発はしないで自然を残す	63	16.3%	23	12.3%
まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す	130	33.7%	78	41.7%
その他	6	1.6%	3	1.6%
無回答	103	26.7%	39	20.9%
合計	386	100.0%	187	100.0%

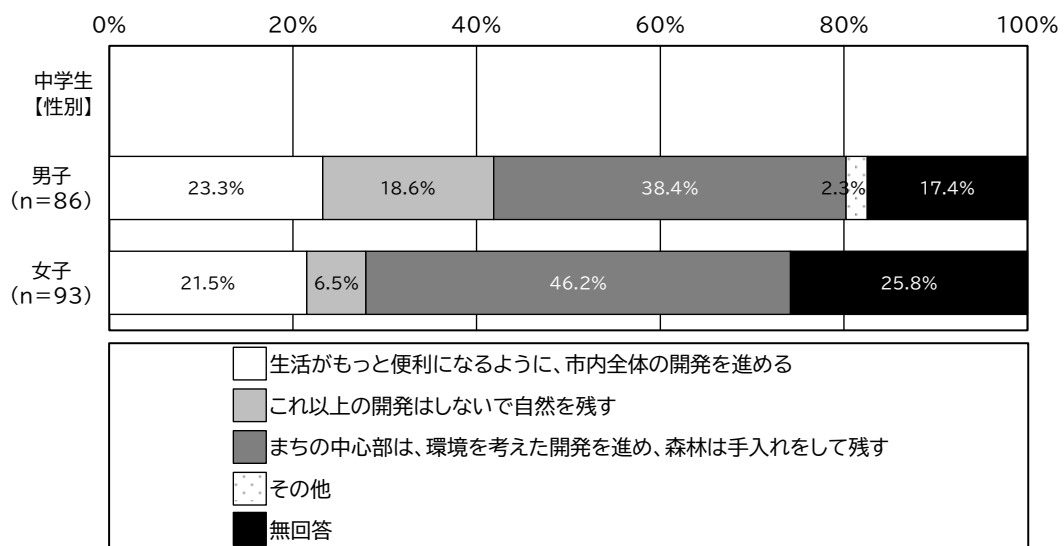
【ふじみ野市を将来どのようにしていくと良いかについて：小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、男子は、「生活がもっと便利になるように、市内全体の開発を進める」が28.5%と最も多く、女子は、「まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す」が38.6%と最も多くなっています。



【ふじみ野市を将来どのようにしていくと良いかについて：中学生男女別クロス表】

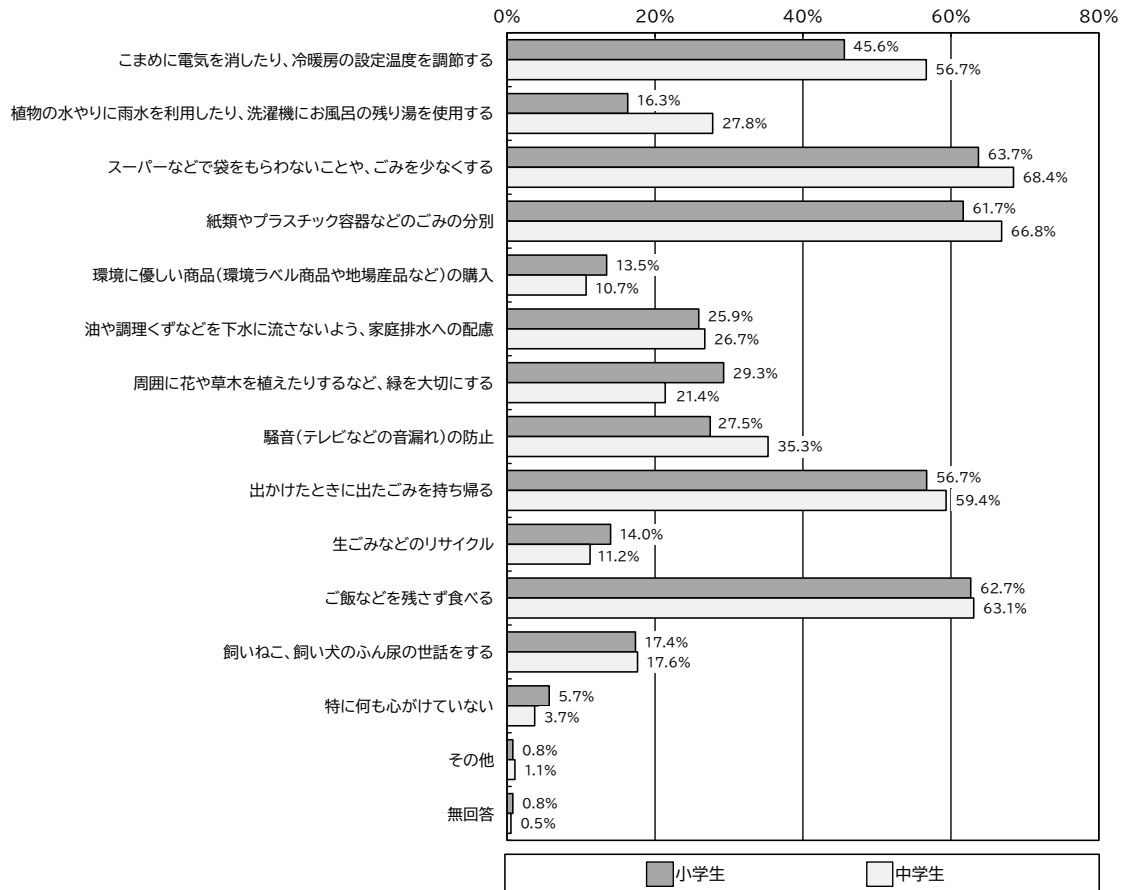
中学生の男女別では、「まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す」が、男子は38.4%、女子は46.2%と、男女ともに最も多くなっています。



問 9 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることはどのようなことですか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

環境に関して、普段あなたが取り組んでいることでは、小学生は、「スーパーなどで袋をもらわないことや、ごみを少なくする」が63.7%と最も多く、次いで「ご飯などを残さず食べる」が62.7%、「紙類やプラスチック容器などのごみの分別」が61.7%、「出かけたときに出たごみを持ち帰る」が56.7%となっています。

また、中学生は、「スーパーなどで袋をもらわないことや、ごみを少なくする」が68.4%と最も多く、次いで「紙類やプラスチック容器などのごみの分別」が66.8%、「ご飯などを残さず食べる」が63.1%、「出かけたときに出たごみを持ち帰る」が59.4%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
こまめに電気を消したり、冷暖房の設定温度を調節する	176	45.6%	106	56.7%
植物の水やりに雨水を利用したり、洗濯機にお風呂の残り湯を使用する	63	16.3%	52	27.8%
スーパーなどで袋をもらわないことや、ごみを少なくする	246	63.7%	128	68.4%
紙類やプラスチック容器などのごみの分別	238	61.7%	125	66.8%
環境に優しい商品(環境ラベル商品や地場産品など)の購入	52	13.5%	20	10.7%
油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮	100	25.9%	50	26.7%
周囲に花や草木を植えたりするなど、緑を大切にする	113	29.3%	40	21.4%
騒音(テレビなどの音漏れ)の防止	106	27.5%	66	35.3%
出かけたときに出たごみを持ち帰る	219	56.7%	111	59.4%
生ごみなどのリサイクル	54	14.0%	21	11.2%
ご飯などを残さず食べる	242	62.7%	118	63.1%
飼いねこ、飼い犬のふん尿の世話をする	67	17.4%	33	17.6%
特に何も心がけていない	22	5.7%	7	3.7%
その他	3	0.8%	2	1.1%
無回答	3	0.8%	1	0.5%
回答者数	386		187	

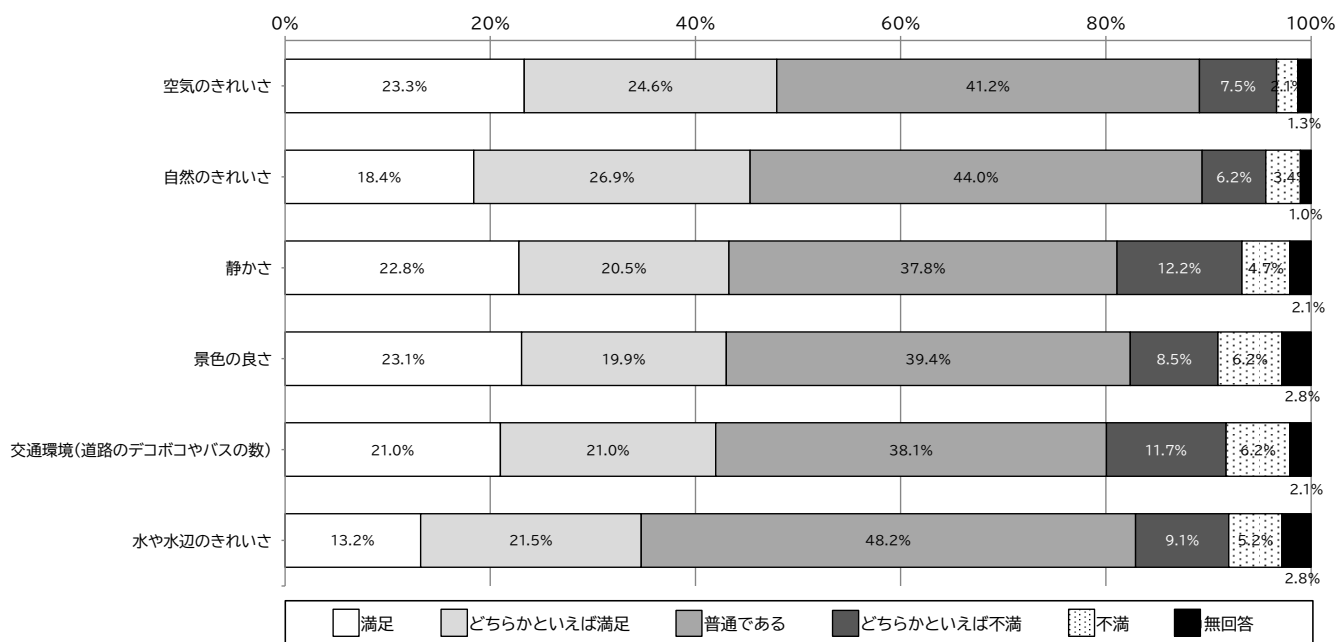
3 環境に対する考え

問 10 あなたは、身近な環境についてどのくらい満足していますか。次の①～⑥の項目について、どのように感じているかそれぞれ1つに○をつけてください。

【小学生】

「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせた項目では、「空気のきれいさ」が47.9%、「自然のきれいさ」が45.3%、「静かさ」が43.3%となっています。

また、「どちらかといえば不満」、「不満」を合わせた項目では、「交通環境(道路のデコボコやバスの数)」が17.9%、「静かさ」が16.9%となっています。

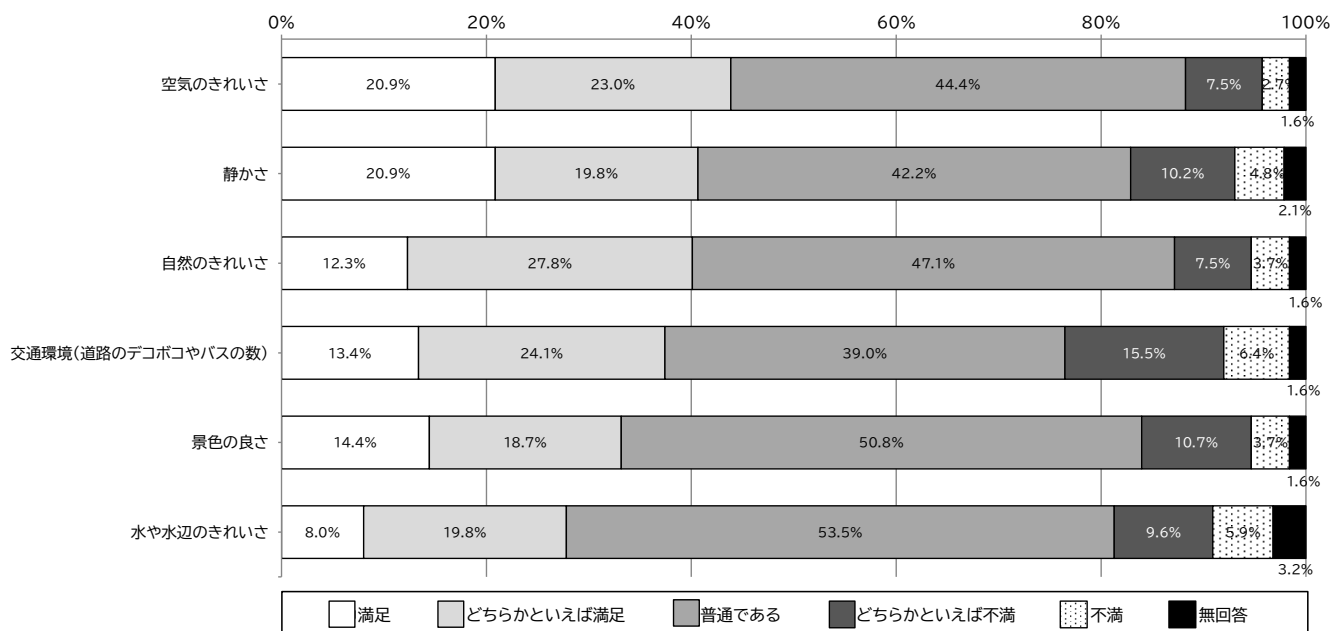


項目	満足	どちらかといえば満足	普通である	どちらかといえば不満	不満	無回答	合計
空気のきれいさ	90	95	159	29	8	5	386
自然のきれいさ	71	104	170	24	13	4	386
静かさ	88	79	146	47	18	8	386
景色の良さ	89	77	152	33	24	11	386
交通環境(道路のデコボコやバスの数)	81	81	147	45	24	8	386
水や水辺のきれいさ	51	83	186	35	20	11	386
構成比(%)	満足	どちらかといえば満足	普通である	どちらかといえば不満	不満	無回答	合計
空気のきれいさ	23.3%	24.6%	41.2%	7.5%	2.1%	1.3%	100.0%
自然のきれいさ	18.4%	26.9%	44.0%	6.2%	3.4%	1.0%	100.0%
静かさ	22.8%	20.5%	37.8%	12.2%	4.7%	2.1%	100.0%
景色の良さ	23.1%	19.9%	39.4%	8.5%	6.2%	2.8%	100.0%
交通環境(道路のデコボコやバスの数)	21.0%	21.0%	38.1%	11.7%	6.2%	2.1%	100.0%
水や水辺のきれいさ	13.2%	21.5%	48.2%	9.1%	5.2%	2.8%	100.0%

【中学生】

「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせた項目では、「空気のきれいさ」が 43.9%、「静かさ」が 40.7%、「自然のきれいさ」が 40.1%となっています。

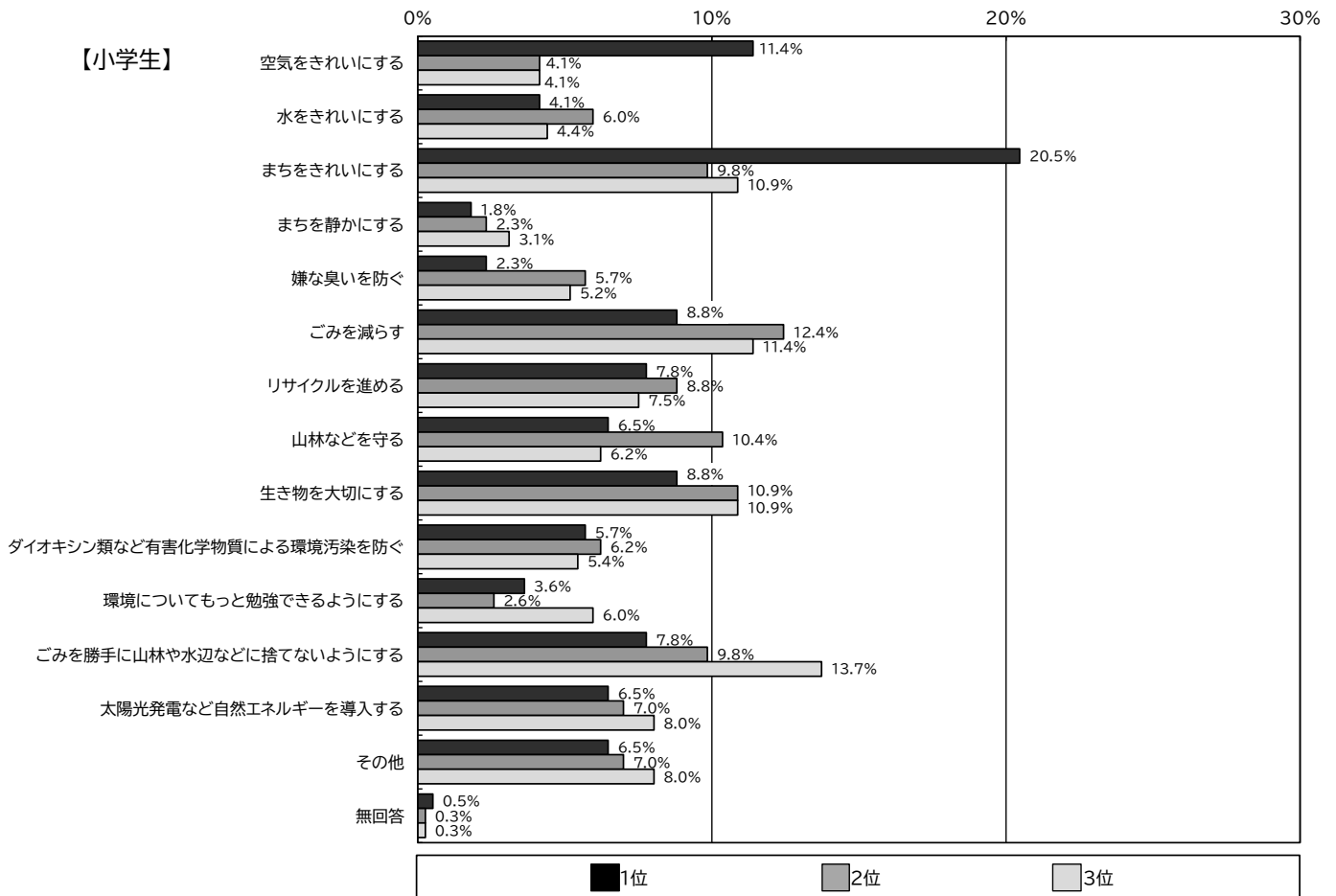
また、「どちらかといえば不満」、「不満」を合わせた項目では、「交通環境(道路のデコボコやバスの数)」が 21.9%、「水や水辺のきれいさ」が 15.5%となっています。



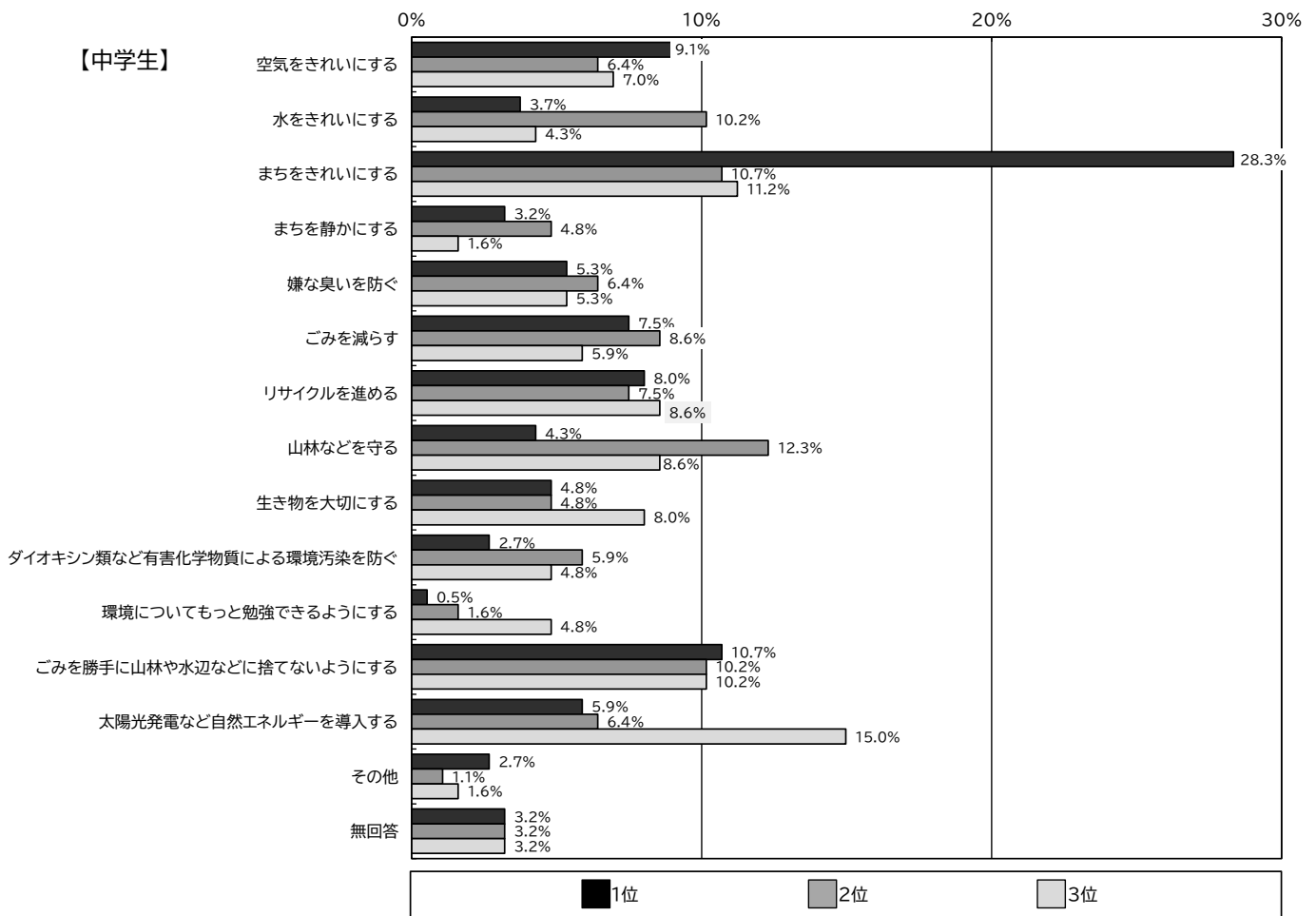
項目	満足	どちらかとい えば満足	普通である	どちらかとい えば不満	不満	無回答	合計
空気のきれいさ	39	43	83	14	5	3	187
静かさ	39	37	79	19	9	4	187
自然のきれいさ	23	52	88	14	7	3	187
交通環境(道路のデコボコやバスの数)	25	45	73	29	12	3	187
景色の良さ	27	35	95	20	7	3	187
水や水辺のきれいさ	15	37	100	18	11	6	187
構成比(%)	満足	どちらかとい えば満足	普通である	どちらかとい えば不満	不満	無回答	合計
空気のきれいさ	20.9%	23.0%	44.4%	7.5%	2.7%	1.6%	100.0%
静かさ	20.9%	19.8%	42.2%	10.2%	4.8%	2.1%	100.0%
自然のきれいさ	12.3%	27.8%	47.1%	7.5%	3.7%	1.6%	100.0%
交通環境(道路のデコボコやバスの数)	13.4%	24.1%	39.0%	15.5%	6.4%	1.6%	100.0%
景色の良さ	14.4%	18.7%	50.8%	10.7%	3.7%	1.6%	100.0%
水や水辺のきれいさ	8.0%	19.8%	53.5%	9.6%	5.9%	3.2%	100.0%

問11 あなたは、ふじみ野市の環境を良くしていくためには、何が大切だと思いますか。大切だと思うものを第1位から第3位まで選んでください。

ふじみ野市の環境を良くしていくために大切なことでは、小学生は、「1位」に選択したのは「まちをきれいにする」が20.5%と最も多く、「2位」に選択したのは「ごみを減らす」が12.4%と最も多く、「3位」に選択したのは「ごみを勝手に山林や水辺などに捨てないようにする」が13.7%と最も多くなっています。



中学生は、「1位」に選択したのは「まちをきれいにする」が28.3%と最も多く、「2位」に選択したのは「山林などを守る」が12.3%と最も多く、「3位」に選択したのは「太陽光発電など自然エネルギーを導入する」が15.0%と最も多くなっています。

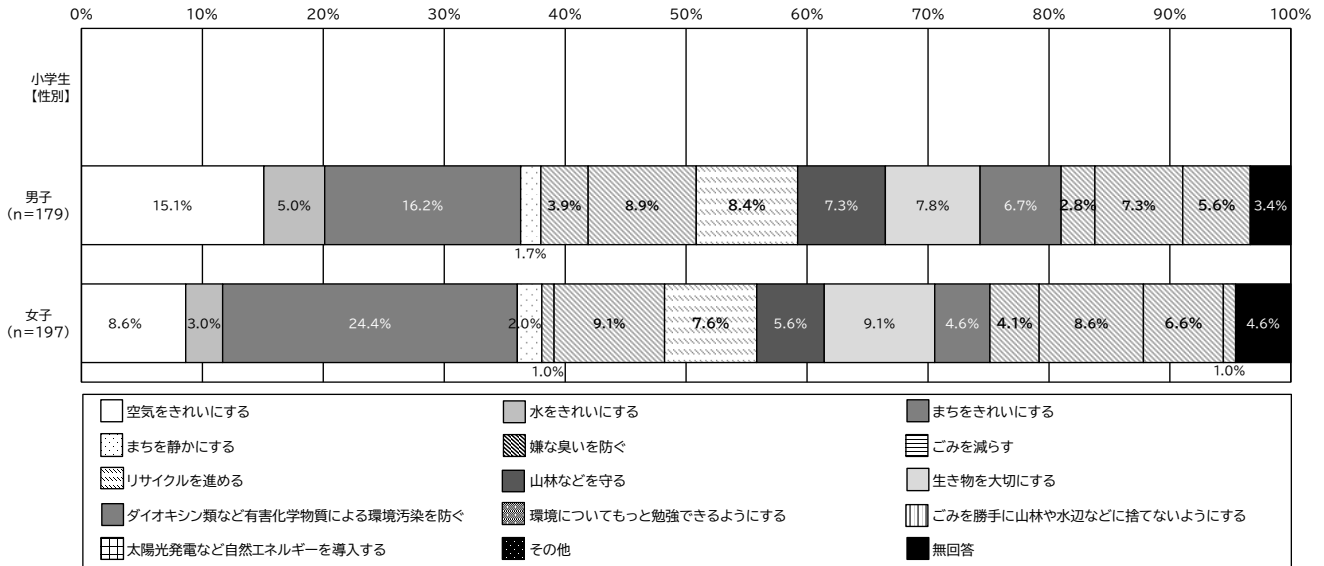


項目	1位				2位				3位			
	小学生		中学生		小学生		中学生		小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比
空気をきれいにする	44	11.4%	17	9.1%	16	4.1%	12	6.4%	16	4.1%	13	7.0%
水をきれいにする	16	4.1%	7	3.7%	23	6.0%	19	10.2%	17	4.4%	8	4.3%
まちをきれいにする	79	20.5%	53	28.3%	38	9.8%	20	10.7%	42	10.9%	21	11.2%
まちを静かにする	7	1.8%	6	3.2%	9	2.3%	9	4.8%	12	3.1%	3	1.6%
嫌な臭いを防ぐ	9	2.3%	10	5.3%	22	5.7%	12	6.4%	20	5.2%	10	5.3%
ごみを減らす	34	8.8%	14	7.5%	48	12.4%	16	8.6%	44	11.4%	11	5.9%
リサイクルを進める	30	7.8%	15	8.0%	34	8.8%	14	7.5%	29	7.5%	16	8.6%
山林などを守る	25	6.5%	8	4.3%	40	10.4%	23	12.3%	24	6.2%	16	8.6%
生き物を大切にする	34	8.8%	9	4.8%	42	10.9%	9	4.8%	42	10.9%	15	8.0%
ダイオキシン類など有害化学物質による環境汚染を防ぐ	22	5.7%	5	2.7%	24	6.2%	11	5.9%	21	5.4%	9	4.8%
環境についてもっと勉強できるようにする	14	3.6%	1	0.5%	10	2.6%	3	1.6%	23	6.0%	9	4.8%
ごみを勝手に山林や水辺などに捨てないようにする	30	7.8%	20	10.7%	38	9.8%	19	10.2%	53	13.7%	19	10.2%
太陽光発電など自然エネルギーを導入する	25	6.5%	11	5.9%	27	7.0%	12	6.4%	31	8.0%	28	15.0%
その他	2	0.5%	5	2.7%	1	0.3%	2	1.1%	1	0.3%	3	1.6%
無回答	15	3.9%	6	3.2%	14	3.6%	6	3.2%	11	2.8%	6	3.2%
合計	386	100.0%	187	100.0%	386	100.0%	187	100.0%	386	100.0%	187	100.0%

【「1位」について:小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、男子は、「まちをきれいにする」が 16.2%と最も多く、次いで「空気をきれいにする」が15.1%、「ごみを減らす」が 8.9%となっています。

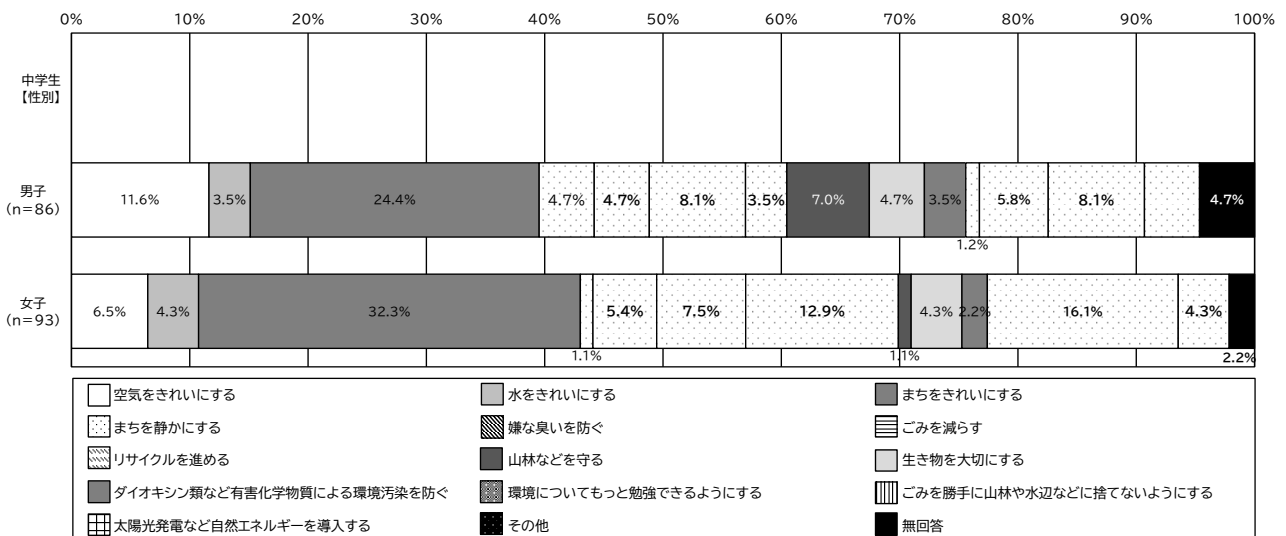
また、女子は、「まちをきれいにする」が 24.4%と最も多く、次いで「ごみを減らす」、「生き物を大切にす」がともに 9.1%、「空気をきれいにする」、「ごみを勝手に山林や水辺などに捨てないようにする」がともに 8.6%となっています。



【「1位」について:中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、男子は、「まちをきれいにする」が 24.4%と最も多く、次いで「空気をきれいにする」が11.6%、「ごみを減らす」、「太陽光発電など自然エネルギーを導入する」がともに 8.1%となっています。

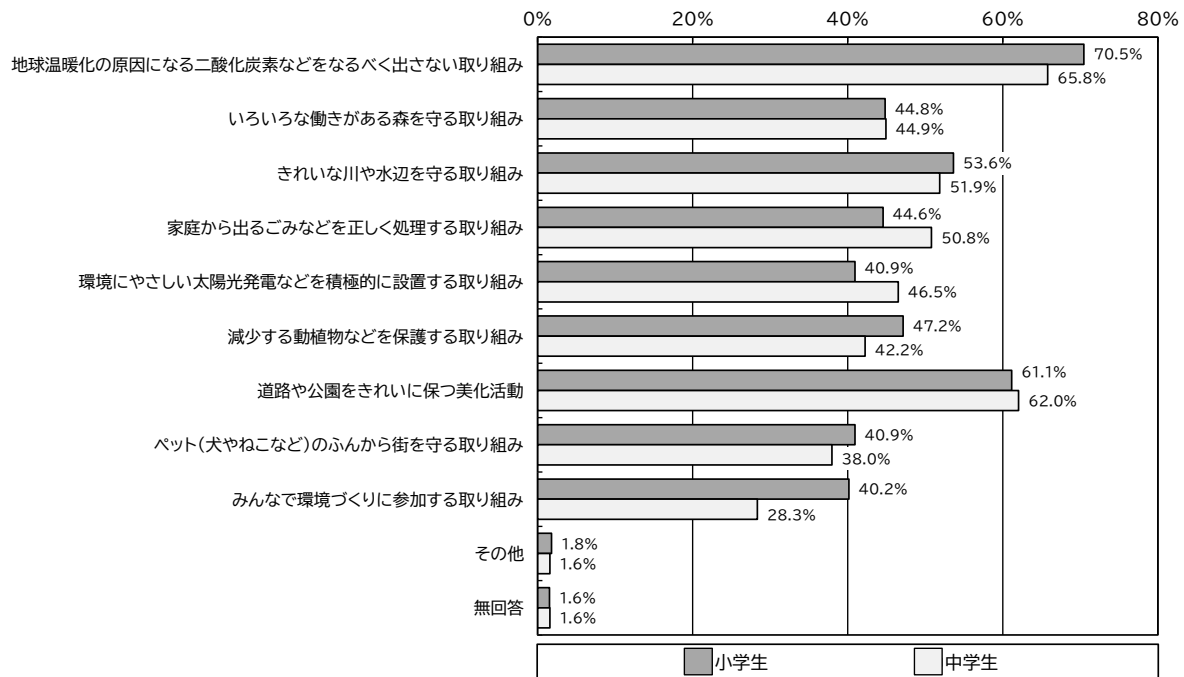
また、女子は、「まちをきれいにする」が 32.3%と最も多く、次いで「ごみを勝手に山林や水辺などに捨てないようにする」が 16.1%、「リサイクルを進める」が 12.9%となっています。



問12 環境を守っていくために、市役所が行う取り組みについてどのような行動が必要だと思いますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

市役所が行う取り組みについてどのような行動が必要だと思うかでは、小学生は、「地球温暖化の原因になる二酸化炭素などをなるべく出さない取り組み」が70.5%と最も多く、次いで「道路や公園をきれいに保つ美化活動」が61.1%、「きれいな川や水辺を守る取り組み」が53.6%となっています。

また、中学生は、「地球温暖化の原因になる二酸化炭素などをなるべく出さない取り組み」が65.8%と最も多く、次いで「道路や公園をきれいに保つ美化活動」が62.0%、「きれいな川や水辺を守る取り組み」が51.9%となっています。



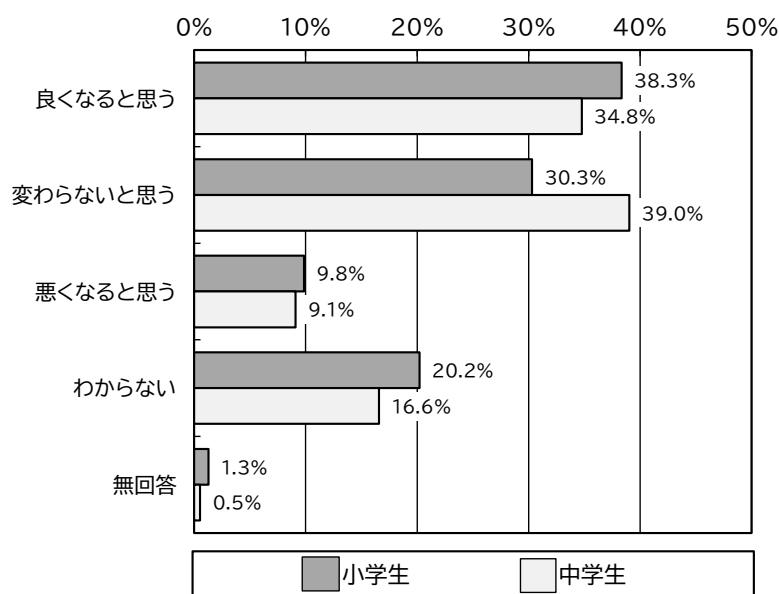
項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
地球温暖化の原因になる二酸化炭素などをなるべく出さない取り組み	272	70.5%	123	65.8%
いろいろな働きがある森を守る取り組み	173	44.8%	84	44.9%
きれいな川や水辺を守る取り組み	207	53.6%	97	51.9%
家庭から出るごみなどを正しく処理する取り組み	172	44.6%	95	50.8%
環境にやさしい太陽光発電などを積極的に設置する取り組み	158	40.9%	87	46.5%
減少する動植物などを保護する取り組み	182	47.2%	79	42.2%
道路や公園をきれいに保つ美化活動	236	61.1%	116	62.0%
ペット(犬やねこなど)のふんから街を守る取り組み	158	40.9%	71	38.0%
みんなで環境づくりに参加する取り組み	155	40.2%	53	28.3%
その他	7	1.8%	3	1.6%
無回答	6	1.6%	3	1.6%
回答者数	386		187	

問13 今後、あなたのまわりの環境はどのようになるとお思いますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

あなたのまわりの環境は、今後どのようになるとお思いますかでは、小学生は、「良くなると思う」が38.3%、「変わらないと思う」が30.3%となっています。

また、中学生は、「変わらないと思う」が39.0%、「良くなると思う」が34.8%となっています。

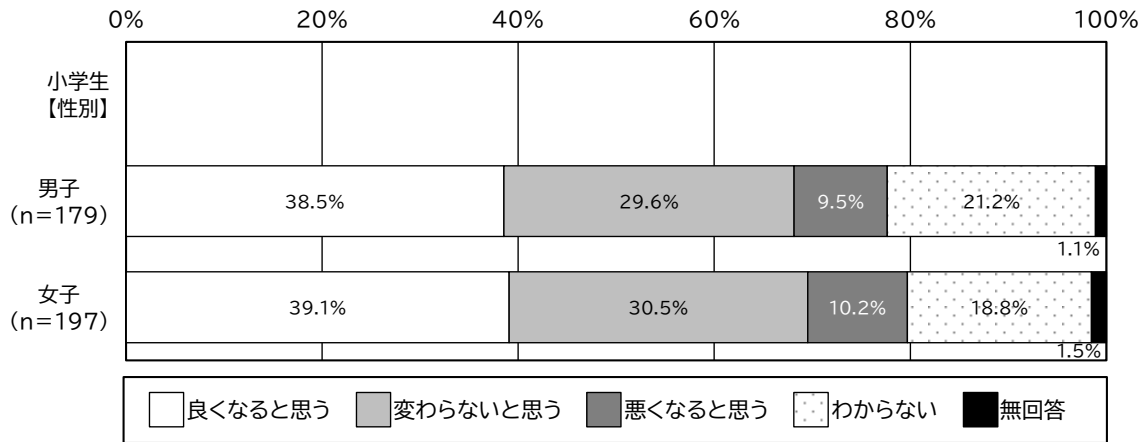
また、小学生、中学生ともに約1割が「悪くなると思う」と回答しています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
良くなると思う	148	38.3%	65	34.8%
変わらないと思う	117	30.3%	73	39.0%
悪くなると思う	38	9.8%	17	9.1%
わからない	78	20.2%	31	16.6%
無回答	5	1.3%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

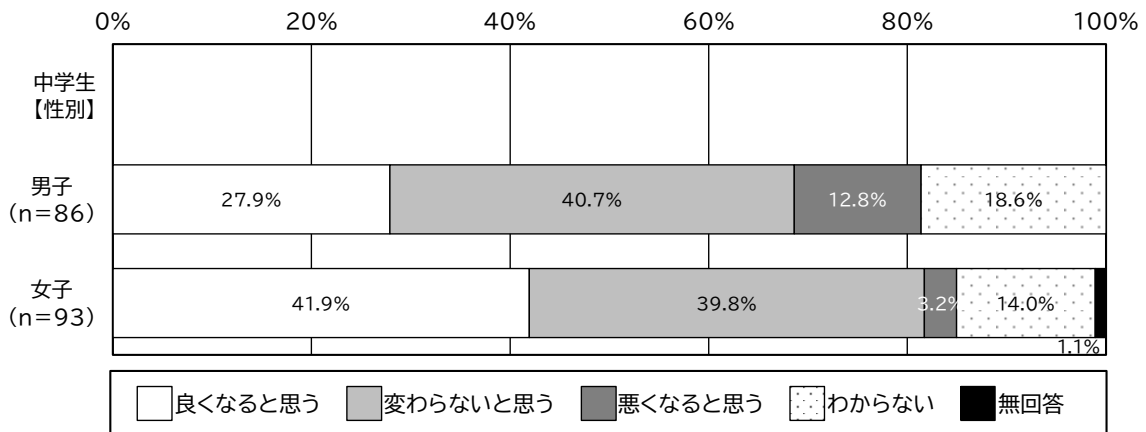
【あなたのまわりの環境は、今後どのようになるかについて：小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「良くなると思う」が、男子は 38.5%、女子は 39.1%となっています。



【あなたのまわりの環境は、今後どのようになるかについて：中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、「良くなると思う」が、男子は 27.9%、女子は 41.9%となっています。

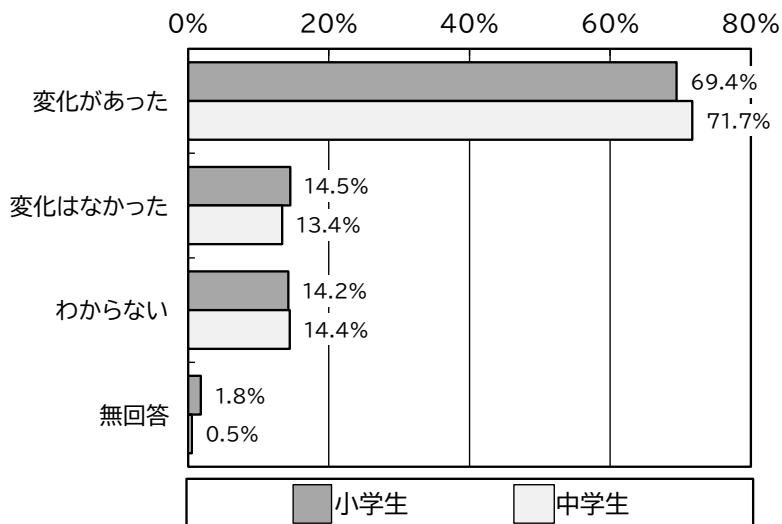


4 新型コロナウイルスについて

問14 新型コロナウイルス感染症の流行で、あなたのまわりの環境に変化はありましたか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症の流行で、まわりの環境に変化はあったかでは、小学生は、「変化があった」が69.4%、「変化はなかった」が14.5%となっています。

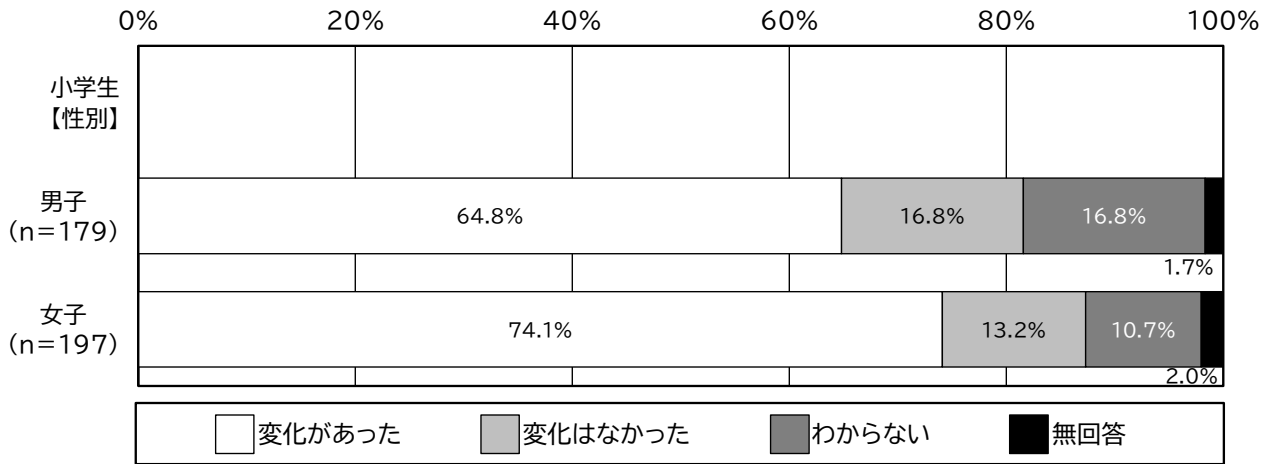
また、中学生は、「変化があった」が71.7%、「変化はなかった」が13.4%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
変化があった	268	69.4%	134	71.7%
変化はなかった	56	14.5%	25	13.4%
わからない	55	14.2%	27	14.4%
無回答	7	1.8%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

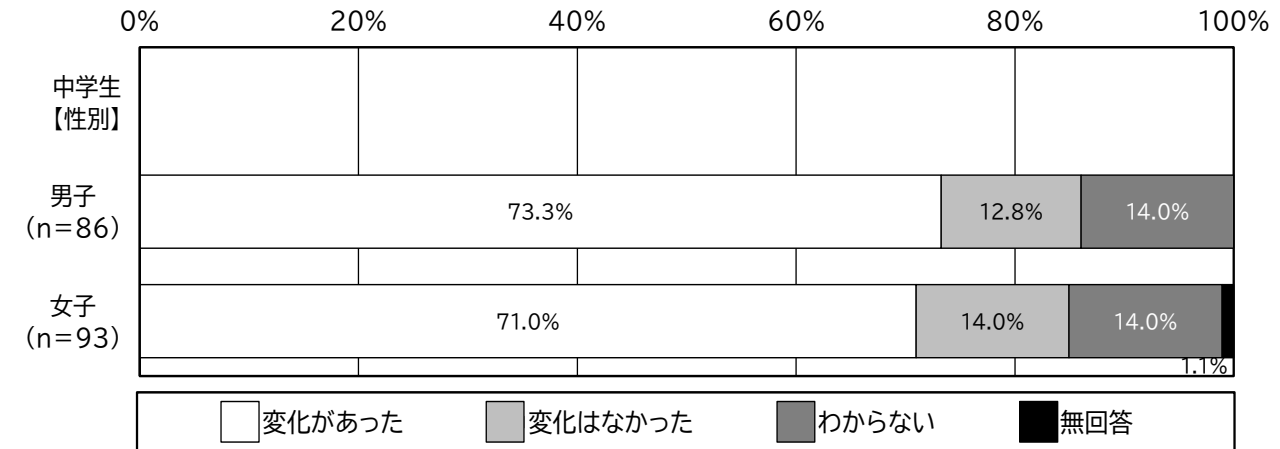
【新型コロナウイルス感染症の流行で、まわりの環境に変化はあったかについて：小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「変化があった」が、男子は64.8%、女子は74.1%となっています。



【新型コロナウイルス感染症の流行で、まわりの環境に変化はあったかについて：中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、「変化があった」が、男子は73.3%、女子は71.0%となっています。

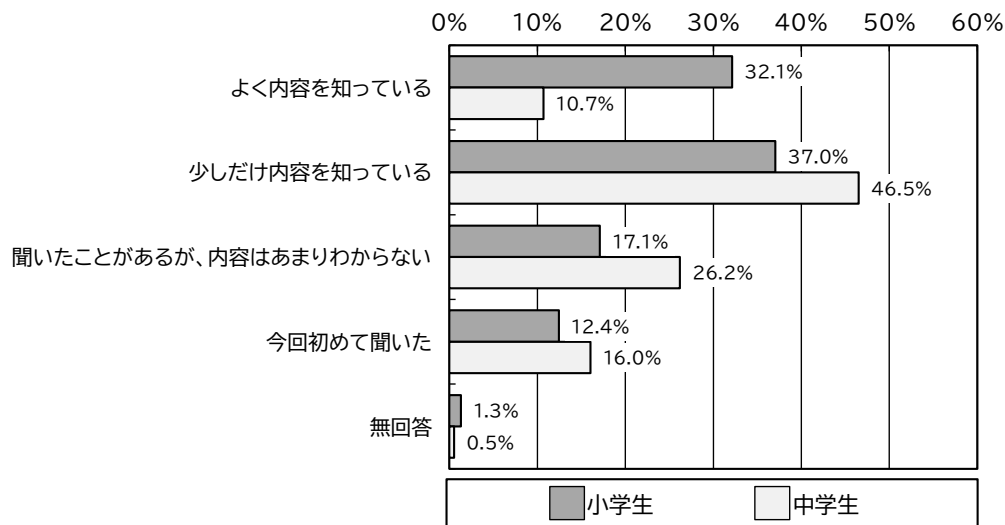


5 SDGs(持続可能な開発目標)について

問15 あなたは、「SDGs(持続可能な開発目標)」を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

SDGs(持続可能な開発目標)を知っているかでは、小学生は、「少しだけ内容を知っている」が37.0%、「よく内容を知っている」が32.1%となっており、6割以上が知っていると回答しています。

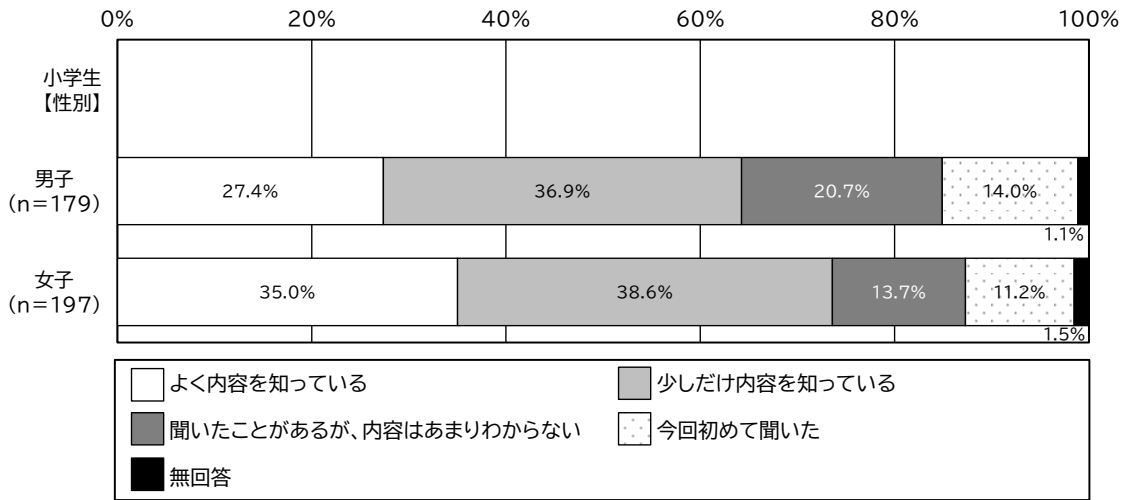
また、中学生は、「少しだけ内容を知っている」が46.5%、「よく内容を知っている」が10.7%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
よく内容を知っている	124	32.1%	20	10.7%
少しだけ内容を知っている	143	37.0%	87	46.5%
聞いたことがあるが、内容はあまりわからない	66	17.1%	49	26.2%
今回初めて聞いた	48	12.4%	30	16.0%
無回答	5	1.3%	1	0.5%
合計	386	100.0%	187	100.0%

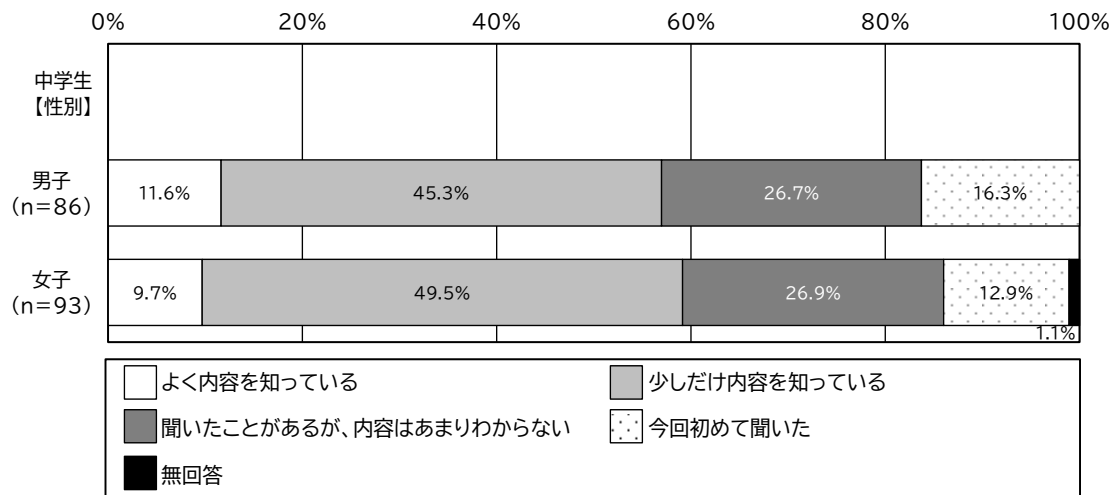
【SDGs(持続可能な開発目標)を知っているかについて:小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「よく内容を知っている」、「少しだけ内容を知っている」を合わせた項目で、男子は64.3%、女子は73.6%となっています。



【SDGs(持続可能な開発目標)を知っているかについて:中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、「よく内容を知っている」、「少しだけ内容を知っている」を合わせた項目で、男子は56.9%、女子は59.2%となっています。



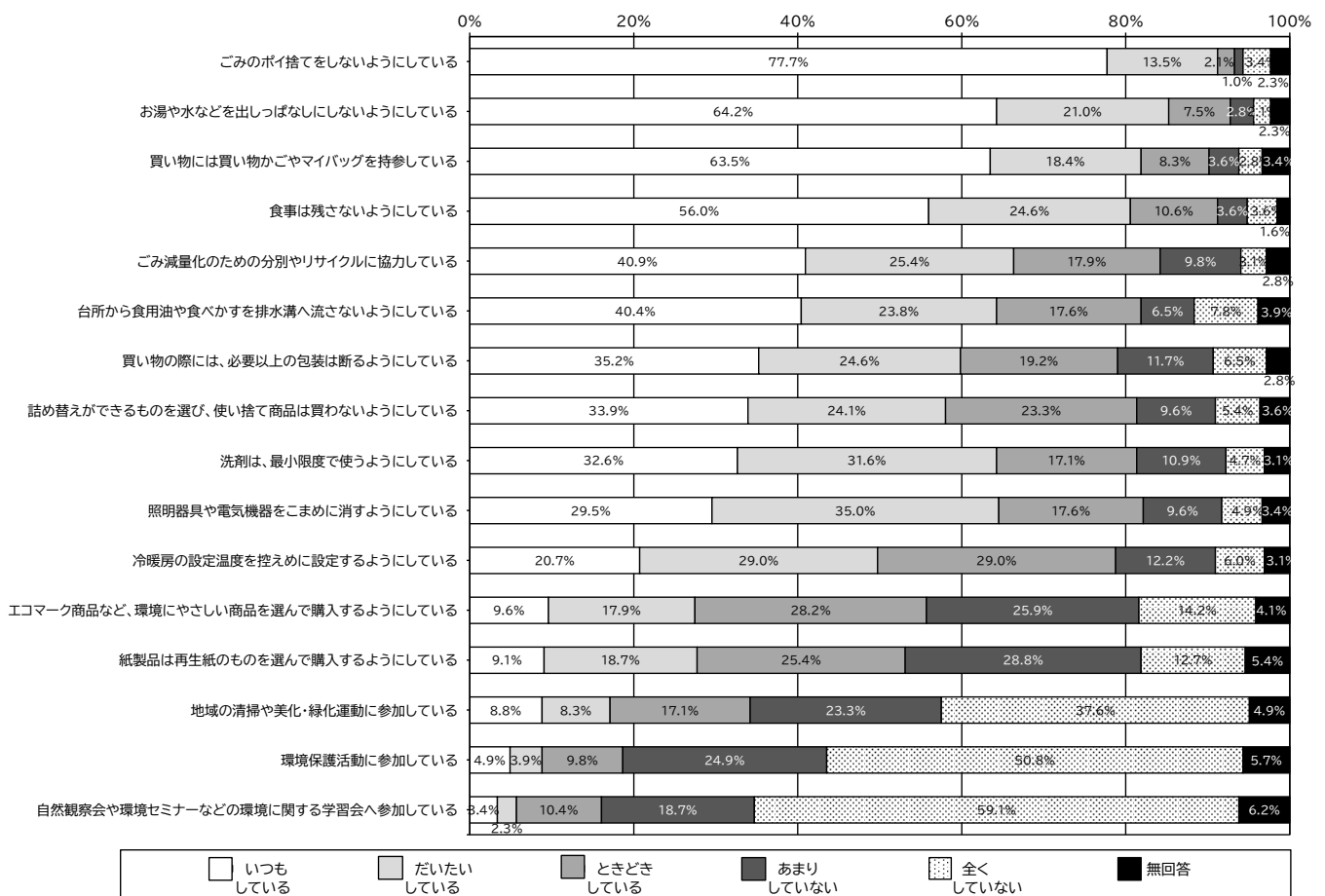
6 省エネルギーや環境保全の取り組みについて

問16 省エネルギーや環境保全の取り組みについて、あなたは日頃どのくらい実行していますか。その番号に○をつけてください。また「あまりしていない」、「全くしていない」と回答された方は、今後取り組んでみようと思うものがあれば右端の「今後は取り組みたい」の欄に○をつけてください。

小学生【実行していること】

「いつもしている」という回答が多い項目は、「ごみのポイ捨てをしないようにしている」が77.7%と最も多く、次いで、「お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている」が64.2%、「買い物には買い物かごやマイバッグを持参している」が63.5%、「食事は残さないようにしている」が56.0%となっています。

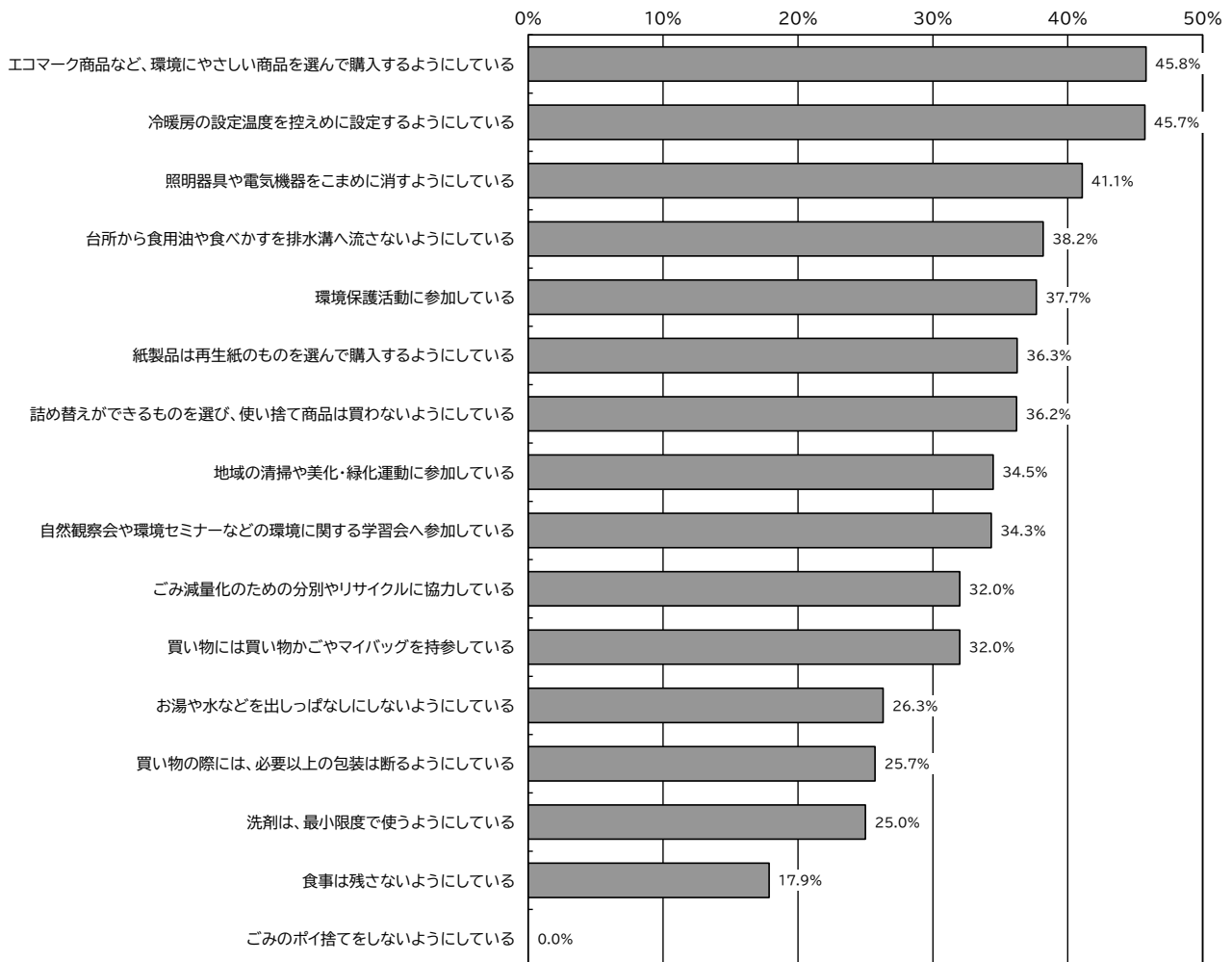
また、「全くしていない」の項目では、「自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している」が59.1%と最も多く、次いで「環境保護活動に参加している」が50.8%、「地域の清掃や美化・緑化運動に参加している」が37.6%となっています。



項目(実行していること)	いつも している	だいたい している	ときどき している	あまり していない	全く していない	無回答	合計
ごみのポイ捨てをしないようにしている	300	52	8	4	13	9	386
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	248	81	29	11	8	9	386
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	245	71	32	14	11	13	386
食事は残さないようにしている	216	95	41	14	14	6	386
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	158	98	69	38	12	11	386
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	156	92	68	25	30	15	386
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	136	95	74	45	25	11	386
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	131	93	90	37	21	14	386
洗剤は、最小限度で使うようになっている	126	122	66	42	18	12	386
照明器具や電気機器をこまめに消すようになっている	114	135	68	37	19	13	386
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	80	112	112	47	23	12	386
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようになっている	37	69	109	100	55	16	386
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようになっている	35	72	98	111	49	21	386
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	34	32	66	90	145	19	386
環境保護活動に参加している	19	15	38	96	196	22	386
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	13	9	40	72	228	24	386
構成比(%)	いつも している	だいたい している	ときどき している	あまり していない	全く していない	無回答	合計
ごみのポイ捨てをしないようにしている	77.7%	13.5%	2.1%	1.0%	3.4%	2.3%	100.0%
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	64.2%	21.0%	7.5%	2.8%	2.1%	2.3%	100.0%
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	63.5%	18.4%	8.3%	3.6%	2.8%	3.4%	100.0%
食事は残さないようにしている	56.0%	24.6%	10.6%	3.6%	3.6%	1.6%	100.0%
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	40.9%	25.4%	17.9%	9.8%	3.1%	2.8%	100.0%
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	40.4%	23.8%	17.6%	6.5%	7.8%	3.9%	100.0%
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	35.2%	24.6%	19.2%	11.7%	6.5%	2.8%	100.0%
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	33.9%	24.1%	23.3%	9.6%	5.4%	3.6%	100.0%
洗剤は、最小限度で使うようになっている	32.6%	31.6%	17.1%	10.9%	4.7%	3.1%	100.0%
照明器具や電気機器をこまめに消すようになっている	29.5%	35.0%	17.6%	9.6%	4.9%	3.4%	100.0%
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	20.7%	29.0%	29.0%	12.2%	6.0%	3.1%	100.0%
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようになっている	9.6%	17.9%	28.2%	25.9%	14.2%	4.1%	100.0%
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようになっている	9.1%	18.7%	25.4%	28.8%	12.7%	5.4%	100.0%
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	8.8%	8.3%	17.1%	23.3%	37.6%	4.9%	100.0%
環境保護活動に参加している	4.9%	3.9%	9.8%	24.9%	50.8%	5.7%	100.0%
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	3.4%	2.3%	10.4%	18.7%	59.1%	6.2%	100.0%

小学生【今後取り組みたいこと】

「あまりしていない」、「全くしていない」を回答された中で、今後取り組んでみたいことでは、「エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようにしている」が45.8%、「冷暖房の設定温度を控えめに設定するようにしている」が45.7%、「照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている」が41.1%となっています。



※設問に合わせ、語尾を「している」と表記しています。

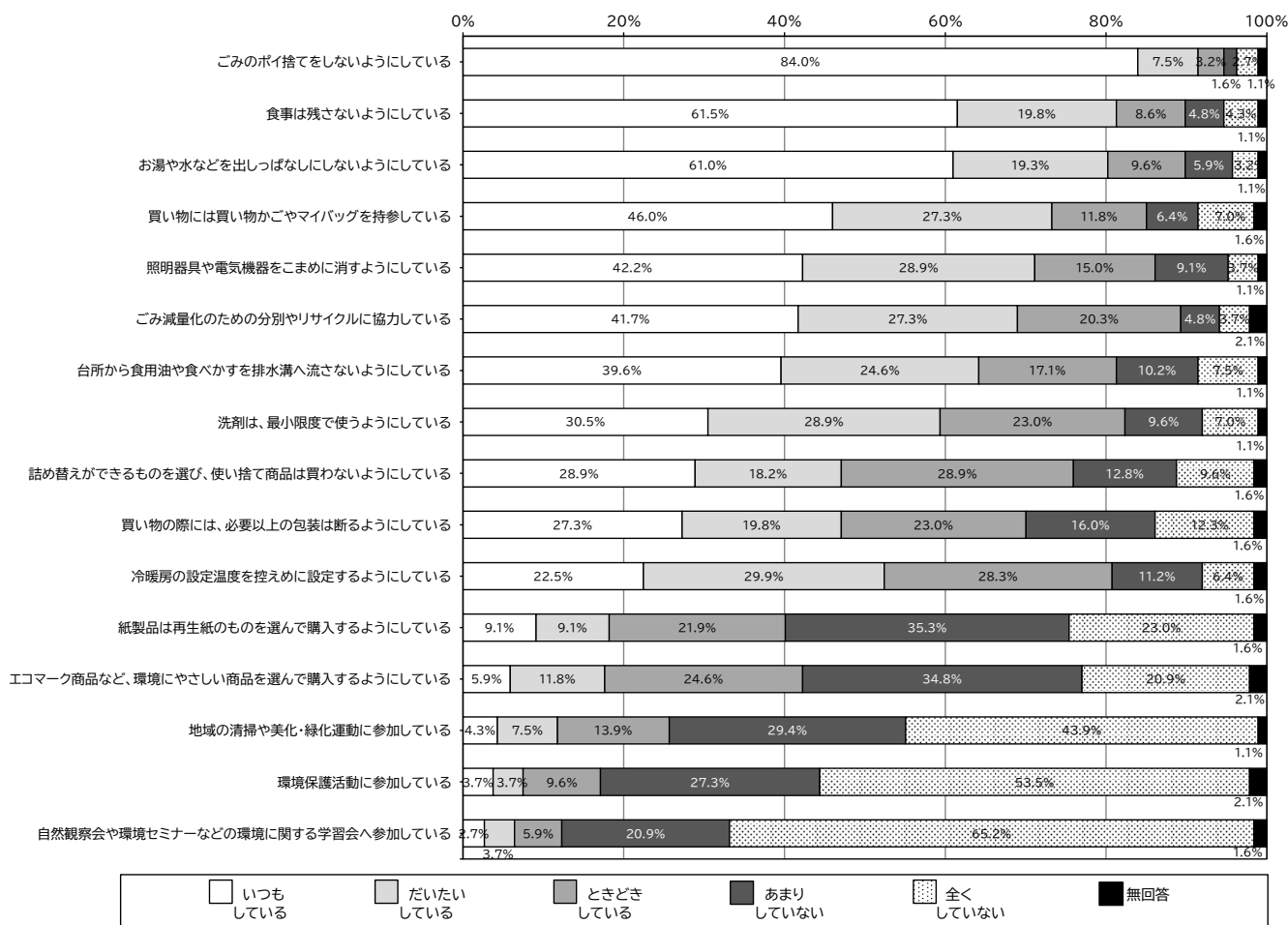
「ごみのポイ捨てをしないようにしている」は回答がありませんでした。

項目(今後取り組み)	取り組みたい	無回答	回答者数	非該当	合計
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようにしている	71	84	155	231	386
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようにしている	32	38	70	316	386
照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている	23	33	56	330	386
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	21	34	55	331	386
環境保護活動に参加している	110	182	292	94	386
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようにしている	58	102	160	226	386
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	21	37	58	328	386
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	81	154	235	151	386
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	103	197	300	86	386
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	16	34	50	336	386
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	8	17	25	361	386
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	5	14	19	367	386
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	18	52	70	316	386
洗剤は、最小限度で使うようにしている	15	45	60	326	386
食事は残さないようにしている	5	23	28	358	386
ごみのポイ捨てをしないようにしている	0	17	17	369	386
構成比(%)	取り組みたい	無回答	回答者数	非該当	合計
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようにしている	45.8%	54.2%	100.0%		
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようにしている	45.7%	54.3%	100.0%		
照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている	41.1%	58.9%	100.0%		
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	38.2%	61.8%	100.0%		
環境保護活動に参加している	37.7%	62.3%	100.0%		
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようにしている	36.3%	63.8%	100.0%		
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	36.2%	63.8%	100.0%		
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	34.5%	65.5%	100.0%		
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	34.3%	65.7%	100.0%		
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	32.0%	68.0%	100.0%		
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	32.0%	68.0%	100.0%		
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	26.3%	73.7%	100.0%		
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	25.7%	74.3%	100.0%		
洗剤は、最小限度で使うようにしている	25.0%	75.0%	100.0%		
食事は残さないようにしている	17.9%	82.1%	100.0%		
ごみのポイ捨てをしないようにしている	0.0%	100.0%	100.0%		

中学生【実行していること】

「いつもしている」という回答が多い項目は、「ごみのポイ捨てをしないようにしている」が84.0%と最も多く、次いで、「食事は残さないようにしている」が61.5%、「お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている」が61.0%、「買い物には買い物かごやマイバッグを持参している」が46.0%となっています。

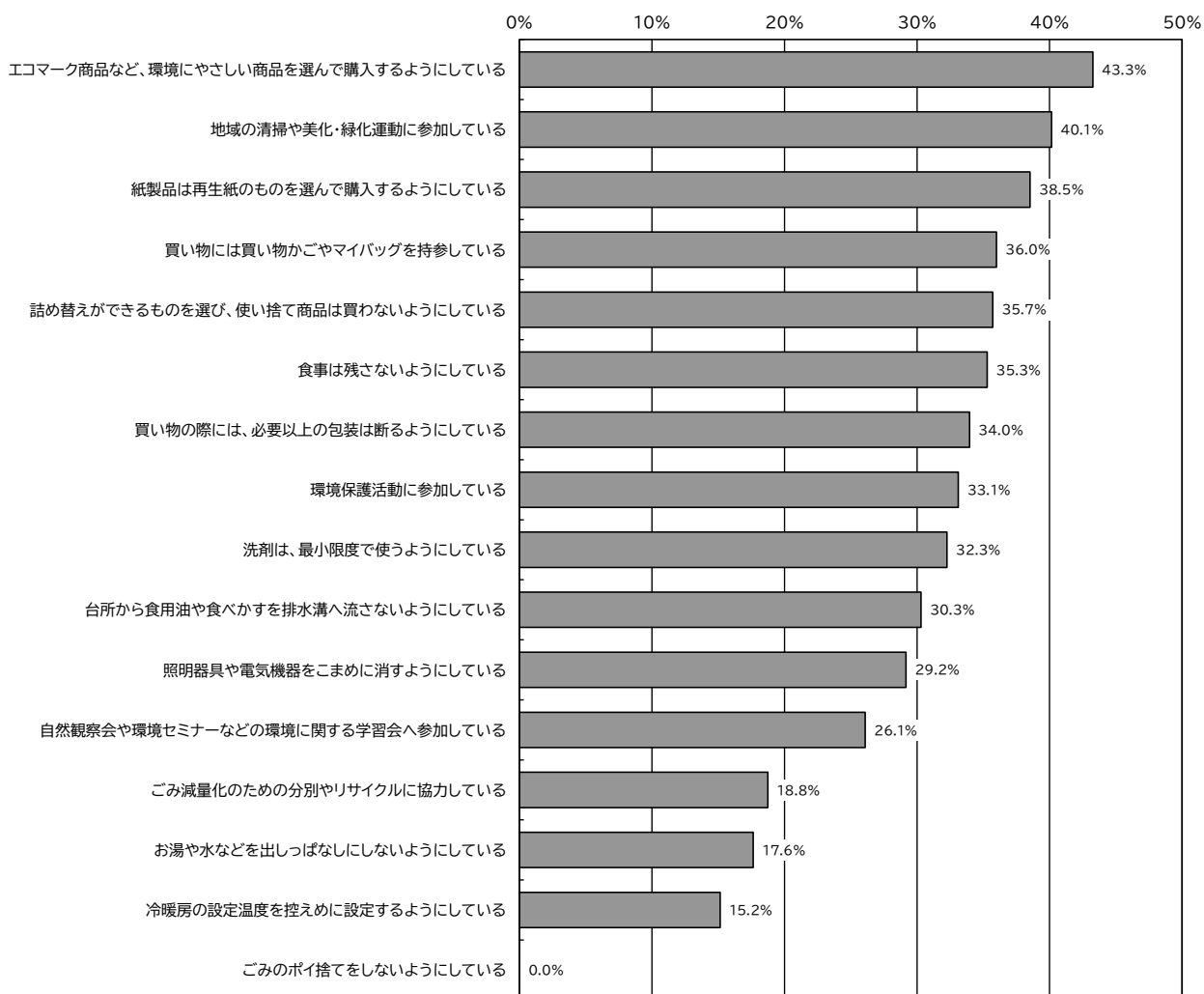
また、「全くしていない」の項目では、「自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している」が65.2%、「環境保護活動に参加している」が53.5%、「地域の清掃や美化・緑化運動に参加している」が43.9%となっています。



項目(実行していること)	いつも している	だいたい している	ときどき している	あまり していない	全く していない	無回答	合計
ごみのポイ捨てをしないようにしている	157	14	6	3	5	2	187
食事は残さないようにしている	115	37	16	9	8	2	187
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	114	36	18	11	6	2	187
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	86	51	22	12	13	3	187
照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている	79	54	28	17	7	2	187
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	78	51	38	9	7	4	187
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	74	46	32	19	14	2	187
洗剤は、最小限度で使うようにしている	57	54	43	18	13	2	187
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	54	34	54	24	18	3	187
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	51	37	43	30	23	3	187
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	42	56	53	21	12	3	187
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようになっている	17	17	41	66	43	3	187
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようになっている	11	22	46	65	39	4	187
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	8	14	26	55	82	2	187
環境保護活動に参加している	7	7	18	51	100	4	187
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	5	7	11	39	122	3	187
構成比(%)	いつも している	だいたい している	ときどき している	あまり していない	全く していない	無回答	合計
ごみのポイ捨てをしないようにしている	84.0%	7.5%	3.2%	1.6%	2.7%	1.1%	100.0%
食事は残さないようにしている	61.5%	19.8%	8.6%	4.8%	4.3%	1.1%	100.0%
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	61.0%	19.3%	9.6%	5.9%	3.2%	1.1%	100.0%
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	46.0%	27.3%	11.8%	6.4%	7.0%	1.6%	100.0%
照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている	42.2%	28.9%	15.0%	9.1%	3.7%	1.1%	100.0%
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	41.7%	27.3%	20.3%	4.8%	3.7%	2.1%	100.0%
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	39.6%	24.6%	17.1%	10.2%	7.5%	1.1%	100.0%
洗剤は、最小限度で使うようにしている	30.5%	28.9%	23.0%	9.6%	7.0%	1.1%	100.0%
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	28.9%	18.2%	28.9%	12.8%	9.6%	1.6%	100.0%
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	27.3%	19.8%	23.0%	16.0%	12.3%	1.6%	100.0%
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	22.5%	29.9%	28.3%	11.2%	6.4%	1.6%	100.0%
紙製品は再生紙のものを選んで購入するようになっている	9.1%	9.1%	21.9%	35.3%	23.0%	1.6%	100.0%
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようになっている	5.9%	11.8%	24.6%	34.8%	20.9%	2.1%	100.0%
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	4.3%	7.5%	13.9%	29.4%	43.9%	1.1%	100.0%
環境保護活動に参加している	3.7%	3.7%	9.6%	27.3%	53.5%	2.1%	100.0%
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	2.7%	3.7%	5.9%	20.9%	65.2%	1.6%	100.0%

中学生【今後取り組みたいこと】

「あまりしていない」、「全くしていない」を回答された中で、今後取り組んでみたいことでは、「エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようにしている」が43.3%、「地域の清掃や美化・緑化運動に参加している」が40.1%、「紙製品は再生紙のものを選んで購入するようにしている」が38.5%となっています。



※設問に合わせ、語尾を「している」と表記しています。

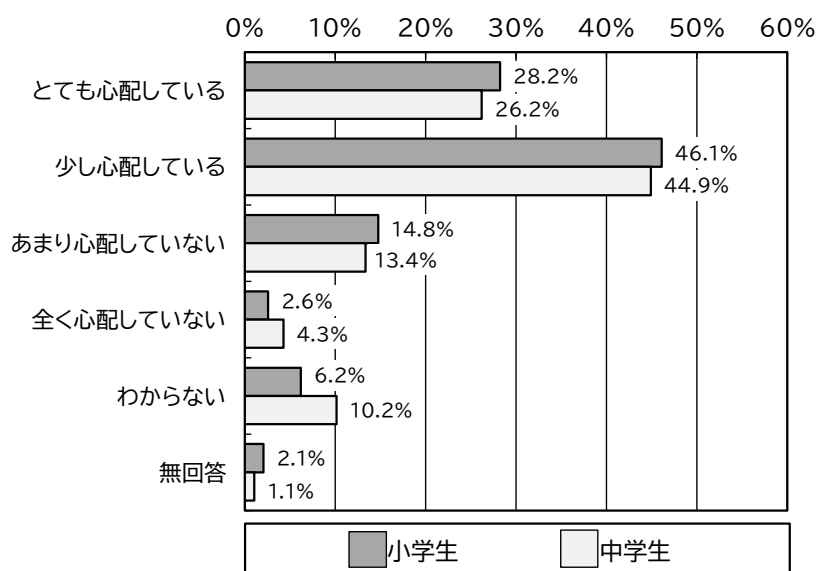
「ごみのポイ捨てをしないようにしている」は回答がありませんでした。

項目(今後取り組み)	取り組みたい	無回答	回答者数	非該当	合計
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入している	45	59	104	83	187
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	55	82	137	50	187
紙製品は再生紙のものを選んで購入している	42	67	109	78	187
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	9	16	25	162	187
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	15	27	42	145	187
食事は残さないようにしている	6	11	17	170	187
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	18	35	53	134	187
環境保護活動に参加している	50	101	151	36	187
洗剤は、最小限度で使うようになっている	10	21	31	156	187
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	10	23	33	154	187
照明器具や電気機器をこまめに消すようになっている	7	17	24	163	187
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	42	119	161	26	187
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	3	13	16	171	187
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	3	14	17	170	187
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	5	28	33	154	187
ごみのポイ捨てをしないようにしている	0	8	8	179	187
構成比(%)	取り組みたい	無回答	回答者数	非該当	合計
エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入している	43.3%	56.7%	100.0%		
地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	40.1%	59.9%	100.0%		
紙製品は再生紙のものを選んで購入している	38.5%	61.5%	100.0%		
買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	36.0%	64.0%	100.0%		
詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	35.7%	64.3%	100.0%		
食事は残さないようにしている	35.3%	64.7%	100.0%		
買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	34.0%	66.0%	100.0%		
環境保護活動に参加している	33.1%	66.9%	100.0%		
洗剤は、最小限度で使うようになっている	32.3%	67.7%	100.0%		
台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	30.3%	69.7%	100.0%		
照明器具や電気機器をこまめに消すようになっている	29.2%	70.8%	100.0%		
自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	26.1%	73.9%	100.0%		
ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	18.8%	81.3%	100.0%		
お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	17.6%	82.4%	100.0%		
冷暖房の設定温度を控えめに設定するようになっている	15.2%	84.8%	100.0%		
ごみのポイ捨てをしないようにしている	0.0%	100.0%	100.0%		

問17 あなたは、現在の地球の環境についてどのように考えていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の地球の環境について、どのように考えているかでは、小学生は、「少し心配している」が46.1%となっており、「とても心配している」と合わせると7割以上が心配していると回答しています。

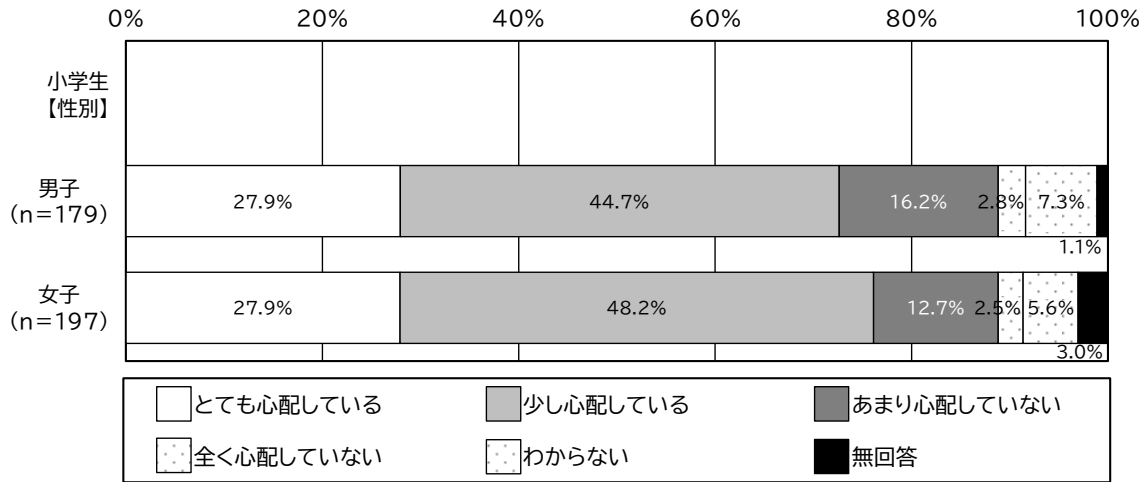
また、中学生も、「少し心配している」が44.9%となっており、「とても心配している」と合わせると7割以上が心配していると回答しています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
とても心配している	109	28.2%	49	26.2%
少し心配している	178	46.1%	84	44.9%
あまり心配していない	57	14.8%	25	13.4%
全く心配していない	10	2.6%	8	4.3%
わからない	24	6.2%	19	10.2%
無回答	8	2.1%	2	1.1%
合計	386	100.0%	187	100.0%

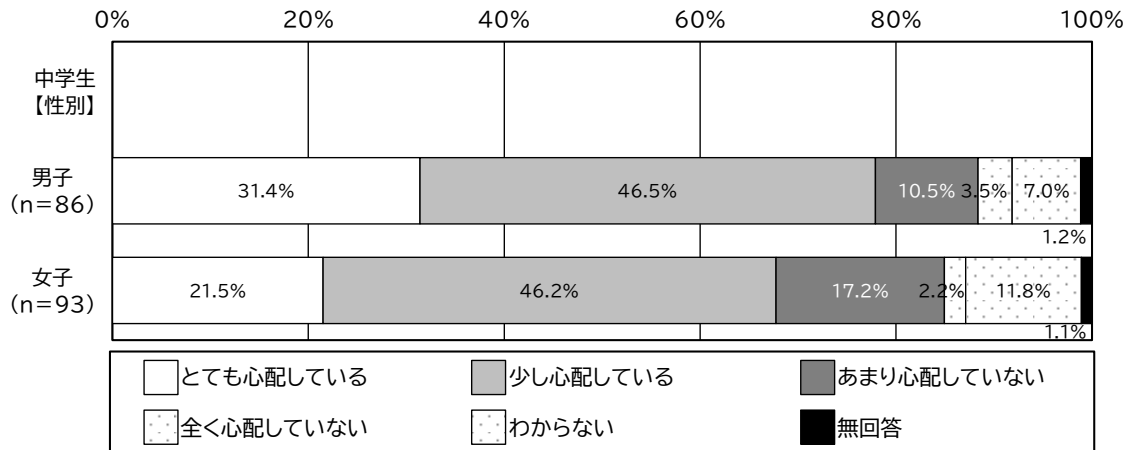
【現在の地球の環境について、どのように考えているかについて：小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「とても心配している」、「少し心配している」を合わせた項目で、男子が72.6%、女子が76.1%となっています。



【現在の地球の環境について、どのように考えているかについて：中学生男女別クロス表】

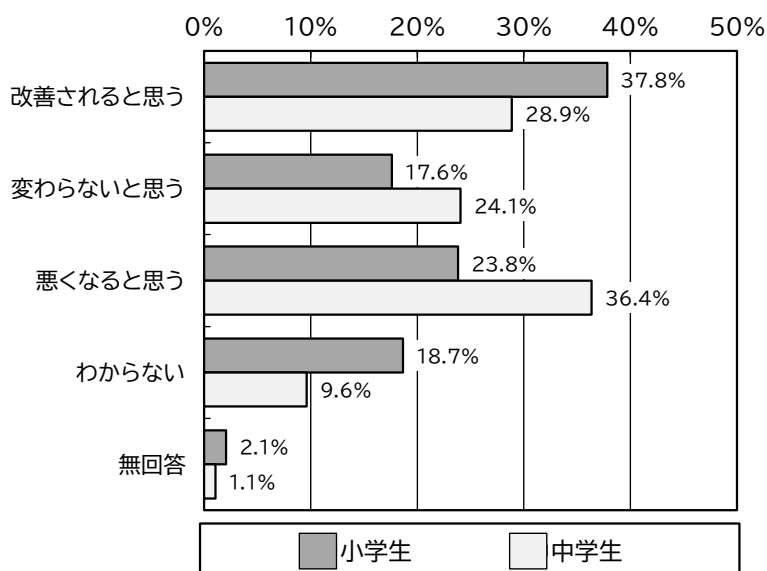
中学生の男女別では、「とても心配している」、「少し心配している」を合わせた項目で、男子が77.9%、女子が67.7%となっています。



問18 今後の地球環境はどのようになると思いますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

今後の地球環境はどのようになると思うかでは、小学生は、「改善されると思う」が37.8%と最も多く、次いで「悪くなると思う」が23.8%、「変わらないと思う」が17.6%となっています。

また、中学生は、「悪くなると思う」が36.4%で最も多く、次いで「改善されると思う」が28.9%、「変わらないと思う」が24.1%となっています。

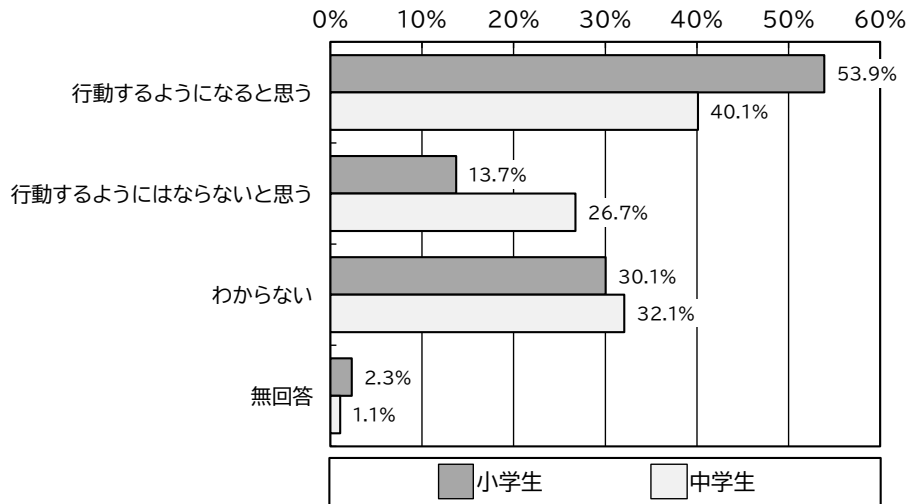


項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
改善されると思う	146	37.8%	54	28.9%
変わらないと思う	68	17.6%	45	24.1%
悪くなると思う	92	23.8%	68	36.4%
わからない	72	18.7%	18	9.6%
無回答	8	2.1%	2	1.1%
合計	386	100.0%	187	100.0%

7 環境の保全や改善のための行動

問19 あなたは、「あなたと同じ年代の人たちが、環境の保全や改善のための具体的な行動などについて学べば、その行動を心がけるようになる」と思いますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

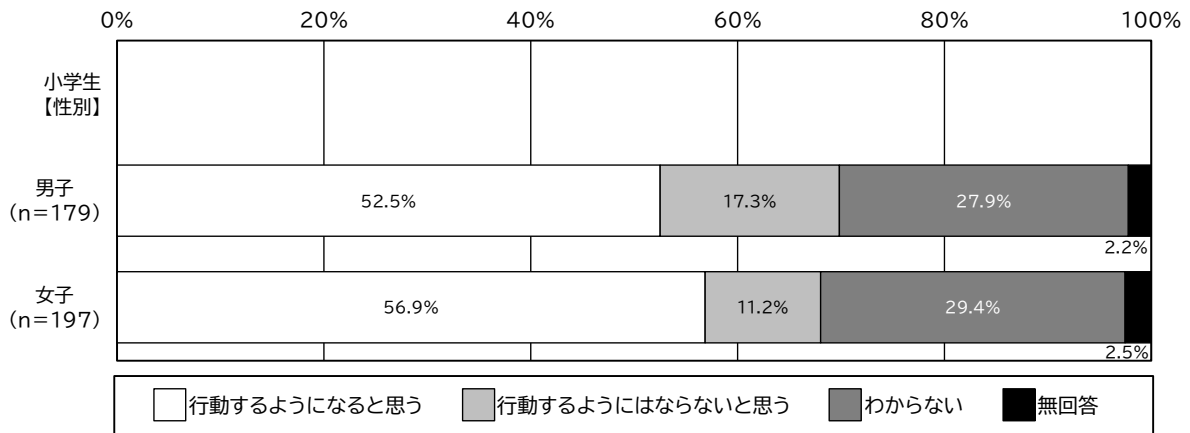
環境の保全や改善のための行動を学べば、「行動するようになると思う」が、小学生は53.9%、中学生は40.1%となっています。



項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
行動するようになると思う	208	53.9%	75	40.1%
行動するようにはならないと思う	53	13.7%	50	26.7%
わからない	116	30.1%	60	32.1%
無回答	9	2.3%	2	1.1%
合計	386	100.0%	187	100.0%

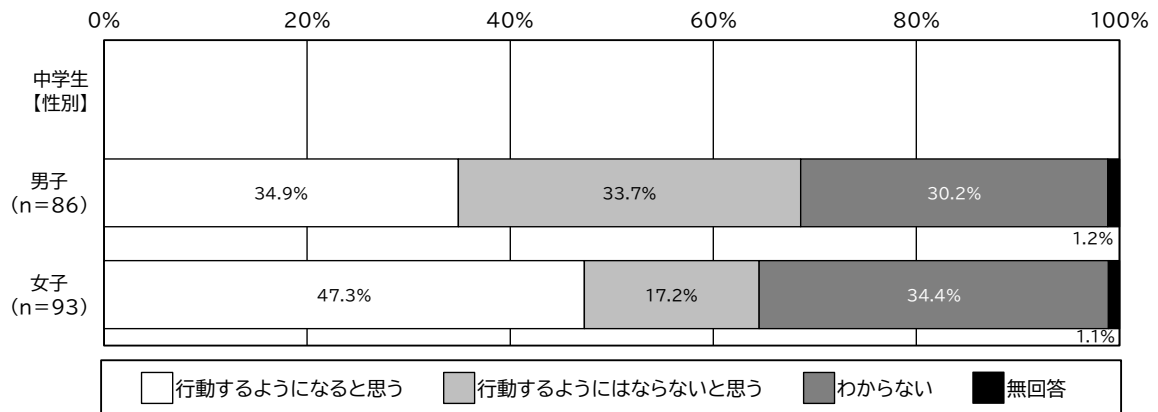
**【環境の保全や改善のための具体的な行動などについて学ば、その行動を心がけるようになるについて
:小学生男女別クロス表】**

小学生の男女別では、「行動するようになると思う」が、男子は 52.5%、女子は 56.9%となっています。



**【環境の保全や改善のための具体的な行動などについて学ば、その行動を心がけるようになるについて
:中学生男女別クロス表】**

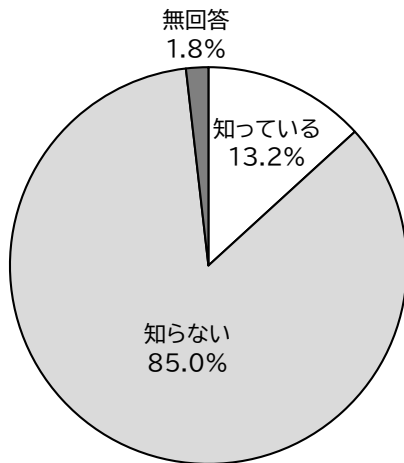
中学生の男女別では、「行動するようになると思う」が、男子は 34.9%、女子は 47.3%となっています。



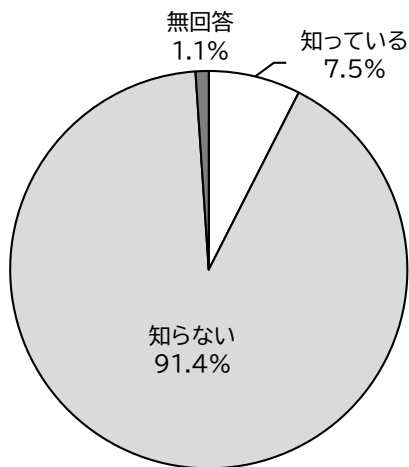
問 20 あなたは、ふじみ野市が作った「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っているかでは、小学生は、「知らない」が85.0%となっており、「知っている」が13.2%となっています。

また、中学生は、「知らない」が91.4%となっており、「知っている」が7.5%となっています。



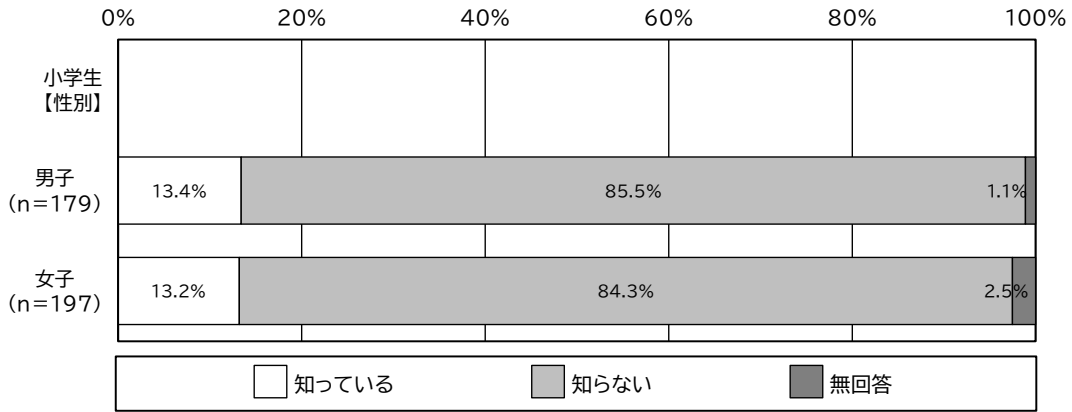
小学生		
項目	度数	構成比
知っている	51	13.2%
知らない	328	85.0%
無回答	7	1.8%
合計	386	100.0%



中学生		
項目	度数	構成比
知っている	14	7.5%
知らない	171	91.4%
無回答	2	1.1%
合計	187	100.0%

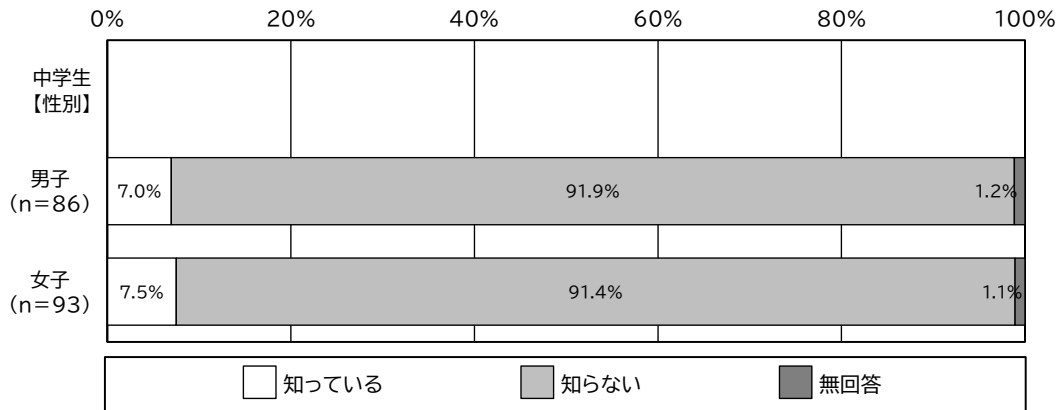
【「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っているかについて:小学生男女別クロス表】

小学生の男女別では、「知っている」が、男子は13.4%、女子は13.2%となっており、「知らない」が、男子は85.5%、女子は84.3%となっています。



【「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っているかについて:中学生男女別クロス表】

中学生の男女別では、「知っている」が、男子は7.0%、女子は7.5%となっており、「知らない」が、男子は91.9%、女子は91.4%となっています。

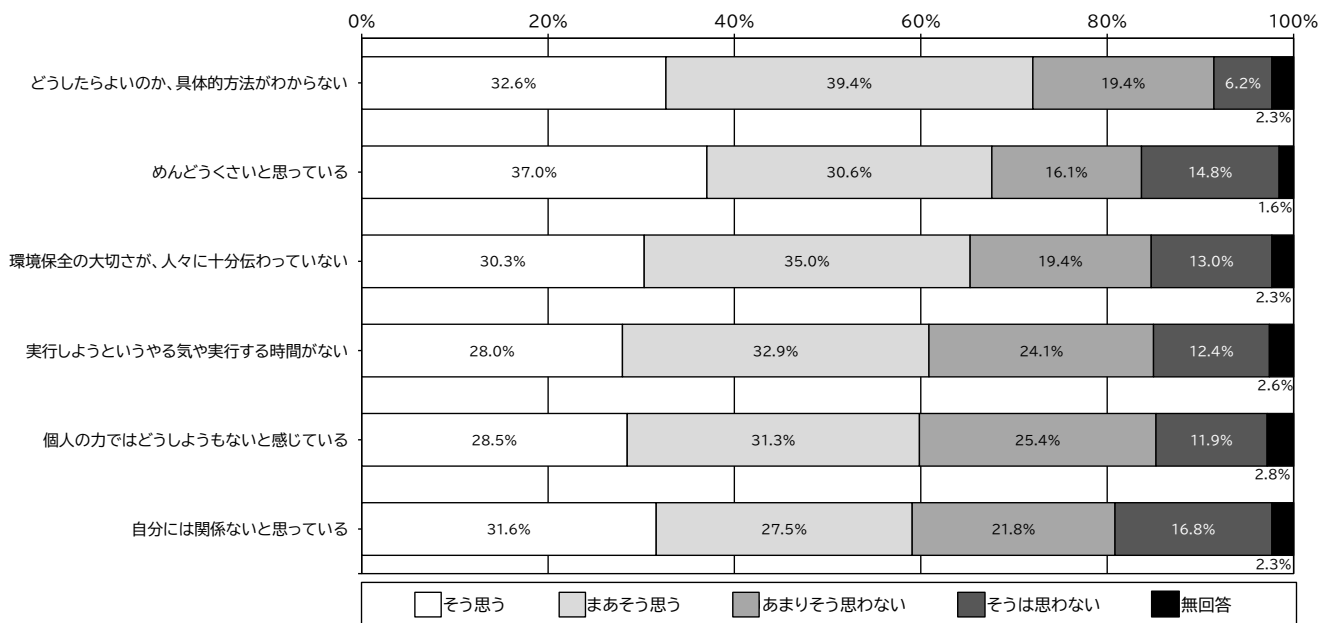


問 21 「環境問題を解決するためには、一人ひとりの行動が大切である」と思っても、実際に行動しない人が多いのはなぜだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを各項目についてそれぞれ1つに○をつけてください。

【小学生】

「そう思う」、「まあそう思う」を合わせた項目では、「どうしたらよいのか、具体的方法がわからない」が72.0%、「めんどくさいと思っている」が67.6%、「環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない」が65.3%となっています。

また、「あまりそう思わない」、「そうは思わない」を合わせた項目では、「自分には関係ないと思っている」が38.6%、「個人の方ではどうしようもないと感じている」が37.3%となっています。

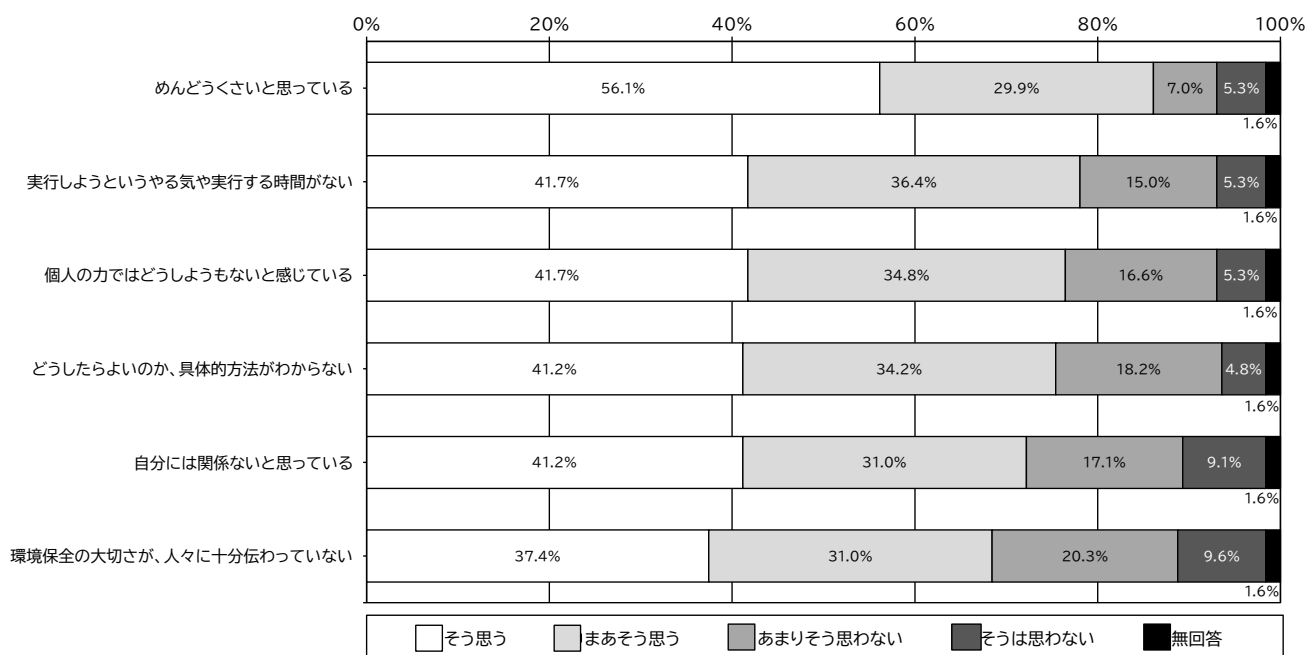


項目	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
どうしたらよいのか、具体的方法がわからない	126	152	75	24	9	386
めんどくさいと思っている	143	118	62	57	6	386
環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない	117	135	75	50	9	386
実行しようというやる気や実行する時間がない	108	127	93	48	10	386
個人の方ではどうしようもないと感じている	110	121	98	46	11	386
自分には関係ないと思っている	122	106	84	65	9	386
構成比(%)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
どうしたらよいのか、具体的方法がわからない	32.6%	39.4%	19.4%	6.2%	2.3%	100.0%
めんどくさいと思っている	37.0%	30.6%	16.1%	14.8%	1.6%	100.0%
環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない	30.3%	35.0%	19.4%	13.0%	2.3%	100.0%
実行しようというやる気や実行する時間がない	28.0%	32.9%	24.1%	12.4%	2.6%	100.0%
個人の方ではどうしようもないと感じている	28.5%	31.3%	25.4%	11.9%	2.8%	100.0%
自分には関係ないと思っている	31.6%	27.5%	21.8%	16.8%	2.3%	100.0%

【中学生】

「そう思う」、「まあそう思う」を合わせた項目では、「めんどくさいと思っている」が 86.0%、「実行しようというやる気や実行する時間がない」が 78.1%、「個人の力ではどうしようもないと感じている」が 76.5%となっています。

また、「あまりそう思わない」、「そうは思わない」を合わせた項目では、「環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない」が 29.9%、「自分には関係ないと思っている」が 26.2%となっています。



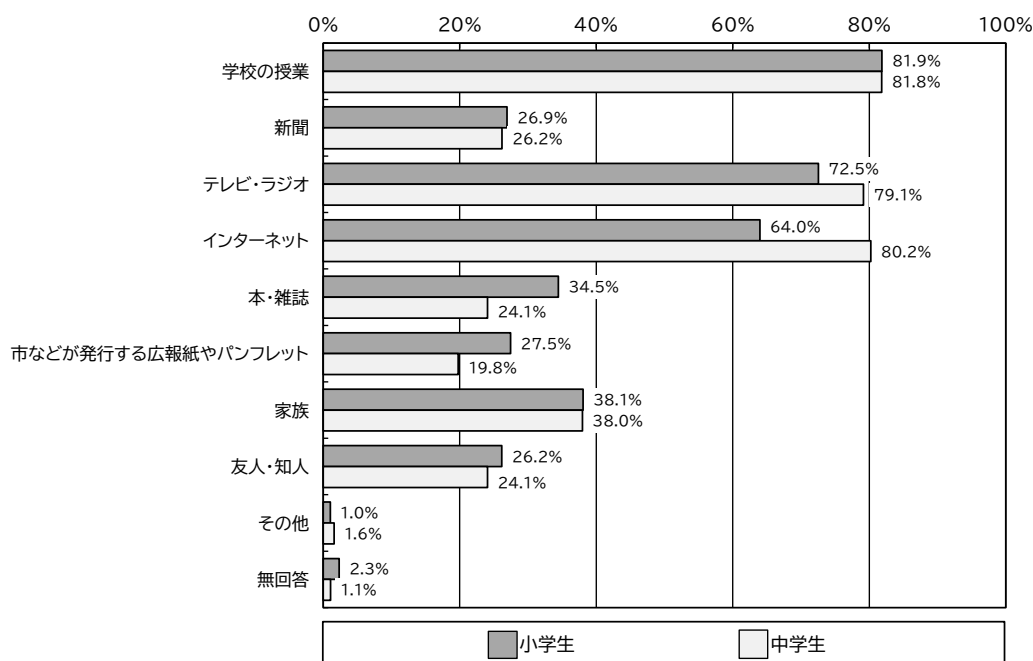
項目	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
めんどくさいと思っている	105	56	13	10	3	187
実行しようというやる気や実行する時間がない	78	68	28	10	3	187
個人の力ではどうしようもないと感じている	78	65	31	10	3	187
どうしたらよいのか、具体的方法がわからない	77	64	34	9	3	187
自分には関係ないと思っている	77	58	32	17	3	187
環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない	70	58	38	18	3	187
構成比(%)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
めんどくさいと思っている	56.1%	29.9%	7.0%	5.3%	1.6%	100.0%
実行しようというやる気や実行する時間がない	41.7%	36.4%	15.0%	5.3%	1.6%	100.0%
個人の力ではどうしようもないと感じている	41.7%	34.8%	16.6%	5.3%	1.6%	100.0%
どうしたらよいのか、具体的方法がわからない	41.2%	34.2%	18.2%	4.8%	1.6%	100.0%
自分には関係ないと思っている	41.2%	31.0%	17.1%	9.1%	1.6%	100.0%
環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない	37.4%	31.0%	20.3%	9.6%	1.6%	100.0%

8 環境に関する情報や学習について

問22 環境問題について、どのようなところから知ることができますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

環境問題についての情報源は、小学生は、「学校の授業」が81.9%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が72.5%、「インターネット」が64.0%となっています。

また、中学生は、「学校の授業」が81.8%、「インターネット」が80.2%、「テレビ・ラジオ」が79.1%となっています。

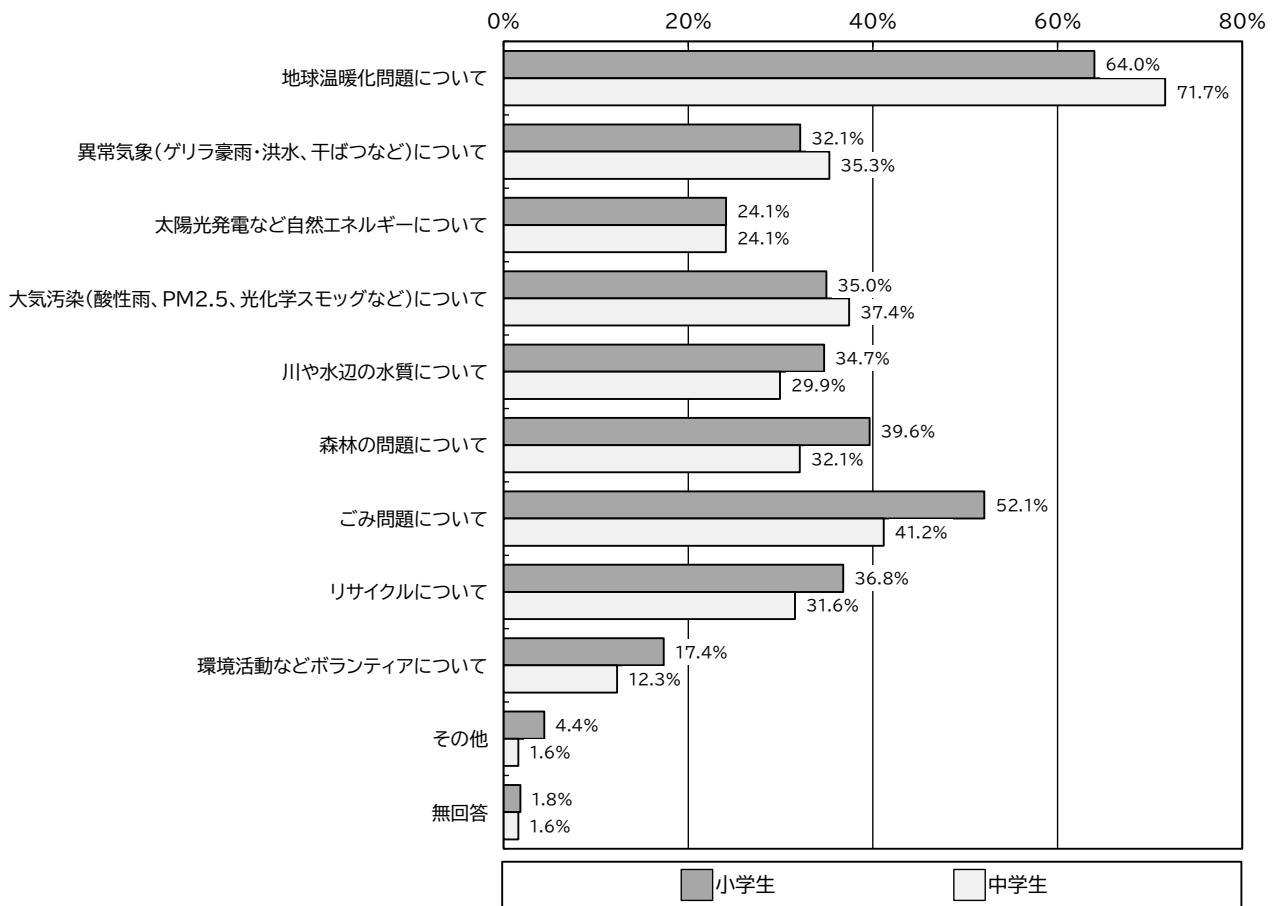


項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
学校の授業	316	81.9%	153	81.8%
新聞	104	26.9%	49	26.2%
テレビ・ラジオ	280	72.5%	148	79.1%
インターネット	247	64.0%	150	80.2%
本・雑誌	133	34.5%	45	24.1%
市などが発行する広報紙やパンフレット	106	27.5%	37	19.8%
家族	147	38.1%	71	38.0%
友人・知人	101	26.2%	45	24.1%
その他	4	1.0%	3	1.6%
無回答	9	2.3%	2	1.1%
回答者数	386		187	

問23 環境問題を学習するとしたら、どのような内容をテーマにしたいですか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

環境問題を学習するとしたらどのようなテーマにしたいかでは、小学生は、「地球温暖化問題について」が64.0%、「ごみ問題について」が52.1%、「森林の問題について」が39.6%となっています。

また、中学生は、「地球温暖化問題について」が71.7%と最も多く、次いで「ごみ問題について」が41.2%、「大気汚染(酸性雨、PM2.5、光化学スモッグなど)について」が37.4%となっています。

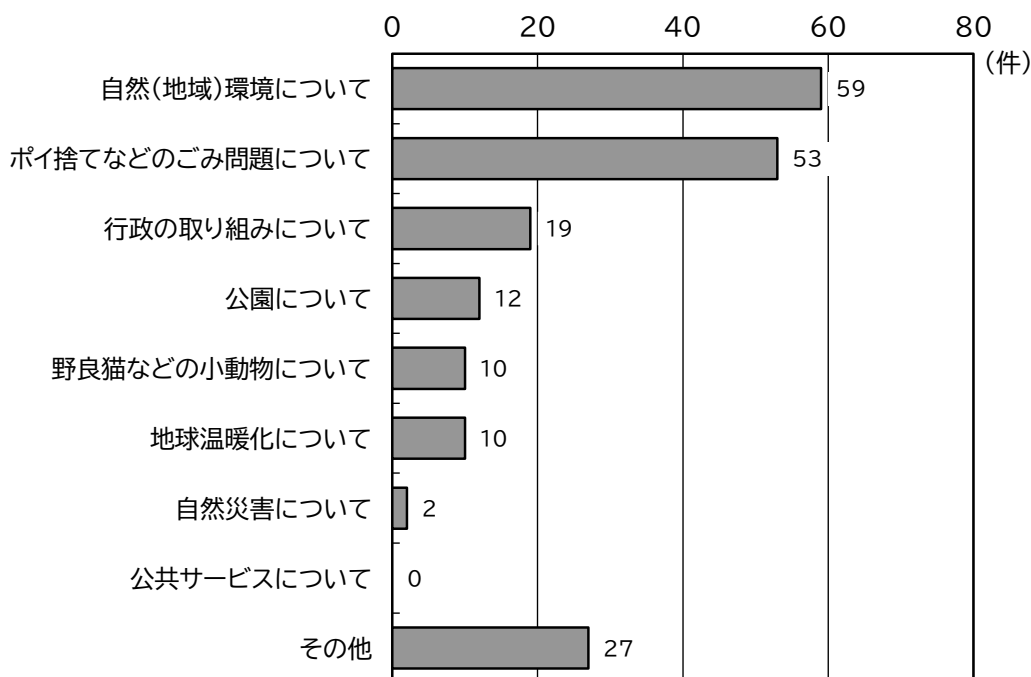


項目	小学生		中学生	
	度数	構成比	度数	構成比
地球温暖化問題について	247	64.0%	134	71.7%
異常気象(ゲリラ豪雨・洪水、干ばつなど)について	124	32.1%	66	35.3%
太陽光発電など自然エネルギーについて	93	24.1%	45	24.1%
大気汚染(酸性雨、PM2.5、光化学スモッグなど)について	135	35.0%	70	37.4%
川や水辺の水質について	134	34.7%	56	29.9%
森林の問題について	153	39.6%	60	32.1%
ごみ問題について	201	52.1%	77	41.2%
リサイクルについて	142	36.8%	59	31.6%
環境活動などボランティアについて	67	17.4%	23	12.3%
その他	17	4.4%	3	1.6%
無回答	7	1.8%	3	1.6%
回答者数	386		187	

【自由回答】

【小学生】

全 160 件のご意見があり、「自然(地域)環境について」に関するご意見が 59 件と最も多く、次いで「ポイ捨てなどのごみ問題について」に関するご意見が 53 件、「行政の取り組みについて」に関するご意見が 19 件、「公園について」に関するご意見が 12 件、「野良猫などの小動物について」に関するご意見が 10 件、「地球温暖化について」に関するご意見が 10 件、「自然災害について」に関するご意見が 2 件、「その他」が 27 件となっています。

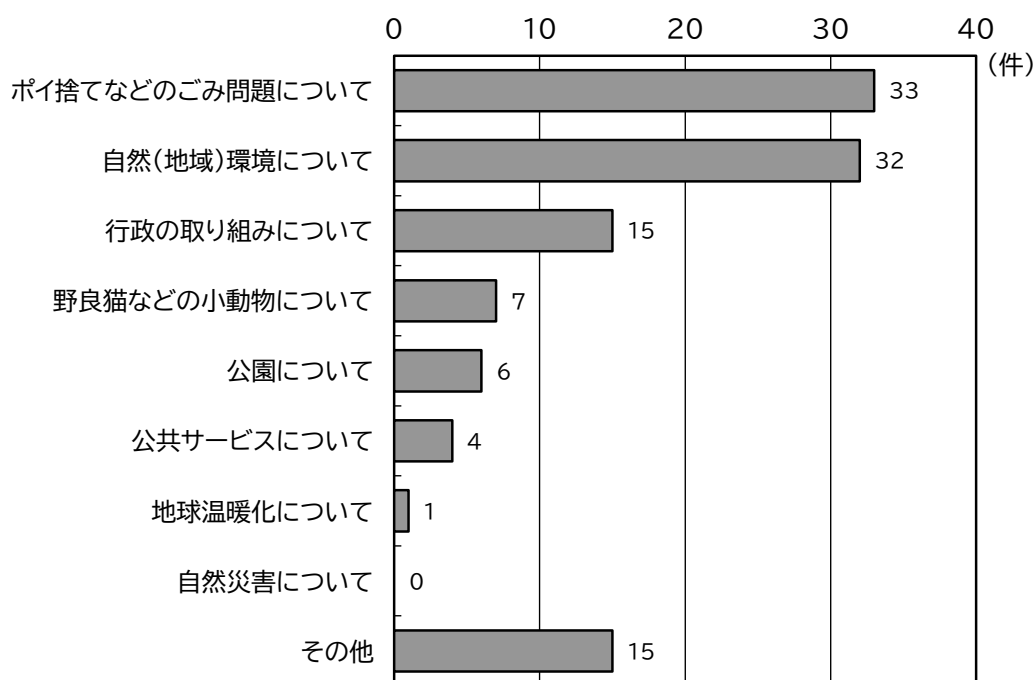


カテゴリ	項目	度数
1	自然(地域)環境について	59
2	ポイ捨てなどのごみ問題について	53
3	行政の取り組みについて	19
4	公園について	12
5	野良猫などの小動物について	10
6	地球温暖化について	10
7	自然災害について	2
8	公共サービスについて	0
9	その他	27
	合計	192

※複数のカテゴリにわたるご意見をそれぞれカウントしているため、ご意見数と合計数は必ずしも一致しません。

【中学生】

全 90 件のご意見があり、「ポイ捨てなどのごみ問題について」に関するご意見が 33 件と最も多く、次いで「自然(地域)環境について」、に関するご意見が 32 件、「行政の取り組みについて」に関するご意見が 15 件、「野良猫などの小動物について」に関するご意見が7件、「公園について」に関するご意見が 6 件、「公共サービスについて」に関するご意見が4件、「地球温暖化について」に関するご意見が1件、「その他」が 15 件となっています。



カテゴリ	項目	度数
1	ポイ捨てなどのごみ問題について	33
2	自然(地域)環境について	32
3	行政の取り組みについて	15
4	野良猫などの小動物について	7
5	公園について	6
6	公共サービスについて	4
7	地球温暖化について	1
8	自然災害について	0
9	その他	15
	合計	113

※複数のカテゴリにわたるご意見をそれぞれカウントしているため、ご意見数と合計数は必ずしも一致しません。

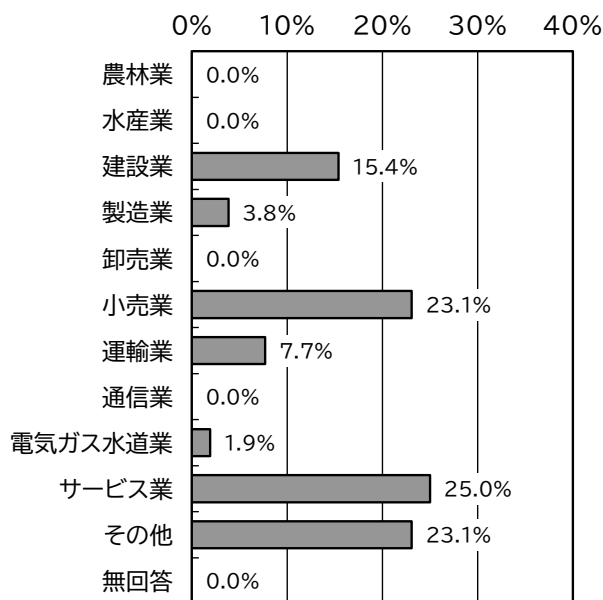
■ 事業所

1 事業所について

問1 貴事業所について

① 業種

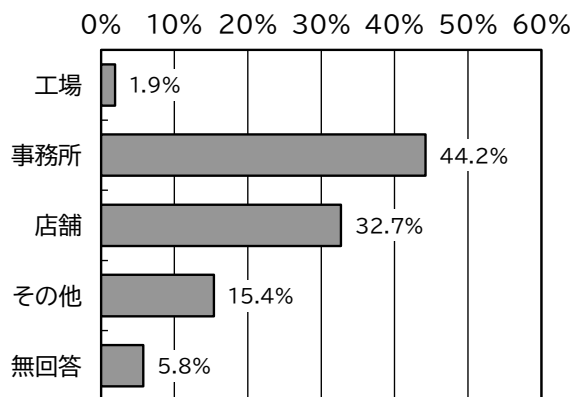
「サービス業」が 25.0%、「小売業」が 23.1%、「建設業」が 15.4%となっています。



項目	度数	構成比
農林業	0	0.0%
水産業	0	0.0%
建設業	8	15.4%
製造業	2	3.8%
卸売業	0	0.0%
小売業	12	23.1%
運輸業	4	7.7%
通信業	0	0.0%
電気ガス水道業	1	1.9%
サービス業	13	25.0%
その他	12	23.1%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

② 事業形態

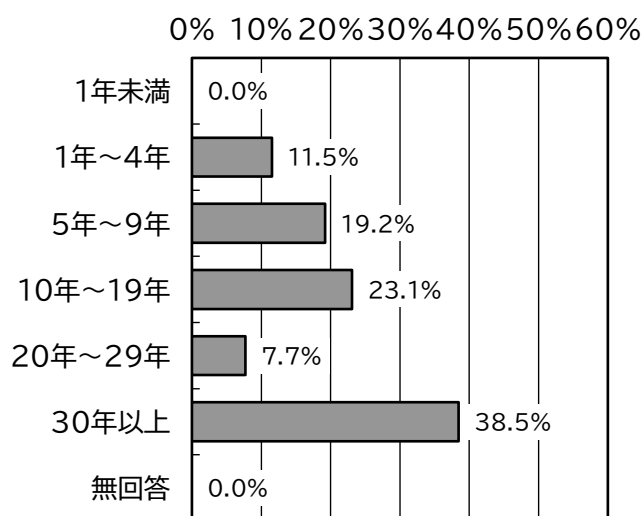
「事務所」が 44.2%、「店舗」が 32.7%、「工場」が 1.9%となっています。



項目	度数	構成比
工場	1	1.9%
事務所	23	44.2%
店舗	17	32.7%
その他	8	15.4%
無回答	3	5.8%
合計	52	100.0%

③ ふじみ野市在所年数

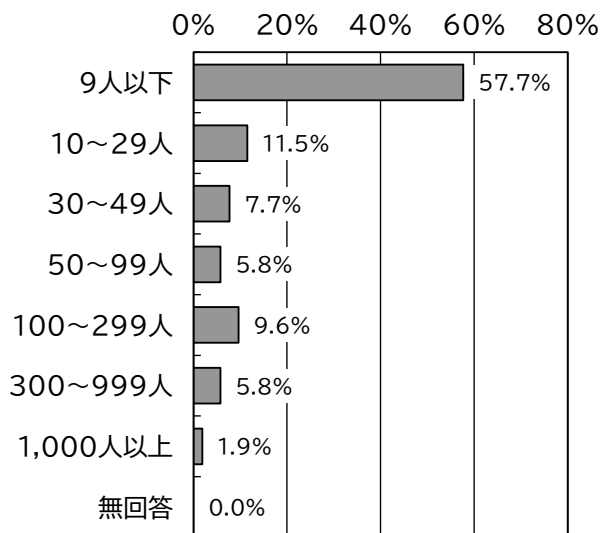
「30年以上」が38.5%、「10年～19年」が23.1%、「5年～9年」が19.2%となっています。



項目	度数	構成比
1年未満	0	0.0%
1年～4年	6	11.5%
5年～9年	10	19.2%
10年～19年	12	23.1%
20年～29年	4	7.7%
30年以上	20	38.5%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

④ 従業員数(パート含む)

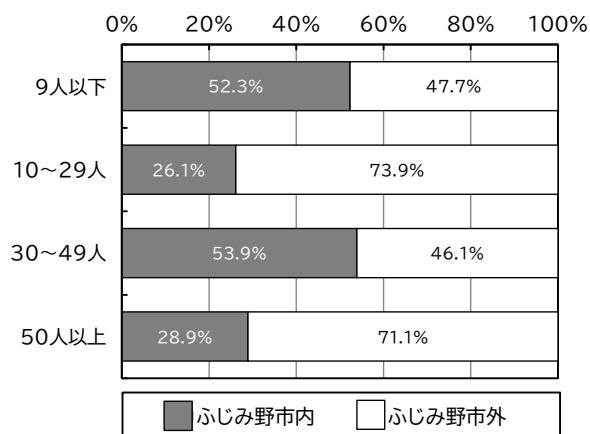
「9人以下」が57.7%、「10～29人」が11.5%となっています。



項目	度数	構成比
9人以下	30	57.7%
10～29人	6	11.5%
30～49人	4	7.7%
50～99人	3	5.8%
100～299人	5	9.6%
300～999人	3	5.8%
1,000人以上	1	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

⑤ 従業員の住所地(自宅)

「9人以下」の事業所では、「ふじみ野市内」が52.3%、「ふじみ野市外」が47.7%となっており、「50人以上」の事業所では、「ふじみ野市内」が28.9%、「ふじみ野市外」が71.1%となっています。



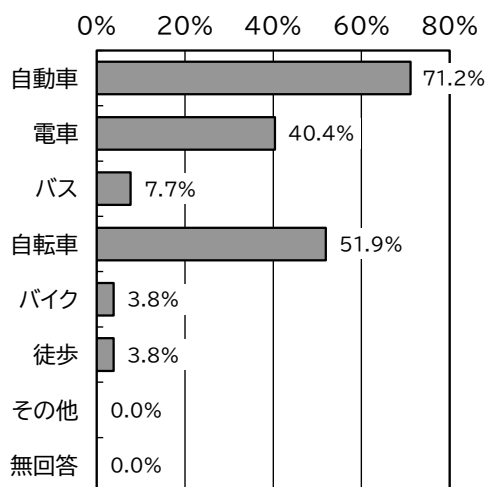
項目	事業所数
9人以下	29
10~29人	6
30~49人	4
50人以上	11
無回答	2
合計	52

項目	ふじみ野市内		ふじみ野市外		合計	構成比
	人	構成比	人	構成比		
9人以下	57	52.3%	52	47.7%	109	100.0%
10~29人	23	26.1%	65	73.9%	88	100.0%
30~49人	76	53.9%	65	46.1%	141	100.0%
50人以上	568	28.9%	1396	71.1%	1964	100.0%

⑥ 従業員の主な交通手段とその割合

「自動車」が71.2%、「自転車」が51.9%、「電車」が40.4%となっています。

また、その割合は、「自動車」、「電車」は「1割以上3割未満」が多く、「自転車」は「3割以上5割未満」が多くなっています。

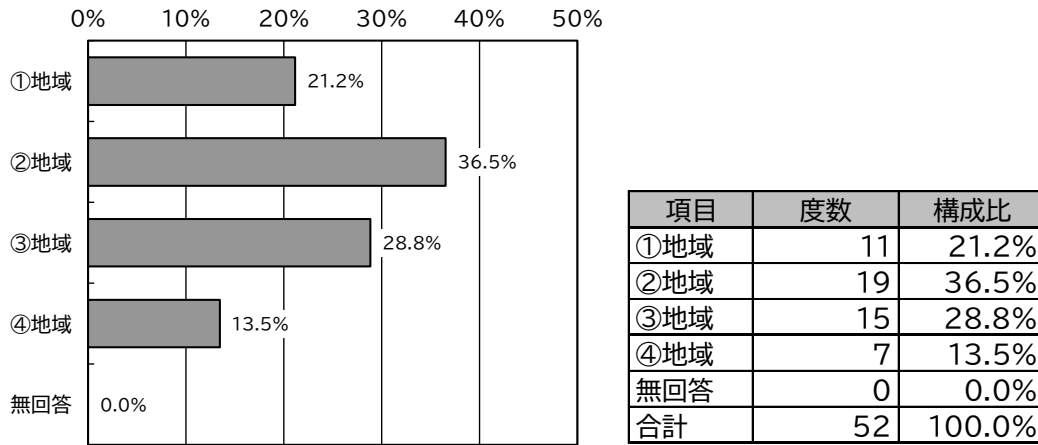


項目	度数	構成比
自動車	37	71.2%
電車	21	40.4%
バス	4	7.7%
自転車	27	51.9%
バイク	2	3.8%
徒歩	2	3.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	52	100.0%

項目	1.自動車	2.電車	3.バス	4.自転車	5.バイク	6.徒歩	7.その他
1割未満	0	0	0	1	2	2	0
1割以上3割未満	11	9	2	6	9	9	0
3割以上5割未満	3	3	0	9	2	2	0
5割以上8割未満	7	1	0	4	3	3	0
8割以上	6	5	0	2	3	3	0
無回答	10	3	2	5	2	2	0
回答者数	37	21	4	27	21	21	0

⑦ 事業所の所在地 事業所の所在地の地域についてお答えください。該当する住所に○をつけ、丁目がある場合は、()内に数字をご記入ください。

「②地域」が 36.5%、「③地域」が 28.8%、「①地域」が 21.2%、「④地域」が 13.5%となっています。

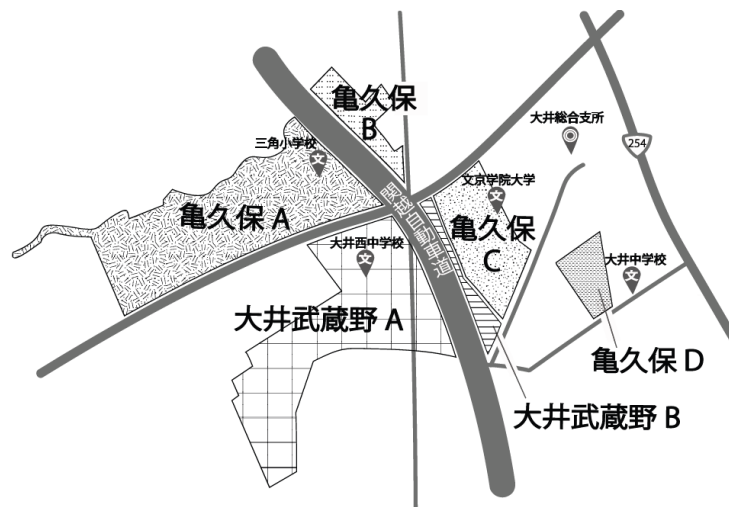


【地域分け図】



地区	地域	度数	事業所数	地区	地域	度数	事業所数	地区	地域	度数	事業所数
大井821番地~1294番地	①	0	71	鶴ヶ舞一丁目	②	0	35	駒林元町一丁目	③	0	10
苗間1~51番地	①	0	51	鶴ヶ舞二丁目	②	2	82	駒林元町二丁目	③	0	8
亀久保A	①	0	222	鶴ヶ舞三丁目	②	0	65	駒林元町三丁目	③	0	20
亀久保B	①	0	8	東久保一丁目	②	2	32	駒林元町四丁目	③	0	15
亀久保C	①	1	109	旭一丁目	②	0	46	苗間227~568番地	③	2	90
亀久保D	①	0	27	うれし野一丁目	②	1	48	苗間569~732番地	③	0	45
亀久保一丁目	①	0	30	うれし野二丁目	②	1	222	川崎	④	0	30
亀久保二丁目	①	0	40	市沢一丁目	②	0	39	川崎一丁目	④	0	6
亀久保三丁目	①	1	43	市沢二丁目	②	2	27	川崎二丁目	④	0	10
亀久保四丁目	①	0	63	市沢三丁目	②	1	26	清見一丁目	④	2	19
鶴ヶ岡一丁目	①	0	46	ふじみ野一丁目	②	3	142	清見二丁目	④	0	22
鶴ヶ岡二丁目	①	0	89	ふじみ野二丁目	②	0	51	清見三丁目	④	0	20
鶴ヶ岡三丁目	①	0	78	ふじみ野三丁目	②	2	19	清見四丁目	④	0	8
鶴ヶ岡四丁目	①	0	22	ふじみ野四丁目	②	0	28	福岡	④	0	39
鶴ヶ岡五丁目	①	1	39	福岡一丁目	③	0	6	福岡二丁目	④	0	78
大井武蔵野A	①	1	133	新田一丁目	③	2	26	福岡三丁目	④	3	23
大井武蔵野B	①	0	38	新田二丁目	③	0	28	中福岡	④	0	23
西鶴ヶ岡	①	0	6	富士見台	③	0	49	福岡新田	④	0	12
西鶴ヶ岡一丁目	①	3	59	上福岡一丁目	③	2	665	駒林	④	1	85
西鶴ヶ岡二丁目	①	1	42	上福岡二丁目	③	0	72	滝一丁目	④	0	12
緑ヶ丘一丁目	①	1	34	上福岡三丁目	③	2	71	滝二丁目	④	0	8
緑ヶ丘二丁目	①	1	30	北野一丁目	③	1	41	滝三丁目	④	0	10
大井中央一丁目	①	0	24	北野二丁目	③	1	42	築地一丁目	④	0	4
大井中央二丁目	①	0	35	大原一丁目	③	0	87	築地二丁目	④	0	10
大井中央三丁目	①	0	43	大原二丁目	③	1	59	築地三丁目	④	0	12
大井中央四丁目	①	1	34	福岡中央一丁目	③	0	43	中丸一丁目	④	0	13
桜ヶ丘一丁目	①	0	39	福岡中央二丁目	③	1	49	中丸二丁目	④	0	16
桜ヶ丘二丁目	①	0	30	南台一丁目	③	1	45	長宮一丁目	④	0	11
桜ヶ丘三丁目	①	0	34	上野台一丁目	③	0	32	長宮二丁目	④	0	9
上福岡四丁目	②	0	55	上野台二丁目	③	0	11	中ノ島一丁目	④	0	6
上福岡五丁目	②	1	127	上野台三丁目	③	1	4	仲一丁目	④	0	9
上福岡六丁目	②	0	92	上ノ原一丁目	③	0	18	仲二丁目	④	0	5
西一丁目	②	0	43	上ノ原二丁目	③	0	5	仲三丁目	④	0	17
西二丁目	②	0	53	上ノ原三丁目	③	0	8	谷田一丁目	④	0	2
南台二丁目	②	1	40	西原一丁目	③	0	23	谷田二丁目	④	0	15
福岡武蔵野丸山	②	1	53	西原二丁目	③	0	7	花ノ木一・二丁目	④	0	5
霞ヶ丘一丁目	②	1	79	松山一丁目	③	0	8	元福岡一丁目	④	0	15
霞ヶ丘二丁目	②	0	19	松山二丁目	③	0	15	元福岡二丁目	④	0	28
霞ヶ丘三丁目	②	0	23	駒西一丁目	③	0	14	元福岡三丁目	④	0	12
大井221番地~820番地	②	0	94	駒西二丁目	③	0	13	新駒林四丁目	④	0	12
大井一丁目	②	1	40	駒西三丁目	③	0	19	本新田	④	0	6
大井二丁目	②	0	32	新駒林一丁目	③	0	12	池上	④	1	8
苗間一丁目	②	0	48	新駒林二丁目	③	0	12	水宮	④	0	16
				新駒林三丁目	③	1	22	無回答			
								合計		52	5,537

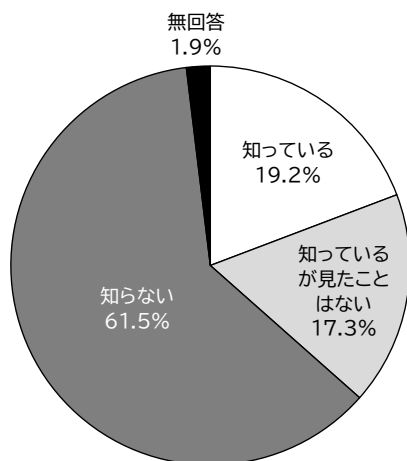
【大井武蔵野 A~B、亀久保 A~D の詳細図】



2 ふじみ野市環境基本計画について

問2 ふじみ野市では、平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画(前期行動計画)を策定していますが知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画(前期行動計画)を策定していることを知っているかでは、「知らない」が61.5%、「知っている」が19.2%、「知っているが見たことはない」が17.3%となっています

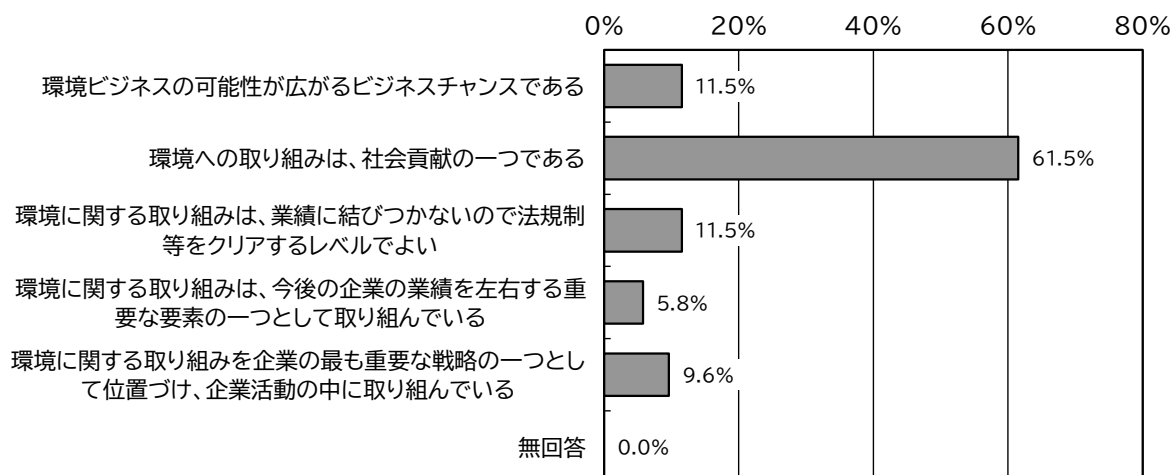


項目	度数	構成比
知っている	10	19.2%
知っているが見たことはない	9	17.3%
知らない	32	61.5%
無回答	1	1.9%
合計	52	100.0%

3 環境に関する基本的な考え方

問3 貴事業所では、企業の環境への取り組みと企業活動のあり方についてどう思われますか。考え方に最も近いものを1つ選び、○をつけてください。

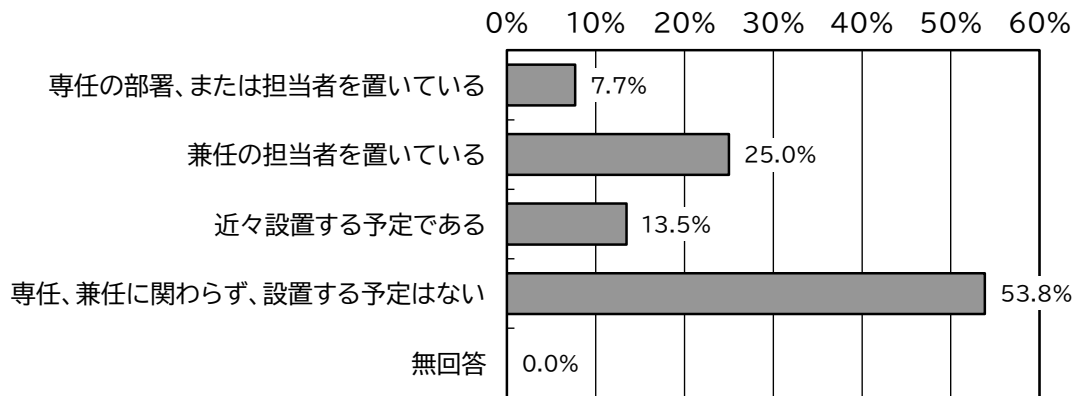
企業の環境への取り組みと企業活動のあり方については、「環境への取り組みは、社会貢献の一つである」が61.5%と最も多くなっています。



項目	度数	構成比
環境ビジネスの可能性が広がるビジネスチャンスである	6	11.5%
環境への取り組みは、社会貢献の一つである	32	61.5%
環境に関する取り組みは、業績に結びつかないので法規制等をクリアするレベルでよい	6	11.5%
環境に関する取り組みは、今後の企業の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる	3	5.8%
環境に関する取り組みを企業の最も重要な戦略の一つとして位置づけ、企業活動の中に取り組んでいる	5	9.6%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

問4 貴事業所では、環境関連の業務や作業を取り扱う部署を設置されていますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

環境関連の業務や作業を取り扱う部署の設置状況では、「専任の部署、または担当者を置いている」が7.7%、「兼任の担当者を置いている」が25.0%、「近々設置する予定である」が13.5%となっています。また、「専任、兼任に関わらず、設置する予定はない」が53.8%となっています。

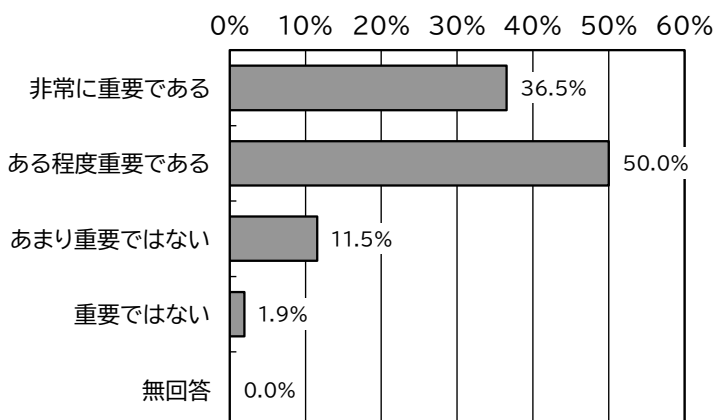


項目	度数	構成比
専任の部署、または担当者を置いている	4	7.7%
兼任の担当者を置いている	13	25.0%
近々設置する予定である	7	13.5%
専任、兼任に関わらず、設置する予定はない	28	53.8%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

問5 貴事業所にとって、環境対策へ取り組むことの重要性(経営面、社会責任面、環境保全面)についてどうお考えですか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

環境対策へ取り組むことの重要性では、「ある程度重要である」が50.0%、「非常に重要である」が36.5%となっており、8割以上の方が重要であると回答しています。

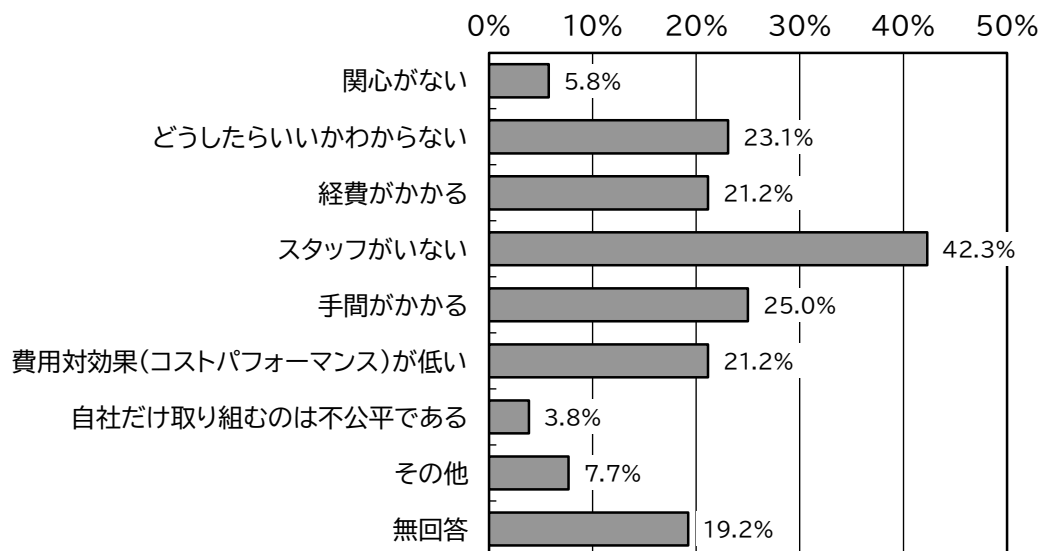
また、「重要ではない」、「あまり重要ではない」を合わせると13.4%となっています。



項目	度数	構成比
非常に重要である	19	36.5%
ある程度重要である	26	50.0%
あまり重要ではない	6	11.5%
重要ではない	1	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

問 6 貴事業所において、環境問題への取り組みが難しい場合、それはどのような理由ですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

環境問題への取り組みが難しい理由は、「スタッフがいらない」が42.3%、「手間がかかる」が25.0%、「経費がかかる」、「費用対効果(コストパフォーマンス)が低い」が同数の21.2%となっています。
また、「どうしたらいいかわからない」が23.1%となっています。

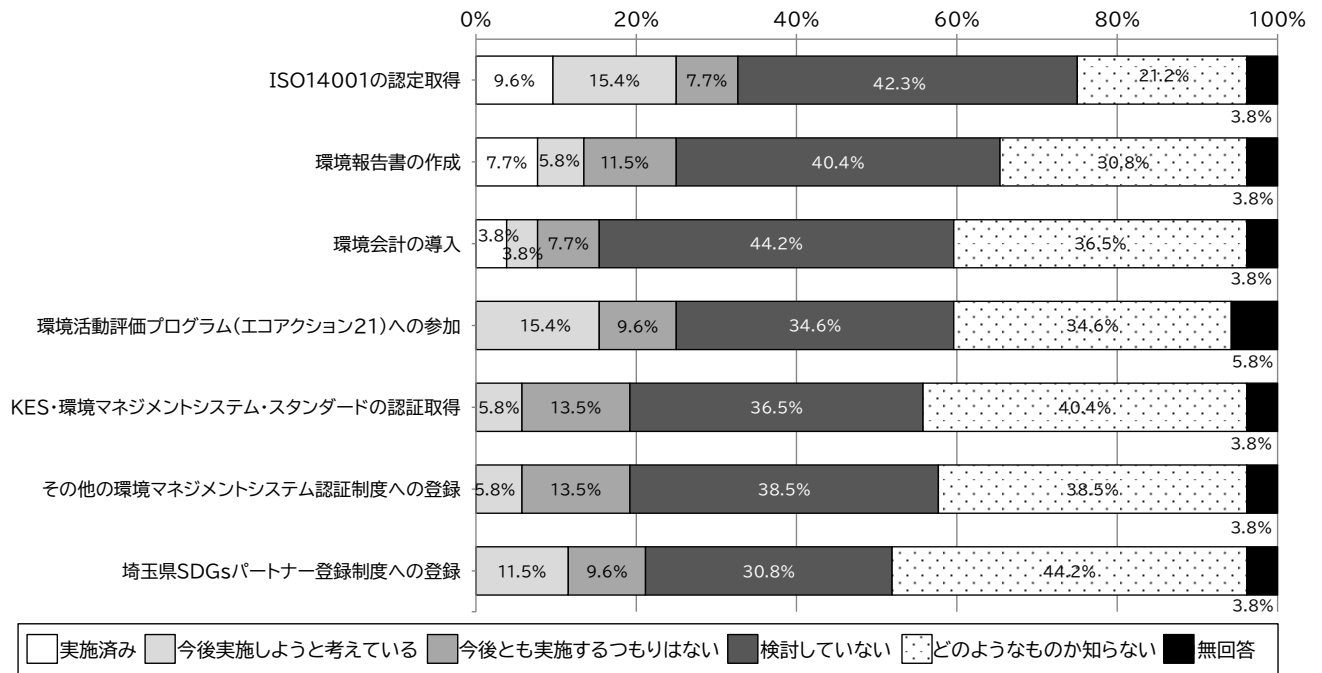


項目	度数	構成比
関心がない	3	5.8%
どうしたらいいかわからない	12	23.1%
経費がかかる	11	21.2%
スタッフがいらない	22	42.3%
手間がかかる	13	25.0%
費用対効果(コストパフォーマンス)が低い	11	21.2%
自社だけ取り組むのは不公平である	2	3.8%
その他	4	7.7%
無回答	10	19.2%
回答者数	52	

問 7 貴事業所では、環境に配慮した経営手法を用いていますか。次の中からあてはまるものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

環境に配慮した経営手法を用いているかでは、「ISO14001の認定取得」、「環境報告書の作成」の「実施済み」が多くなっています。

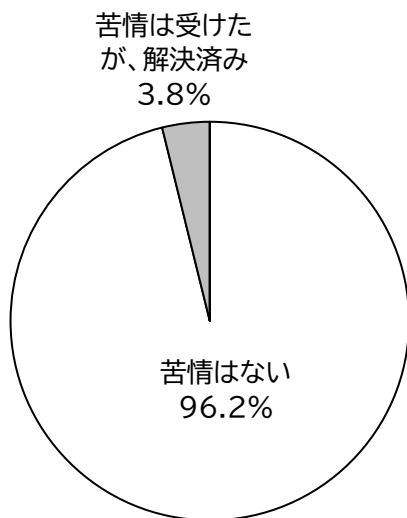
また、「どのようなものか知らない」では、「埼玉県SDGsパートナー登録制度への登録」、「KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの認証取得」、「その他の環境マネジメントシステム認証制度への登録」が多くなっています。



項目	実施済み	今後実施しようと考えている	今後とも実施するつもりはない	検討していない	どのようなものか知らない	無回答	合計
ISO14001の認定取得	5	8	4	22	11	2	52
環境報告書の作成	4	3	6	21	16	2	52
環境会計の導入	2	2	4	23	19	2	52
環境活動評価プログラム(エコアクション21)への参加	0	8	5	18	18	3	52
KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの認証取得	0	3	7	19	21	2	52
その他の環境マネジメントシステム認証制度への登録	0	3	7	20	20	2	52
埼玉県SDGsパートナー登録制度への登録	0	6	5	16	23	2	52
構成比(%)	実施済み	今後実施しようと考えている	今後とも実施するつもりはない	検討していない	どのようなものか知らない	無回答	合計
ISO14001の認定取得	9.6%	15.4%	7.7%	42.3%	21.2%	3.8%	100.0%
環境報告書の作成	7.7%	5.8%	11.5%	40.4%	30.8%	3.8%	100.0%
環境会計の導入	3.8%	3.8%	7.7%	44.2%	36.5%	3.8%	100.0%
環境活動評価プログラム(エコアクション21)への参加	0.0%	15.4%	9.6%	34.6%	34.6%	5.8%	100.0%
KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの認証取得	0.0%	5.8%	13.5%	36.5%	40.4%	3.8%	100.0%
その他の環境マネジメントシステム認証制度への登録	0.0%	5.8%	13.5%	38.5%	38.5%	3.8%	100.0%
埼玉県SDGsパートナー登録制度への登録	0.0%	11.5%	9.6%	30.8%	44.2%	3.8%	100.0%

問 8 貴事業所では、最近5年間の間に環境に関する苦情はありましたか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

最近5年間の間に環境に関する苦情があったかでは、「苦情はない」が96.2%と最も多くなっています。



項目	度数	構成比
苦情はない	50	96.2%
苦情は受けたが、解決済み	2	3.8%
苦情を受け、現在処理中	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

問 8-① 問 8 で「2. 苦情は受けたが、解決済み」、「3. 苦情を受け、現在処理中」と回答された事業所に伺います。苦情を受けた内容はどのような事ですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

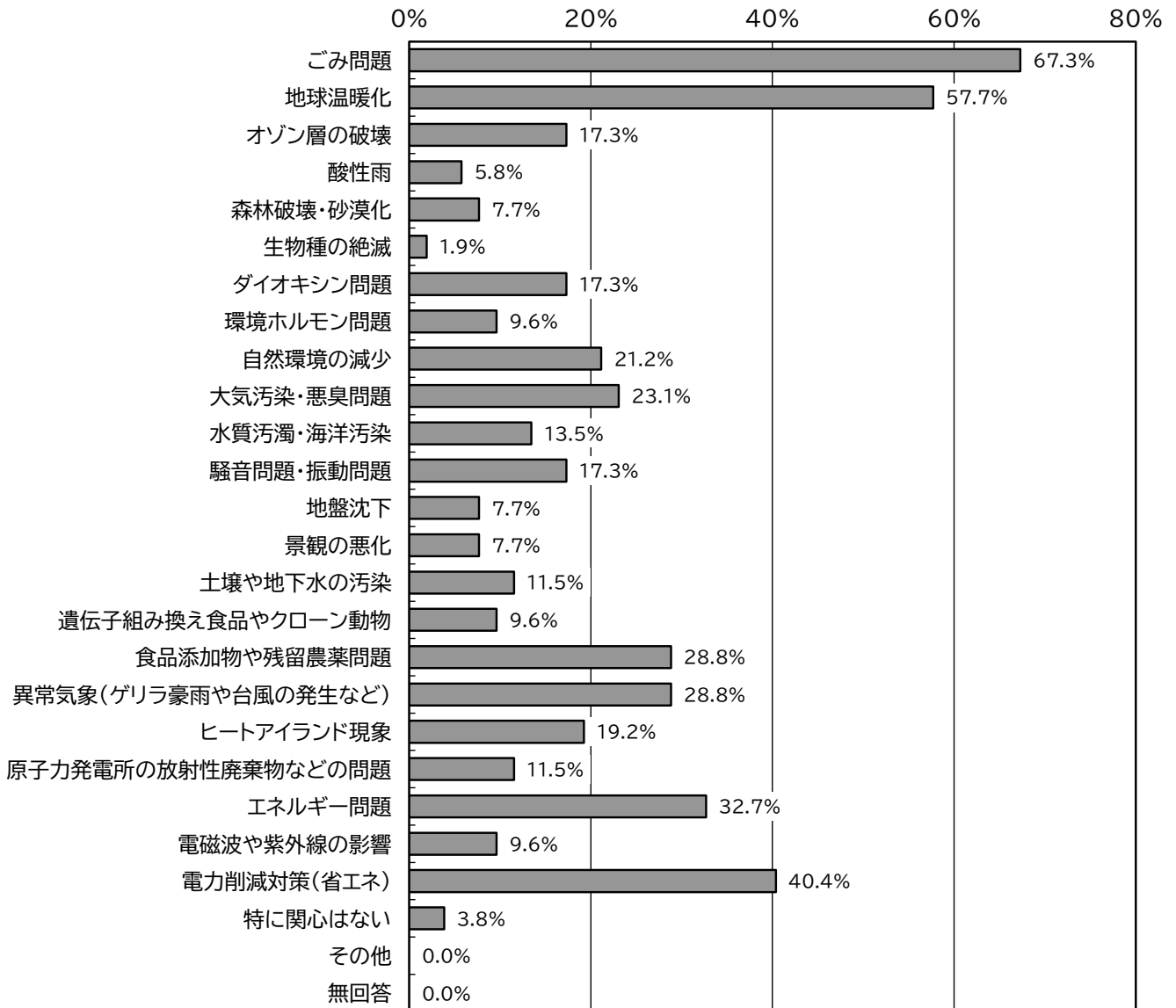
苦情を受けた内容では、「ばい煙など大気に関する苦情」、「水質に関する苦情」が同数の2件となっています。

項目	度数	構成比
騒音・振動に関する苦情	1	50.0%
ばい煙など大気に関する苦情	2	100.0%
雑草などの苦情	1	50.0%
悪臭などの苦情	1	50.0%
水質に関する苦情	2	100.0%
その他	2	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	
非該当	50	
合計	52	

※回答者がかたよっているため、表だけ表示してあります。

問 9 貴事業所において、近年の環境問題として関心のある項目はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

近年の環境問題として関心のあることでは、「ごみ問題」が 67.3%と最も多く、次いで「地球温暖化」が 57.7%、「電力削減対策(省エネ)」が 40.4%、「エネルギー問題」が 32.7%となっています。

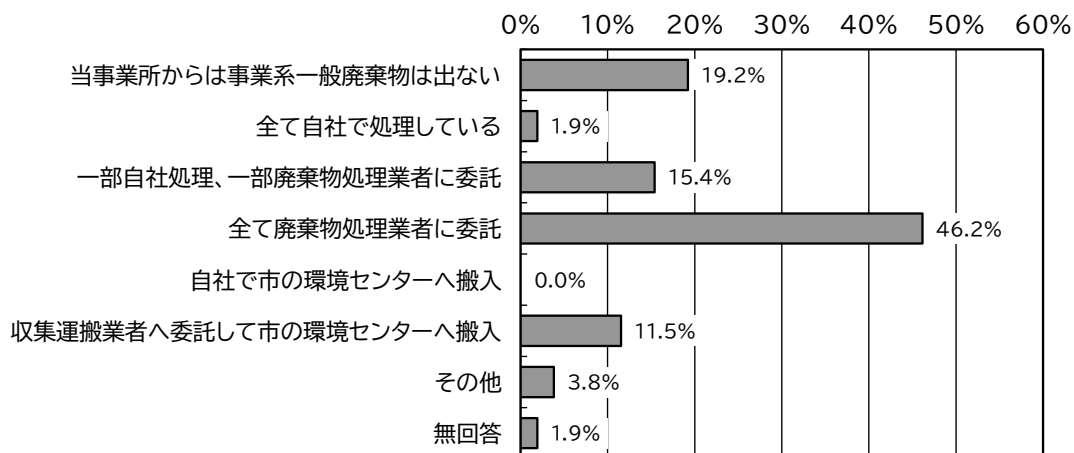


項目	度数	構成比
ごみ問題	35	67.3%
地球温暖化	30	57.7%
オゾン層の破壊	9	17.3%
酸性雨	3	5.8%
森林破壊・砂漠化	4	7.7%
生物種の絶滅	1	1.9%
ダイオキシン問題	9	17.3%
環境ホルモン問題	5	9.6%
自然環境の減少	11	21.2%
大気汚染・悪臭問題	12	23.1%
水質汚濁・海洋汚染	7	13.5%
騒音問題・振動問題	9	17.3%
地盤沈下	4	7.7%
景観の悪化	4	7.7%
土壌や地下水の汚染	6	11.5%
遺伝子組み換え食品やクローン動物	5	9.6%
食品添加物や残留農薬問題	15	28.8%
異常気象(ゲリラ豪雨や台風の発生など)	15	28.8%
ヒートアイランド現象	10	19.2%
原子力発電所の放射性廃棄物などの問題	6	11.5%
エネルギー問題	17	32.7%
電磁波や紫外線の影響	5	9.6%
電力削減対策(省エネ)	21	40.4%
特に関心はない	2	3.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	52	

4 廃棄物について

問 10 貴事業所において、事業系一般廃棄物の現在の処理方法についてお答えください。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

現在の事業系一般廃棄物の処理方法では、「全て廃棄物処理業者に委託」が 46.2%、「当事業所からは事業系一般廃棄物が出ない」が 19.2%、「一部自社処理、一部廃棄物処理業者に委託」が 15.4%となっています。



項目	度数	構成比
当事業所からは事業系一般廃棄物が出ない	10	19.2%
全て自社で処理している	1	1.9%
一部自社処理、一部廃棄物処理業者に委託	8	15.4%
全て廃棄物処理業者に委託	24	46.2%
自社で市の環境センターへ搬入	0	0.0%
収集運搬業者へ委託して市の環境センターへ搬入	6	11.5%
その他	2	3.8%
無回答	1	1.9%
合計	52	100.0%

問 10-① 問 10 で「5. 自社で市の環境センターへ搬入」、「6. 収集運搬業者へ委託して市の環境センターへ搬入」と回答された事業所に伺います。市の環境センターに搬入している理由をお答えください。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

市の環境センターに搬入している理由では、「処理施設までの距離が近いから」が2件となっています。

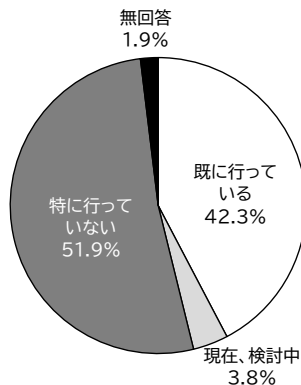
項目	度数	構成比
処理手数料が安価だから	1	16.7%
処理施設までの距離が近いから	2	33.3%
リサイクルルートがないから	1	16.7%
その他	2	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	
非該当	46	
合計	52	

※回答者がかたよっているため、表だけ表示してあります。

問 11 貴事業所において、現在、廃棄物のリサイクルや自社製品・容器などのリサイクル活動等を行っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

①廃棄物リサイクル

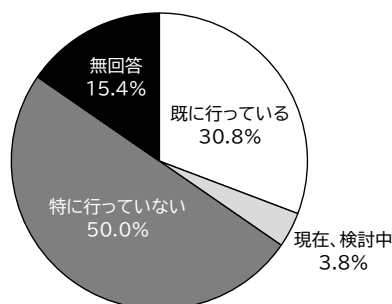
「既に行っている」が42.3%、「現在、検討中」が3.8%、「特に行っていない」が51.9%となっています。



項目	度数	構成比
既に行っている	22	42.3%
現在、検討中	2	3.8%
特に行っていない	27	51.9%
無回答	1	1.9%
合計	52	100.0%

②自社製品・容器などのリサイクル

「既に行っている」が30.8%、「現在、検討中」が3.8%、「特に行っていない」が50.0%となっています。



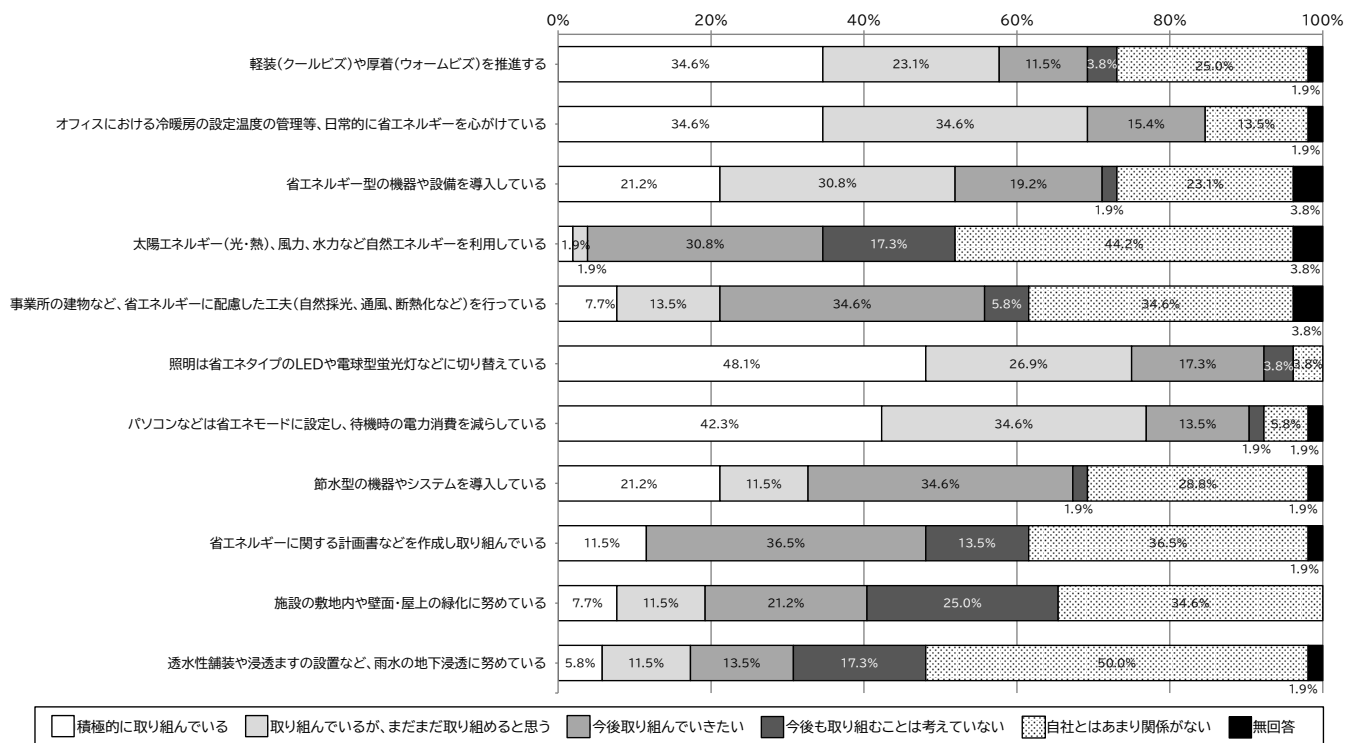
項目	度数	構成比
既に行っている	16	30.8%
現在、検討中	2	3.8%
特に行っていない	26	50.0%
無回答	8	15.4%
合計	52	100.0%

5 環境保全への取り組み状況について

問 12 貴事業所では、環境保全のために、具体的にどのような対策に取り組んでいますか。次の中からあてはまるものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。※事業内容などによっては、あてはまらない設問もありますが、その場合は、「自社とはあまり関係がない」に○をお願いします。

■エネルギー・水について

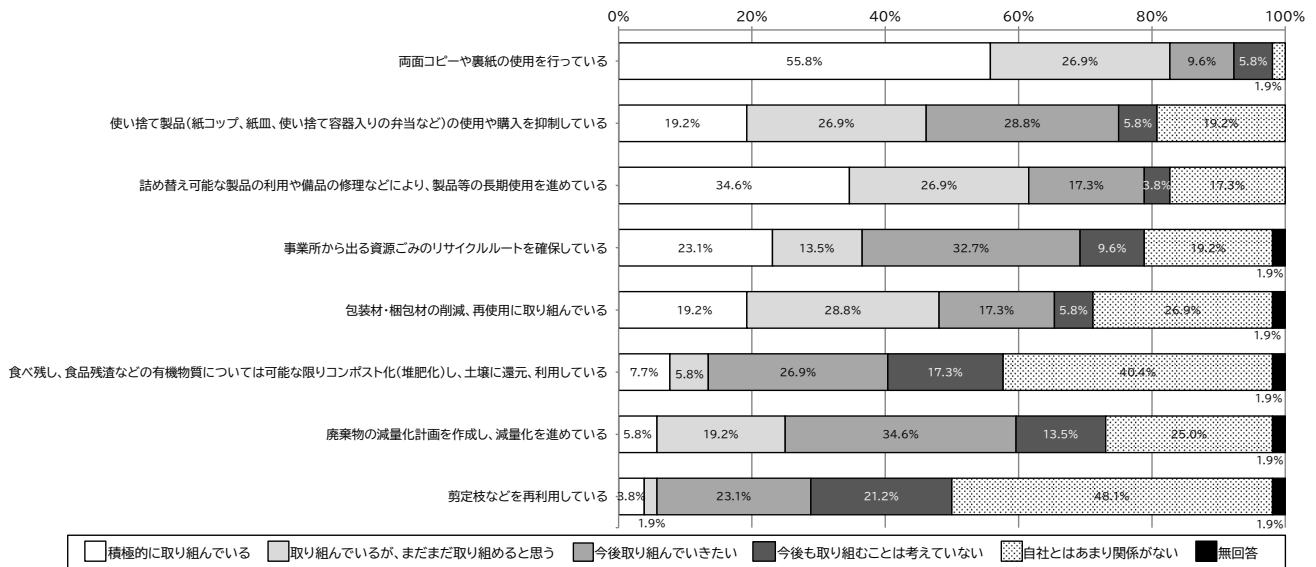
「積極的に取り組んでいる」を選んだのは、「照明は省エネタイプのLEDや電球型蛍光灯などに切り替えている」が48.1%、「パソコンなどは省エネモードに設定し、待機時の電力消費を減らしている」が42.3%と多くなっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
軽装(クールビズ)や厚着(ウォームビズ)を推進する	18	12	6	2	13	1	52
オフィスにおける冷暖房の設定温度の管理等、日常的に省エネルギーを心がけている	18	18	8	0	7	1	52
省エネルギー型の機器や設備を導入している	11	16	10	1	12	2	52
太陽エネルギー(光・熱)、風力、水力など自然エネルギーを利用している	1	1	16	9	23	2	52
事業所の建物など、省エネルギーに配慮した工夫(自然採光、通風、断熱化など)を行っている	4	7	18	3	18	2	52
照明は省エネタイプのLEDや電球型蛍光灯などに切り替えている	25	14	9	2	2	0	52
パソコンなどは省エネモードに設定し、待機時の電力消費を減らしている	22	18	7	1	3	1	52
節水型の機器やシステムを導入している	11	6	18	1	15	1	52
省エネルギーに関する計画書などを作成し取り組んでいる	6	0	19	7	19	1	52
施設の敷地内や壁面・屋上の緑化に努めている	4	6	11	13	18	0	52
透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透に努めている	3	6	7	9	26	1	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
軽装(クールビズ)や厚着(ウォームビズ)を推進する	34.6%	23.1%	11.5%	3.8%	25.0%	1.9%	100.0%
オフィスにおける冷暖房の設定温度の管理等、日常的に省エネルギーを心がけている	34.6%	34.6%	15.4%	0.0%	13.5%	1.9%	100.0%
省エネルギー型の機器や設備を導入している	21.2%	30.8%	19.2%	1.9%	23.1%	3.8%	100.0%
太陽エネルギー(光・熱)、風力、水力など自然エネルギーを利用している	1.9%	1.9%	30.8%	17.3%	44.2%	3.8%	100.0%
事業所の建物など、省エネルギーに配慮した工夫(自然採光、通風、断熱化など)を行っている	7.7%	13.5%	34.6%	5.8%	34.6%	3.8%	100.0%
照明は省エネタイプのLEDや電球型蛍光灯などに切り替えている	48.1%	26.9%	17.3%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
パソコンなどは省エネモードに設定し、待機時の電力消費を減らしている	42.3%	34.6%	13.5%	1.9%	5.8%	1.9%	100.0%
節水型の機器やシステムを導入している	21.2%	11.5%	34.6%	1.9%	28.8%	1.9%	100.0%
省エネルギーに関する計画書などを作成し取り組んでいる	11.5%	0.0%	36.5%	13.5%	36.5%	1.9%	100.0%
施設の敷地内や壁面・屋上の緑化に努めている	7.7%	11.5%	21.2%	25.0%	34.6%	0.0%	100.0%
透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透に努めている	5.8%	11.5%	13.5%	17.3%	50.0%	1.9%	100.0%

■廃棄物について

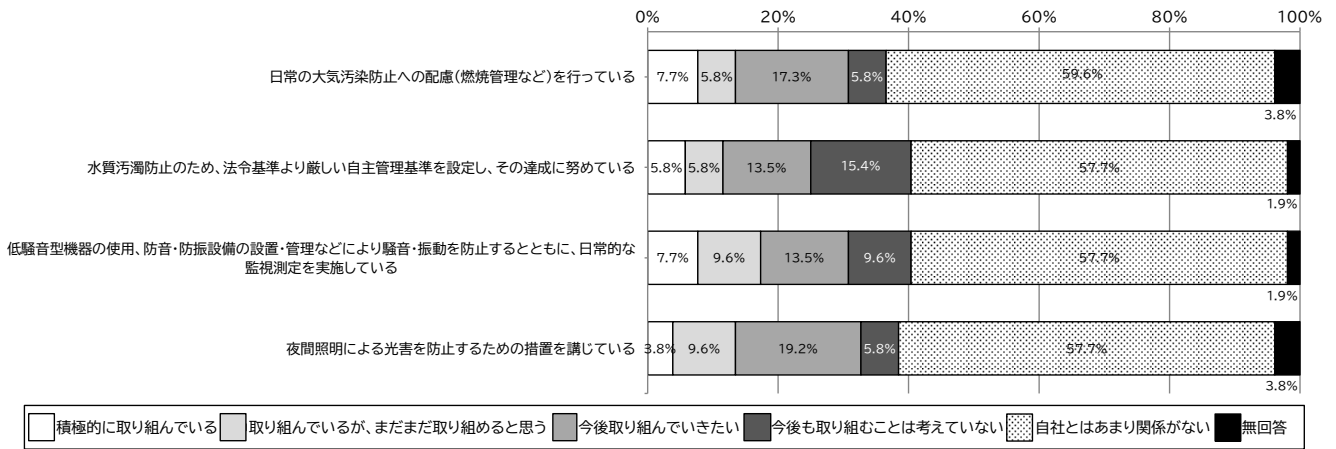
「積極的に取り組んでいる」を選んだのは、「両面コピーや裏紙の使用を行っている」が55.8%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
両面コピーや裏紙の使用を行っている	29	14	5	3	1	0	52
使い捨て製品(紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当など)の使用や購入を抑制している	10	14	15	3	10	0	52
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用を進めている	18	14	9	2	9	0	52
事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	12	7	17	5	10	1	52
包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる	10	15	9	3	14	1	52
食べ残し、食品残渣などの有機物質については可能な限りコンポスト化(堆肥化)し、土壌に還元、利用している	4	3	14	9	21	1	52
廃棄物の減量化計画を作成し、減量化を進めている	3	10	18	7	13	1	52
剪定枝などを再利用している	2	1	12	11	25	1	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
両面コピーや裏紙の使用を行っている	55.8%	26.9%	9.6%	5.8%	1.9%	0.0%	100.0%
使い捨て製品(紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当など)の使用や購入を抑制している	19.2%	26.9%	28.8%	5.8%	19.2%	0.0%	100.0%
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用を進めている	34.6%	26.9%	17.3%	3.8%	17.3%	0.0%	100.0%
事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	23.1%	13.5%	32.7%	9.6%	19.2%	1.9%	100.0%
包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる	19.2%	28.8%	17.3%	5.8%	26.9%	1.9%	100.0%
食べ残し、食品残渣などの有機物質については可能な限りコンポスト化(堆肥化)し、土壌に還元、利用している	7.7%	5.8%	26.9%	17.3%	40.4%	1.9%	100.0%
廃棄物の減量化計画を作成し、減量化を進めている	5.8%	19.2%	34.6%	13.5%	25.0%	1.9%	100.0%
剪定枝などを再利用している	3.8%	1.9%	23.1%	21.2%	48.1%	1.9%	100.0%

■大気汚染・水質汚濁など公害の防止

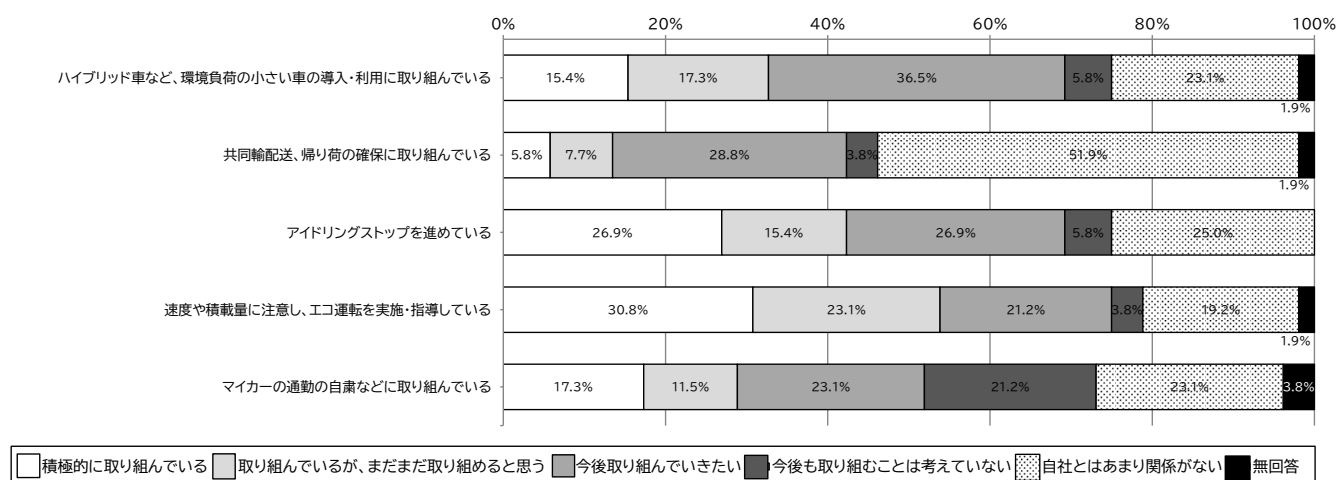
「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「夜間照明による光害を防止するための措置を講じている」が19.2%、「日常の大気汚染防止への配慮(燃焼管理など)を行っている」が17.3%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
日常の大気汚染防止への配慮(燃焼管理など)を行っている	4	3	9	3	31	2	52
水質汚濁防止のため、法令基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	3	3	7	8	30	1	52
低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置・管理などにより騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視測定を実施している	4	5	7	5	30	1	52
夜間照明による光害を防止するための措置を講じている	2	5	10	3	30	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
日常の大気汚染防止への配慮(燃焼管理など)を行っている	7.7%	5.8%	17.3%	5.8%	59.6%	3.8%	100.0%
水質汚濁防止のため、法令基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	5.8%	5.8%	13.5%	15.4%	57.7%	1.9%	100.0%
低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置・管理などにより騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視測定を実施している	7.7%	9.6%	13.5%	9.6%	57.7%	1.9%	100.0%
夜間照明による光害を防止するための措置を講じている	3.8%	9.6%	19.2%	5.8%	57.7%	3.8%	100.0%

■自動車の利用について

「積極的に取り組んでいる」を選んだのは、「速度や積載量に注意し、エコ運転を実施・指導している」が30.8%、「アイドリングストップを進めている」が26.9%となっています。

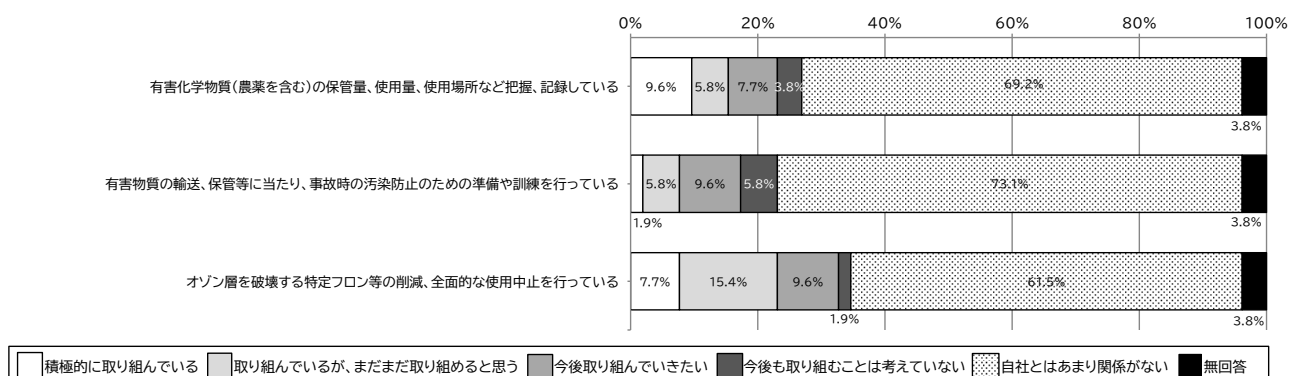


積極的に取り組んでいる
 取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う
 今後取り組んでいきたい
 今後取り組むことは考えていない
 自社とはあまり関係がない
 無回答

項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
ハイブリッド車など、環境負荷の小さい車の導入・利用に取り組んでいる	8	9	19	3	12	1	52
共同輸配送、帰り荷の確保に取り組んでいる	3	4	15	2	27	1	52
アイドリングストップを進めている	14	8	14	3	13	0	52
速度や積載量に注意し、エコ運転を実施・指導している	16	12	11	2	10	1	52
マイカーの通勤の自粛などに取り組んでいる	9	6	12	11	12	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
ハイブリッド車など、環境負荷の小さい車の導入・利用に取り組んでいる	15.4%	17.3%	36.5%	5.8%	23.1%	1.9%	100.0%
共同輸配送、帰り荷の確保に取り組んでいる	5.8%	7.7%	28.8%	3.8%	51.9%	1.9%	100.0%
アイドリングストップを進めている	26.9%	15.4%	26.9%	5.8%	25.0%	0.0%	100.0%
速度や積載量に注意し、エコ運転を実施・指導している	30.8%	23.1%	21.2%	3.8%	19.2%	1.9%	100.0%
マイカーの通勤の自粛などに取り組んでいる	17.3%	11.5%	23.1%	21.2%	23.1%	3.8%	100.0%

■化学物質対策

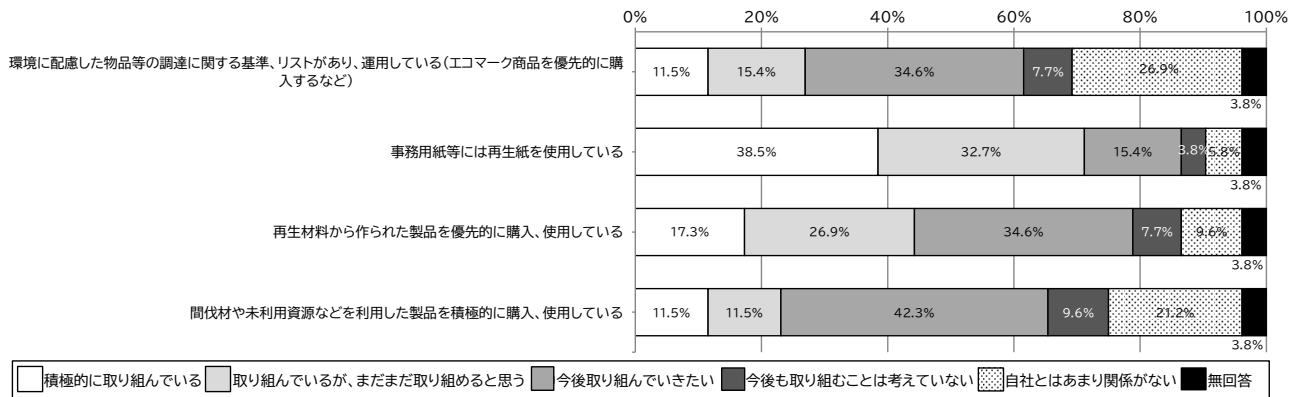
「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を選んだのは、「オゾン層を破壊する特定フロン等の削減、全面的な使用中止を行っている」が15.4%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
有害化学物質(農薬を含む)の保管量、使用量、使用場所など把握、記録している	5	3	4	2	36	2	52
有害物質の輸送、保管等に当たり、事故時の汚染防止のための準備や訓練を行っている	1	3	5	3	38	2	52
オゾン層を破壊する特定フロン等の削減、全面的な使用中止を行っている	4	8	5	1	32	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
有害化学物質(農薬を含む)の保管量、使用量、使用場所など把握、記録している	9.6%	5.8%	7.7%	3.8%	69.2%	3.8%	100.0%
有害物質の輸送、保管等に当たり、事故時の汚染防止のための準備や訓練を行っている	1.9%	5.8%	9.6%	5.8%	73.1%	3.8%	100.0%
オゾン層を破壊する特定フロン等の削減、全面的な使用中止を行っている	7.7%	15.4%	9.6%	1.9%	61.5%	3.8%	100.0%

■グリーン購入

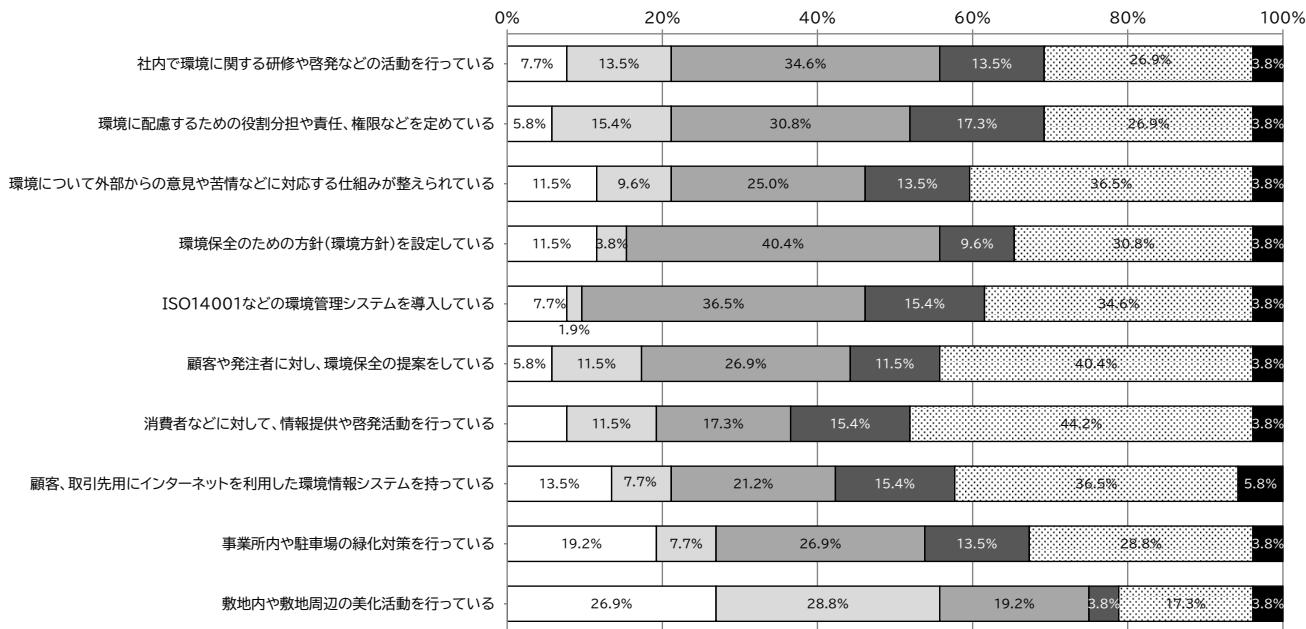
「積極的に取り組んでいる」を選んだのは、「事務用紙等には再生紙を使用している」が38.5%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
環境に配慮した物品等の調達に関する基準、リストがあり、運用している(エコマーク商品を優先的に購入するなど)	6	8	18	4	14	2	52
事務用紙等には再生紙を使用している	20	17	8	2	3	2	52
再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	9	14	18	4	5	2	52
間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している	6	6	22	5	11	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
環境に配慮した物品等の調達に関する基準、リストがあり、運用している(エコマーク商品を優先的に購入するなど)	11.5%	15.4%	34.6%	7.7%	26.9%	3.8%	100.0%
事務用紙等には再生紙を使用している	38.5%	32.7%	15.4%	3.8%	5.8%	3.8%	100.0%
再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	17.3%	26.9%	34.6%	7.7%	9.6%	3.8%	100.0%
間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している	11.5%	11.5%	42.3%	9.6%	21.2%	3.8%	100.0%

■環境保全のための仕組み・体制、情報提供など

「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「環境保全のための方針(環境方針)を設定している」が40.4%、「ISO14001などの環境管理システムを導入している」が36.5%、「社内で環境に関する研修や啓発などの活動を行っている」が34.6%となっています。

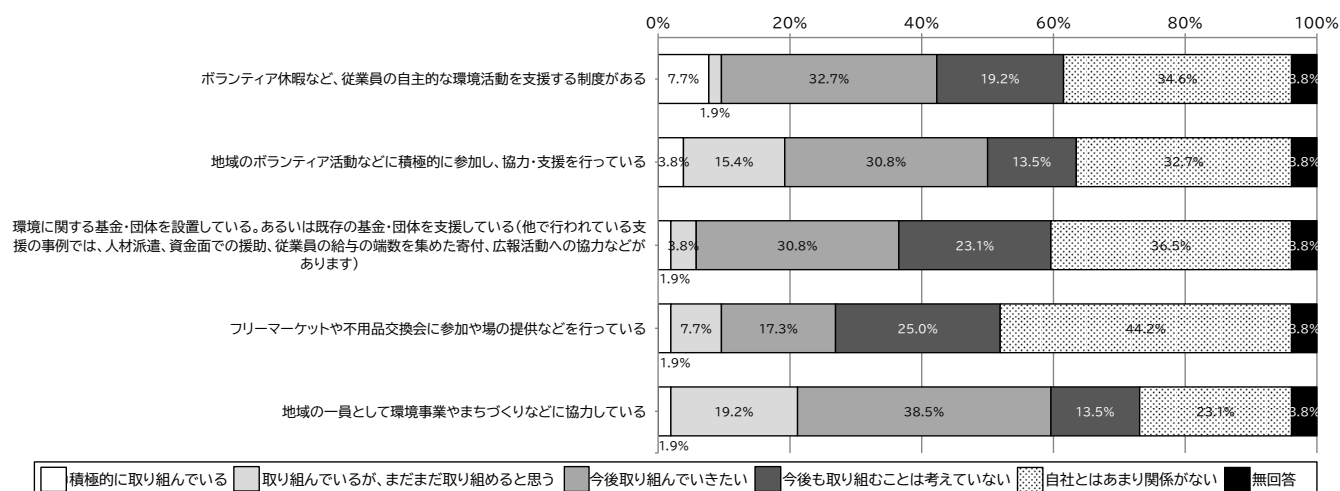


積極的に取り組んでいる
 取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う
 今後取り組んでいきたい
 今後も取り組むことは考えていない
 自社とはあまり関係がない
 無回答

項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
社内で環境に関する研修や啓発などの活動を行っている	4	7	18	7	14	2	52
環境に配慮するための役割分担や責任、権限などを定めている	3	8	16	9	14	2	52
環境について外部からの意見や苦情などに対応する仕組みが整えられている	6	5	13	7	19	2	52
環境保全のための方針(環境方針)を設定している	6	2	21	5	16	2	52
ISO14001などの環境管理システムを導入している	4	1	19	8	18	2	52
顧客や発注者に対し、環境保全の提案をしている	3	6	14	6	21	2	52
消費者などに対して、情報提供や啓発活動を行っている	4	6	9	8	23	2	52
顧客、取引先用にインターネットを利用した環境情報システムを持っている	7	4	11	8	19	3	52
事業所内や駐車場の緑化対策を行っている	10	4	14	7	15	2	52
敷地内や敷地周辺の美化活動を行っている	14	15	10	2	9	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
社内で環境に関する研修や啓発などの活動を行っている	7.7%	13.5%	34.6%	13.5%	26.9%	3.8%	100.0%
環境に配慮するための役割分担や責任、権限などを定めている	5.8%	15.4%	30.8%	17.3%	26.9%	3.8%	100.0%
環境について外部からの意見や苦情などに対応する仕組みが整えられている	11.5%	9.6%	25.0%	13.5%	36.5%	3.8%	100.0%
環境保全のための方針(環境方針)を設定している	11.5%	3.8%	40.4%	9.6%	30.8%	3.8%	100.0%
ISO14001などの環境管理システムを導入している	7.7%	1.9%	36.5%	15.4%	34.6%	3.8%	100.0%
顧客や発注者に対し、環境保全の提案をしている	5.8%	11.5%	26.9%	11.5%	40.4%	3.8%	100.0%
消費者などに対して、情報提供や啓発活動を行っている	7.7%	11.5%	17.3%	15.4%	44.2%	3.8%	100.0%
顧客、取引先用にインターネットを利用した環境情報システムを持っている	13.5%	7.7%	21.2%	15.4%	36.5%	5.8%	100.0%
事業所内や駐車場の緑化対策を行っている	19.2%	7.7%	26.9%	13.5%	28.8%	3.8%	100.0%
敷地内や敷地周辺の美化活動を行っている	26.9%	28.8%	19.2%	3.8%	17.3%	3.8%	100.0%

■社外での環境保全活動の推進

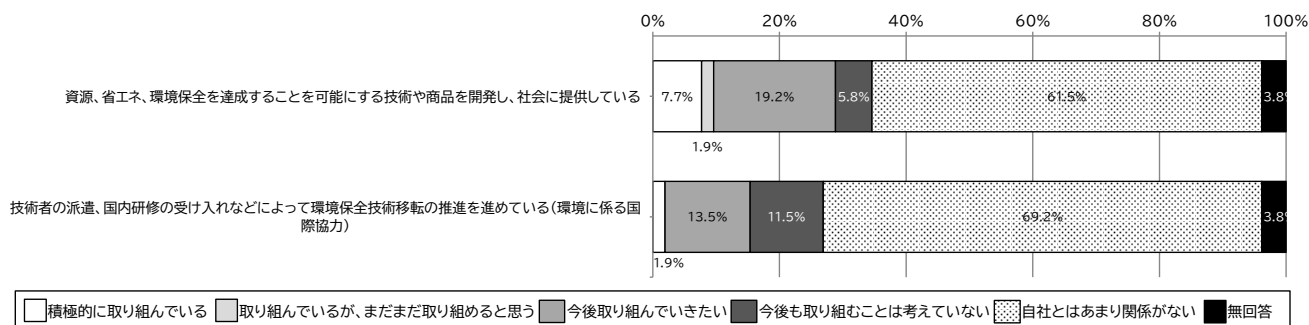
「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「地域の一員として環境事業やまちづくりなどに協力している」が38.5%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
ボランティア休暇など、従業員の自主的な環境活動を支援する制度がある	4	1	17	10	18	2	52
地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力・支援を行っている	2	8	16	7	17	2	52
環境に関する基金・団体を設置している。あるいは既存の基金・団体を支援している(他で行われている支援の事例では、人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力などがあります)	1	2	16	12	19	2	52
フリーマーケットや不用品交換会に参加や場の提供などを行っている	1	4	9	13	23	2	52
地域の一員として環境事業やまちづくりなどに協力している	1	10	20	7	12	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
ボランティア休暇など、従業員の自主的な環境活動を支援する制度がある	7.7%	1.9%	32.7%	19.2%	34.6%	3.8%	100.0%
地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力・支援を行っている	3.8%	15.4%	30.8%	13.5%	32.7%	3.8%	100.0%
環境に関する基金・団体を設置している。あるいは既存の基金・団体を支援している(他で行われている支援の事例では、人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力などがあります)	1.9%	3.8%	30.8%	23.1%	36.5%	3.8%	100.0%
フリーマーケットや不用品交換会に参加や場の提供などを行っている	1.9%	7.7%	17.3%	25.0%	44.2%	3.8%	100.0%
地域の一員として環境事業やまちづくりなどに協力している	1.9%	19.2%	38.5%	13.5%	23.1%	3.8%	100.0%

■エコビジネス、技術開発

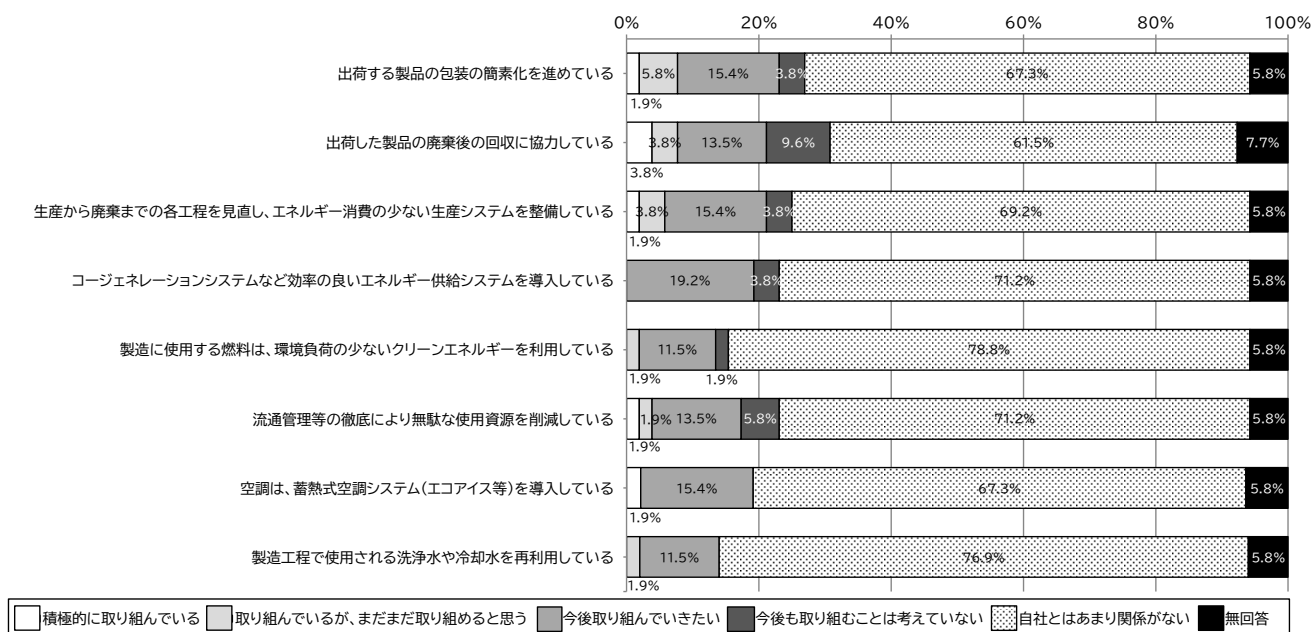
それぞれ「今後取り組んでいきたい」が多くなっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
資源、省エネ、環境保全を達成することを可能にする技術や商品を開発し、社会に提供している	4	1	10	3	32	2	52
技術者の派遣、国内研修の受け入れなどによって環境保全技術移転の推進を進めている(環境に係る国際協力)	1	0	7	6	36	2	52
構成比(%)							
資源、省エネ、環境保全を達成することを可能にする技術や商品を開発し、社会に提供している	7.7%	1.9%	19.2%	5.8%	61.5%	3.8%	100.0%
技術者の派遣、国内研修の受け入れなどによって環境保全技術移転の推進を進めている(環境に係る国際協力)	1.9%	0.0%	13.5%	11.5%	69.2%	3.8%	100.0%

■製造業における環境配慮

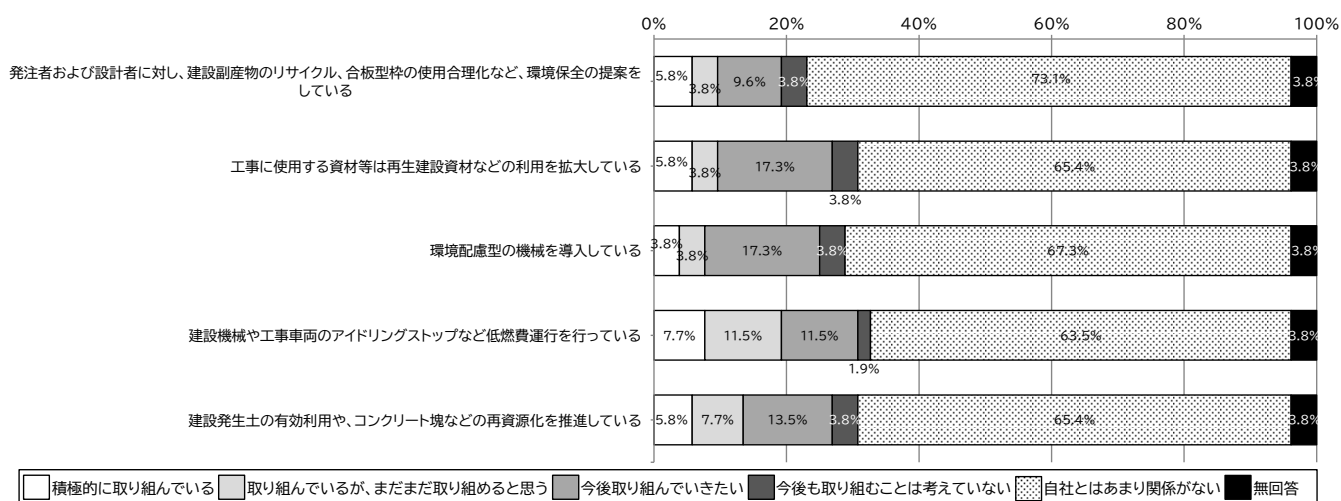
「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「コージェネレーションシステムなど効率の良いエネルギー供給システムを導入している」が19.2%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
出荷する製品の包装の簡素化を進めている	1	3	8	2	35	3	52
出荷した製品の廃棄後の回収に協力している	2	2	7	5	32	4	52
生産から廃棄までの各工程を見直し、エネルギー消費の少ない生産システムを整備している	1	2	8	2	36	3	52
コージェネレーションシステムなど効率の良いエネルギー供給システムを導入している	0	0	10	2	37	3	52
製造に使用する燃料は、環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用している	0	1	6	1	41	3	52
流通管理等の徹底により無駄な使用資源を削減している	1	1	7	3	37	3	52
空調は、蓄熱式空調システム(エコアイス等)を導入している	1	0	8	5	35	3	52
製造工程で使用される洗浄水や冷却水を再利用している	0	1	6	2	40	3	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
出荷する製品の包装の簡素化を進めている	1.9%	5.8%	15.4%	3.8%	67.3%	5.8%	100.0%
出荷した製品の廃棄後の回収に協力している	3.8%	3.8%	13.5%	9.6%	61.5%	7.7%	100.0%
生産から廃棄までの各工程を見直し、エネルギー消費の少ない生産システムを整備している	1.9%	3.8%	15.4%	3.8%	69.2%	5.8%	100.0%
コージェネレーションシステムなど効率の良いエネルギー供給システムを導入している	0.0%	0.0%	19.2%	3.8%	71.2%	5.8%	100.0%
製造に使用する燃料は、環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用している	0.0%	1.9%	11.5%	1.9%	78.8%	5.8%	100.0%
流通管理等の徹底により無駄な使用資源を削減している	1.9%	1.9%	13.5%	5.8%	71.2%	5.8%	100.0%
空調は、蓄熱式空調システム(エコアイス等)を導入している	1.9%	0.0%	15.4%	9.6%	67.3%	5.8%	100.0%
製造工程で使用される洗浄水や冷却水を再利用している	0.0%	1.9%	11.5%	3.8%	76.9%	5.8%	100.0%

■建設業における環境配慮

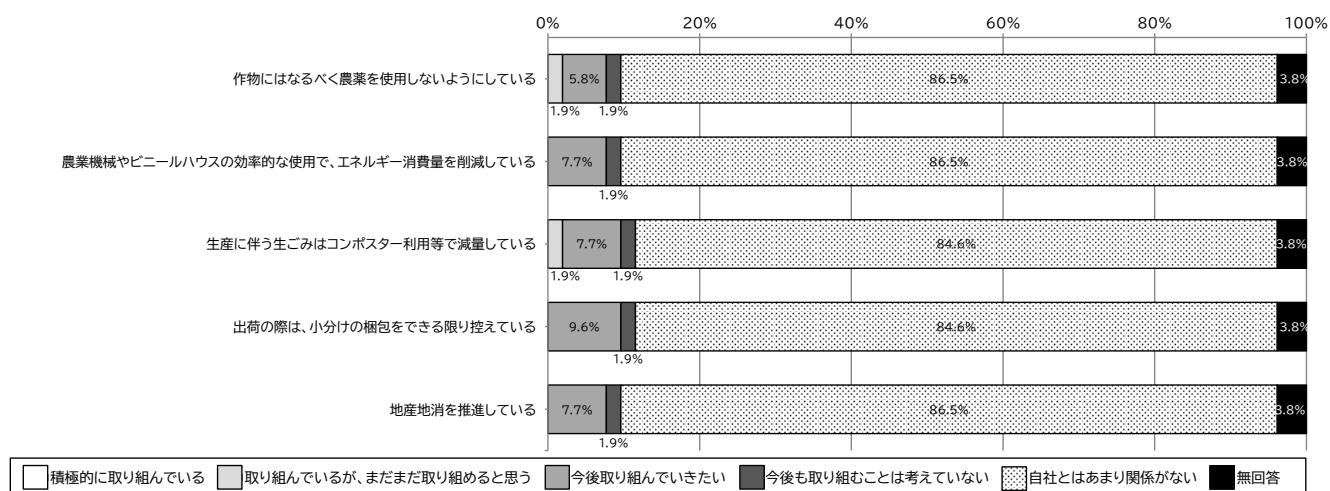
「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「工事に使用する資材等は再生建設資材などの利用を拡大している」、「環境配慮型の機械を導入している」が17.3%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
発注者および設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化など、環境保全の提案をしている	3	2	5	2	38	2	52
工事に使用する資材等は再生建設資材などの利用を拡大している	3	2	9	2	34	2	52
環境配慮型の機械を導入している	2	2	9	2	35	2	52
建設機械や工事車両のアイドルリングストップなど低燃費運行を行っている	4	6	6	1	33	2	52
建設発生土の有効利用や、コンクリート塊などの再資源化を推進している	3	4	7	2	34	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
発注者および設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化など、環境保全の提案をしている	5.8%	3.8%	9.6%	3.8%	73.1%	3.8%	100.0%
工事に使用する資材等は再生建設資材などの利用を拡大している	5.8%	3.8%	17.3%	3.8%	65.4%	3.8%	100.0%
環境配慮型の機械を導入している	3.8%	3.8%	17.3%	3.8%	67.3%	3.8%	100.0%
建設機械や工事車両のアイドルリングストップなど低燃費運行を行っている	7.7%	11.5%	11.5%	1.9%	63.5%	3.8%	100.0%
建設発生土の有効利用や、コンクリート塊などの再資源化を推進している	5.8%	7.7%	13.5%	3.8%	65.4%	3.8%	100.0%

■農業における環境配慮

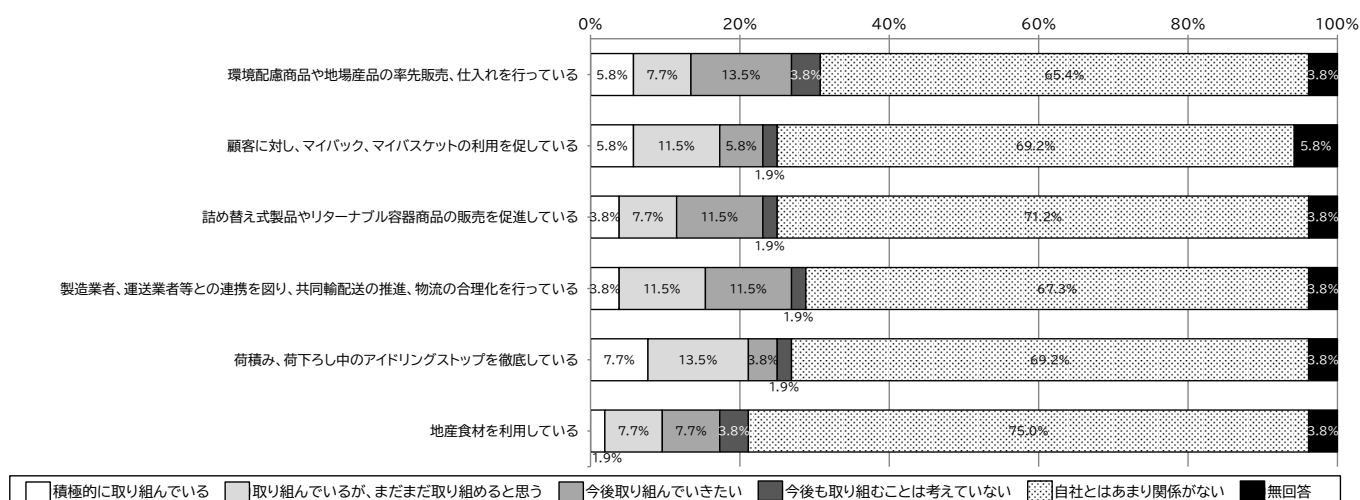
「今後取り組んでいきたい」を選んだのは、「出荷の際は、小分けの梱包をできる限り控えている」が9.6%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
作物にはなるべく農業を使用しないようにしている	0	1	3	1	45	2	52
農業機械やビニールハウスの効率的な使用で、エネルギー消費量を削減している	0	0	4	1	45	2	52
生産に伴う生ごみはコンポスター利用等で減量している	0	1	4	1	44	2	52
出荷の際は、小分けの梱包をできる限り控えている	0	0	5	1	44	2	52
地産地消を推進している	0	0	4	1	45	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
作物にはなるべく農業を使用しないようにしている	0.0%	1.9%	5.8%	1.9%	86.5%	3.8%	100.0%
農業機械やビニールハウスの効率的な使用で、エネルギー消費量を削減している	0.0%	0.0%	7.7%	1.9%	86.5%	3.8%	100.0%
生産に伴う生ごみはコンポスター利用等で減量している	0.0%	1.9%	7.7%	1.9%	84.6%	3.8%	100.0%
出荷の際は、小分けの梱包をできる限り控えている	0.0%	0.0%	9.6%	1.9%	84.6%	3.8%	100.0%
地産地消を推進している	0.0%	0.0%	7.7%	1.9%	86.5%	3.8%	100.0%

■卸売・小売業・飲食店における環境配慮

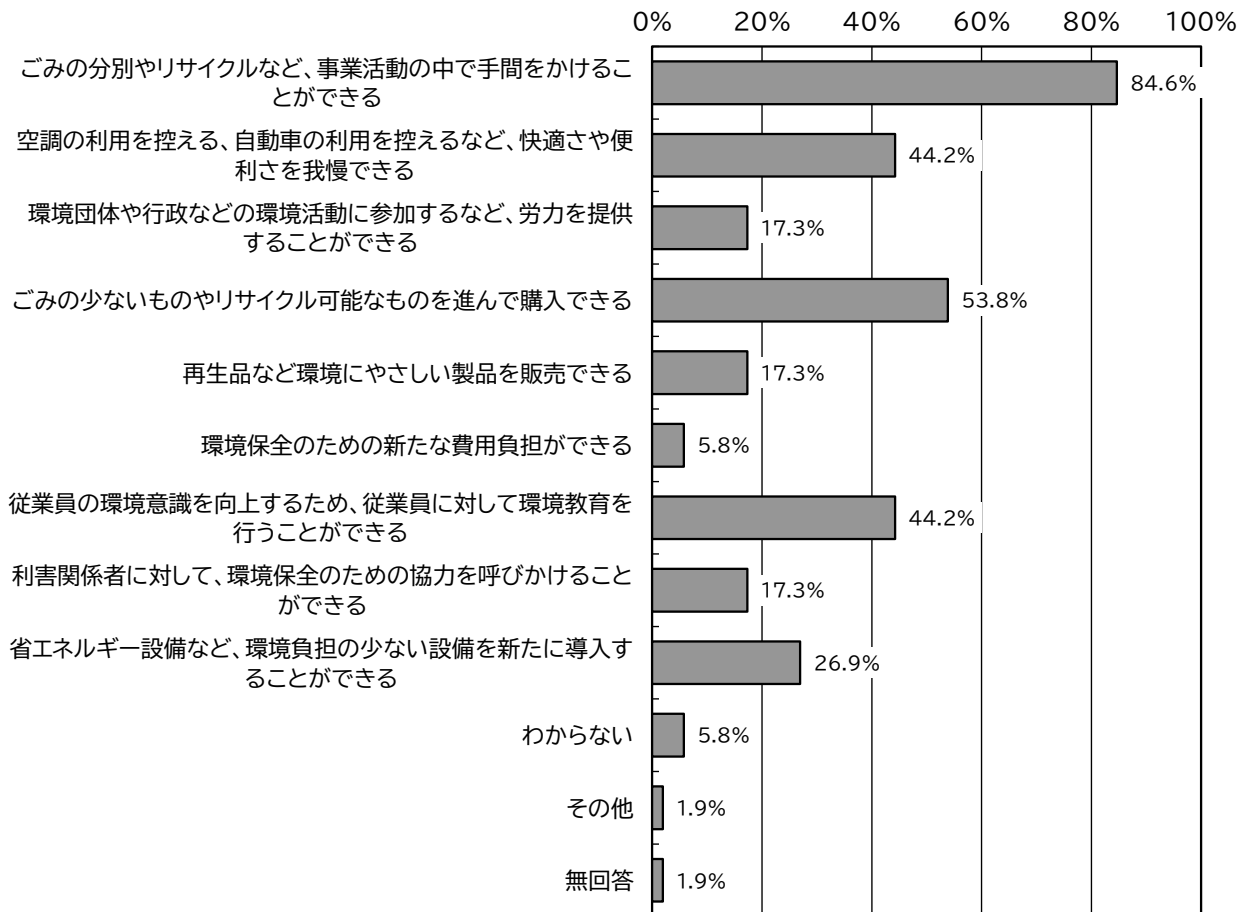
「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を選んだのは、「荷積み、荷下ろし中のアイドリングストップを徹底している」が13.5%となっています。



項目	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
環境配慮商品や地場産品の率先販売、仕入れを行っている	3	4	7	2	34	2	52
顧客に対し、マイバック、マイバスケットの利用を促している	3	6	3	1	36	3	52
詰め替え式製品やリターナブル容器商品の販売を促進している	2	4	6	1	37	2	52
製造業者、運送業者等との連携を図り、共同輸配送の推進、物流の合理化を行っている	2	6	6	1	35	2	52
荷積み、荷下ろし中のアイドリングストップを徹底している	4	7	2	1	36	2	52
地産食材を利用している	1	4	4	2	39	2	52
構成比(%)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	自社とはあまり関係がない	無回答	合計
環境配慮商品や地場産品の率先販売、仕入れを行っている	5.8%	7.7%	13.5%	3.8%	65.4%	3.8%	100.0%
顧客に対し、マイバック、マイバスケットの利用を促している	5.8%	11.5%	5.8%	1.9%	69.2%	5.8%	100.0%
詰め替え式製品やリターナブル容器商品の販売を促進している	3.8%	7.7%	11.5%	1.9%	71.2%	3.8%	100.0%
製造業者、運送業者等との連携を図り、共同輸配送の推進、物流の合理化を行っている	3.8%	11.5%	11.5%	1.9%	67.3%	3.8%	100.0%
荷積み、荷下ろし中のアイドリングストップを徹底している	7.7%	13.5%	3.8%	1.9%	69.2%	3.8%	100.0%
地産食材を利用している	1.9%	7.7%	7.7%	3.8%	75.0%	3.8%	100.0%

問13 貴事業所としては、環境保全や環境活動などにどのような協力ができますか。あてはまると考えられるものを全て選び、○をつけてください。

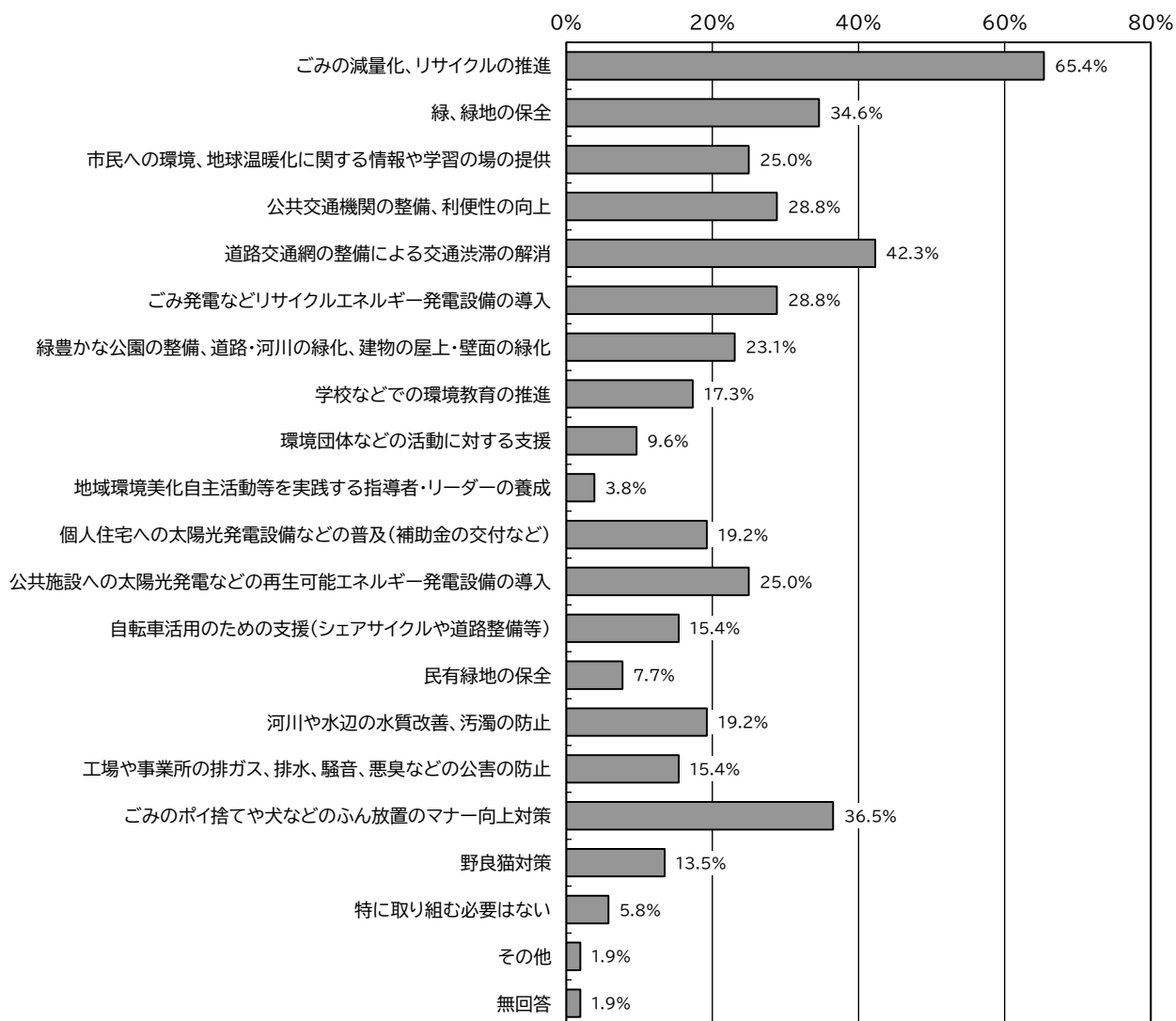
環境保全や環境活動などにどのような協力ができるかでは、「ごみの分別やリサイクルなど、事業活動の中で手間をかけることができる」が84.6%と最も多く、次いで「ごみの少ないものやリサイクル可能なものを進んで購入できる」が53.8%、「空調の利用を控える、自動車の利用を控えるなど、快適さや便利さを我慢できる」、「従業員の環境意識を向上するため、従業員に対して環境教育を行うことができる」がともに44.2%となっています。



項目	度数	構成比
ごみの分別やリサイクルなど、事業活動の中で手間をかけることができる	44	84.6%
空調の利用を控える、自動車の利用を控えるなど、快適さや便利さを我慢できる	23	44.2%
環境団体や行政などの環境活動に参加するなど、労力を提供することができる	9	17.3%
ごみの少ないものやリサイクル可能なものを進んで購入できる	28	53.8%
再生品など環境にやさしい製品を販売できる	9	17.3%
環境保全のための新たな費用負担ができる	3	5.8%
従業員の環境意識を向上するため、従業員に対して環境教育を行うことができる	23	44.2%
利害関係者に対して、環境保全のための協力を呼びかけることができる	9	17.3%
省エネルギー設備など、環境負担の少ない設備を新たに導入することができる	14	26.9%
わからない	3	5.8%
その他	1	1.9%
無回答	1	1.9%
回答者数	52	

問14 貴事業所として、環境保全などに向けて行政が優先的に取り組む事項として、望むことはどのようなものですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

環境保全などに向けて行政が優先的に取り組む事項として、望むことは、「ごみの減量化、リサイクルの推進」が65.4%と最も多く、次いで「道路交通網の整備による交通渋滞の解消」が42.3%、「ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策」が36.5%、「緑、緑地の保全」が34.6%となっています。



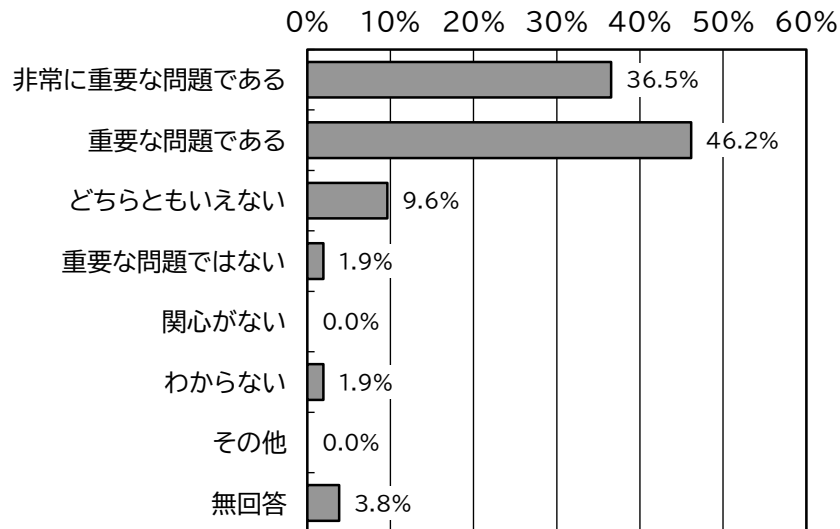
項目	度数	構成比
ごみの減量化、リサイクルの推進	34	65.4%
緑、緑地の保全	18	34.6%
市民への環境、地球温暖化に関する情報や学習の場の提供	13	25.0%
公共交通機関の整備、利便性の向上	15	28.8%
道路交通網の整備による交通渋滞の解消	22	42.3%
ごみ発電などリサイクルエネルギー発電設備の導入	15	28.8%
緑豊かな公園の整備、道路・河川の緑化、建物の屋上・壁面の緑化	12	23.1%
学校などでの環境教育の推進	9	17.3%
環境団体などの活動に対する支援	5	9.6%
地域環境美化自主活動等を実践する指導者・リーダーの養成	2	3.8%
個人住宅への太陽光発電設備などの普及(補助金の交付など)	10	19.2%
公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の導入	13	25.0%
自転車活用のための支援(シェアサイクルや道路整備等)	8	15.4%
民有緑地の保全	4	7.7%
河川や水辺の水質改善、汚濁の防止	10	19.2%
工場や事業所の排ガス、排水、騒音、悪臭などの公害の防止	8	15.4%
ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策	19	36.5%
野良猫対策	7	13.5%
特に取り組む必要はない	3	5.8%
その他	1	1.9%
無回答	1	1.9%
回答者数	52	

6 地球温暖化対策について

問15 貴事業所の活動において、地球温暖化問題を現在どのように捉えていますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

地球温暖化問題を現在どのように捉えているかでは、「重要な問題である」が46.2%、「非常に重要な問題である」が36.5%となっており、8割以上の方が重要な問題と回答しています。

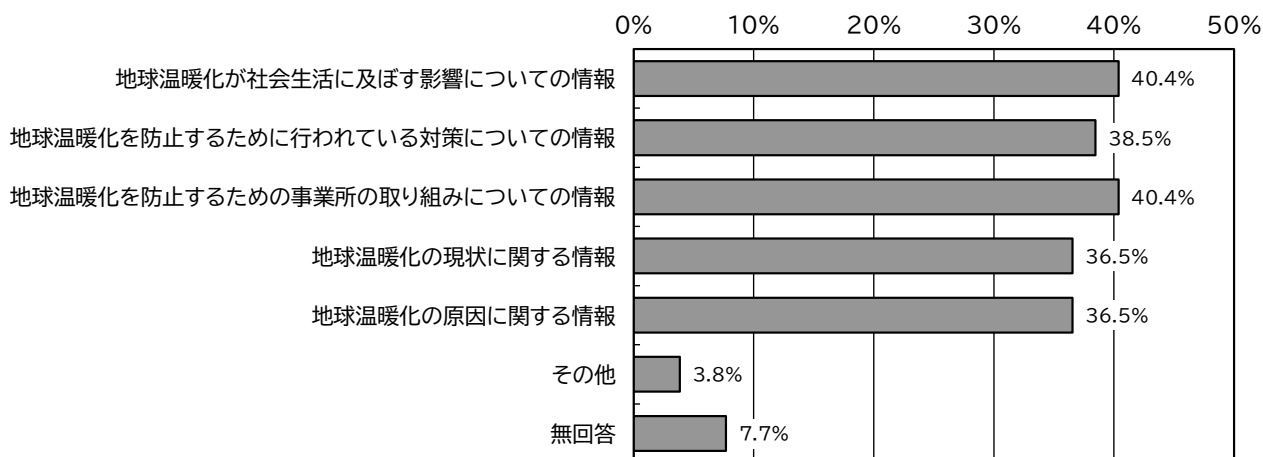
また、「関心がない」、「重要な問題ではない」を合わせると1.9%となっています。



項目	度数	構成比
非常に重要な問題である	19	36.5%
重要な問題である	24	46.2%
どちらともいえない	5	9.6%
重要な問題ではない	1	1.9%
関心がない	0	0.0%
わからない	1	1.9%
その他	0	0.0%
無回答	2	3.8%
合計	52	100.0%

**問16 貴事業所として、地球温暖化防止を促進するのに必要な情報はどのような事ですか。
次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。**

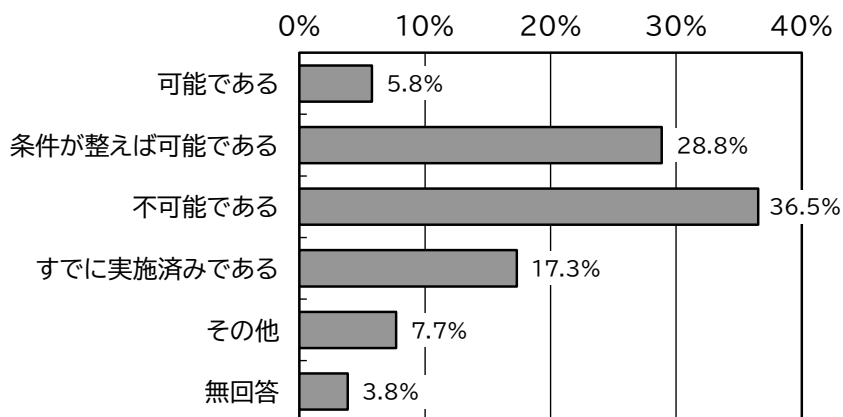
地球温暖化防止を促進するのに必要な情報では、「地球温暖化が社会生活に及ぼす影響についての情報」、「地球温暖化を防止するための事業所の取り組みについての情報」がともに 40.4%、「地球温暖化を防止するために行われている対策についての情報」が 38.5%となっています。



項目	度数	構成比
地球温暖化が社会生活に及ぼす影響についての情報	21	40.4%
地球温暖化を防止するために行われている対策についての情報	20	38.5%
地球温暖化を防止するための事業所の取り組みについての情報	21	40.4%
地球温暖化の現状に関する情報	19	36.5%
地球温暖化の原因に関する情報	19	36.5%
その他	2	3.8%
無回答	4	7.7%
回答者数	52	

問17 現在、従業員の通勤などの自家用車の利用を公共交通機関等へ切り替えることを促進することは可能ですか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

従業員の通勤などの自家用車の利用を公共交通機関等へ切り替えることを促進することは可能かでは、「不可能である」が36.5%、「条件を整えば可能である」が28.8%となっています。

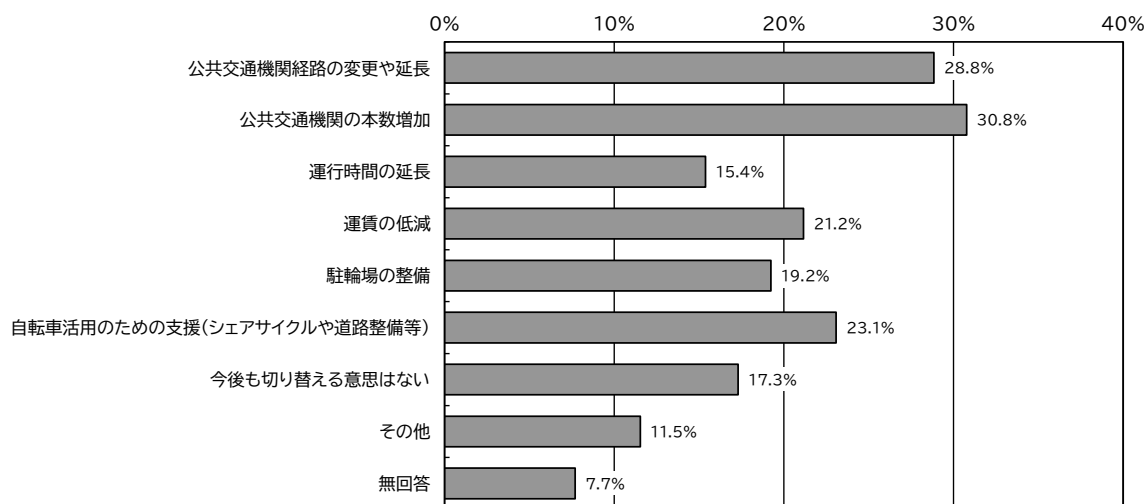


項目	度数	構成比
可能である	3	5.8%
条件を整えば可能である	15	28.8%
不可能である	19	36.5%
すでに実施済みである	9	17.3%
その他	4	7.7%
無回答	2	3.8%
合計	52	100.0%

問18 通勤を自家用車などから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件としては、どのようなことですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

通勤を自家用車などから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件では、「公共交通機関の本数増加」が30.8%、「公共交通機関経路の変更や延長」が28.8%、「自転車活用のための支援(シェアサイクルや道路整備等)」が23.1%となっています。

また、「今後も切り替える意思はない」が17.3%となっています。

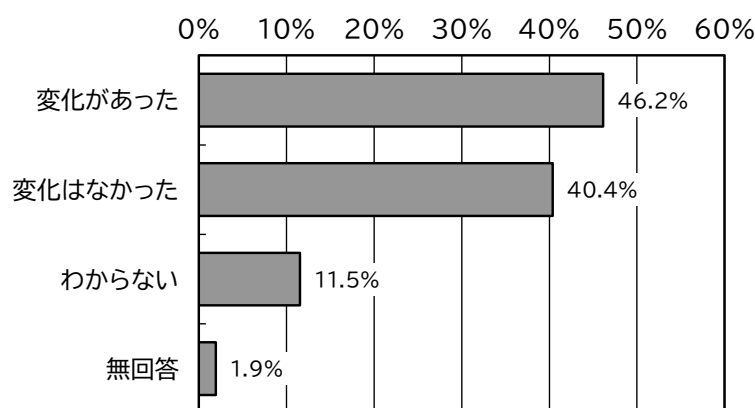


項目	度数	構成比
公共交通機関経路の変更や延長	15	28.8%
公共交通機関の本数増加	16	30.8%
運行時間の延長	8	15.4%
運賃の低減	11	21.2%
駐輪場の整備	10	19.2%
自転車活用のための支援(シェアサイクルや道路整備等)	12	23.1%
今後も切り替える意思はない	9	17.3%
その他	6	11.5%
無回答	4	7.7%
回答者数	52	

7 新型コロナウイルスについて

問19 新型コロナウイルス感染症の流行で、ビジネス環境や、自然環境は大きく影響を受けました。新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、貴事業所における環境問題への意識や行動に変化はありましたか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、事業所における環境問題への意識や行動に変化はあったかでは、「変化があった」が46.2%、「変化はなかった」が40.4%となっています。



項目	度数	構成比
変化があった	24	46.2%
変化はなかった	21	40.4%
わからない	6	11.5%
無回答	1	1.9%
合計	52	100.0%

問19-① 問19で「1. 変化があった」と回答された事業所に伺います。どのような変化があったのか、具体的にご記入ください。

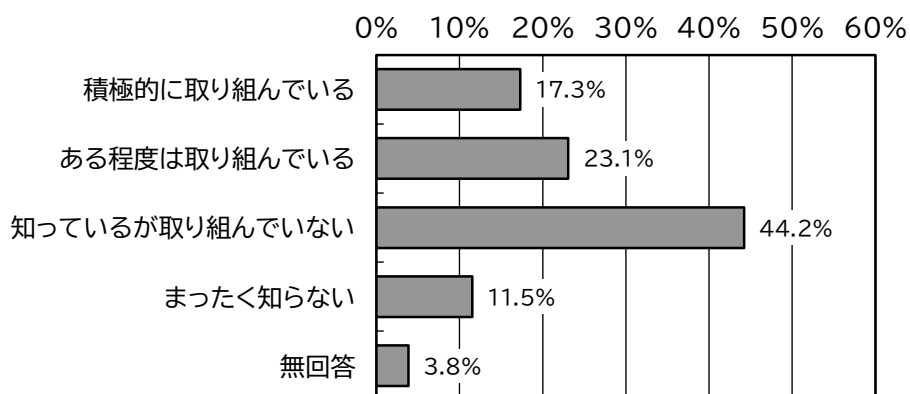
全21件の回答があり、「テレワークの導入」や「時差出勤」などの回答が16件、「手洗い・消毒」や「感染症対策」についての回答が3件、その他の回答が2件ありました。

8 SDGs(持続可能な開発目標)について

問20 貴事業所は、「SDGs(持続可能な開発目標)」に取り組んでいますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

SDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいるかでは、「知っているが取り組んでいない」が44.2%と最も多くなっており、「取り組んでいる」では、「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」を合わせて40.4%となっています。

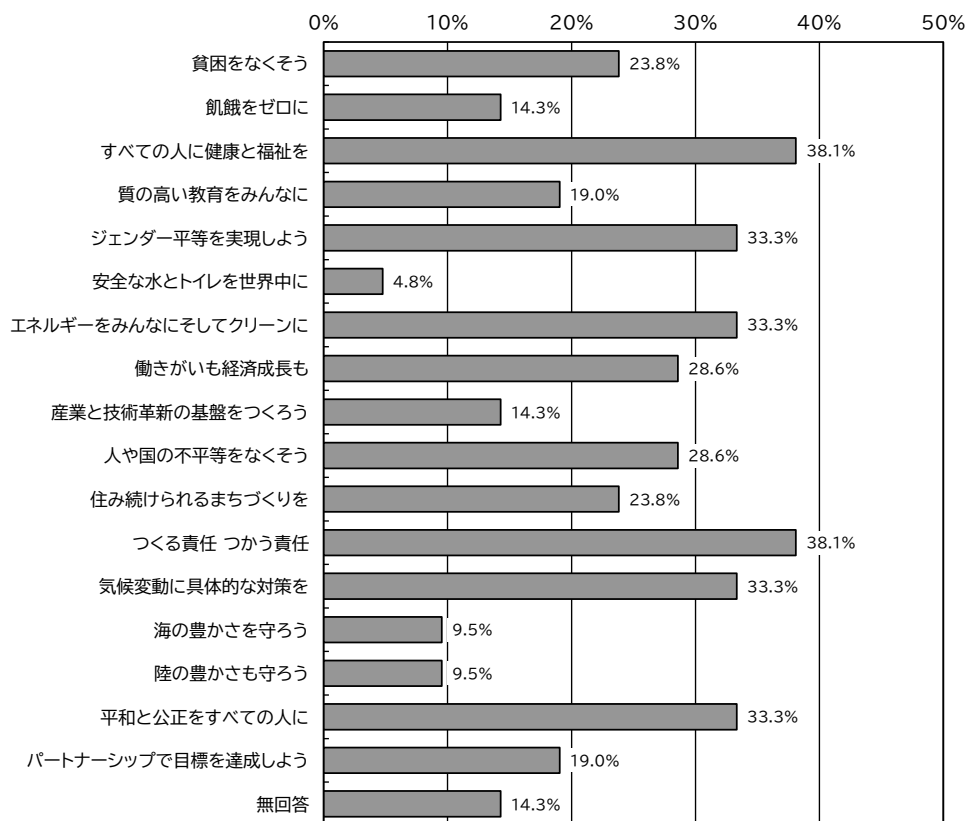
また、「まったく知らない」が11.5%となっています。



項目	度数	構成比
積極的に取り組んでいる	9	17.3%
ある程度は取り組んでいる	12	23.1%
知っているが取り組んでいない	23	44.2%
まったく知らない	6	11.5%
無回答	2	3.8%
合計	52	100.0%

問20-① 問20で「1. 積極的に取り組んでいる」、「2. ある程度は取り組んでいる」と回答された事業所におたずねします。SDGsは17のゴール(目標)があり、ゴールごとにターゲットがありますが、具体的に取り組んでいるものは以下のうちどれですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

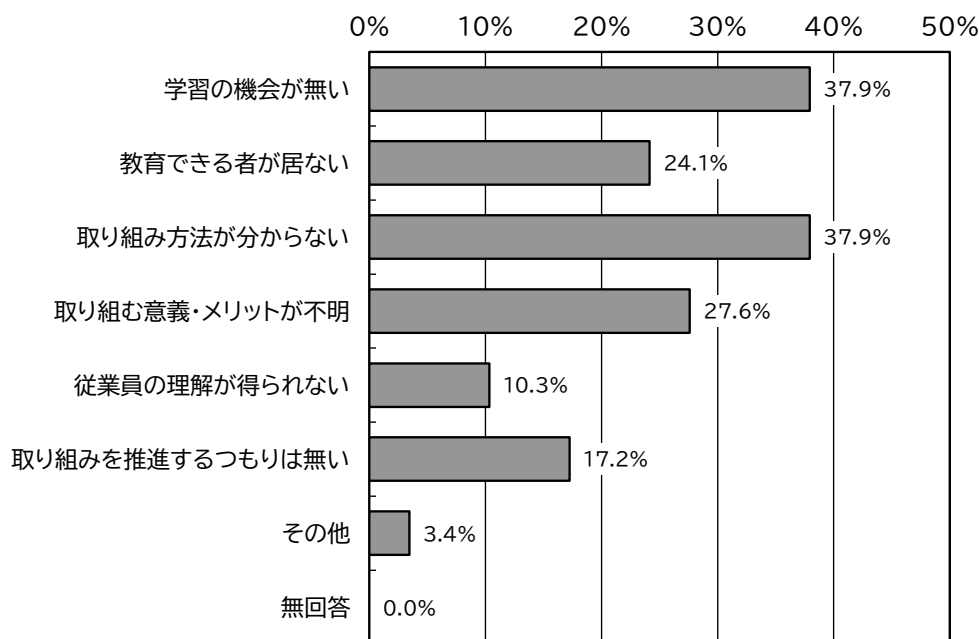
SDGs(持続可能な開発目標)の関心があるゴールの中で具体的に取り組んでいるゴールでは、「すべての人に健康と福祉を」、「つくる責任 つかう責任」がともに38.1%と最も多くなっています。



項目	度数	構成比
貧困をなくそう	5	23.8%
飢餓をゼロに	3	14.3%
すべての人に健康と福祉を	8	38.1%
質の高い教育をみんなに	4	19.0%
ジェンダー平等を実現しよう	7	33.3%
安全な水とトイレを世界中に	1	4.8%
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7	33.3%
働きがいも経済成長も	6	28.6%
産業と技術革新の基盤をつくろう	3	14.3%
人や国の不平等をなくそう	6	28.6%
住み続けられるまちづくりを	5	23.8%
つくる責任 つかう責任	8	38.1%
気候変動に具体的な対策を	7	33.3%
海の豊かさを守ろう	2	9.5%
陸の豊かさを守ろう	2	9.5%
平和と公正をすべての人に	7	33.3%
パートナーシップで目標を達成しよう	4	19.0%
無回答	3	14.3%
回答者数	21	
非該当	31	
合計	52	

問 20-② 問20で「3. 知っているが取り組んでいない」、「4. まったく知らない」と回答された事業所におたずねします。貴事業所は、SDGs の取り組みを推進する(または、今後推進していく)上で、課題と考えることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

SDGs の取り組みを推進する(または、今後推進していく)上で、課題と考えることでは、「学習の機会が無い」、「取り組み方法が分からない」がともに 37.9%と最も多く、次いで「取り組む意義・メリットが不明」が 27.6%となっています。

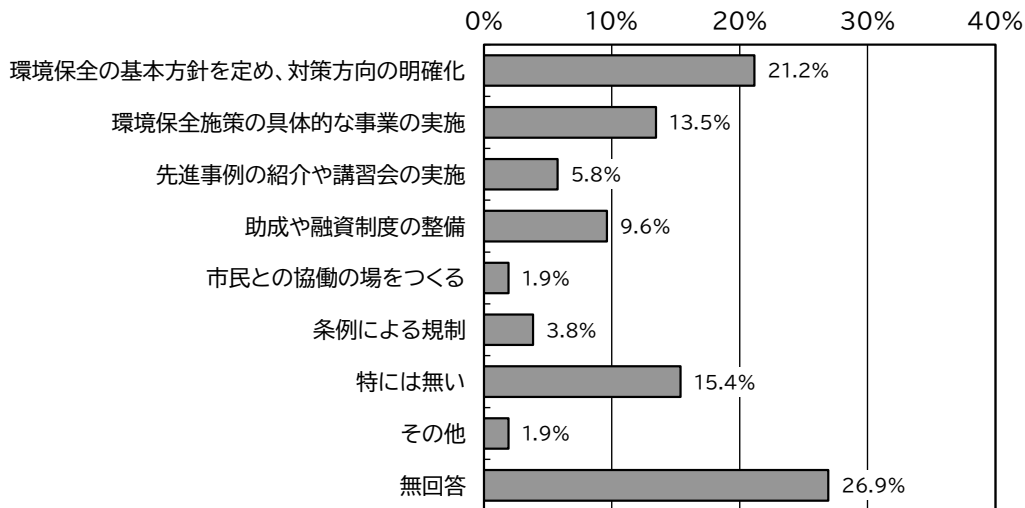


項目	度数	構成比
学習の機会が無い	11	37.9%
教育できる者が居ない	7	24.1%
取り組み方法が分からない	11	37.9%
取り組む意義・メリットが不明	8	27.6%
従業員の理解が得られない	3	10.3%
取り組みを推進するつもりは無い	5	17.2%
その他	1	3.4%
無回答	3	10.3%
回答者数	29	
非該当	23	
合計	52	

9 環境保全施策に対する意見・要望について

問21 貴事業所として、環境に対する施策として市にどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

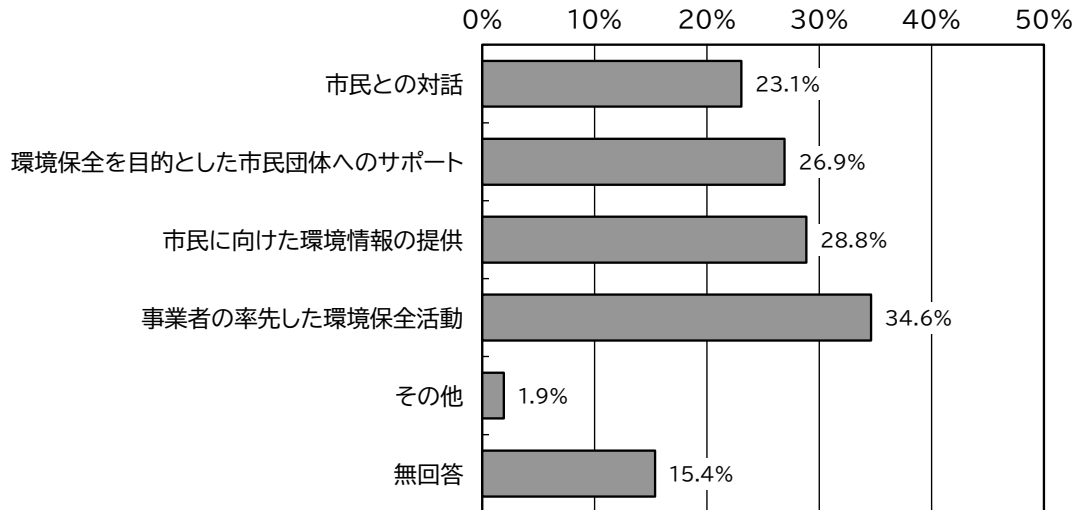
環境に対する施策として市に望むことは、「環境保全の基本方針を定め、対策方向の明確化」が21.2%、「環境保全施策の具体的な事業の実施」が13.5%、「助成や融資制度の整備」が9.6%となっています。また、「無回答」が26.9%となっています。



項目	度数	構成比
環境保全の基本方針を定め、対策方向の明確化	11	21.2%
環境保全施策の具体的な事業の実施	7	13.5%
先進事例の紹介や講習会の実施	3	5.8%
助成や融資制度の整備	5	9.6%
市民との協働の場をつくる	1	1.9%
条例による規制	2	3.8%
特には無い	8	15.4%
その他	1	1.9%
無回答	14	26.9%
合計	52	100.0%

問22 近年、事業所は様々な利害関係者から環境への配慮が求められていく傾向にあります。貴事業所が市民から求められていることはどのようなものと考えますか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

市民から求められていることは、「事業者の率先した環境保全活動」が34.6%、「市民に向けた環境情報の提供」が28.8%、「環境保全を目的とした市民団体へのサポート」が26.9%となっています。



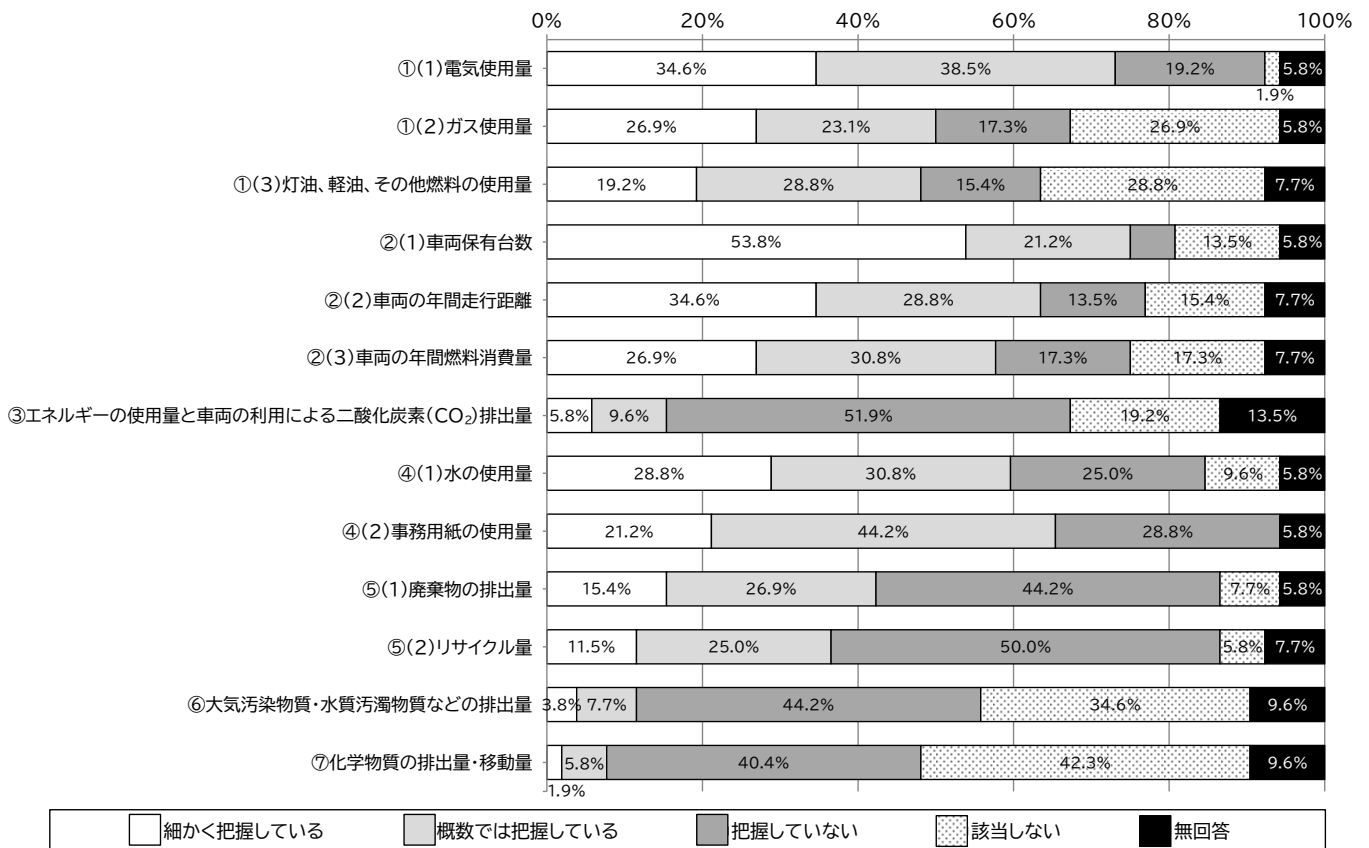
項目	度数	構成比
市民との対話	12	23.1%
環境保全を目的とした市民団体へのサポート	14	26.9%
市民に向けた環境情報の提供	15	28.8%
事業者の率先した環境保全活動	18	34.6%
その他	1	1.9%
無回答	8	15.4%
回答者数	52	

10 環境への負荷の実態について

問23 貴事業所では、環境負荷量をはじめとする以下の数値について把握していますか。把握の状況について、次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

把握の状況について、「細かく把握している」の項目では、「車両保有台数」が53.8%、「概数では把握している」の項目では、「事務用紙の使用量」が44.2%、「電気使用量」が38.5%となっています。

「把握していない」の項目では、「エネルギーの使用量と車両の利用による二酸化炭素(CO₂)排出量」が51.9%、「リサイクル量」が50.0%、「廃棄物の排出量」、「大気汚染物質・水質汚濁物質などの排出量」がともに44.2%となっています。

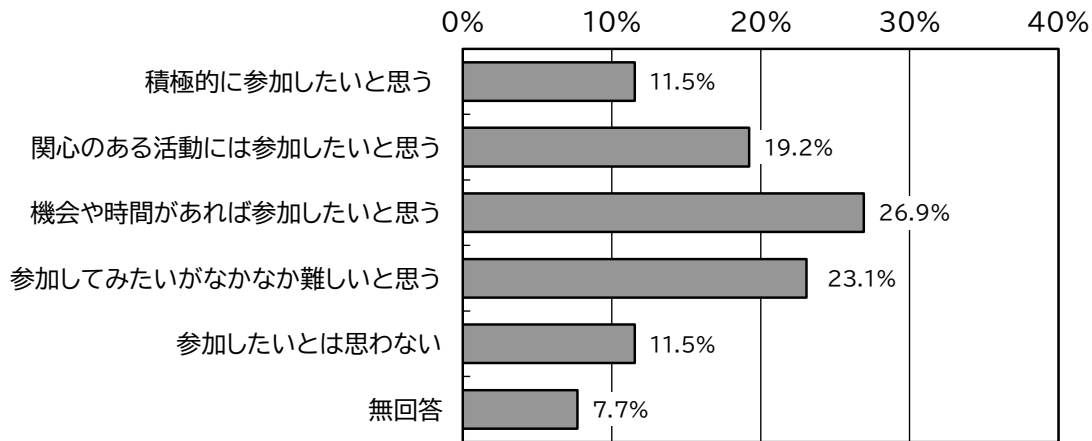


影響の内容		細かく把握している	概数では把握している	把握していない	該当しない	無回答	合計
①エネルギーの使用量	(1) 電気使用量	18	20	10	1	3	52
	(2) ガス使用量	14	12	9	14	3	52
	(3) 灯油、軽油、その他燃料の使用量	10	15	8	15	4	52
②車両の利用について	(1) 車両保有台数	28	11	3	7	3	52
	(2) 車両の年間走行距離	18	15	7	8	4	52
	(3) 車両の年間燃料消費量	14	16	9	9	4	52
③エネルギーの使用量と車両の利用による二酸化炭素(CO ₂)排出量		3	5	27	10	7	52
④資源の使用量	(1) 水の使用量	15	16	13	5	3	52
	(2) 事務用紙の使用量	11	23	15	0	3	52
⑤廃棄物などの排出量 やリサイクル量について	(1) 廃棄物の排出量	8	14	23	4	3	52
	(2) リサイクル量	6	13	26	3	4	52
⑥大気汚染物質・水質汚濁物質などの排出量		2	4	23	18	5	52
⑦化学物質の排出量・移動量		1	3	21	22	5	52
影響の内容(%)		細かく把握している	概数では把握している	把握していない	該当しない	無回答	合計
①エネルギーの使用量	(1) 電気使用量	34.6%	38.5%	19.2%	1.9%	5.8%	100.0%
	(2) ガス使用量	26.9%	23.1%	17.3%	26.9%	5.8%	100.0%
	(3) 灯油、軽油、その他燃料の使用量	19.2%	28.8%	15.4%	28.8%	7.7%	100.0%
②車両の利用について	(1) 車両保有台数	53.8%	21.2%	5.8%	13.5%	5.8%	100.0%
	(2) 車両の年間走行距離	34.6%	28.8%	13.5%	15.4%	7.7%	100.0%
	(3) 車両の年間燃料消費量	26.9%	30.8%	17.3%	17.3%	7.7%	100.0%
③エネルギーの使用量と車両の利用による二酸化炭素(CO ₂)排出量		5.8%	9.6%	51.9%	19.2%	13.5%	100.0%
④資源の使用量	(1) 水の使用量	28.8%	30.8%	25.0%	9.6%	5.8%	100.0%
	(2) 事務用紙の使用量	21.2%	44.2%	28.8%	0.0%	5.8%	100.0%
⑤廃棄物などの排出量 やリサイクル量について	(1) 廃棄物の排出量	15.4%	26.9%	44.2%	7.7%	5.8%	100.0%
	(2) リサイクル量	11.5%	25.0%	50.0%	5.8%	7.7%	100.0%
⑥大気汚染物質・水質汚濁物質などの排出量		3.8%	7.7%	44.2%	34.6%	9.6%	100.0%
⑦化学物質の排出量・移動量		1.9%	5.8%	40.4%	42.3%	9.6%	100.0%

11 市民・行政との協働について

問24 今後、より良い環境づくりを推進していくためには、事業所、市民、市民団体、行政等が協働して、環境保全に係る各種活動を推進していくことが一層重要になりますが、それについてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

各種活動の推進については、「機会や時間があれば参加したいと思う」が26.9%、「参加してみたいがなかなか難しいと思う」が23.1%、「関心のある活動には参加したいと思う」が19.2%となっています。

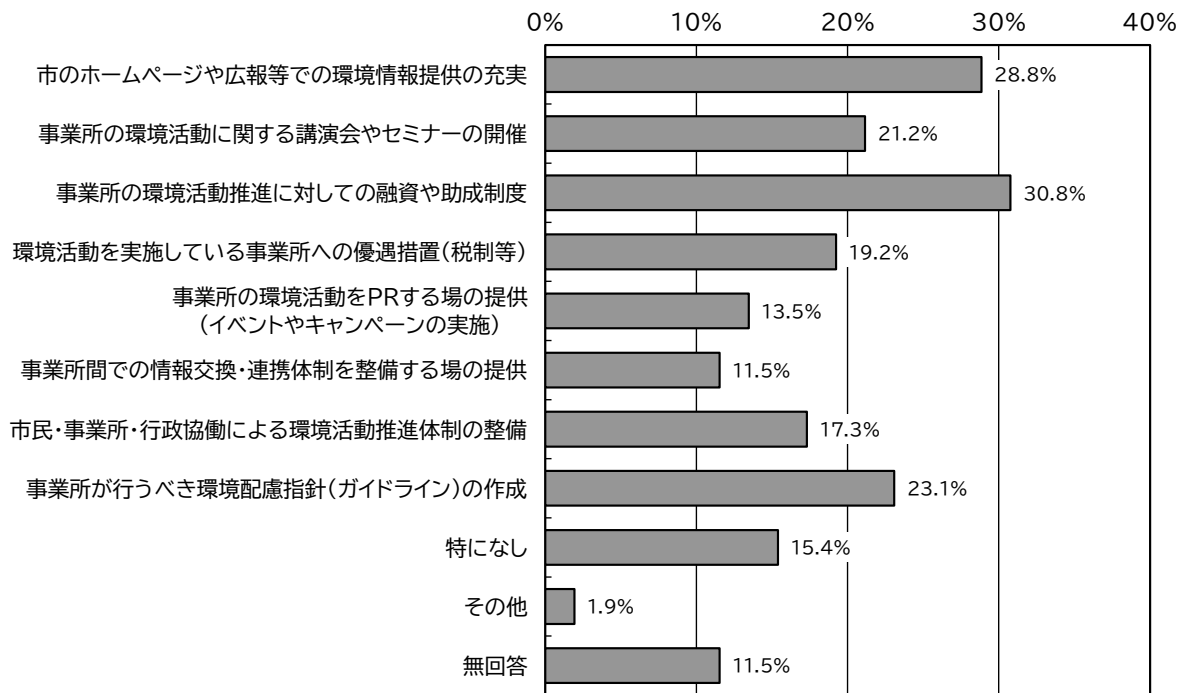


項目	度数	構成比
積極的に参加したいと思う	6	11.5%
関心のある活動には参加したいと思う	10	19.2%
機会や時間があれば参加したいと思う	14	26.9%
参加してみたいがなかなか難しいと思う	12	23.1%
参加したいとは思わない	6	11.5%
無回答	4	7.7%
合計	52	100.0%

問25 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等はありませんか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等では、「事業所の環境活動推進に対する融資や助成制度」が30.8%、「市のホームページや広報等での環境情報提供の充実」が28.8%、「事業所が行うべき環境配慮指針(ガイドライン)の作成」が23.1%となっています。

また、「特になし」が15.4%となっています。

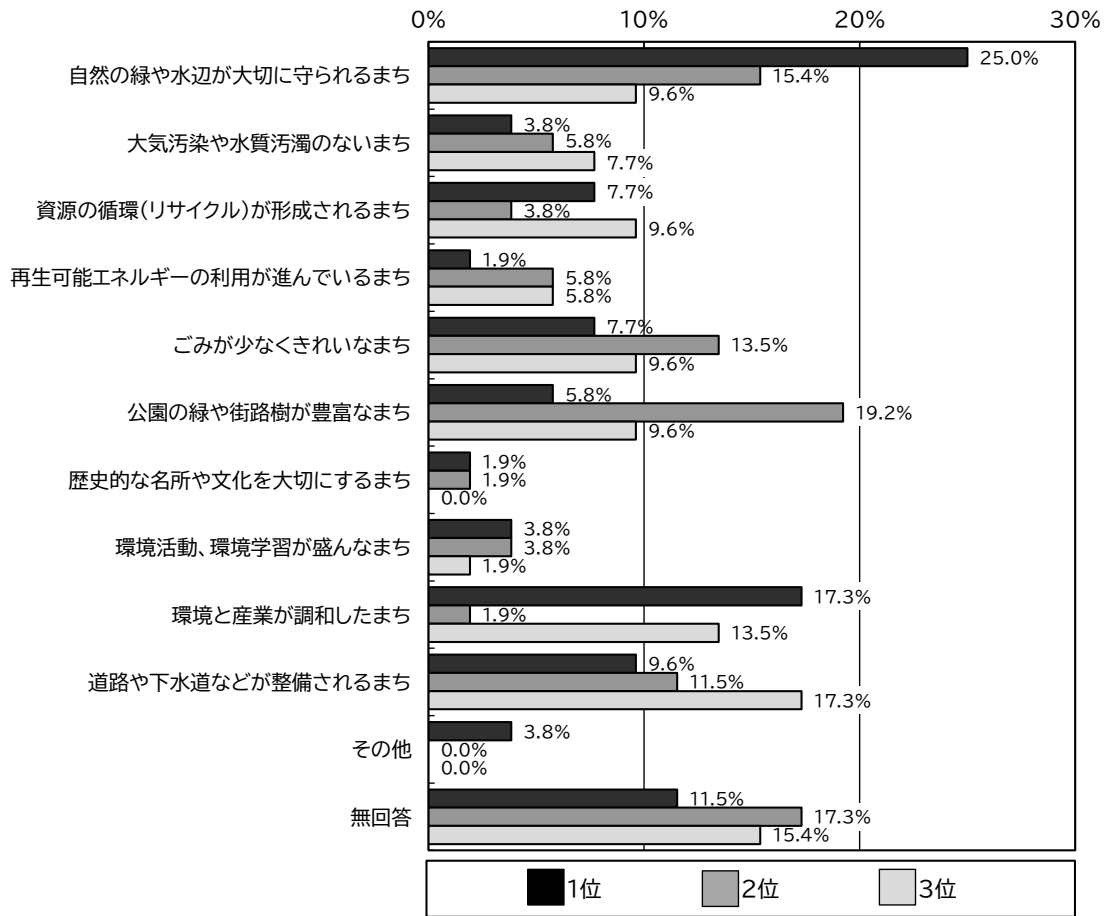


項目	度数	構成比
市のホームページや広報等での環境情報提供の充実	15	28.8%
事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催	11	21.2%
事業所の環境活動推進に対する融資や助成制度	16	30.8%
環境活動を実施している事業所への優遇措置(税制等)	10	19.2%
事業所の環境活動をPRする場の提供(イベントやキャンペーンの実施)	7	13.5%
事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供	6	11.5%
市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備	9	17.3%
事業所が行うべき環境配慮指針(ガイドライン)の作成	12	23.1%
特になし	8	15.4%
その他	1	1.9%
無回答	6	11.5%
回答者数	52	

12 ふじみ野市の環境像について

問26 将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいと思いますか。次の中から重要度が高いと考えるものを第1位から第3位まで番号を記入してください。

将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいかで、「1位」に選択したのは「自然の緑や水辺が大切に守られるまち」が25.0%と最も多く、「2位」に選択したのは「公園の緑や街路樹が豊富なまち」が19.2%と最も多く、「3位」に選択したのは「道路や下水道などが整備されるまち」が17.3%と最も多くなっています。



項目	1位		2位		3位	
	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比
自然の緑や水辺が大切に守られるまち	13	25.0%	8	15.4%	5	9.6%
大気汚染や水質汚濁のないまち	2	3.8%	3	5.8%	4	7.7%
資源の循環(リサイクル)が形成されるまち	4	7.7%	2	3.8%	5	9.6%
再生可能エネルギーの利用が進んでいるまち	1	1.9%	3	5.8%	3	5.8%
ごみが少なくきれいなまち	4	7.7%	7	13.5%	5	9.6%
公園の緑や街路樹が豊富なまち	3	5.8%	10	19.2%	5	9.6%
歴史的な名所や文化を大切にすまち	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%
環境活動、環境学習が盛んなまち	2	3.8%	2	3.8%	1	1.9%
環境と産業が調和したまち	9	17.3%	1	1.9%	7	13.5%
道路や下水道などが整備されるまち	5	9.6%	6	11.5%	9	17.3%
その他	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	11.5%	9	17.3%	8	15.4%
回答者数	52	100.0%	52	100.0%	52	100.0%

【自由回答】

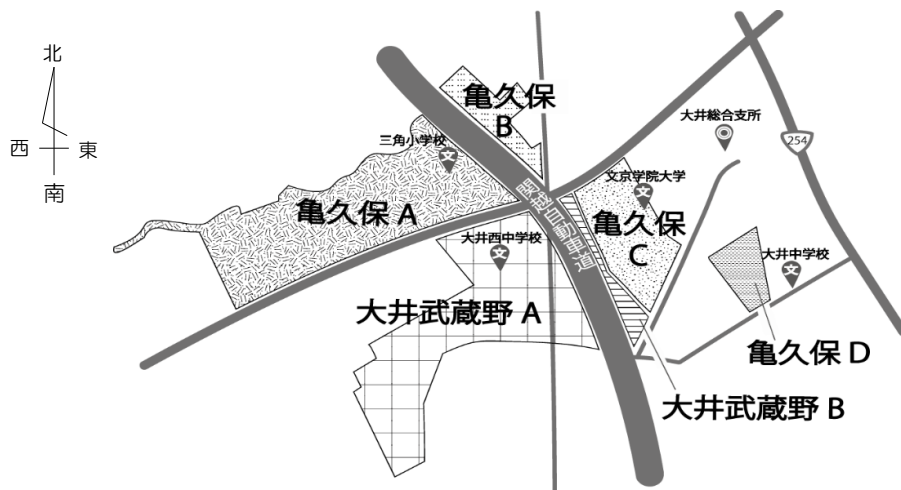
全6件の回答があり、「地球温暖化について」1件、「自然(地域)環境について」1件、「その他」4件のご意見がありました。

【 各アンケート調査内容 】

■ 市民アンケート

⑤お住まいの 地域	か 行	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ丘（ ）丁目 ・亀久保 A ・亀久保 B ・亀久保 C ・亀久保 D [丁目が付かない亀久保〇〇番地について、A~D かは別図から選択] ・亀久保（ ）丁目 ・川崎 ・川崎（ ）丁目 ・北野（ ）丁目 ・清見（ ）丁目 ・駒西（ ）丁目 ・駒林 ・駒林元町（ ）丁目 ・上福岡（ ）丁目
	さ 行	<ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘（ ）丁目 ・水宮 ・新駒林（ ）丁目 ・新田（ ）丁目
	た 行	<ul style="list-style-type: none"> ・滝（ ）丁目 ・鶴ヶ舞（ ）丁目 ・築地（ ）丁目 ・鶴ヶ岡（ ）丁目
	な 行	<ul style="list-style-type: none"> ・苗間 1~51 番地 ・苗間 227~568 番地 ・苗間 569~732 番地 ・苗間一丁目 ・仲（ ）丁目 ・中ノ島一丁目 ・中福岡 ・中丸（ ）丁目 ・長宮（ ）丁目 ・西（ ）丁目 ・西鶴ヶ岡 ・西鶴ヶ岡（ ）丁目 ・西原（ ）丁目
	は 行	<ul style="list-style-type: none"> ・花ノ木（ ）丁目 ・福岡新田 ・ふじみ野（ ）丁目 ・東久保一丁目 ・福岡中央（ ）丁目 ・福岡武蔵野 ・福岡 ・福岡（ ）丁目 ・富士見台
	ま 行	<ul style="list-style-type: none"> ・松山（ ）丁目 ・南台（ ）丁目 ・丸山 ・本新田 ・緑ヶ丘（ ）丁目 ・元福岡（ ）丁目
	や 行	<ul style="list-style-type: none"> ・谷田（ ）丁目

[別図] お住まいが大井武蔵野または亀久保で丁目が付かない番地表記の方は、
以下図のエリア区分をご参照ください。



【ふじみ野市の環境に対する意識について】

問2 あなたは、ふじみ野市の身近な環境についてどのようにお感じになっていますか。

【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. 非常に快適な環境だ
2. どちらかといえば快適な環境だ
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば快適な環境ではない
5. まったく快適な環境ではない

問3 あなたが住んでいる地域の環境について、改善すべき、また取り組むべき環境の課題は、どのようなものが考えられますか。【あてはまるものを全て選んでください。】

1. 樹木や緑の減少
2. 野鳥や昆虫など身近な生き物の減少
3. 川、水路などの汚れ
4. 川から海へと流れ着く海洋プラスチック問題
5. 工場・事業所からのばい煙や騒音、振動、悪臭
6. 自動車からの排気ガスや騒音・振動
7. 自動車から排出される温室効果ガスなどが増加する交通渋滞の問題
8. ごみや排水などから発生する悪臭
9. 野焼きの問題
10. ごみの不法投棄の問題
11. 空き缶、吸いがらなどのポイ捨て
12. ごみ集積所の問題
13. 野良猫の問題
14. ペット（犬など）の飼い方の問題
15. カラスなど有害鳥獣の問題
16. 土壌汚染問題
17. 地下水、雨水の活用
18. まちなかの景観の悪化（屋外看板や広告）
19. まちなかの公園や自然が少ない
20. 環境について学ぶ場や情報を得る場が少ない
21. 環境活動と一緒にできる仲間が少ない
22. 環境活動の地域拠点施設が少ない
23. 環境活動を率先して進めるリーダーの育成
24. その他（

）

問4 あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住みたいですか。それとも他の地域に移りたいとお考えですか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| 1. 今後も住みたい | → | 問4-①へお進みお答えください |
| 2. 市内の他地域へ移りたい | } | 問4-②へお進みお答えください |
| 3. 他の市町村へ移りたい | | |
| 4. 何ともいえない | → | 問5へお進みお答えください |

問4-① 問4で「1. 今後も住みたい」と回答された方にその理由をおたずねします。
【あてはまるものを全て選んでください。】

- | |
|--|
| 1. 自然環境（緑・水辺環境など）が気に入っているから |
| 2. 自然景観、風景などが気に入っているから |
| 3. 生活環境（騒音・悪臭が少ない、公共交通機関が充実しているなど）が快適だから |
| 4. 公共施設などが整っているから |
| 5. 安心・安全なまちだから |
| 6. 代々住んでいるところだから |
| 7. 他に移る理由が特に見当たらないから |
| 8. その他（ ） |

問4-② 問4で「2. 市内の他地域へ移りたい」、「3. 他の市町村へ移りたい」と回答された方にその理由をおたずねします。移りたい理由をご記入ください。

--

問5 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることはどのようなことですか。

【あてはまるものを全て選んでください。】

- | |
|---|
| 1. こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理などの節電 |
| 2. 洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりやに雨水を使用するなどの節水 |
| 3. 過剰な包装は断る、生ごみを少なくするなど、ごみの減量 |
| 4. 紙類やプラスチック容器などのごみの分別 |
| 5. 環境に優しい商品（環境ラベル商品や地場産品）などの購入 |
| 6. 油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮 |
| 7. ソーラーシステム(給湯、冷暖房)や太陽光発電など、再生可能エネルギー設備の利用 |
| 8. 周囲に草木を植えたり、周辺の雑木林の管理をするなど、緑を大切にする |
| 9. 近隣騒音（テレビなどの音漏れ）の防止 |
| 10. 自動車に乗る時はアイドリングをしないなど、環境にやさしいエコ・ドライブ |
| 11. 出かけたときに生じたごみを持ち帰る |
| 12. 生ごみなどのリサイクル |
| 13. 外出するときは、できるだけ公共交通機関を使う |
| 14. 飼い猫、飼い犬の適正な管理（不妊・去勢手術など） |
| 15. 特に何も心がけていない |
| 16. その他（) |

問6 あなたがお住まいになっている地域周辺の状況は5年前に比べてどのように変化しましたか。（※居住5年未満の場合は住み始めた頃と比較してどのように変化したかお答えください）【以下の①～⑪に示す項目ごとに該当する番号を 1つ選んでください。】

項目	多くなった	どちらかといえ ば多くなった	変わらない	どちらかといえ ば少なくなった	少なくなった	わからない
①人の往来	1	2	3	4	5	6
②自動車交通量	1	2	3	4	5	6
③住宅地	1	2	3	4	5	6
④空き地・空き家	1	2	3	4	5	6
⑤田畑	1	2	3	4	5	6
⑥自然の緑	1	2	3	4	5	6
⑦ごみのポイ捨てや不法投棄	1	2	3	4	5	6
⑧ごみ集積所に関する問題	1	2	3	4	5	6
⑨野良猫	1	2	3	4	5	6
⑩人や地域のコミュニティ	1	2	3	4	5	6
⑪昆虫や野生の動物(鳥獣)など	1	2	3	4	5	6

【環境に関する情報源について】

問7 環境問題について、どのようなところから情報や知識を得ていますか。

【あてはまるものを全て選んでください。】

1. 新聞
2. テレビ・ラジオ
3. インターネット
4. 本・雑誌
5. 家族
6. 友人・知人
7. 市などが発行する広報やパンフレット
8. 環境活動に取り組む団体、NPO 法人など
9. 講演会・環境フェアなどのイベント
10. その他（)

問8 あなたは、今後、地球環境に関するどのような情報を知りたいですか。

【あてはまるものを全て選んでください。】

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 1. 地球温暖化 | 9. 野生生物の数や種類の減少 |
| 2. オゾン層の破壊 | 10. 海洋汚染 |
| 3. 酸性雨 | 11. 有害廃棄物の越境移動 |
| 4. 熱帯林の減少 | 12. 開発途上国の環境問題 |
| 5. 砂漠化 | 13. 再生可能エネルギーなどの活用 |
| 6. 大気汚染 | (太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、
バイオディーゼル燃料※など) |
| 7. ヒートアイランド | |
| 8. ゲリラ豪雨 | 14. その他（) |

※バイオディーゼル燃料：菜種油や廃食用油などを原材料とした軽油代替燃料です。

【リサイクル活動への参加・ごみの減量化について】

問9 お住まいの地域でのごみ拾いなどの環境美化・資源回収などのリサイクル活動について、あなたはどのように思われますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加したい
3. 時間的、生活的に余裕があれば参加したい
4. 参加したいとは思わないが取り組みについては賛成である
5. その他（)

問10 ごみ減量化を推進するにあたり、どのような取り組みが重要であると考えられますか。【重要と思うものを全て選んでください。】

1. 買い物にはレジ袋の代わりに「マイバッグ」を持参
2. 過剰包装を断る
3. リサイクル商品（再生紙など）やエコマーク商品の購入促進
4. スーパーマーケットなどの店頭回収に協力する
5. 再使用のためのフリーマーケットの開催
6. 衣類、家具などの再利用
7. ごみの分別排出の徹底
8. ポイ捨ての防止
9. 3R運動の推進（「3R」とは、Reduce「減らす」、Reuse「再使用」、Recycle「再資源化」）
10. 生ごみの水切り
11. 生ごみ処理容器（キエーロ、コンポスト等）の利用
12. 市民や事業者に対する啓発やPRの促進
13. 食品購入にあたり、適量購入と食べきる量の調理
14. 環境センターなど廃棄物処理施設の見学会
15. 不法投棄に対する規制や監視体制の強化
16. 環境教育の推進
17. わからない
18. その他（)

問11 あなたは、ふじみ野市が提供している「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っていますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. 知っていてアプリを使っている
2. 知っているがアプリは使っていない
3. 知らない

【環境保全活動などに関する意識について】

問12 環境保全のための行動について、今後どのような事が必要であると考えますか。
【重要だと考えるものを1つ選んでください。】

1. リサイクル運動の推進
2. 大気汚染・騒音・振動対策
3. 身近な緑の保全・創造
4. 水辺の再生・保全・創造
5. 野生生物の生息空間の確保
6. 下水道や浄化槽整備の促進
7. 地域の景観や歴史的文化財の保存
8. その他（

)

問13 あなたが環境保全などに向けて行政が優先的に取り組む事項として望むことは、どのようなものですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

1. ごみの減量化、リサイクルの推進
2. 緑、緑地の保全
3. 市民への環境、地球温暖化に関する情報や学習の場の提供
4. 公共交通機関の整備、利便性の向上
5. 道路交通網の整備による交通渋滞の解消
6. ごみ発電などリサイクルエネルギー発電設備の導入
7. 緑豊かな公園の整備、道路・河川の緑化、建物の屋上・壁面の緑化
8. 学校などでの環境教育の推進
9. 環境団体などの活動に対する支援
10. 地域環境美化自主活動などを実践する指導者・リーダーの養成
11. 個人住宅への太陽光発電設備などの普及（補助金の交付など）
12. 公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の導入
13. 自転車活用のための支援（シェアサイクルや道路整備等）
14. 民有緑地の保全
15. 河川や水辺の水質改善、汚濁の防止
16. 工場や事業所の排ガス、排水、騒音、悪臭などの公害の防止
17. ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策
18. 野良猫対策
19. 特に取り組む必要はない
20. その他（

)

【環境に関する施策の評価について】

問14 以下の項目について、①あなた自身または、市や対象者が実施するべき項目としてどの程度重要と考えるかの重要度をお聞きします。また、②それらの項目について、どの程度満足しているかの満足度をあわせてお伺います。【①重要度と②満足度のあてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。】

番号	(項目)	①重要度					②満足度				
		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満

(1) 学びと協働の推進

1	環境学習館えこらぼを活用した、多様な環境学習講座の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	学校における環境教育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	環境フェアの毎年開催や、環境ポスターの募集	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	環境学習や実践活動の場となるこどもエコクラブの普及	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	エコラボフェスタなど、環境学習事業の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	環境活動団体などとの環境協働事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	協働体制の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	地域環境美化自主活動の推奨及び支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	環境年次報告書の作成及び環境情報の公表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	環境情報の提供を充実し、情報の共有化を図るネットワークづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	市報やホームページを活用した環境情報発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	環境基本計画の周知	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(2) 環境にやさしい快適なまちづくりの推進

1	ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	小動物に係る衛生的被害への対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	道路清掃美化活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	まちのクリーンアップを図るための市民参加型システムの導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	犬の飼い方しつけ方教室の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	景観に配慮した街路樹の適正管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	屋外広告物に対する対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	条例に基づいた空き家、空き地の適正管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	花いっぱい運動推進委員会の活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	公園等愛護会及び公園ボランティアの支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	公園の増設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	交通安全教室の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13	LED道路照明灯等の設置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(問 14 のつづき)

番 号	(項 目)	①重要度					②満足度				
		重 要	や や 重 要	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 重 要 で は な い	重 要 で な い	満 足	や や 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満
14	自治組織や自主防災組織への加入促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	ゲリラ豪雨による都市型浸水被害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16	野焼きへの迅速な対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	河川への有害物質流出事故の 24 時間対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18	地域の個別巡回による浄化槽維持管理の啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19	主要幹線道路の騒音、振動、交通量調査の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(3) 環境負荷の少ない循環型社会の構築

1	公共施設における再生可能エネルギー及び省エネ設備の利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	庁用車の低公害自動車導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	緑のカーテンによる省エネルギー対策を推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	公共施設の電気使用量抑制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	地産地消や旬産旬消の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	地球温暖化防止活動の啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	ごみの分別の徹底や、ごみの減量化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	生ごみ処理容器設置事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	集団資源回収事業報奨金制度の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	食品ロスの抑制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	木材家具等のリサイクル事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	定期的なフリーマーケットの開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13	環境センター見学会など、環境学習会の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14	リサイクルフローを公開し、分別の必要性を啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	不法投棄パトロールの強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(4) 自然と調和した環境づくりの推進

1	緑地保護地区を活用した緑の保存、維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	身近な緑の保全・創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	小面積の農地を利用した市民農地の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	市内を流れる河川の水質調査の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	新河岸川美化活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	良好な河川環境の維持管理及び保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	みどりの学校ファームの活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	埼玉県防除計画に基づく特定外来種の捕獲、駆除	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	自然環境と歴史的資産の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	文化財の指定及び保存	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	自然や文化財の中での体験学習の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問15 以下の地球温暖化対策に関する行動について、あなた自身はどのような対策に取り組んでいますか。また、「取り組む予定はない」と回答された方は、その理由は何ですか。【あてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。】

※一部他の質問と重複します。

番 号	(項 目)	温室効果ガス削減 の取り組み				「取り組む予定はない」 を選択した理由			
		いつも 取り組んで いる	時々 取り組んで いる	今後 取り組んで みたい	取り組 む予定は ない	生活 の利便性 が下がる	費用 がかかる	効果 に疑問が ある	その他 ・特にな し

(1) 家庭のリビング等における取り組み

1	冷暖房を使用する際は、こまめに温度調節、カーテンなどを利用し冷暖房の効率を高める	1	2	3	4	1	2	3	4
2	使用していない部屋の照明は消す	1	2	3	4	1	2	3	4
3	掃除機はフィルターをこまめに清掃し、使用効率を高める	1	2	3	4	1	2	3	4

(2) 家庭での日常の取り組み

1	ごみの分別を徹底し、ごみの排出量の削減やリサイクルを推進する	1	2	3	4	1	2	3	4
2	生ごみを排出するときは、水切りを徹底し、堆肥化处理をする	1	2	3	4	1	2	3	4
3	使い捨て商品の購入や使用を控え、簡易包装された商品を優先的に購入する	1	2	3	4	1	2	3	4

(3) 家庭でものを購入するときの取り組み

1	買い物をするときは、エコマーク商品や再生品など環境に配慮した商品を購入する	1	2	3	4	1	2	3	4
2	マイバック・買い物かごなどを使用し、レジ袋は買わないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
3	家電製品の購入、買い換えの際は、「省エネラベル」を確認し、待機消費電力が少ないなどの省エネ効果の高い製品を選んで購入する	1	2	3	4	1	2	3	4
4	食料を購入する際は、旬の食材や、地元で生産されたものを優先的に購入する	1	2	3	4	1	2	3	4
5	自動車はハイブリット車やEV車などの低公害や低燃費車、トッランナー基準*適合車を選択して購入し、適正な保有台数の見直しを行う	1	2	3	4	1	2	3	4

(4) 家庭における外出、移動するときの取り組み

1	近距離移動時はできるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控える	1	2	3	4	1	2	3	4
2	車の走行時は、余裕を持ってブレーキ、アクセル操作を行い、スピードを出し過ぎないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4

*自動車のトッランナー基準：現在、商品化されている自動車のうち最も燃費性能が優れている自動車をベースに、技術開発の見通しなどを踏まえて策定した基準です。

(問 15 のつづき)

番 号	(項 目)	温室効果ガス削減 の取り組み				「取り組む予定はない」 を選択した理由			
		いつも 取り組んで いる	時々 取り組んで いる	今後 取り組んで みたい	取り組 む予定は ない	生活の 利便性が 下がる	費用が かかる	効果に 疑問があ る	その他・ 特になし

(5) 住宅における建物、施設・設備に関する取り組み

1	建物の新築・改築する際には、二重サッシなど冷暖房効率の高い住宅（高断熱住宅等）を選択する	1	2	3	4	1	2	3	4
2	節水効果の大きい機器の導入や雨水の利用を行う	1	2	3	4	1	2	3	4

(6) 家庭におけるキッチンでの取り組み

1	冷蔵庫内の設定温度は、季節に合わせて調整し、扉の開閉回数はできるだけ少なくする	1	2	3	4	1	2	3	4
2	洗い物をする際、給湯器の温度はできるだけ低くする	1	2	3	4	1	2	3	4

(7) 家庭におけるお風呂やトイレなどでの取り組み

1	シャワー使用時は、節水シャワーヘッドなど節水器具を使用するとともに、出しっぱなしにしない	1	2	3	4	1	2	3	4
2	トイレトーパーは、再生紙を使用したものを、必要以上の使用は控える	1	2	3	4	1	2	3	4
3	洗濯物はまとめ洗いで、洗濯回数を減らす	1	2	3	4	1	2	3	4
4	洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない	1	2	3	4	1	2	3	4

【環境活動への参加について】

問 16 あなたの環境に関する市民活動への参加について伺います。

【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. すでに参加している	}	問 16-①へお進みお答えくださ
2. 今後ぜひ参加したい		
3. 都合がつけば、参加したい		
4.それほど参加したいとは思わない	}	問 16-②へお進みお答えくださ
5. 参加したくない		
6. わからない		

問16-① 問16で「1」～「3」と回答された方におたずねします。参加してみたい活動内容はどれですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 資源回収 | 7. 野良猫ボランティア、地域猫活動* |
| 2. 地域環境美化自主活動 | 8. 環境講演会やシンポジウム |
| 3. 緑化活動 | 9. 環境フェアや事業の実行委員など |
| 4. 水辺をきれいにする活動 | 10. バザー・フリーマーケット |
| 5. 動物や植物の自然観察や保護 | 11. その他 () |
| 6. 公園・道路管理、清掃活動 | |

※地域猫活動：地域でルールや役割分担を決めて、不妊・去勢手術を施し、時間を決めたエサやりや片づけ及びふん尿の始末などを行い、野良猫を地域ぐるみで適切に管理していく活動です。

問16-② 問16で「4」～「6」と回答された方におたずねします。参加したくない理由はどのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 活動する時間がない | |
| 2. 活動する資金がない | |
| 3. 活動する意思がない | |
| 4. 活動に関する情報が得られない | |
| 5. 知っている人がいない | |
| 6. 社交が苦手である | |
| 7. メリットがない | |
| 8. 興味がない | |
| 9. その他 () | |

【環境への配慮のための交通手段について】

問17 あなたが通勤、通学の際に利用する交通手段は何ですか。
【あてはまるものを全て選んでください。】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 自動車またはオートバイ（原付含む） | → 問17-①へお進みお答えください |
| 2. 電車（上福岡駅にて乗降） | |
| 3. 電車（ふじみ野駅にて乗降） | } 問18へお進みお答えください |
| 4. バス | |
| 5. 自転車（アシスト式含む）または徒歩 | |
| 6. 通勤、通学していない | |

問17-① 問17で「1. 自動車またはオートバイ（原付含む）」と回答された方におたずねします。自動車やオートバイなどから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件としては、どのようなことですか。

【あてはまるものを全て選んでください。】

1. 公共交通機関経路の変更や延長
2. 公共交通機関の本数増加
3. 運行時間の延長
4. 運賃の低減
5. 駐輪場の整備
6. 自転車活用のための支援（シェアサイクルや道路整備等）
7. 今後も切り替える意思はない
8. その他（)

【新型コロナウイルスについて】

問18 新型コロナウイルス感染症の流行で、私たちの生活環境や、自然環境は大きく影響を受けました。新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、あなたの生活における環境問題への意識や行動に変化はありましたか。

【あてはまるものを1つ選んでください。】

- | | | |
|------------|---|------------------|
| 1. 変化があった | → | 問18-①へお進みお答えください |
| 2. 変化はなかった | } | 問19へお進みお答えください |
| 3. わからない | | |

問18-① 問18で「1. 変化があった」と回答された方におたずねします。変化があったのは以下のうちどのようなことですか。【あてはまるものを全て選んでください。】

1. 家庭ごみの量が増えた
2. 電気代があがった
3. 食品ロスに気を付けるようになった
4. 省エネを気にするようになった
5. 節水を心がけるようになった
6. 移動は電車・バスから車でするようになった
7. 通勤通学など、電車・バスから自家用車、自転車または徒歩でするようになった
8. 環境問題のニュースが気になるようになった
9. 自宅で植物や野菜などを育てるようになった
10. エコやオーガニック製品*を選ぶようになった
11. その他（)

*オーガニック製品：農薬や化学物質に頼らず製品化されたものです。

【SDGs（持続可能な開発目標）について】

問19 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか。

【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. 内容をよく理解している
2. 少しだけ内容を知っている
3. 聞いたことがあるが、内容はあまりわからない
4. 今回初めて聞いた

問20 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」についてどの程度関心がありますか。

【あてはまるものを1つ選んでください。】

- | | | |
|-------------|---|------------------|
| 1. 非常に関心がある | } | 問20-①へお進みお答えください |
| 2. 関心がある | | |
| 3. あまり関心がない | } | 問21へお進みお答えください |
| 4. 全く関心がない | | |
| 5. わからない | | |

問20-① 問20で「1. 非常に関心がある」、「2. 関心がある」と回答された方におたずねします。SDGsは17のゴール（目標）があり、ゴールごとにターゲットがあります。以下の中から関心のあるものはどれですか。

【あてはまるものを全て選んでください。】※特に環境分野と関連が深いゴールです。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを（※） |
| 3. すべての人に健康と福祉を（※） | 12. つくる責任 つかう責任（※） |
| 4. 質の高い教育をみんなに（※） | 13. 気候変動に具体的な対策を（※） |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう（※） |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に（※） | 15. 陸の豊かさも守ろう（※） |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに（※） | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

【ふじみ野市環境基本計画について】

問21 ふじみ野市では、平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画（前期行動計画）を策定していますが知っていますか。【あてはまるものを1つ選んでください。】

1. 知っている
2. 知っているが見たことはない
3. 知らない

【ふじみ野市の環境像について】

問22 あなたは、将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいと思いますか。
次の1～11の中から重要度が高いと考えるものを第1位から第3位まで番号をご記入ください。

第1位	1. 自然の緑や水辺が大切に守られるまち
	2. 大気汚染や水質汚濁のないまち
	3. 資源の循環（リサイクル）が形成されるまち
第2位	4. 再生可能エネルギーの利用が進んでいるまち
	5. ごみが少なくきれいなまち
	6. 公園の緑や街路樹が豊富なまち
	7. 歴史的な名所や文化を大切にするまち
第3位	8. 環境活動、環境学習が盛んなまち
	9. 環境と産業が調和したまち
	10. 道路や下水道などが整備されるまち
	11. その他（ ）

【自由回答】

ふじみ野市の環境に関する情報や、環境に関するご意見・ご要望等ございましたら、以下の欄にご自由にご記入ください。

また、今までの設問で該当する項目が無かった場合で、ご自身のお考えがあればご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

■ 小・中学生アンケート

【あなたのことについて教えてください】

問1 学校名を書いてください。

() 学校

問2 あなたの性別^{せいべつ}を教えてください。
(自分が思っているものに1つだけ○をつけてください。)

1. 男子 2. 女子 3. その他（答えたくないなど）

問3 あなたはどこに住んでいますか。
あてはまる市名（町名）に○をつけてください。

1. ふじみ野市内
2. 川越^{かわごえ}市内
3. 富士見^{ふじみ}市内
4. 三芳^{みよし}町内

問4 あなたは今の場所に住んで何年になりますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 4年以下
2. 5年～9年
3. 10年以上
4. わからない

【身近な環境について、あなたが普段感じていることを答えてください】

問5 あなたは、身近な環境（自然や空気、水辺、風景など）が好きですか。
次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても好き
2. どちらかといえば好き
3. あまり好きではない
4. きらい

問6 あなたが住んでいる地域の環境について、進めるべき環境の取り組みは、どのようなものが考えられますか。
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 森や緑を増やす
2. 野鳥や昆虫など身近な生き物を増やす
3. 川、水路などの汚れをなくす
4. 川から海へと流れ着くプラスチックごみをなくす
5. 工場・事業所からの煙や騒音、嫌な臭いをなくす
6. 自動車からの排気ガスや騒音をなくす
7. 交通渋滞をなくし、自動車から出る温室効果ガス※が増えないようにする
8. ごみや排水などから発生する嫌な臭いをなくす
9. 野焼きをなくす
10. ごみの不法投棄※をなくす
11. 空き缶、たばこなどのポイ捨てをなくす
12. 野良ねこのふん・尿の迷惑行為をなくす
13. ペット（犬など）のふん・尿の迷惑行為をなくす
14. 土壌汚染問題※をなくす
15. 地下水、雨水を活用する
16. まちの見た目の悪いところ（屋外看板や広告）をなおす
17. まちなかの公園や自然を増やす
18. 環境について学ぶ場や情報を得る場を増やす
19. その他（ ）

※温室効果ガスとは：地球をとり囲んでいる二酸化炭素などのガスのこと。適度にあると地球の温度が生き物にちょうどいい状態にたもたれるが、増えすぎると気温が上がりすぎ、気候の変動などの原因にもなる。

※不法投棄とは：ルールを守らないで山林や人気のない場所にごみを勝手に捨ててしまうこと。

※土壌汚染とは：有害な物質によって土がよごされること。

問7 あなたは、今住んでいる場所に、これからも住み続けたいですか。それとも他の場所に移りたいですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| 1. これからも住み続けたい | → | 問7-①へお進みお答えください |
| 2. 別の場所へ移りたい | } | 問7-②へお進みお答えください |
| 3. 他の市町村へ移りたい | | |
| 4. わからない | → | 問8へお進みお答えください |

問7—① 問7で「1. これからも住み続けたい」に○をつけた人にその理由をお聞きします。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 緑が多い、川や水辺がきれいだから |
| 2. 静か、空気がきれいだから |
| 3. 通学や買い物など生活するのに便利だから |
| 4. ごみが少なくきれいだから |
| 5. 安全なまちだから |
| 6. その他（ ） |

問7—② 問7で「2. 別の場所へ移りたい」、「3. 他の市町村へ移りたい」に○をつけた人にその理由をお聞きします。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 緑が少ない、川や水辺が汚いから |
| 2. うるさい、空気が汚い、嫌な臭いがするから |
| 3. 通学や買い物など生活するのに不便だから |
| 4. ごみが多く汚いから |
| 5. 安全なまちではないから |
| 6. その他（ ） |

問8 あなたは、ふじみ野市を将来どのようにしていくと良いと思いますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 生活がもっと便利になるように、市内全体の開発※を進める |
| 2. これ以上の開発はしないで自然を残す |
| 3. まちの中心部は、環境を考えた開発を進め、森林は手入れをして残す |
| 4. その他（ ） |

※開発とは：土地などを活用して、その地域の産業や交通を盛んにすること。

問9 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることはどのようなことですか。
 次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

1. こまめに電気を消したり、冷暖房の設定温度を調節する
2. 植物の水やりに雨水を利用したり、洗濯機にお風呂の残り湯を使用する
3. スーパーなどで袋をもらわないことや、ごみを少なくする
4. 紙類やプラスチック容器などのごみの分別
5. 環境に優しい商品（環境ラベル商品や地場産品）などの購入
6. 油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮
7. 周囲に花や草木を植えたりするなど、緑を大切にする
8. 騒音（テレビなどの音漏れ）の防止
9. 出かけたときに出たごみを持ち帰る
10. 生ごみなどのリサイクル
11. ご飯などを残さず食べる
12. 飼いねこ、飼い犬のふん尿の世話をする
13. 特に何も心がけていない
14. その他（)

【環境に対するあなたの考えを教えてください】

問10 あなたは、身近な環境についてどのくらい満足していますか。
 次の①～⑥の項目について、どのように感じているかそれぞれ1つに○をつけてください。

身近な環境	満足	どちらかと 言えば満足	普通である	どちらかと 言えば不満	不満
①自然のきれいさ	1	2	3	4	5
②空気のきれいさ	1	2	3	4	5
③水や水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
④静かさ	1	2	3	4	5
⑤景色の良さ	1	2	3	4	5
⑥交通環境（道路のデコボコやバスの数）	1	2	3	4	5

問11 あなたは、ふじみ野市の環境を良くしていくためには、何が大切だと思いますか。
大切だと思うものを第1位から第3位まで選んでください。

第1位	1. 空気をきれいにする
	2. 水をきれいにする
	3. まちをきれいにする
	4. まちを静かにする
	5. 嫌な臭いを防ぐ
第2位	6. ごみを減らす
	7. リサイクルを進める
	8. 山林などを守る
	9. 生き物を大切にする
第3位	10. ダイオキシン類など有害化学物質による環境汚染を防ぐ
	11. 環境についてもっと勉強できるようにする
	12. ごみを勝手に山林や水辺などに捨てないようにする
	13. 太陽光発電など自然エネルギーを導入する
	14. その他 ()

問12 環境を守っていくために、市役所が行う取り組みについてどのような行動が必要だと思いますか。

次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 地球温暖化の原因になる二酸化炭素などをなるべく出さない取り組み
2. いろいろな働きがある森を守る取り組み
3. きれいな川や水辺を守る取り組み
4. 家庭から出るごみなどを正しく処理する取り組み
5. 環境にやさしい太陽光発電などを積極的に設置する取り組み
6. 減少する動植物などを保護する取り組み
7. 道路や公園をきれいに保つ美化活動
8. ペット（犬やねこなど）のふんから街を守る取り組み
9. みんなで環境づくりに参加する取り組み
10. その他 ()

問13 今後、あなたのまわりの環境かんきょうはどのようになると思いますか。
次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 良くなると思う
2. 変わらないと思う
3. 悪くなると思う
4. わからない

しんがた
【新型コロナウイルスについて】

問14 新型コロナウイルス感染症かんせんしんじょうの流行で、あなたのまわりの環境かんきょうに変化はありましたか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 変化があった
2. 変化はなかった
3. わからない

（エスディーゼース　じそくかのう　かいはつもくひょう）
【SDGs（持続可能な開発目標）について】

問15 あなたは、「SDGs（持続可能な開発目標エスディーゼース　じそくかのう　かいはつもくひょう）」を知っていますか。
次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. よく内容ないようを知っている
2. 少しだけ内容ないようを知っている
3. 聞いたことがあるが、内容ないようはあまりわからない
4. 今回初めて聞いた

【省エネルギーや環境保全の取り組みについて】

問16 省エネルギーや環境保全の取り組みについて、あなたは日頃どのくらい実行していますか。その番号に○をつけてください。
 また「あまりしていない」、「全くしていない」と回答された方は、今後取り組んでみようと思うものがあれば右端の「今後は取り組みたい」の欄に○をつけてください。
 ※保全とは…保護して安全を守ること。

省エネルギー、環境保全への身近な取り組み	いつもしている	だいたいしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	今後は取り組みたい
①冷暖房の設定温度を控えめに設定するようにしている	1	2	3	4	5	
②照明器具や電気機器をこまめに消すようにしている	1	2	3	4	5	
③ごみのポイ捨てをしないようにしている	1	2	3	4	5	
④ごみ減量化のための分別やリサイクルに協力している	1	2	3	4	5	
⑤買い物には買い物かごやマイバッグを持参している	1	2	3	4	5	
⑥エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選んで購入するようにしている	1	2	3	4	5	
⑦詰め替えができるものを選び、使い捨て商品は買わないようにしている	1	2	3	4	5	
⑧買い物の際には、必要以上の包装は断るようになっている	1	2	3	4	5	
⑨紙製品は再生紙のものを選んで購入するようにしている	1	2	3	4	5	
⑩お湯や水などを出しっぱなしにしないようにしている	1	2	3	4	5	
⑪食事は残さないようにしている	1	2	3	4	5	
⑫洗剤は、最小限度で使うようにしている	1	2	3	4	5	
⑬台所から食用油や食べかすを排水溝へ流さないようにしている	1	2	3	4	5	
⑭地域の清掃や美化・緑化運動に参加している	1	2	3	4	5	
⑮環境保護活動に参加している	1	2	3	4	5	
⑯自然観察会や環境セミナーなどの環境に関する学習会へ参加している	1	2	3	4	5	

問17 あなたは、現在の地球の環境についてどのように考えていますか。
次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても心配している
2. 少し心配している
3. あまり心配していない
4. 全く心配していない
5. わからない

問18 今後の地球環境はどのようになると思いますか。
あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 改善されると思う
2. 変わらないと思う
3. 悪くなると思う
4. わからない

【環境の保全や改善のための行動】

問19 あなたは、「あなたと同じ年代の人たちが、環境の保全や改善のための具体的な行動などについて学べば、その行動を心がけるようになる」と思いますか。
あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 行動するようになると思う
2. 行動するようにはならないと思う
3. わからない

問20 あなたは、ふじみ野市が作った「ふじみ野市ごみ分別アプリ」を知っていますか。
次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問21 「環境問題を解決するためには、一人ひとりの行動が大切である」と思っても、実際に行動しない人が多いのはなぜだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを各項目についてそれぞれ1つに○をつけてください。

行動をしない理由	そう思う	まあそう思う	あまりそうとは思わない	そうは思わない
①自分には関係ないと思っている	1	2	3	4
②めんどくさいと思っている	1	2	3	4
③どうしたらよいのか、具体的方法がわからない	1	2	3	4
④個人ではどうしようもないと感じている	1	2	3	4
⑤実行しようというやる気や実行する時間がない	1	2	3	4
⑥環境保全の大切さが、人々に十分伝わっていない	1	2	3	4

【環境に関する情報や学習について教えてください】

問22 環境問題について、どのようなところから知ることができますか。次の中からあてはまるものを全てに○をつけてください。

1. 学校の授業 2. 新聞 3. テレビ・ラジオ 4. インターネット 5. 本・雑誌 6. 市などが発行する広報紙やパンフレット 7. 家族 8. 友人・知人 9. その他 ()
--

■ 事業所アンケート

【貴事業所についてお伺いします】

問 1 貴事業所について

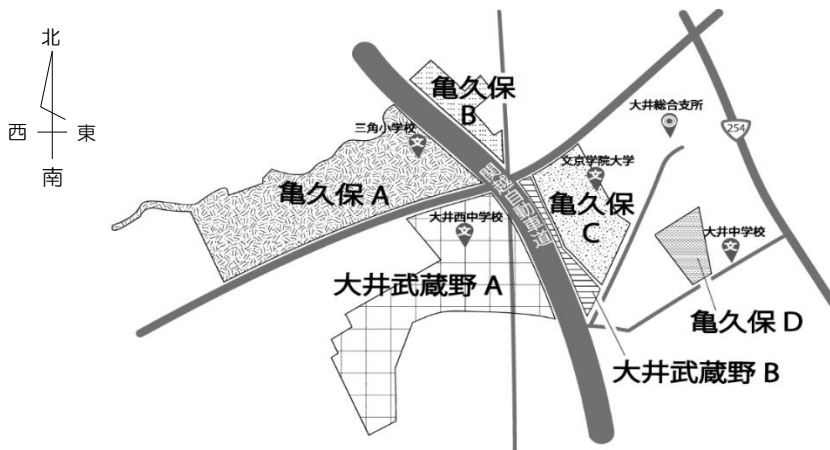
この質問はアンケート結果を詳細に分析する上で重要ですので、必ずご記入ください。
以下の①～⑦に示す項目ごとに該当する番号を1つ選び、○をつけてください。(なお⑤の〔 〕内には人数を、⑥の〔 〕内には割合をご記入ください。)

①業 種	1. 農林業 2. 水産業 3. 建設業 4. 製造業	5. 卸売業 6. 小売業 7. 運輸業 8. 通信業	9. 電気ガス水道業 10. サービス業 11. その他
②事業形態	1. 工場 2. 事務所 3. 店舗 4. その他 ()		
③ふじみ野市 在所年数	1. 1年未満 2. 1年～4年 3. 5年～9年		4. 10年～19年 5. 20年～29年 6. 30年以上
④従業員数 (パート含む)	1. 9人以下 2. 10～29人 3. 30～49人	4. 50～99人 5. 100～299人 6. 300～999人	7. 1,000人以上
⑤従業員の 住所地(自宅)	1. ふじみ野市内 〔 約 人 〕		2. ふじみ野市外 〔 約 人 〕
⑥従業員の主な 交通手段と その割合 (複数選択可)	1. 自動車 〔割合 割〕	3. バス 〔割合 割〕	5. バイク 〔割合 割〕
	2. 電車 〔割合 割〕	4. 自転車 〔割合 割〕	7. その他 () 〔割合 割〕
⑦事業所の 所在地	事業所の所在地の地域についてお答えください。 該当する住所に○をつけ、丁目がある場合は、()内に数字をご記入ください。 回答例 → 福岡 (3) 丁目		
	あ 行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭一丁目 ・ 池上 ・ 市沢 () 丁目 ・ 上野台 () 丁目 ・ 上ノ原 () 丁目 ・ うれし野 () 丁目 ・ 大井 221～820 番地 ・ 大井 821～1294 番地 ・ 大井 () 丁目 ・ 大井中央 () 丁目 ・ 大井武蔵野 A ・ 大井武蔵野 B ・ 大原 () 丁目 <li style="text-align: center;">〔 大井武蔵野 A か B かは別図から選択 〕 	

次ページへ続きます。

⑦事業所の所在地	か行	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ丘（ ）丁目 亀久保 A 亀久保（ ）丁目 北野（ ）丁目 駒林 	<ul style="list-style-type: none"> 上福岡（ ）丁目 亀久保 B 川崎 清見（ ）丁目 駒林元町（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 亀久保 C 川崎（ ）丁目 駒西（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 亀久保 D <p>[丁目が付かない亀久保〇〇番地について、A～Dかは別図から選択]</p>
	さ行	<ul style="list-style-type: none"> 桜ヶ丘（ ）丁目 水宮 	<ul style="list-style-type: none"> 新駒林（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 新田（ ）丁目 	
	た行	<ul style="list-style-type: none"> 滝（ ）丁目 鶴ヶ舞（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 築地（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 鶴ヶ岡（ ）丁目 	
	な行	<ul style="list-style-type: none"> 苗間 1～51 番地 苗間一丁目 中丸（ ）丁目 西鶴ヶ岡 	<ul style="list-style-type: none"> 苗間 227～568 番地 仲（ ）丁目 長宮（ ）丁目 西鶴ヶ岡（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 苗間 569～732 番地 中ノ島一丁目 西（ ）丁目 西原（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 中福岡
	は行	<ul style="list-style-type: none"> 花ノ木（ ）丁目 福岡新田 ふじみ野（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 東久保一丁目 福岡中央（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡 福岡武蔵野 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡（ ）丁目 富士見台
	ま行	<ul style="list-style-type: none"> 松山（ ）丁目 南台（ ）丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 丸山 本新田 	<ul style="list-style-type: none"> 緑ヶ丘（ ）丁目 元福岡（ ）丁目 	
	や行	<ul style="list-style-type: none"> 谷田（ ）丁目 			

[別図] 所在地が大井武蔵野または亀久保で丁目が付かない番地表記の場合は、以下図のエリア区分をご参照ください。



【ふじみ野市環境基本計画について】

問2 ふじみ野市では、平成30年に第2期ふじみ野市環境基本計画（前期行動計画）を策定していますが知っていますか。

次の中からあてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

1. 知っている
2. 知っているが見たことはない
3. 知らない

【環境に関する基本的な考え方】

問3 貴事業所では、企業の環境への取り組みと企業活動のあり方についてどう思われますか。考え方に最も近いものを 1 つ選び、○をつけてください。

1. 環境ビジネスの可能性が広がるビジネスチャンスである
2. 環境への取り組みは社会貢献の一つである
3. 環境に関する取り組みは、業績に結びつかないので法規制等をクリアするレベルでよい
4. 環境に関する取り組みは、今後の企業の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる
5. 環境に関する取り組みを企業の最も重要な戦略の一つとして位置づけ、企業活動の中に取り組んでいる

問4 貴事業所では、環境関連の業務や作業を取り扱う部署を設置されていますか。次の中からあてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

1. 専任の部署、または担当者を置いている
2. 兼任の担当者を置いている
3. 近々設置する予定である
4. 専任、兼任に関わらず、設置する予定はない

問5 貴事業所にとって、環境対策へ取り組むことの重要性（経営面、社会責任面、環境保全面）についてどうお考えですか。

次の中からあてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

1. 非常に重要である
2. ある程度重要である
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない

問8-① 問8で「2. 苦情は受けたが、解決済み」、「3. 苦情を受け、現在処理中」と回答された事業所に伺います。苦情を受けた内容はどのような事ですか。
次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 騒音・振動に関する苦情 | |
| 2. ばい煙など大気に関する苦情 | |
| 3. 雑草などの苦情 | |
| 4. 悪臭などの苦情 | |
| 5. 水質に関する苦情 | |
| 6. その他（ | ） |

問9 貴事業所において、近年の環境問題として関心のある項目はどのようなものですか。
次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. ごみ問題 | 14. 景観の悪化 |
| 2. 地球温暖化 | 15. 土壌や地下水の汚染 |
| 3. オゾン層の破壊 | 16. 遺伝子組み換え食品やクローン動物 |
| 4. 酸性雨 | 17. 食品添加物や残留農薬問題 |
| 5. 森林破壊・砂漠化 | 18. 異常気象（ゲリラ豪雨や台風の発生など） |
| 6. 生物種の絶滅 | 19. ヒートアイランド現象 |
| 7. ダイオキシン問題 | 20. 原子力発電所の放射性廃棄物などの問題 |
| 8. 環境ホルモン問題 | 21. エネルギー問題 |
| 9. 自然環境の減少 | 22. 電磁波や紫外線の影響 |
| 10. 大気汚染・悪臭問題 | 23. 電力削減対策（省エネ） |
| 11. 水質汚濁・海洋汚染 | 24. 特に関心はない |
| 12. 騒音問題・振動問題 | 25. その他（ |
| 13. 地盤沈下 | ） |

【廃棄物について】

問10 貴事業所において、事業系一般廃棄物の現在の処理方法についてお答えください。
次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---|------------------|
| 1. 当事業所からは事業系一般廃棄物が出ない | } | 問11へお進みお答えください |
| 2. 全て自社で処理している | | |
| 3. 一部自社処理、一部廃棄物処理業者に委託 | | |
| 4. 全て廃棄物処理業者に委託 | | |
| 5. 自社で市の環境センターへ搬入 | } | 問10-①へお進みお答えくだ |
| 6. 収集運搬業者へ委託して市の環境センターへ搬入 | | |
| 7. その他（ | ） | → 問11へお進みお答えください |

(問12のつづき)

取り組み内容	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組みことは 考えていない	自社とはあまり関係がない
⑥ 照明は省エネタイプのLEDや電球型蛍光灯などに切り替えている	1	2	3	4	5
⑦ パソコンなどは省エネモードに設定し、待機時の電力消費を減らしている	1	2	3	4	5
⑧ 節水型の機器やシステムを導入している	1	2	3	4	5
⑨ 省エネルギーに関する計画書などを作成し取り組んでいる	1	2	3	4	5
⑩ 施設の敷地内や壁面・屋上の緑化に努めている	1	2	3	4	5
⑪ 透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透に努めている	1	2	3	4	5
■廃棄物について					
① 両面コピーや裏紙の使用を行っている	1	2	3	4	5
② 使い捨て製品(紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当など)の使用や購入を抑制している	1	2	3	4	5
③ 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用を進めている	1	2	3	4	5
④ 事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	1	2	3	4	5
⑤ 包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる	1	2	3	4	5
⑥ 食べ残し、食品残渣などの有機物質については可能な限りコンポスト化(堆肥化)し、土壌に還元、利用している	1	2	3	4	5
⑦ 廃棄物の減量化計画を作成し、減量化を進めている	1	2	3	4	5
⑧ 剪定枝などを再利用している	1	2	3	4	5
■大気汚染・水質汚濁など公害の防止					
① 日常の大気汚染防止への配慮(燃焼管理など)を行っている	1	2	3	4	5
② 水質汚濁防止のため、法令基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	1	2	3	4	5
③ 低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置・管理などにより騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視測定を実施している	1	2	3	4	5
④ 夜間照明による光害を防止するための措置を講じている	1	2	3	4	5
■自動車の利用について					
① ハイブリッド車など、環境負荷の小さい車の導入・利用に取り組んでいる	1	2	3	4	5
② 共同輸配送、帰り荷の確保に取り組んでいる	1	2	3	4	5
③ アイドリングストップを進めている	1	2	3	4	5

(問12のつづき)

取り組み内容	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは 考えていない	自社とはあまり関係がない
④ 速度や積載量に注意し、エコ運転を実施・指導している	1	2	3	4	5
⑤ マイカーの通勤の自粛などに取り組んでいる	1	2	3	4	5
■化学物質対策					
① 有害化学物質（農薬を含む）の保管量、使用量、使用場所など把握、記録している	1	2	3	4	5
② 有害物質の輸送、保管等に当たり、事故時の汚染防止のための準備や訓練を行っている	1	2	3	4	5
③ オゾン層を破壊する特定フロン等の削減、全面的な使用中止を行っている	1	2	3	4	5
■グリーン購入					
① 環境に配慮した物品等の調達に関する基準、リストがあり、運用している（エコマーク商品を優先的に購入するなど）	1	2	3	4	5
② 事務用紙等には再生紙を使用している	1	2	3	4	5
③ 再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	1	2	3	4	5
④ 間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している	1	2	3	4	5
■環境保全のための仕組み・体制、情報提供など					
① 社内で環境に関する研修や啓発などの活動を行っている	1	2	3	4	5
② 環境に配慮するための役割分担や責任、権限などを定めている	1	2	3	4	5
③ 環境について外部からの意見や苦情などに対応する仕組みが整えられている	1	2	3	4	5
④ 環境保全のための方針（環境方針）を設定している	1	2	3	4	5
⑤ ISO14001などの環境管理システムを導入している	1	2	3	4	5
⑥ 顧客や発注者に対し、環境保全の提案をしている	1	2	3	4	5
⑦ 消費者などに対して、情報提供や啓発活動を行っている	1	2	3	4	5
⑧ 顧客、取引先用にインターネットを利用した環境情報システムを持っている	1	2	3	4	5
⑨ 事業所内や駐車場の緑化対策を行っている	1	2	3	4	5
⑩ 敷地内や敷地周辺の美化活動を行っている	1	2	3	4	5
■社外での環境保全活動の推進					
① ボランティア休暇など、従業員の自主的な環境活動を支援する制度がある	1	2	3	4	5
② 地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力・支援を行っている	1	2	3	4	5

(問12のつづき)

取り組み内容	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは 考えていない	自社とはあまり関係がない
③ 環境に関する基金・団体を設置している。あるいは既存の基金・団体を支援している（他で行われている支援の事例では、人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力などがあります） （具体的内容： ）	1	2	3	4	5
④ フリーマーケットや不用品交換会に参加や場の提供などを行っている	1	2	3	4	5
⑤ 地域の一員として環境事業やまちづくりなどに協力している	1	2	3	4	5
■エコビジネス、技術開発					
① 資源、省エネ、環境保全を達成することを可能にする技術や商品を開発し、社会に提供している （具体的内容： ）	1	2	3	4	5
② 技術者の派遣、国内研修の受け入れなどによって環境保全技術移転の推進を進めている（環境に係る国際協力）	1	2	3	4	5
■製造業における環境配慮					
① 出荷する製品の包装の簡素化を進めている	1	2	3	4	5
② 出荷した製品の廃棄後の回収に協力している	1	2	3	4	5
③ 生産から廃棄までの各工程を見直し、エネルギー消費の少ない生産システムを整備している	1	2	3	4	5
④ コージェネレーションシステムなど効率の良いエネルギー供給システムを導入している	1	2	3	4	5
⑤ 製造に使用する燃料は、環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用している	1	2	3	4	5
⑥ 流通管理等の徹底により無駄な使用資源を削減している	1	2	3	4	5
⑦ 空調は、蓄熱式空調システム（エコアイス等）を導入している	1	2	3	4	5
⑧ 製造工程で使用される洗浄水や冷却水を再利用している	1	2	3	4	5
■建設業における環境配慮					
① 発注者および設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化など、環境保全の提案をしている	1	2	3	4	5
② 工事に使用する資材等は再生建設資材などの利用を拡大している	1	2	3	4	5
③ 環境配慮型の機械を導入している	1	2	3	4	5
④ 建設機械や工事車両のアイドリングストップなど低燃費運行を行っている	1	2	3	4	5
⑤ 建設発生土の有効利用や、コンクリート塊などの再資源化を推進している	1	2	3	4	5

(問12のつづき)

取り組み内容	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは 考えていない	自社とはあまり関係がない
■農業における環境配慮					
① 作物にはなるべく農薬を使用しないようにしている	1	2	3	4	5
② 農業機械やビニールハウスの効率的な使用で、エネルギー消費量を削減している	1	2	3	4	5
③ 生産に伴う生ごみはコンポスター利用等で減量している	1	2	3	4	5
④ 出荷の際は、小分けの梱包をできる限り控えている	1	2	3	4	5
⑤ 地産地消を推進している	1	2	3	4	5
■卸売・小売業・飲食店における環境配慮					
① 環境配慮商品や地場産品の率先販売、仕入れを行っている	1	2	3	4	5
② 顧客に対し、マイバック、マイバスケットの利用を促している	1	2	3	4	5
③ 詰め替え式製品やリターナブル容器商品の販売を促進している	1	2	3	4	5
④ 製造業者、運送業者等との連携を図り、共同輸配送の推進、物流の合理化を行っている	1	2	3	4	5
⑤ 荷積み、荷下ろし中のアイドリングストップを徹底している	1	2	3	4	5
⑥ 地産食材を利用している	1	2	3	4	5

問13 貴事業所としては、環境保全や環境活動などにどのような協力ができますか。
あてはまると考えられるものを全て選び、○をつけてください。

<p>1. ごみの分別やリサイクルなど、事業活動の中で手間をかけることができる</p> <p>2. 空調の利用を控える、自動車の利用を控えるなど、快適さや便利さを我慢できる</p> <p>3. 環境団体や行政などの環境活動に参加するなど、労力を提供することができる</p> <p>4. ごみの少ないものやリサイクル可能なものを進んで購入できる</p> <p>5. 再生品など環境にやさしい製品を販売できる</p> <p>6. 環境保全のための新たな費用負担ができる</p> <p>7. 従業員の環境意識を向上するため、従業員に対して環境教育を行うことができる</p> <p>8. 利害関係者に対して、環境保全のための協力を呼びかけることができる</p> <p>9. 省エネルギー設備など、環境負担の少ない設備を新たに導入することができる</p> <p>10. わからない</p> <p>11. その他 ()</p>
--

問14 貴事業所として、環境保全などに向けて行政が優先的に取り組む事項として、望むことはどのようなものですか。

次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

1. ごみの減量化、リサイクルの推進
2. 緑、緑地の保全
3. 市民への環境、地球温暖化に関する情報や学習の場の提供
4. 公共交通機関の整備、利便性の向上
5. 道路交通網の整備による交通渋滞の解消
6. ごみ発電などリサイクルエネルギー発電設備の導入
7. 緑豊かな公園の整備、道路・河川の緑化、建物の屋上・壁面の緑化
8. 学校などでの環境教育の推進
9. 環境団体などの活動に対する支援
10. 地域環境美化自主活動等を実践する指導者・リーダーの養成
11. 個人住宅への太陽光発電設備などの普及（補助金の交付など）
12. 公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の導入
13. 自転車活用のための支援（シェアサイクルや道路整備等）
14. 民有緑地の保全
15. 河川や水辺の水質改善、汚濁の防止
16. 工場や事業所の排ガス、排水、騒音、悪臭などの公害の防止
17. ごみのポイ捨てや犬などのふん放置のマナー向上対策
18. 野良猫対策
19. 特に取り組む必要はない
20. その他（)

【地球温暖化対策について】

問15 貴事業所の活動において、地球温暖化問題を現在どのように捉えていますか。

次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

1. 非常に重要な問題である
2. 重要な問題である
3. どちらともいえない
4. 重要な問題ではない
5. 関心がない
6. わからない
7. その他（)

問16 貴事業所として、地球温暖化防止を促進するのに必要な情報はどのような事ですか。
次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

1. 地球温暖化が社会生活に及ぼす影響についての情報
2. 地球温暖化を防止するために行われている対策についての情報
3. 地球温暖化を防止するための事業所の取り組みについての情報
4. 地球温暖化の現状に関する情報
5. 地球温暖化の原因に関する情報
6. その他 ()

問17 現在、従業員の通勤などの自家用車の利用を公共交通機関等へ切り替えるように促進することは可能ですか。次の中からあてはまるものを 1つ 選び、○をつけてください。

1. 可能である
2. 条件が整えば可能である
3. 不可能である
4. すでに実施済みである
5. その他 ()

問18 通勤を自家用車などから公共交通機関等へ切り替えることを可能にする条件としては、どのようなことですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

1. 公共交通機関経路の変更や延長
2. 公共交通機関の本数増加
3. 運行時間の延長
4. 運賃の低減
5. 駐輪場の整備
6. 自転車活用のための支援（シェアサイクルや道路整備等）
7. 今後も切り替える意思はない
8. その他 ()

【新型コロナウイルスについて】

問19 新型コロナウイルス感染症の流行で、ビジネス環境や、自然環境は大きく影響を受けました。新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、貴事業所における環境問題への意識や行動に変化はありましたか。
次の中からあてはまるものを 1つ 選び、○をつけてください。

- | | | |
|------------|---|------------------|
| 1. 変化があった | → | 問19-①へお進みお答えください |
| 2. 変化はなかった | } | 問20へお進みお答えください |
| 3. わからない | | |

問19-① 問19で「1. 変化があった」と回答された事業所に伺います。どのような変化があったのか、具体的にご記入ください。【自由記入】

例) テレワークや時差出勤、時短勤務の導入など

【SDGs（持続可能な開発目標）について】

問20 貴事業所は、「SDGs（持続可能な開発目標）」に取り組んでいますか。
次の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | } | 問20-①へお進みお答えください |
| 2. ある程度は取り組んでいる | | |
| 3. 知っているが取り組んでいない | } | 問20-②へお進みお答えください |
| 4. まったく知らない | | |

問20-① 問20で「1. 積極的に取り組んでいる」、「2. ある程度は取り組んでいる」と回答された事業所におたずねします。SDGsは17のゴール(目標)があり、ゴールごとにターゲットがありますが、具体的に取り組んでいるものは以下のうちどれですか。【あてはまるものを全て選んでください。】※特に環境分野と関連が深いゴールです。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを(※) |
| 3. すべての人に健康と福祉を(※) | 12. つくる責任 つかう責任(※) |
| 4. 質の高い教育をみんなに(※) | 13. 気候変動に具体的な対策を(※) |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう(※) |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に(※) | 15. 陸の豊かさを守ろう(※) |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに(※) | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

問20-② 問20で「3. 知っているが取り組んでいない」、「4. まったく知らない」と回答された事業所におたずねします。貴事業所は、SDGs の取り組みを推進する（または、今後推進していく）上で、課題と考えることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

1. 学習の機会が無い
2. 教育できる者が居ない
3. 取り組み方法が分からない
4. 取り組む意義・メリットが不明
5. 従業員の理解が得られない
6. 取り組みを推進するつもりは無い
7. その他（)

【環境保全施策に対する意見・要望について】

問21 貴事業所として、環境に対する施策として市にどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

1. 環境保全の基本方針を定め、対策方向の明確化
2. 環境保全施策の具体的な事業の実施
3. 先進事例の紹介や講習会の実施
4. 助成や融資制度の整備
5. 市民との協働の場をつくる
6. 条例による規制
7. 特には無い
8. その他（)

問22 近年、事業所は様々な利害関係者から環境への配慮が求められていく傾向にあります。貴事業所が市民から求められていることはどのようなものと考えますか。次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

1. 市民との対話
2. 環境保全を目的とした市民団体へのサポート
3. 市民に向けた環境情報の提供
4. 事業者の率先した環境保全活動
5. その他（)

【環境への負荷の実態について】

問23 貴事業所では、環境負荷量をはじめとする以下の数値について把握していますか。把握の状況について、次の中からあてはまるものをそれぞれ 1つ 選び、○をつけてください。

影響の内容		細かく把握している	概数では把握している	把握していない	該当しない
① エネルギーの使用量	(1) 電気使用量	1	2	3	4
	(2) ガス使用量	1	2	3	4
	(3) 灯油、軽油、その他燃料の使用量	1	2	3	4
② 車両*の利用について	(1) 車両保有台数	1	2	3	4
	(2) 車両の年間走行距離	1	2	3	4
	(3) 車両の年間燃料消費量	1	2	3	4
③ エネルギーの使用量と車両の利用による二酸化炭素 (CO ₂) 排出量		1	2	3	4
④ 資源の使用量	(1) 水の使用量	1	2	3	4
	(2) 事務用紙の使用量	1	2	3	4
⑤ 廃棄物などの排出量やリサイクル量について	(1) 廃棄物の排出量	1	2	3	4
	(2) リサイクル量	1	2	3	4
⑥ 大気汚染物質・水質汚濁物質などの排出量		1	2	3	4
⑦ 化学物質の排出量・移動量		1	2	3	4

※②の車両は、自転車を除く車両とお考えください。

【市民・行政との協働について】

問24 今後、より良い環境づくりを推進していくためには、事業所、市民、市民団体、行政等が協働して、環境保全に係る各種活動を推進していくことが一層重要になります。それについてどう思いますか。

次の中からあてはまるものを 1つ 選び、○をつけてください。

1. 積極的に参加したいと思う
2. 関心のある活動には参加したいと思う
3. 機会や時間があれば参加したいと思う
4. 参加してみたいがなかなか難しいと思う
5. 参加したいとは思わない

問25 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等がありますか。

次の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 市のホームページや広報等での環境情報提供の充実 |
| 2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催 |
| 3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度 |
| 4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等） |
| 5. 事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施） |
| 6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供 |
| 7. 市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備 |
| 8. 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成 |
| 9. 特になし |
| 10. その他（ |

【ふじみ野市の環境像について】

問26 将来のふじみ野市がどのようなまちになったらよいと思いますか。

次の中から重要度が高いと考えるものを第1位から第3位まで番号を記入してください。

第1位	1. 自然の緑や水辺が大切に守られるまち
	2. 大気汚染や水質汚濁のないまち
	3. 資源の循環（リサイクル）が形成されるまち
	4. 再生可能エネルギーの利用が進んでいるまち
第2位	5. ごみが少なくきれいなまち
	6. 公園の緑や街路樹が豊富なまち
	7. 歴史的な名所や文化を大切にするまち
	8. 環境活動、環境学習が盛んなまち
第3位	9. 環境と産業が調和したまち
	10. 道路や下水道などが整備されるまち
	11. その他（

【自由回答】

ふじみ野市の環境に関する情報や、環境に関するご意見・ご要望等ございましたら、以下の欄にご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

第2期ふじみ野市環境基本計画(後期行動計画)
アンケート調査報告書

令和4年3月

ふじみ野市 市民活動推進部 環境課

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1

TEL:049-262-9021(直通)

FAX:049-263-6111